C145-E475-01

VSP2851B　プリンタ装置

取 扱 説 明 書

FUJITSU

安全な使用のために

このマニュアルの取り扱いについて

　このマニュアルには，当製品を安全にご使用いただくための重要な情報が記載されています．当製品をご使用になる前に，このマニュアルを熟読してください．特に，このマニュアルに記載されている『安全上のご注意』をよく読み，理解された上で当製品をご使用ください．また，このマニュアルは，当製品の使用中，いつでも参照できるように大切に保管してください．

　富士通は，お客様の生命，身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っております．当製品をご使用する際は，本マニュアルの説明に従ってください．

は　じ　め　に

VSP2851B プリンタ装置は，グローバルサーバ，ビジネスサーバ（PRIMERGY 6000, SPARC Enterprise，PRIMEPOWER，富士通 S series，PRIMEQUEST）に加え Windows アプリケーションから印刷することが可能な VSP（Virtual System Printer）の小型，卓上型の多目的インパクトプリンタです．

本書は，本装置を使用するシステム設計者およびオペレータの手引きにすることを目的として解説したものです．

本書の内容についてよくご理解いただいた上でご使用ください．特に，オペレータの方は「第３章　操作説明」をご一読の上ご使用ください．

2010 年５月

警告表示マークについて

本書では，お客様の身体や財産に損害を与えないよう，以下の警告表示をしています．

「⚠警告」は，正しくご使用にならない場合，死亡する，または重傷を負うことがあり得ることを示しています．

「⚠注意」は，正しくご使用にならない場合，軽傷，または中程度の傷害を負うことがあり得ることと，当該製品自身またはその他の使用者などの財産に，損害が生じる危険性があることを示しています．

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は，一般事務用，パーソナル用，家庭用，通常の産業などの一般的用途を想定して設計・製造されているものであり，原子力施設における核反応制御，航空機自動飛行制御，航空交通管制，大量輸送システムにおける運行制御，生命維持のための医療用機器，兵器システムにおけるミサイル発射制御など，極めて高度な安全性が要求され，仮に当該安全性が確保されない場合，直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではございません．お客様は，当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく，本製品を使用しないでください．ハイセイフティ用途に使用される場合は，弊社の担当営業までご相談ください．

電波障害の防止

この装置は，クラスA情報技術装置です．この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります．この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります．

VCCI-A

JIS C 61000-3-2適合品

本装置は，高調波電流規制「JIS C 61000-3-2」に適合しています．

事業系の使用済製品の引取りとリサイクルについてのお願い

● この製品の所有者が事業主の場合には，使用済後に廃棄される製品は産業廃棄物扱いとなり，廃棄する際にはマニフェスト伝票（産業廃棄物管理表）の発行が必要となります．
● 弊社では1998 年より，法人のお客様から排出される弊社製品を「富士通リサイクルシステム」（有料）にて回収，リサイクルし，資源の有効利用に取り組んでいます．製品所有者が弊社に廃棄を依頼される場合には以下のWeb サイトをご覧ください．
http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/ 「富士通の環境活動」

お願い

● 本書を無断で他に転載しないようお願いします．
● 本書は予告なしに変更されることがあります．

Microsoft，Windows，MS-DOS，Windows Server は，米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です．

● 本文中の略語について

本文中では，OSを以下のとおり略して表記しています．

Microsoft® Windows® 2000 をWindows 2000，Microsoft® Windows® XP をWindows XP，Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition をWindows XP x64，Windows Vista® をWindows Vista，Windows® 7 をWindows 7，Microsoft® Windows Server® 2003 をServer 2003，Microsoft® Windows Server® 2003 R2 をServer 2003 R2，Microsoft® Windows Server® 2003 x64 Edition をServer 2003 x64，Microsoft® Windows Server® 2003 R2 x64 Edition をServer 2003 R2 x64，Microsoft® Windows Server® 2003 Enterprise Edition for Itanium-based Systems をServer 2003 IA64，Microsoft® Windows Server® 2008 をServer 2008，Microsoft® Windows Server® 2008 (x64) をServer 2008 x64，Microsoft® Windows Server® 2008 R2 をServer 2008 R2，Microsoft® Windows Server® 2008 for Itanium-based Systems をServer 2008 IA64，と表記しています．

例えば，Server 2003 x64 とWindows XP x64 を同時に示す場合はServer 2003/XP x64と表記しています．

All Rights Reserved, Copyright© 富士通株式会社 2010

警告マークについて

本書では，安全上の注意事項を記述した箇所に，警告表示とともにその内容を示す警告マークを配置して一目でわかるように配慮しています．

使用している警告マークの意味は以下のとおりです．内容をよく理解したうえで，お読みください．

感電注意

感電する危険性について記述していることを示します．

高温注意

高温による傷害の危険性について記述していることを示します．

発火注意

発火する危険性について記述していることを示します．

接触禁止

触れることによって障害が起こる可能性について記述していることを示します．

一般的禁止

一般的な禁止事項を記述していることを示します．

一般的注意

一般的な注意事項を記述していることを示します．

安全上の注意事項

⚠ 警告

感電注意

- 電源プラグは，濡れた手で持たないでください．また，電源プラグの抜き差しは，装置の電源スイッチを切断してから行ってください．
  感電や火災のおそれがあります．
- LAN ケーブルや電源ケーブルを接続するときは，必ず本装置の電源を切断してください．
  感電や火災のおそれがあります．
- コネクタの端子に手を触れないでください．
  感電のおそれがあります．
- 清掃時は電源スイッチを切断し，電源ケーブルを抜いてください．
  感電のおそれがあります．
- LAN ケーブルや電源ケーブルを傷つけたり，加工したりしないでください．
  感電や火災のおそれがあります．
  LAN ケーブルや電源ケーブルの上に物を載せたり，からみつけたり，足を引っかけたりしないように注意してください．
- 指定された電源電圧以外では使用しないでください．
  感電や火災のおそれがあります．
- 装置を分解したり，改造したりしないでください．
  感電や火災のおそれがあります．

発火注意

- 万一装置から発熱・発煙・異臭・異常音が発生したら，すぐに電源を切断し，担当保守員に連絡してください．
  感電や火災のおそれがあります．
- アース付きのコンセントに必ず接続してください．
  感電や火災のおそれがあります．
  電源コンセントに平行 2P，接地極付きを使用してアースを確実に接続してください．
- 異物が装置内に入ったら，すぐに電源を切断し，担当保守員に連絡してください．
  感電や火災のおそれがあります．

高温注意

- 印字ヘッドやモータには触れないでください．
  火傷のおそれがあります．

接触禁止

- **動作中にカバーを開けて手や指や顔を入れないでください.**
  ケガ（指挟みなど）のおそれがあります.
- **歯車・ベルトなどの可動部に衣服の袖やネクタイ，髪を近づけないようにしてください.**
  巻き込まれるおそれがあります.

一般的禁止

- **直射日光の当たる所や暖房機の近く，湿気，ホコリの多い場所に置かないでください.**
  感電や火災のおそれがあります.
- **通風孔をふさがないでください.**
  装置内部が高温になり，火災のおそれがあります.
- **装置の上に重いものを置いたり，装置の上で作業しないでください.**
  転倒，落下のおそれがあります.
- **不安定な場所に置かないでください.**
  転倒，落下のおそれがあります.

一般的注意

- **電源ケーブルは，プラグ部分を持って抜いてください.**
  感電や火災のおそれがあります.
- **装置の移動時は，オプション（カットシートフィーダ，セカンドトラクタ，用紙反転ユニット）をはずしてから行ってください.**
  転倒，落下のおそれがあります.

目　　次

安全な使用のために
はじめに ····· i
警告マークについて ····· iii
安全上の注意事項 ····· iv
目次 ····· vii

第１章　概　要 ····· 1
1.1　装置概要 ····· 1
1.2　接続形態 ····· 2
1.3　各部の名称と機能 ····· 5
1.3.1　各部の名称 ····· 5
1.3.2　各部の機能 ····· 7
1.4　仕　様 ····· 8
1.4.1　基本仕様 ····· 8
1.4.2　F66XX エミュレーション機能仕様 ····· 9
1.4.3　F69XX エミュレーション機能仕様 ····· 10
1.5　オプション ····· 11
1.5.1　カットシートフィーダ ····· 11
1.5.2　セカンドトラクタ ····· 12
1.5.3　用紙反転ユニット ····· 12
1.6　Windows 環境で使用するソフトウェア ····· 14
1.7　Unix 環境で使用するソフトウェア ····· 14
1.8　機能面・環境面における注意事項 ····· 15

第２章　準　備 ····· 23
2.1　製品の確認 ····· 23
2.2　リボンカセットの取り付け方 ····· 24
2.3　前用紙ガイド・後用紙ガイドの取り付け方 ····· 26
2.4　電源ケーブルの接続 ····· 28
2.5　LAN ケーブルの接続 ····· 29
2.6　スタッカの取り付け方・取り外し方 ····· 30
2.7　オプションの取り付け方，取り外し方 ····· 31
2.7.1　カットシートフィーダの取り付け方・取り外し方 ··31
2.7.2　セカンドトラクタの取り付け方・取り外し方 ··34
2.7.3　用紙反転ユニットの取り付け方・取り外し方 ··38
2.8　ソフトウェアのインストール ····42

第３章　操作説明 ····· 45
3.1　電源の投入と切断 ····· 45
3.1.1　電源の投入 ····· 45
3.1.2　電源の切断 ····· 45
3.2　操作パネルの配置と機能 ····· 46
3.2.1　操作パネルの配置 ····· 46
3.2.2　操作パネルの機能 ····· 46
3.3　セットアップ ····· 49
3.3.1　セットアップの手順 ····· 49
3.3.2　セットアップの構成 ····· 51
3.3.3　セットアップの設定内容 ····53
3.4　装置立ち上げと印刷設定 ····· 60
3.4.1　装置立ち上げ ····· 60
3.4.2　印刷設定（機能モード） ····61
3.5　LAN 接続 ····· 63
3.5.1　LAN 接続するための基本設定 ····· 63
3.5.2　LAN 接続環境ごとの設定内容 ····· 64
3.5.3　ゲートウェイについての補足 ····· 73
3.6　印刷時の操作 ····· 75
3.6.1　用紙の取り付け方 ····· 75
3.6.2　用紙の印刷位置合わせ ····· 97
3.6.3　用紙の取り外し方 ····· 99
3.6.4　連帳用紙と単票用紙を交互に使うには ····· 101

第４章　消耗品の交換 ····· 103
4.1　リボンカセットの交換 ····· 103

第５章　異常発生時の操作 ····· 109
5.1　故障かなと思ったときの処置 ·· 109
5.2　用紙ぎれ ····· 111
5.3　用紙づまり ····· 113
5.3.1　印字ヘッド前側で用紙がつまった場合 ····· 113
5.3.2　印字ヘッド後側で用紙がつまった場合 ····· 115
5.3.3　カットシートフィーダ内に用紙がつまった場合 ···· 118
5.3.4　用紙反転ユニット内に用紙がつまった場合 ···· 119
5.4　PrintWalker/PM のエラーメッセージ ····· 121
5.5　PrintWalker/RS のエラーメッセージ ····· 123
5.6　おもなエラーメッセージ（LCD 表示） ····· 124
5.6.1　カバーオープン ····· 124
5.6.2　プログラムエラー ····· 124
5.6.3　用紙ガイドセットエラー ·· 124
5.6.4　ポジションエラー ····· 125
5.6.5　セレクトミス ····· 125
5.6.6　POC エラー ····· 126
5.6.7　パターンタイムアウト ···· 126
5.6.8　上位装置電源断 ····· 126
5.6.9　LAN 二重アドレスエラー ····· 127
5.6.10　メカ系の異常 ····· 127
5.6.11　ハードウェアの異常 ····· 128

第６章　用紙仕様および帳票設計 ····· 129
6.1　連帳用紙 ····· 129
6.2　単　票 ····· 136
6.3　元　帳 ····· 143
6.4　バーコード読取り領域 ····· 145
6.5　はがき ····· 147
6.6　封　筒 ····· 150
6.7　タック紙 ····· 153
6.8　左とじ伝票 ····· 156
6.9　プレプリント用紙について ···· 160
6.10　用紙の取り扱い上の注意 ····· 161

第７章　日常の点検とお手入れ ····· 163
7.1　日常の点検 ····· 163
7.2　日常のお手入れ ····· 163
7.3　カットシートフィーダの清掃の仕方 ····· 163

第８章　設置諸元 ····· 165
8.1　設置仕様 ····· 165
8.2　外形寸法 ····· 166
8.3　保守スペース ····· 167

第９章　付　録 ····· 169
9.1　メッセージ一覧 ····· 169
9.1.1　オフライン系 ····· 169
9.1.2　セットアップ系 ····· 170
9.1.3　コントローラ系エラー ···· 174
9.1.4　メカ系エラー ····· 176
9.2　文字コード ····· 178
9.3　PrintWalker/RS のご紹介 ···· 183
9.4　PrintWalker/LXE のご紹介 ··· 185
9.4.1　PrintWalker/LXE の概要 · 185
9.4.2　動作環境 ····· 186
9.4.3　システム構成 ····· 187
9.4.4　留意事項 ····· 188
9.5　カスタマバーコードの印刷条件 189
9.6　ID マーク ····· 190

図　表　目　次

《 図 》

図 1.1　外　観 …… 1
図 1.2　各部の名称（1） …… 5
図 1.2　各部の名称（2） …… 6
図 1.3　カットシートフィーダ ……11
図 1.4　セカンドトラクタ ……12
図 1.5　用紙反転ユニット ……12

図 3.1　操作パネルの配置 ……46
図 3.2　現在の設定情報 ……59

図 8.1　外形寸法 …… 166
図 8.2　保守スペース …… 167

《 表 》

表 1.1　各部の機能 …… 7
表 1.2　基本仕様 …… 8
表 1.3　F66XX エミュレーション
　機能仕様 …… 9
表 1.4　F69XX エミュレーション
　機能仕様 ……10
表 1.5　オプション ……11
表 1.6　オペレーションの組み合わせ ‥13

表 3.1　セットアップ設定内容 ……53
表 3.2　機能モードの設定内容 ……62

表 8.1　設置仕様 …… 165

表 9.1　オフライン系の
　メッセージ一覧 …… 169
表 9.2　セットアップ系の
　メッセージ一覧 …… 170
表 9.3　コントローラ系の
　エラーメッセージ一覧 …… 174
表 9.4　メカ系エラーの
　メッセージ一覧 …… 176
表 9.5　国内一般カナ付コード表
　（Japanese KANA） … 178
表 9.6　国内一般カナ無コード表
　（Japanese English） ‥ 179
表 9.7　海外コード表Ⅰ
　（US English） …… 180
表 9.8　海外コード表Ⅱ
　（EBCDIC-ASCII） …… 181
表 9.9　ASCII コード（サポート
　サーバが PrintWalker の
　場合のみ） …… 182

第1章　概　要

本章では，本装置の概要，接続形態，各部の名称と機能，仕様，オプション，Windows/Unix 環境で使用するソフトウェアおよび機能面・運用面における注意事項について説明します．

1.1　装置概要

本装置は，グローバルサーバ，ビジネスサーバ（SPARC Enterprise，PRIMEPOWER，富士通 S series，PRIMEQUEST）に加え，Windows パソコン（FMV シリーズ）のアプリケーションからの印刷が可能なネットワークプリンタ装置です．また，オプションの拡張出力機構を使用すれば，ビジネスサーバ（PRIMERGY 6000）からの印刷が可能になります．LAN 接続された複数のクライアントサーバ混在のシステム環境において，それぞれのシステムのプリンタ装置として共有できます．

複写印刷の多い伝票業務に最適なプリンタ装置であり，連続帳票・カット紙・複写伝票の印刷はもちろんのこと，はがき・封筒・タック紙への印刷も可能です．さらに，バーコード・ID マークの印刷/読み取り機能を有し，多目的プリンタとして元帳印刷業務などに使用できます．

本装置の外観を図 1.1 に示します．

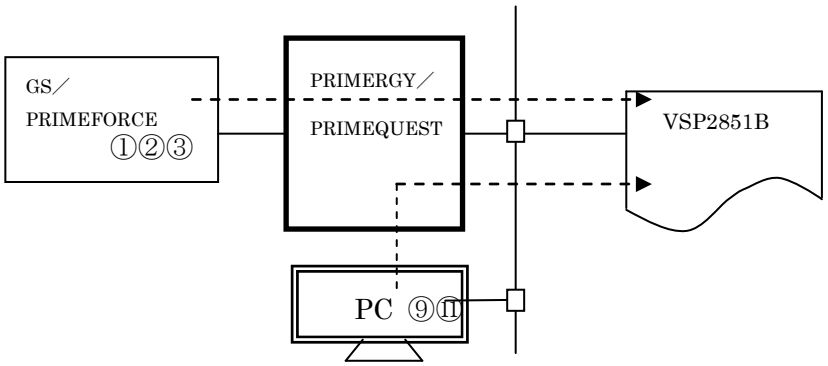
図 1.1　外　観

1.2 接続形態

本装置は，複数の異なるシステムと接続できます．それぞれのシステムとの接続形態について説明します．

「設定」の番号は，「3.5.1　LAN 接続するための基本設定」の表の項番に対応します．

(1) Windows 2000/Server 2003/Server 2008 サーバ接続



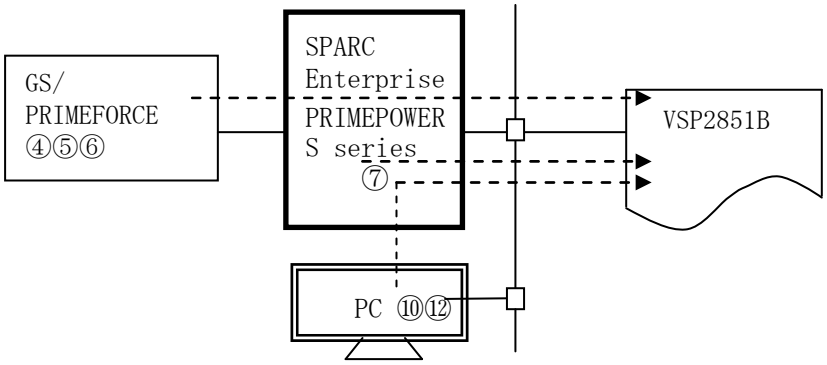
ホスト	サーバ		プリンタ		設定
			エミュレーション	サポートサーバ／伝送経路	
GS/ PRIME- FORCE 注 1)	PRIMERGY	HOST PRINT DS-LINK	66XX	サポートサーバ： 6680-NMC 伝　送　経　路：DS-LINK	②
		HOST PRINT TCP/IP	66XX	サポートサーバ： HOST PRINT 伝　送　経　路：TCP/IP	①
		HOST PRINT PrintWalker/PM TCP/IP	66XX	サポートサーバ： PrintWalker 伝　送　経　路：TCP/IP	③

注 1）GS/PRIMEFORCE から PRIMEQUEST への接続はできません．

クライアント	サーバ		プリンタ		設定
			エミュレーション	サポートサーバ／伝送経路	
PC 注 2)	PRIMERGY/ PRIMEQUEST	PrintWalker/PM TCP/IP	66XX	サポートサーバ： PrintWalker 伝　送　経　路：TCP/IP	⑨ ⑪

注 2）OS が Windows 2000/XP/Vista/7 であること．

(2) SPARC Enterprise, PRIMEPOWER, 富士通 S series 接続

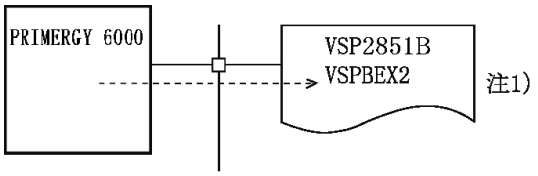


ホスト	サーバ		プリンタ		設定
			エミュレーション	サポートサーバ／伝送経路	
GS/ PRIMEFORCE	PRIME- POWER S series	Netcompo NMC サーバ DS-LINK	66XX	サポートサーバ： 6680-NMC 伝　送　経　路：DS-LINK	⑤
		Netcompo NMC サーバ TCP/IP	66XX	サポートサーバ： HOST PRINT 伝　送　経　路：TCP/IP	④
		PrintWalker /BPC, CJMS TCP/IP	66XX	サポートサーバ： PrintWalker 伝　送　経　路：TCP/IP	⑥
SPARC Enterprise PRIME- POWER S series	－	PrintWalker /BPC TCP/IP	66XX	サポートサーバ： PrintWalker 伝　送　経　路：TCP/IP	⑦

クライアント	サーバ		プリンタ		設定
			エミュレーション	サポートサーバ／伝送経路	
PC 注 1)	SPARC Enterprise PRIME- POWER S series	PrintWalker /BPC TCP/IP	66XX	サポートサーバ： PrintWalker 伝　送　経　路：TCP/IP	⑩ ⑫

注 1）OS が Windows 2000/XP/Vista/7 であること.

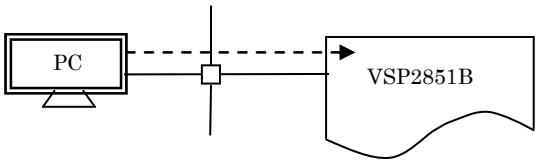
⑶ PRIMERGY 6000 接続



ホスト	サーバ		プリンタ		設定
			エミュレーション	サポートサーバ／伝送経路	
PRIMERGY-6000	——	LAN プリンタ制御オプション TCP/IP	69XX	サポートサーバ：PrintWalker 伝 送 経 路：TCP/IP	⑧

注 1）本接続形態時は拡張出力機構オプションが必須となります.

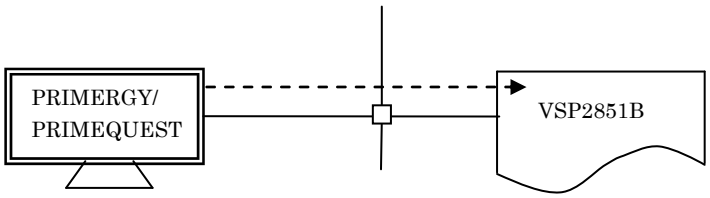
⑷ PC 接続



ホスト		プリンタ		設定
		エミュレーション	サポートサーバ／伝送経路	
PC 注 1)	PrintWalker/PM TCP/IP	66XX	サポートサーバ：PrintWalker 伝 送 経 路：TCP/IP	⑬ ⑭

注 1）OS が Windows 2000/XP/Vista/7/Server 2003/Server 2008 であること.

⑸ Linux 接続



ホスト		プリンタ		設定
		エミュレーション	サポートサーバ／伝送経路	
PRIMERGY/ PRIMEQUEST 注 1)	PrintWalker/LXE TCP/IP	66XX	サポートサーバ：PrintWalker 伝 送 経 路：TCP/IP	⑮

注 1）詳細は９．４項を参照してください.

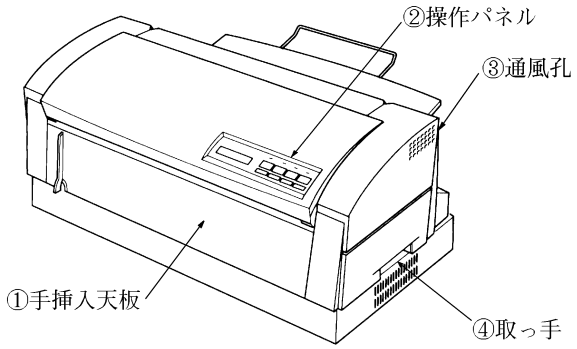
1.3　各部の名称と機能

本装置の各部の名称と機能を以下に示します.

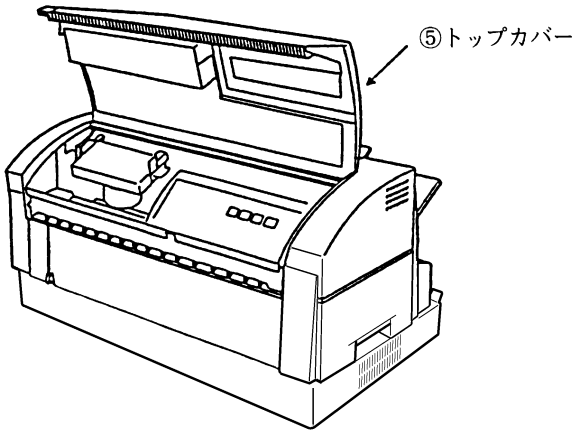
1.3.1　　各部の名称

装置の各部の名称を図 1.2 に示します.

前面



前面（トップカバーを開けた状態）



前面（手挿入天板をセットした状態）

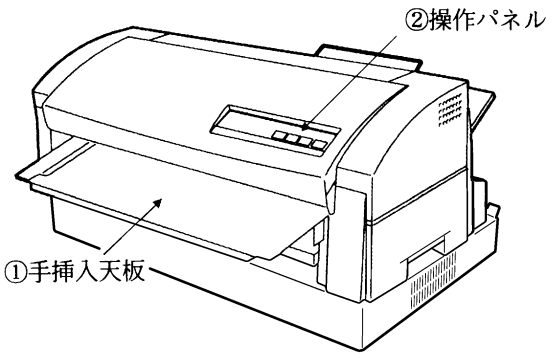
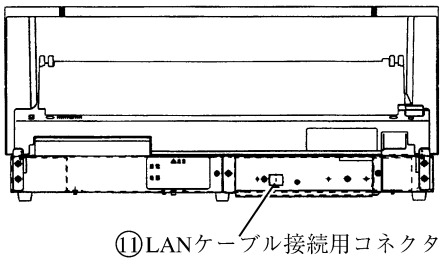
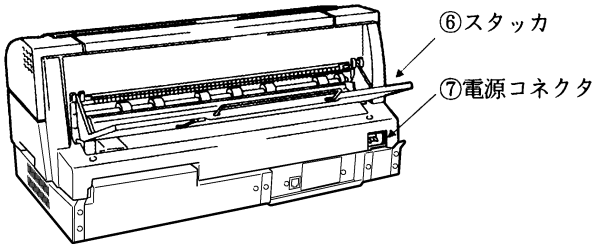


図 1.2　各部の名称(1)

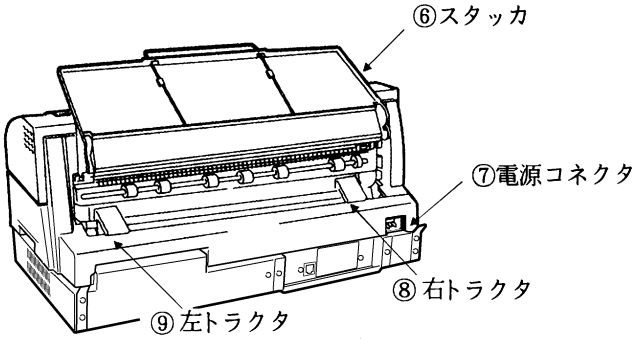
背面



背面（スタッカをセットした状態）



背面（スタッカが上方に回転した状態）



左側面

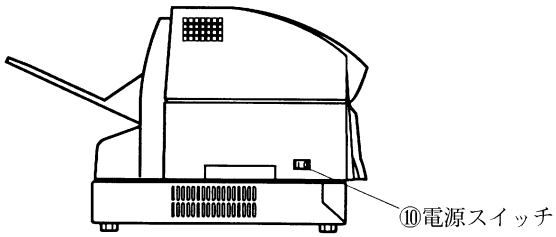


図 1.2　各部の名称(2)

1.3.2　各部の機能

本装置の各部の機能を表 1.1 に示します．

表 1.1　各部の機能

番号	名　　称	機　　能
①	手挿入天板	手挿入を行うときに，単票用紙をのせるところです．
②	操作パネル	装置を操作するためのスイッチと状態表示をする液晶パネルおよび LED ランプを備えています．
③	通風孔	装置内部の熱を排出する孔です．
④	取っ手	装置を持ち上げるときにつかみます．
⑤	トップカバー	リボンカセット，用紙ガイドやオプションを取り付けるときに開けます．
⑥	スタッカ	装置背面に排出された単票用紙をスタックします．
⑦	電源コネクタ	電源ケーブルを差し込むコネクタです．
⑧ ⑨	右トラクタ 左トラクタ	連帳用紙をセットします．
⑩	電源スイッチ	電源を ON（｜），OFF（○）するスイッチです．
⑪	LAN ケーブル接続用コネクタ	LAN ケーブルを接続するコネクタです．

1.4 仕 様

本装置の仕様について説明します．

1.4.1 基本仕様

本装置の基本仕様を表 1.2 に示します．

表 1.2　基本仕様

項　　目		仕　　様
印字方式		インパクトドットマトリックス方式
ドット数		24 ドット（ピン径 0.2mm）
解像度		160dpi（縦）×160dpi（横）
用紙厚調整		自動調整
用紙送り方式	単票	手挿入口からの手動給紙 カットシートフィーダからの自動給紙（オプション）
	連帳	押し込みトラクタ方式
用　紙 注 1）	単票	種類　　：上質紙，再生紙，はがき，封筒，ラベル紙，複写紙 用紙幅　：100～364mm 用紙長　：90～364mm 坪量　　：52～157g/m^2（連量：45～135kg）
	連帳	種類　　：送り穴付き折り畳み用紙（上質紙，再生紙，ラベル紙，複写紙） 用紙幅　：101.6～406.4mm（4～16 インチ） 用紙長　：折り畳み 101.6 mm 以上（4インチ以上） 坪量　　：64～128g/m^2（連量：55～110kg）
印字速度　　注 2）		漢字(文字間隔 3/20 インチ)　：130 字／秒 高速モード(漢字)　：260 字／秒 ANK　：195 字／秒
改行速度		67ms（改行間隔 1/6 インチ）
改ページ速度		最大 8 インチ／秒
複写枚数　　注 1）		オリジナル+4（34kg ノーカーボン紙）
給　紙　　注 3）		約 300 枚（一般紙，坪量 64g/m^2，1P 用紙）
排　紙		最大 200 枚（一般紙，坪量 64g/m^2，1P 用紙）
プリンタ寿命		500 万行または 5 年の早いほう
定期交換部品寿命		印字ヘッド：2 億打/ピン以上
消耗品寿命		インクリボン：ANK ドラフト 300 万字
インターフェース		LAN（Ethernet-10BaseT，100BASE-TX）
LAN プロトコル		TCP/IP，DS-LINK
エミュレーション　注 4）		JEF（F66XX，F69XX）

注 1）複写用紙に印字する場合，複写枚数によって連量が制限されてきます．詳細は「第 6 章　用紙仕様および帳票設計」を参照してください．

注 2）印字速度は，印字ヘッドの移動速度で規定しています．印刷処理性能には，改行速度や改ページ速度等も影響を与えます．
また，接続の本体装置，ネットワークの状況や印刷内容によっては，印刷処理性能が低下する場合があります．

注 3）自動給紙するときは，カットシートフィーダ（オプション）が必要です．

注 4）エミュレーションにおける JEF（F69XX）は，拡張出力機構オプションが必須となります．

1.4.2　F66XX エミュレーション機能仕様

本装置の F66XX エミュレーション機能仕様を表 1.3 に示します.

表 1.3　F66XX エミュレーション機能仕様

項　　目	仕　　様
印刷文字種	・明朝体 ２バイト文字：JEF 非漢字，JEF 第 1 水準／第 2 水準漢字，半角，書式文字 １バイト文字：ANK　４セット（設定により OCR-B フォント切り換え可能） ・ゴシック体 未サポート
印字桁数	・漢字　：　90 桁（文字ピッチ 3/20 インチ時） ・ANK　：　136 桁（文字ピッチ 1/10 インチ時）
文字間隔	・漢字　：1/5，1/6，3/20 インチ ・ANK　：1/10，1/12，1/13.3，1/15 インチ
文字拡大	長体，平体，倍角，ラベル文字（3～32 倍）
行間隔	3，4，6，8 行／インチ
イメージ印刷 （注 1）	データ形式：非圧縮，MH，MR，MMR 形式 イメージ切り出し
図形印刷	文字，線，円，面塗りなどの描画
バーコード印刷 （注３）	種類：　NW-7，標準 JAN，短縮 JAN，CODE 3 of 9， Industrial 2 of 5，Interleaved 2 of 5，物流系 カスタマバーコード（注２）

注 1)
- Windows アプリケーションからの印刷では，デバイスフォントを指定する以外はイメージデータとなります.
- プリンタドライバでイメージ圧縮を指定する場合は,拡張出力機構オプションが必要となります.
- Windows アプリケーションからバーコードを印刷する場合は，イメージデータとして印刷されるため，運用に先立ち十分な読み取りテストを実施してください.
- イメージ切り出しは，Windows アプリケーションからのイメージ印刷で発生する文字崩れを改善するための印刷方式です．詳細は「1.8　機能面・運用面における注意事項」の（22）項を参照してください.

注 2)
- カスタマバーコードの印刷仕様は以下のとおりです.
  BAR 高さ(最大)：２２ドット
  BAR 幅　：３ドット ／ SPACE 幅：４ドット
  横書きのみサポート
- カスタマバーコード印刷は，拡張出力機構オプションが必要となります.
- カスタマバーコードは，GS/PRIMEFORCE からの印刷時のみサポートしています.
- 読み取り可能な印刷条件は,「9.5　カスタマバーコードの印刷条件」を参照してください.

注 3) バーコード印刷は，運用前に十分な読み取りテストを実施してください.
　　また，インクリボンは新しいものを使用してください.

注 4) バーコード，OCR-B の読み取りは印刷用紙の最上部の 1 枚目のみ可能です.
　　２枚目以降の読み取りは保証できません.

1.4.3　F69XX エミュレーション機能仕様

本装置の F69XX エミュレーション機能仕様を表 1.4 に示します.

表 1.4　F69XX エミュレーション機能仕様

項　　目	仕　　様
印刷文字種	・明朝体 ２バイト文字：JEF 非漢字，JEF 第１水準／第２水準漢字，半角，書式文字 １バイト文字：ANK　４セット（ソフトの指定により OCR-B フォント切り換え可能） ・ゴシック体
印字桁数	・漢字　：　90 桁（文字ピッチ 3/20 インチ時） ・ANK　：　136 桁（文字ピッチ 1/10 インチ時）
文字間隔	・漢字　：　1/5，3/20 インチ ・ANK　：　1/10，1/12 インチ
文字拡大	長体，平体，倍角，ラベル文字
行間隔	6，8，12 行／インチ
イメージ印刷	データ形式：非圧縮，MH，MR，MMR 形式
図形印刷	文字，線，円，面塗りなどの描画
バーコード印刷（注３）	種類：NW-7，標準 JAN，短縮 JAN，CODE 3 of 9， Industrial 2 of 5，Interleaved 2 of 5 カスタマバーコード（注２）

注 1）本エミュレーション機能を使用する場合は，拡張出力機構オプションが必要となります.

注 2）カスタマバーコードの印刷仕様は以下のとおりです.

・BAR 高さ(最大)：２２ドット

・BAR 幅　：３ドット ／ SPACE 幅：４ドット

・横書きのみサポート

読み取り可能な印刷条件は,「9.5　カスタマバーコードの印刷条件」を参照してください.

注 3）バーコード印刷は，運用前に十分な読み取りテストを実施してください.

また，インクリボンは新しいものを使用してください.

注 4）バーコード，OCR-B の読み取りは印刷用紙の最上部の１枚目のみ可能です.

２枚目以降の読み取りは保証できません.

1.5　オプション

本装置のオプションについて説明します．
オプションを表 1.5 に示します．

表 1.5　オプション

品　名	概　　要
VSP2851BC カットシートフィーダ	単票用紙の自動給紙装置です．
VSP2851BT セカンドトラクタ	第２の連帳用紙送りトラクタです．
VSP2851BH 用紙反転ユニット	単票用紙手前排出用のフェースダウンスタッカです．
VSPBEX2 拡張出力機構	GS/PRIMEFORCE 連携時において，ラベル拡大文字，範囲指定バーコード（4 方向への回転が可能，物流標準／物流拡張は範囲指定バーコードでのみ可能など）の印刷および図形，イメージ印刷機能使用時に必要です． また，PRIMERGY 6000 連携時には必須です．Windows のプリンタドライバでイメージデータ圧縮を指定するときに必要です．装置への取り付けは担当保守員にご依頼ください．

1.5.1　カットシートフィーダ

大量の単票用紙を自動給紙するためのオプションです．最大約 300 枚の単票用紙（1P 用紙）を搭載できます．薄紙，厚紙，はがき，封筒，左とじ伝票を給紙できます．

プリンタ装置前部に取り付けます．図 1.3 に外観と各部の名称を示します．

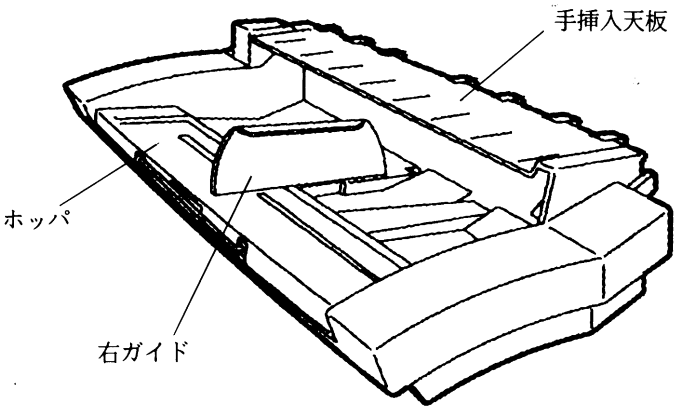


図 1.3　カットシートフィーダ

1.5.2　セカンドトラクタ

連帳用紙を給紙するためのオプションです．本オプションを取り付けることにより２種類の連帳用紙をセットすることができます．スイッチ操作で容易に切り替えができます．

プリンタ装置後部に取り付けます．図 1.4 に外観と各部の名称を示します．

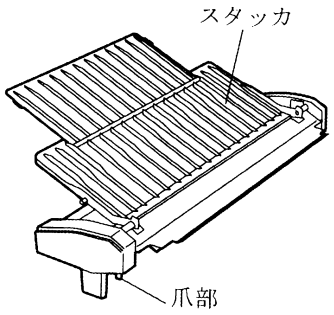


図 1.4　セカンドトラクタ

1.5.3　用紙反転ユニット

印字された単票用紙をフェイスダウンスタックするためのオプションです．排出用紙が手前に出てくるため，窓口業務などに適しています．

図 1.5 に外観と各部の名称を示します．

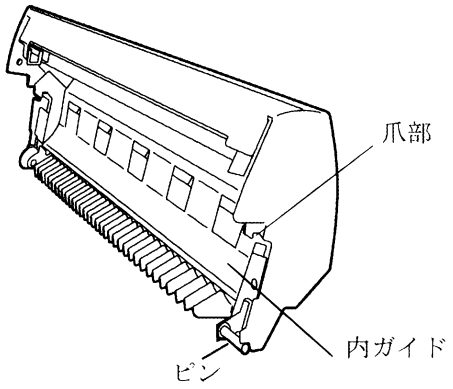


図 1.5　用紙反転ユニット

＜オペレーションの組み合わせ＞

本装置にオプションを取り付けることによって以下のようなオペレーションの組み合わせが可能になります．それぞれのオペレーション時における用紙の搬送方向について説明します．

表 1.6　オペレーションの組み合わせ

項	オペレーションの組み合わせ	連帳用紙の搬送方向		単票用紙の搬送方向	
		トラクタ 1	トラクタ 2	手差し給紙	自動給紙
1	標準トラクタ 標準スタッカ	後→前	―――	前→前 前→後	―――
2	標準トラクタ カットシートフィーダ 標準スタッカ	後→前	―――	前→前 前→後	前→前 前→後
3	標準トラクタ セカンドトラクタ 標準スタッカ	後→前	後→前	前→前 前→後	―――
4	標準トラクタ カットシートフィーダ 用紙反転ユニット	後→前	―――	前→前 前→後	前→前 前→後
5	標準トラクタ セカンドトラクタ カットシートフィーダ 標準スタッカ	後→前	後→前	前→前 前→後	前→前 前→後
6	標準トラクタ セカンドトラクタ カットシートフィーダ 用紙反転ユニット	後→前	後→前	前→前 前→後	前→前 前→後

〔注意〕手差し給紙の搬送方向は，セットアップモードで設定できます．

1.6　Windows 環境で使用するソフトウェア

本装置には，Windows ネットワーク環境で信頼性の高い印刷と高度な機能を実現するため，以下の関連ソフトウェアが標準添付されています．ぜひともこれらのソフトウェアをインストールして，ネットワークプリンタ機能をご利用ください．

⑴ PrintWalker/PM
本装置へ印刷出力中に発生したエラー内容を Windows パソコンに表示し，信頼性の高いエラーリカバリ機能および高度の印刷環境を実現するソフトウェアです．
インストール手順は「2.8　ソフトウェアのインストール」を参照してください．

⑵ VSP プリンタドライバ
Windows パソコンから印刷を行う場合に必要なプリンタドライバです．
インストール手順は「2.8　ソフトウェアのインストール」を参照してください．

⑶ VSP リクエスタ
GS/PRIMEFORCE 連携印刷において，Windows Server 2008/Server 2003/2000（HOST PRINT 帳票管理サービス）と本装置間のやり取りを行うソフトウェアです．
Windows Server 2008/Server 2003/2000 サーバにインストールします．
詳しくは，添付の CD-ROM（PrintWalker）内の KANKYOMO フォルダにあるテキストファイルをご覧ください．

⑷ PrintWalker/RS
VSP/VS シリーズのプリンタ運用管理をリモートで行うソフトウェアです．
詳しくは，添付の CD-ROM（PrintWalker）内の RemoteSV フォルダにある PrintWalker/RS 導入マニュアル（Manual.htm）および「9.3　PrintWalker/RS のご紹介」をご覧ください．

1.7　Unix 環境で使用するソフトウェア

PrintWalker/BPC は，Unix 環境で使用する場合に有効な「ソフトウェア」です．

⑴ PrintWalker/BPC（標準添付）
VPS プリンタへの出力中に発生したエラー内容を Solaris に表示し，信頼性の高いエラーリカバリ機能および高度な印刷環境を実現したソフトです．

1.8　機能面・運用面における注意事項

⑴ 本プリンタは，MS-DOS からの直接印刷には対応していません．

⑵ SPARC Enterprise，PRIMEPOWER，富士通 S series サーバ接続
本装置は，JEF プリンタであり，SPARC Enterprise，PRIMEPOWER，富士通 S series サーバに接続されている既存プリンタとは互換の無い新しいプリンタであることに注意してください．
本装置は，SPARC Enterprise，PRIMEPOWER，富士通 S series サーバが既にサポートしている FM プリンタとは，解像度／文字サイズ／文字の形／指定可能な文字ピッチや行ピッチの値などが異なります．特に既設の FM のインパクトプリンタと併設する場合は注意が必要です．
・ANK，漢字のポイント指定はできません．ポイントを指定しても標準サイズ（10 ポイント相当）で印刷されます．
・ANK の文字ピッチは，10/12/13.3/15cpi が指定できます．これ以外の指定がされた場合，プリンタ装置の設定値に従って印刷されます．
・漢字の文字ピッチは，5/6/6.7cpi が指定できます．これ以外の指定がされた場合，プリンタ装置の設定値に従って印刷されます．
・行ピッチは 6/8lpi が指定できます．これ以外が指定された場合，プリンタ装置の設定値に従って印刷されます．
・漢字基準線指定はできません．常に下端に合わせて印刷されます．
・上つき，下つき指定はできません．全角で印刷されます．
・ANK，漢字の縦書き指定はできません．横書きで印刷されます．
・書体指定はできません．明朝体で印刷されます．
・1 回の垂直タブで 1 改行します．
・1 回の水平タブで ANK8 文字分を右へシフトします．

⑶ PRIMEGY 6000 サーバ接続
① PRIMEGY 6000 サーバと PC 端末の環境では互換機能をサポートしていますが，K1600αシリーズ（SX/G）からの印刷はサポートしていません．
SX/G から印刷した場合はライタによって保留されます．
② 線画メディアサービスを使用したプログラムからの印刷はできません．
線画メディアサービスを使用したプログラムを実行した場合は，実行時にエラーになります．
③ リモートパワーオフ機能は，未サポートです．
④ 以下の点が FMG 接続の多目的プリンタとは異なるため注意が必要です．（F9680M4 との比較）
1） 12LPI を指定した場合に次の制限があります．
・印刷速度が遅くなります．
・強調印字（重ね打ち）ができません．
2） ANK 文字書体が異なります．
・ドラフトパターンで印字

（F9680M4：　イメージ／グラフなしの場合，ドラフトパターン
イメージ／グラフありの場合，JEF 明朝半角パターンまたは F6680ANK パターン）

3） ラベル文字の補間は行われません（書式文字で線がつながりません）．
また，ラベル文字のスムージングは行われません．

（F9680M4：　同一ページ内に SMED 罫線，またはグラフデータが存在する場合は指定が無効．一行中に一項目のみ有効です．
ラベル文字行の長体，倍角は無効（全角，平体になります）．）

4) 飾り文字の指定はサポートしていません.
5) バーコードの基本モジュール幅＝1 はサポートしていません.（基本モジュール幅＝2 で印刷）
（F9680M4：基本モジュール幅＝1.5 で印刷）
バーコードは 1 行中に 14 項目まで有効です.
高速モードで印刷する場合は，バーコードも間引きされるため，読み取りは保証されません.
範囲指定バーコードをサポートしていますが，印刷方向に 90°，180°，270°を指定しても 0°で印刷されます.
6) グラフ内文字の更新ピッチは，ANK 横書は 16 ドット，ANK 縦書／漢字横書／漢字縦書は 24 ドットです.

（F9680M4： ANK 横書は 16 ドット，ANK 縦書／漢字辞書／漢字縦書は 32 ドット）

グラフ内文字（ANK）の書体はドラフトパターンで印字します.
（F9680M4：F6680ANK パターン）
7) イメージの拡大，縮小率が 1/8～8 倍のため，印字結果が表示ファイルの組み込みメディア項目の項目領域からはみ出る，または余白ができる場合があります.
8) 線画データ印刷では，表示ファイルの組み込みメディア項目にてファイル名の指定のみ可能です.
9) 元帳処理において，帳票定義体の縦サイズを越えて改行／印刷処理を行った場合，指定が無効となります.
（F9680M4：用紙があれば改行／印刷処理が行われます.）
10) 両面印刷はサポートしていません.

⑤ PRIMERGY 6000 と連携するには，拡張出力機構（VSPBEX2）が必須となります.
⑥ 単票印刷において，プリンタ装置の手差しロからの吸入ができるのは，利用者プログラムからのインサータ印刷で手差しロを指定した直接印刷のときのみです.
利用者プログラムからのインサータ印刷で手差しロを指定した場合でも，ライタを経由したスプール印刷ではカットシートフィーダからの吸入となります.
よって単票用紙への印刷を行う場合は，カットシートフィーダ（VSP2851BC）の導入を推奨します.

⑷ NMC（NMC 代替）接続
NMC 代替（Netcompo NMC サーバ， HOST　PRINT など）による接続を行うための設定を本プリンタに行った場合は，その接続形態の専用プリンタとしてのみ動作します．他の接続を行うためには設定の変更が必要となります.

⑸ CJMS 連携時の注意事項
セットアップ項目中の装置設定において，印字桁数設定を変更することにより，行の右端での折り返し位置が変化します．その結果，SPARC Enterprise，PRIMEPOWER，富士通 S series 上の PrintWalker/BPC とプリンタとの間でページの概念に相違が発生し，リカバリページが乱れるおそれがあるため，注意が必要となります.
GS/PRIMEFORCE 上とプリンタの間で，行の折り返し位置の統一をとるようにしてください.

⑹ JOB キャンセル時の注意事項

① NMC 代替（HOST PRINT， Netcompo NMC サーバ）による接続

GS/PRIMEFORCE 上で JOB キャンセルを行った場合，プリンタは受信データを印刷後，その位置で止まります．このため，次の印刷を開始する前に用紙位置を再設定する必要があります．【改ページ】スイッチを押すことにより，プリンタ装置内の行管理情報をページの先頭に戻してから用紙位置に設定してください．

1 ページ内に 6/81pi が混在しているデータを印刷時に JOB キャンセルを行い，その後【改ページ】スイッチを押すと，用紙位置がミシン目に合わなくなるおそれがあるため，注意が必要となります．印刷途中でオフライン状態にした場合も，次の印刷を開始する前に【改ページ】スイッチを押し，用紙位置を再設定する必要があります．このときも同様に注意が必要です．

② Windows Server 2008/Server 2003/2000 上の HOST PRINT（帳票管理サービス）を使用した PrintWalker/PM による接続（GS/PRIMEFORCE 連携の印刷）

PRIMEPOWER, 富士通 S series サーバ上の CJMS を使用した PrintWalker/BPC による接続（GS/PRIMEFORCE 連携の印刷）

1） オンライン状態での JOB キャンセル

PrintWalker/PM および PrintWalker/BPC から JOB キャンセルを行った場合，プリンタは JOB キャンセルを認識した時点で受信データを破棄し，改ページ動作を行った後に止まります．このため，次のデータを受信しても用紙位置を再設定することなく印刷を再開することができます．

1 ページ内に 6/81pi が混在しているデータを印刷時に JOB キャンセルを行った場合，用紙位置がミシン目に合わなくなるおそれがあるため，注意が必要となります．

2） オフライン状態およびエラー発生状態での JOB キャンセル

PrintWalker/PM および PrintWalker/BPC から JOB キャンセルを行った場合，プリンタは受信データを破棄します．このため，次の印刷を開始する前に用紙位置を再設定する必要があります．プリンタ内の行管理情報もクリアされています．

1 ページ内に 6/81pi が混在しているデータを印刷時にオフライン状態にし，【改ページ】スイッチを押すと，用紙位置がミシン目に合わなくなるおそれがあるため，注意が必要となります．

③ Windows 上の PrintWalker/PM による接続

SPARC Enterprise，PRIMEPOWER，富士通 S series サーバ上の PrintWalker/BPC による接続（SPARC Enterprise，PRIMEPOWER，富士通 S series サーバ上のアプリケーションからの印刷）

PRIMERGY 6000 サーバ上の LAN プリンタ制御オプションによる接続

1） オンライン状態での JOB キャンセル

PrintWalker/PM，PrintWalker/BPC および LAN プリンタ制御オプションから JOB キャンセルを行った場合，プリンタは JOB キャンセルを認識した時点で受信データを破棄し，改ページ動作を行った後に止まります．このため，次のデータを受信しても用紙位置を再設定することなく印刷を再開することができます．

2） オフライン状態およびエラー発生状態での JOB キャンセル

PrintWalker/PM，PrintWalker/BPC および LAN プリンタ制御オプションから JOB キャンセルを行った場合，プリンタは受信データを破棄します．このため，次の印刷を開始する前に用紙位置を再設定する必要があります．プリンタ内の行管理機能もクリアされています．

〔注意〕VSP2600/3700/3801 で設定可能なページ合わせ設定機能（JOB 間および JOB キャンセル時のページ位置合わせを行うタイミングの設定）は，本プリンタにはありません．

⑺ 操作パネルの「用紙選択」ランプについて

操作パネルの「用紙選択」ランプは，【用紙選択】スイッチを押すことにより，順番に切り換わりますが，連帳 1/連帳 2/単票いずれかを選択後，【スタート】スイッチを押したときに用紙パスの切り換えが行われます．

電源投入時の「用紙選択」ランプは，電源切断前に使用していた用紙にて立ち上がります．ただし，用紙パスの切り換えが終了する前に電源切断すると，その前に使用していた用紙にて立ち上がりますので注意してください．

⑻ 手前排出の機能について

セットアップモードの設定または【手前排出】スイッチを押すことにより，単票用紙の排出方向を手前側に設定することが可能ですが，下記の接続形態では排出方向が後方側固定となるため，注意が必要です．

1） GS/ PRIMEFORCE 連携接続
- ・NMC代替（HOST PRINT， Netcompo NMCサーバ）による接続
- ・PRIMEPOWER，富士通 S seriesサーバ上のCJMSを使用したPrintWalker/BPCによる接続

2） SPARC Enterprise，PRIMEPOWER，富士通 S series サーバ連携接続
- ・Simple，COBOLからのPrintWalker/BPCによる接続
  （MeFtからの印刷では指定可能です．ただし，連帳指定での印刷時は除きます．）

⑼ 手挿入口からの印刷について

手挿入口からの印刷は，下記の接続形態では指定することができませんので，注意が必要です．

1） GS/PRIMEFORCE 連携接続
- ・NMC代替（HOST PRINT， Netcompo NMCサーバ）による接続
- ・Windows Server 2008/Server 2003/2000サーバ上のHOST PRINT（帳票管理サービス）を使用したPrintWalker/PMによる接続
- ・PRIMEPOWER，富士通 S seriesサーバ上のCJMSを使用したPrintWalker/BPCによる接続

2） SPARC Enterprise，PRIMEPOWER，富士通 S series サーバ連携接続
- ・Simple，COBOL からの PrintWalker/BPC による接続
  （MeFt からの印刷では指定可能です．ただし，連帳指定での印刷時は除きます．）

⑽ 保護機能

1） 印字デューティが高すぎる場合，3 分割印字により，印字ヘッドおよび電源を保護します．
2） 複写用紙に印字デューティが高い印刷をした場合など，装置内電源電圧が低下した場合，3 分割印字により，装置内電源電圧を復旧させます．
3） 印字ヘッドの温度が規定値以上になると，3 分割印字により温度上昇を防止します．
4） 安全のため，トップカバーを開けるとキャリアモータの電源を切断します．

⑾ 印字制限条件

1） 連続改行は，1 分間以上行わないでください．
2） 5 桁（パイカピッチ）以下の連続印字またはスペース動作は，5 分間以上行わないでください．
3） 50%デューティ以上のパターンの連続印字は，1 分以上行わないでください．
4） 横罫線等の特定ドットの連続印字は，1 分以上行わないでください．

(12) GS/PRIMEFORCE からの印刷時の注意事項

GS/PRIMEFORCE からの印刷時，接続形態により印刷後の【改ページ】スイッチの動作に違いがあるため注意が必要です．

1) NMC 代替（HOST PRINT の VSP サービス， Netcompo NMC サーバなど）による連携

・LU タイプ 1

ホストからページ長／改行ピッチ情報が指定された場合，【改ページ】スイッチはその値に従って動作します．

・LU タイプ 3

【改ページ】スイッチはプリンタ装置の設定値に従って動作します．

2) Windows Server 2008/Server 2003/2000 上の HOST PRINT（帳票管理サービス）を使用した PrintWalker/PM による接続（GS/PRIMEFORCE 連携の印刷）

PRIMEPOWER, 富士通 S series サーバ上の CJMS を使用した PrintWalker/BPC による接続（GS/PRIMEFORCE 連携の印刷）

【改ページ】スイッチはプリンタ装置の設定値に従って動作します．

・紙送り量設定が「パネル」: プリンタ装置の設定値で動作

・紙送り量設定が「ホスト」: ホストから指定されたページ長で動作

(13) プリンタに標準装備していない文字を使用する場合

プリンタに標準装備していない文字を帳票で使用した場合は，印刷処理中にプリンタ側から文字フォント要求を通知し，上位装置から文字フォントのダウンロードが行われます．このため，性能が低下しますので運用に先立ち十分な確認が必要です．

［GS/PRIMEFORCE 連携，SPARC Enterprise 連携，PRIMEPOWER 連携，富士通 S series 連携，PRIMERGY/PRIMEQUEST（共に Red Hat Enterprise Linux）連携］

・プリンタ内に標準装備している文字

JEF 非漢字（明朝体），JEF 第一水準／第二水準（明朝体），書式文字

・上位装置からダウンロードを行う文字

JEF 拡張非漢字／拡張漢字（明朝体）

ユーザ定義文字

［PRIMERGY 6000 連携］

・プリンタ内に標準装備している文字

JEF 非漢字（明朝体），JEF 第一水準／第二水準（明朝体），書式文字

・上位装置からダウンロードを行う文字

JEF 拡張非漢字／拡張漢字（明朝体）

JEF 非漢字（ゴシック体），JEF 第一水準／第二水準（ゴシック体）

JEF 拡張非漢字／拡張漢字（ゴシック体）

ユーザ定義文字

(14) LAN-WAN-LAN 環境で使用する場合

VSP はサーバとの接続を維持するため，VSP～サーバ間で定期パケットを送受信することによってポーリング処理やリトライ処理を行っています．

これらの定期パケットは VSP とサーバとの接続形態にもよりますが，約 30 秒間隔で送信されるものや，約 2～3 分間隔で送信されるもの等いくつか存在します．

そのため VSP～サーバ間は常時接続状態が維持されることになるため，回線接続維持に課金がされる WAN 等が，VSP～サーバ間のネットワーク環境に存在する場合は接続費用が発生します．

上記の課金を防止するためには，VSP～対象サーバ間は必ず課金のかからないネットワーク環境（同一セグメント，専用線等）としてください．

なお，上記の定期パケットは 100～200 バイト程度であり，LAN トラフィックに大きな影響を及ぼすことはありません．

(15) 印字速度（高速モード）

高速モードは，印刷すべきドットを単純に間引いて，高速性を実現しています．
従って通常モードと比較して，印字品質が粗くなりますので注意願います．
特に複写伝票に印刷する場合は，複写濃度が低下しますので注意願います．
図形／イメージ印刷時は使用しないでください．
OCR，バーコード等の読み取りはできません．

(16) 印刷可能領域について

1) 印刷可能領域外への印刷における印刷品質は保証でません．
2) 印刷可能領域外へ印刷を行うと，印字ヘッドの損傷等プリンタ装置の故障の原因となるおそれがあります．
3) 下端近くに印刷を行いますと，プリンタ装置が用紙切れを検出し，印刷が失敗することがありますので，印刷可能領域内に印刷してください．余白を設定できないアプリケーションの場合は，『プリンタ』フォルダのメニューから『ファイル』メニューの『サーバのプロパティ』にて余白を考慮した用紙を作成し，ご使用ください．

(17) 印字ヘッド動作方向設定について

印字ヘッド動作方向の初期値は，両方向印字になっています．
このため，バーコード，図形，イメージなどを印刷する場合，正逆印字ずれが発生することがあります．
これらの印刷を行う場合は，セットアップの印字ヘッド動作方向設定で片方向印字に設定することを推奨します．ただし，片方向印字になることで，運用性能が半減します．

(18) 手挿入天板（手差しロ）上の用紙取り扱いについて

1) 手差しロから印刷を行う場合は，液晶ディスプレイに“テサシ　ニ　ヨウシ　ヲ　セット”と表示されてから手挿入天板に用紙をセットしてください．
2) 手挿入天板に排出された用紙は，すみやかに取り除いてください．
放置された場合，装置内に吸入されてしまうことがあります．
3) 手挿入天板には手差しロから印刷を行う場合以外，用紙を置かないでください．

(19) プリンタドライバからの単票／連帳自動切替えについて

プリンタドライバの設定により，印刷起動時にプリンタの給紙ロを単票／連帳間で切替えることが可能になります．

1) 連帳１から単票または連帳２に切替える場合
現在選択されている連帳を用紙トラクタ位置まで退避させてから，給紙ロの切替えを行います．約 11 インチ連帳を退避させても用紙送りトラクタ位置まで戻らない場合は，用紙づまりとなります．

注 1）印刷済の用紙を切り取ってから，給紙ロの切替えを行ってください．印刷済の用紙を切り取っておかないと，退避時に用紙づまりとなります．用紙づまりとなったときは，印刷済の用紙を切り取った後，現在の給紙ロのままオンライン状態にするか，使用する給紙ロに【用紙選択】スイッチを押して切替えてからオンライン状態にする必要があります．

注 2）11 インチ以内の印刷を行った後，印刷済の用紙を切り取らずに給紙ロの切替えを行っても正常に切替えが行われます．そのまま，元の給紙ロに切替えて印刷を行うと，前回に印刷した用紙に再度印刷されますので注意してください．

［単票／連帳自動切替えの使用例］

① 連帳へ印刷する．
② 【スタート／ストップ】スイッチを押してオフライン状態にする．
③ 【用紙カット】スイッチを押して横ミシン目を用紙カット位置に移動させる．
④ 用紙を切り取る．

⑤　【用紙カット】スイッチを押して用紙を印刷開始位置に戻す.
⑥　【スタート／ストップ】スイッチを押してオンライン状態にする.
⑦　給紙口を切替える印刷データを起動する.
⑧　連帳を用紙送りトラクタ位置に退避し,給紙口の切替えを行ってから印刷を開始する.

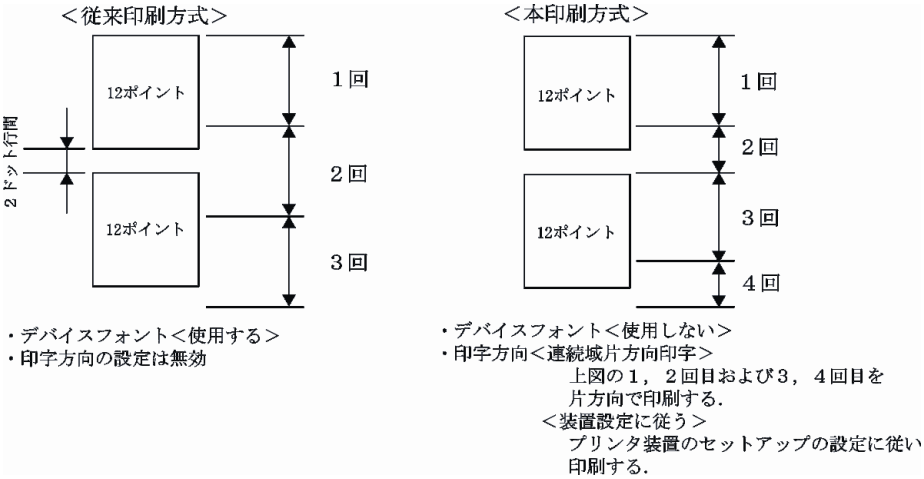
2)　単票から連帳に切替える場合
給紙口の切替えを行い，連帳を印刷開始位置まで吸入します．給紙口の切替え時に用紙パス内に単票が残っていた場合は,連帳に切り替わったときに用紙パス内の用紙は排出されます.

⑵0 PrintWalker/PM の印刷ページ操作について
印刷中に【スタート／ストップ】スイッチを押して印刷を停止させ，PrintWalker/PM の「操作」ボタンを押してから印刷ページを操作した場合，プリンタは受信済のデータを破棄します．このため，次の印刷を開始する前に以下の手順で用紙位置を再設定する必要があります．プリンタ内の行管理情報もクリアされます.
［用紙位置の再設定手順］
単票：【改ページ】スイッチを押して，用紙パス内の用紙を排出する.
連帳：【微調送り△／▽】スイッチを押して，印刷開始位置を調整する.

⑵1 A3 縦用紙の印刷について
プリンタドライバでは，用紙サイズとして「A3 縦」を選択することができますが，プリンタの手挿入天板，カートシートフィーダ，スタッカが A3 縦用紙に対応していないため，下記内容を注意願います.
1)　手差し口から給紙する場合,用紙が手挿入天板から落下しないように手で押さえてください.
2)　カットシートフィーダから給紙する場合，1 枚ずつ用紙をセットしてください.
3)　スタッカに排出された用紙は 1 枚ごとに取り除いてください．連続して排出されると，スタッカから用紙が落下する場合があります.

⑵2 Windows 印刷時の印刷品質と印刷時間について
本装置は，印字ヘッドが左右に移動して印字を行う方式のシリアルドットプリンタです.
この方式では Windows アプリケーションからのイメージ印刷の場合，印字ヘッドの印刷方向（右→左，左→右）によるズレや改行乱れにより，若干の文字崩れが発生する場合があります.
この文字崩れは，Windows アプリケーションからのイメージデータを 24 ドット（印字ヘッドの縦方向最大印字ドット数）ずつ，黒白データにかかわらず順に印刷するため，文字が上下に分割されることにより発生します.
本装置は，このような文字崩れを無くすために，印字ヘッドの 1 回の移動で印字可能な文字（11 ポイント以下）は，分割しない制御を行い，きれいな印字を実現しています.
この印刷方式は，プリンタドライバの設定画面（〔印刷設定〕-〔詳細設定〕）において，デバイスフォントを**＜使用しない＞**に設定し，［空白イメージのスキップ］を＜有効＞に設定した場合に有効となります.
さらにプリンタドライバの設定画面において，［空白イメージのスキップ］を＜有効＞にして［印字方向］を**＜連続域片方向印字＞**に設定すると印字ヘッドの 1 回の移動で印字不可能な文字（11 ポイントを越える文字）や罫線などを印刷する場合は，印字ヘッドの 1 回の移動で印字できない部分のみ片方向印刷（右→左の繰り返しまたは左→右の繰り返し）を行い，大きな文字や罫線などもきれいに印刷することができます.
なお本方式では，よく使用されている文字サイズ（11 ポイント以下）での帳票印刷では従来方式よりも印刷時間は短くなりますが，印刷パターンによっては，従来方式よりも印刷時間が長くなる場合があります.
例えば 12 ポイント文字が 2 ドット分ほどの行間で配置されたパターンでは,従来方式では 3 回の印字ヘッド動作で終了していたものが，本方式では 4 回となり，印刷時間が長くなります.
このような場合において，印刷品質よりも印刷速度を優先される場合は，プリンタドライバの設定画面のデバイスフォントを**＜使用する＞**に設定してください.

デバイスフォントを**＜使用する＞**にすると，従来方式の印刷を行います．
なおこの場合は，**＜連続域片方向印字＞**の設定は無効となります．



⑵3)プリンタドライバからの印刷時における用紙長定義について

Windows のプリンタドライバからの印刷時は，用紙長を 0.5 インチ単位で処理しますので，0.5 インチ単位で定義されていない場合は用紙送りの都合上，切り上げて動作します．

例：9.8 インチ→10.0 インチ

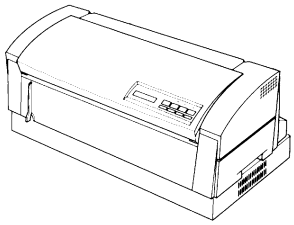
第 2 章　準　備

本章では，本装置の製品の確認，リボンカセットの取り付け，各ユニットの取り付け，取り外し，電源ケーブル，LAN ケーブルの接続およびソフトウェアのインストールについて説明します．

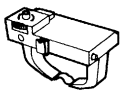
2.1　製品の確認

プリンタ装置の梱包箱を開けると，以下に示す納品物が収納されています．すべてそろっているかどうかお確かめください．

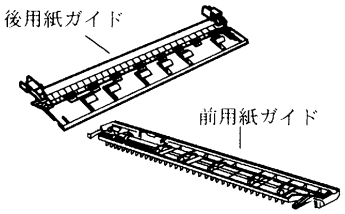
万一欠品，損傷がありましたら，恐れ入りますが，販売員または保守員にお問い合わせください．



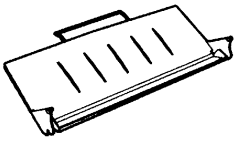
1．プリンタ装置本体（1 個）



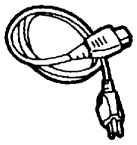
2．リボンカセット（1 個）



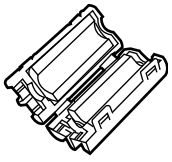
3．前用紙ガイド，後用紙ガイド（各 1 個）



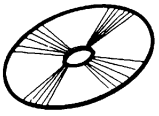
4．スタッカ（1 個）



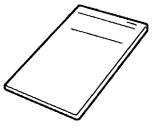
5．電源ケーブル　（1 本）



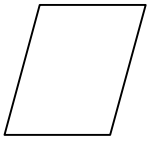
6．コア（1 個）



7．CD-ROM（2 枚）



8．取扱説明書（1 部）
（本書のことです）

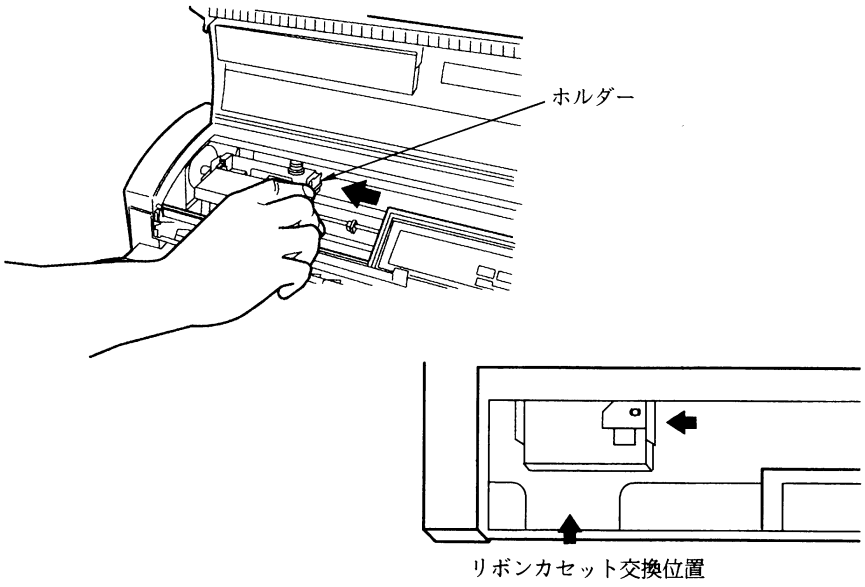


9．保証書

2.2　リボンカセットの取り付け方

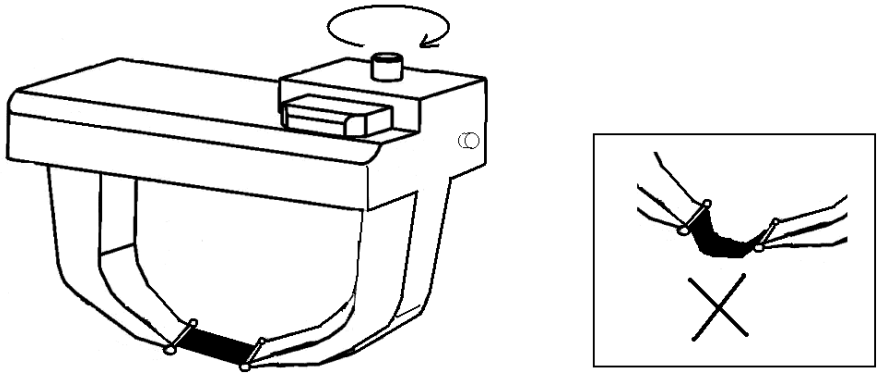
1）トップカバーを開きます．

2）印字ヘッド部のキャリアのホルダーを持って，リボンカセット交換位置（プリンタ前面から見て左側の位置）まで移動します．



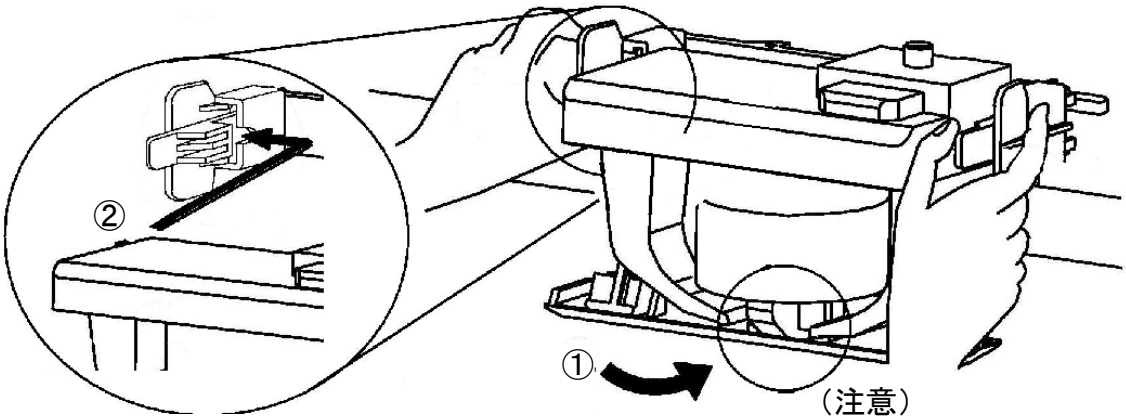
リボンカセット交換位置

3）リボンカセットのツマミを矢印方向に回してリボンのたるみを取ります．

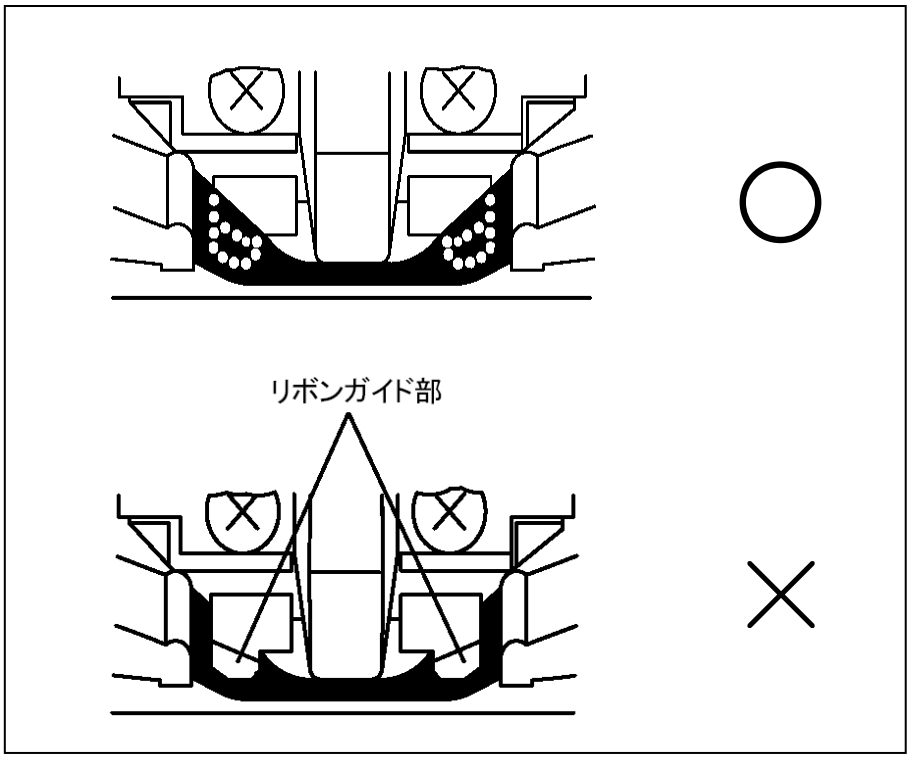


（注意）ツマミを反対方向に回さないでください．リボンカセットやプリンタ装置本体が破損する場合があります．

4)　リボンカセットを取り付けます.
リボンカセットを斜め上方から印字ヘッド部に押し込み，印字ヘッドの下にインクリボンを通します（①）．ホルダーの溝部にリボンカセットのピンを合わせ，カセットに押し込みます（②）.



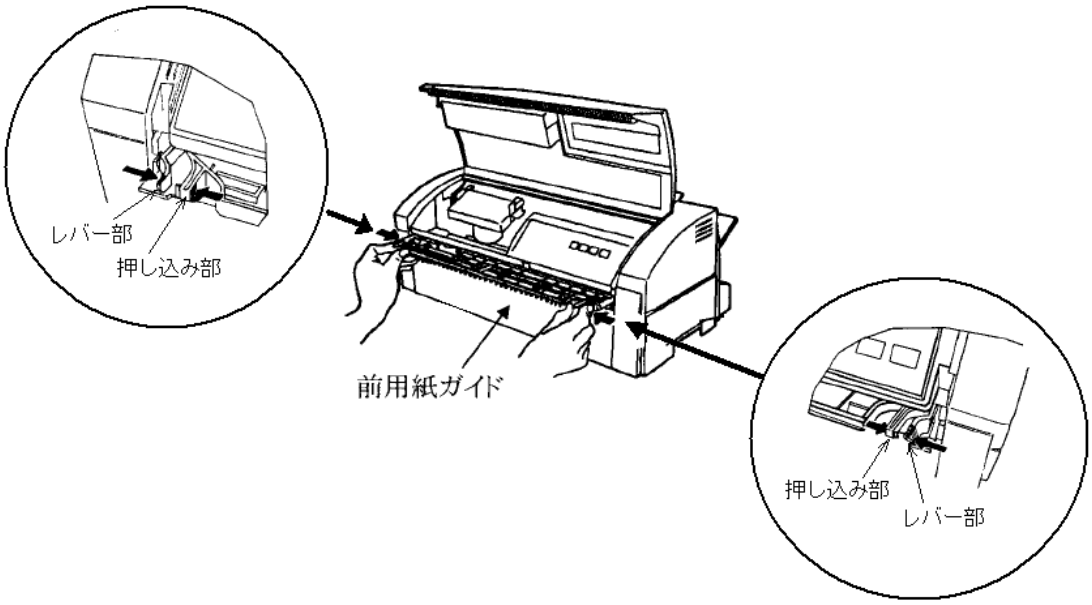
(注意)インクリボンのたるみを取ってからリボンカセットを取り付けますと，通常はリボンガイド部の上をインクリボンが通過するようにセットされます（正常位置）．しかしながらインクリボンがたるんだ状態のままリボンカセットをセットしますと，インクリボンがリボンガイド部の下を通過するようにセットされる場合があります（異常位置）．この場合は，インクリボンの走行に支障が出ますので，インクリボンが正常な位置にセットされていることを確認してください.

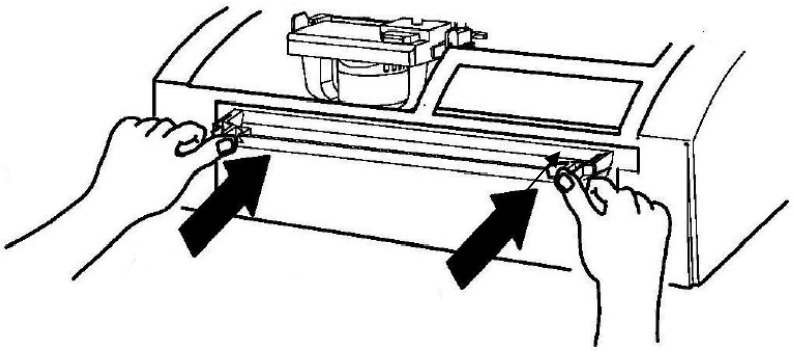


5)　トップカバーを閉めます.

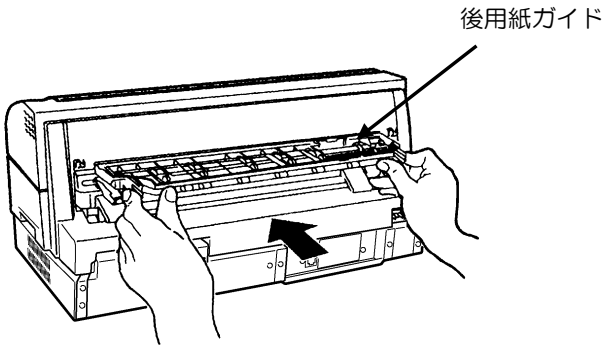
2.3　前用紙ガイド・後用紙ガイドの取り付け方

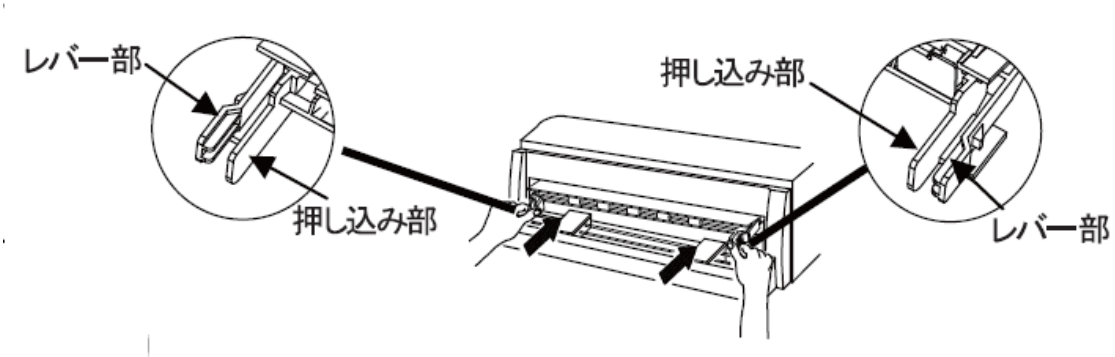
1）トップカバーを開いてから前用紙ガイドを取り付けます．
図のように前用紙ガイドの左右のレバーを持ちながら，平行に押し込み，左右レバーの爪状の引っかけ部がカチッと音がして入るまで，押し込み部を押して，確実に押し込みます．
（カチッと音がした状態は，爪状の引っかけ部が規定位置に入りますので，レバー部が外側に開いた状態になります．）
押し込み後，引っ張って外れないことを確認してください．





2) 後用紙ガイドを取り付けます.
図のように後用紙ガイドの左右のレバーを持ちながら，平行に押し込み，左右レバーの爪状の引っかけ部がカチッと音がして入るまで，押し込み部を押して，確実に押し込みます.
（カチッと音がした状態は，爪状の引っかけ部が規定位置に入りますので，レバー部が外側に開いた状態になります.）
押し込み後，引っ張って外れないことを確認してください.





2.4 電源ケーブルの接続

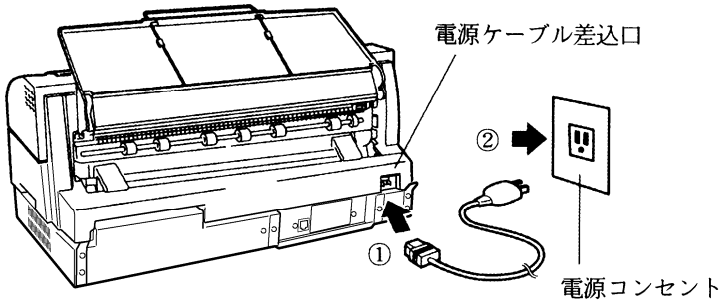
▲ 警告

感電注意

電源ケーブル接続時は次の点を厳守してください．これを守らないときは感電死や重傷を負う事故となる場合があります．

- 必ず電源スイッチを切ってから作業を行ってください．
- 電源は必ず付属の電源ケーブルを使用してください．
- 電源ケーブルを抜き差しするときは，必ずプラグ部分を持って使用してください．
- 電源ケーブルを重いものの下に敷いたり，はさんだり，ねじったりして傷を付けないようにしてください．
- 電源スイッチが ON の状態で，電源ケーブルのプラグを抜いたり，本装置を移動したりしないでください．
- 延長コードの使用はおやめください．

1） 電源ケーブルを，装置の後面にある電源ケーブル差込口に差し込みます．
2） 電源ケーブルのプラグを電源コンセントに差し込みます．



2.5　LAN ケーブルの接続

LAN ケーブルを本装置に接続することにより，ネットワークと接続できます．

⚠ 警告

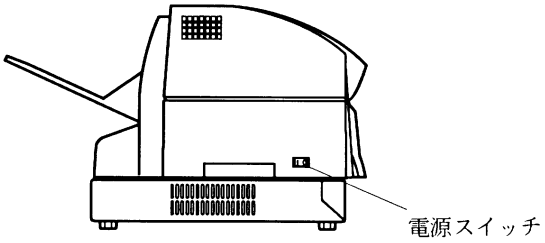
感電注意

●LAN ケーブルを接続するときは，必ず本装置の電源を切断してください．
感電や火災のおそれがあります．

接触禁止

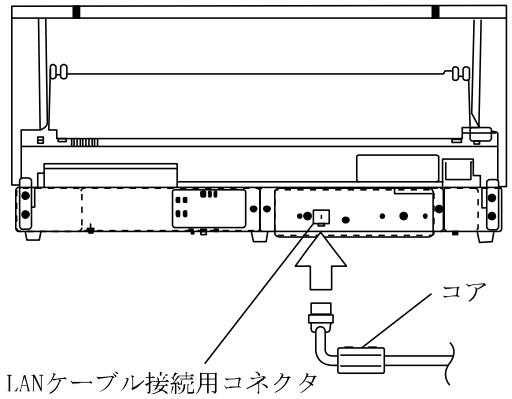
●コネクタの端子に手を触れないでください．
感電や静電気のためプリンタが破損するおそれがあります．

1） 電源が切断されていることを確認します．（電源スイッチが「○」側に倒れている状態です．）



2） LAN ケーブルを，装置背面の LAN ケーブル接続用コネクタに接続します．

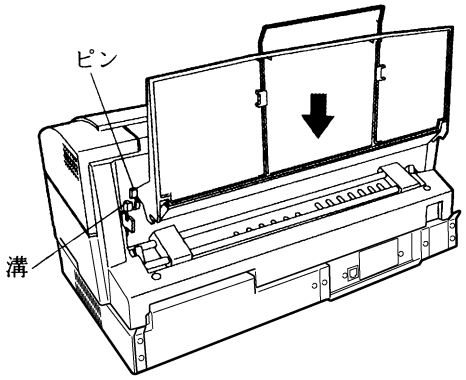
3） 不要電波の放射を軽減するために，添付のコアを LAN ケーブルコネクタ近傍に取り付けてください．
LAN ケーブルをコアの溝に入れてから，閉じてロックします．



2.6　スタッカの取り付け方・取り外し方

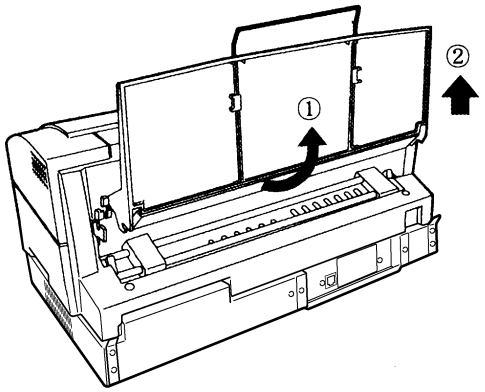
(1) スタッカの取り付け方

図のようにスタッカの左右のピンを上カバー後方の左右の溝に入れてスタッカを取り付けます.



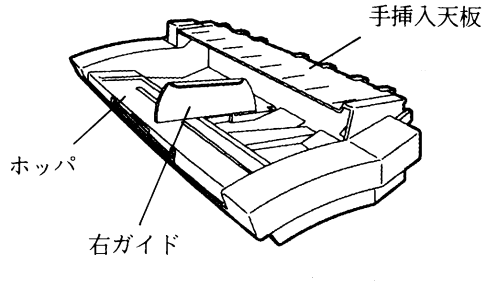
(2) スタッカの取り外し方

図のようにスタッカを上方に回転させて取り外します.



2.7　オプションの取り付け方，取り外し方

2.7.1　カットシートフィーダの取り付け方・取り外し方



▲ 注意	一般的注意	●プリンタ装置を移動したり，持ち運びする場合は，カットシートフィーダを外して行ってください. 転倒，落下のおそれがあります. ●カットシートフィーダに重いものを置いたり，必要以上の力を加えないでください. 転倒，落下のおそれがあります.

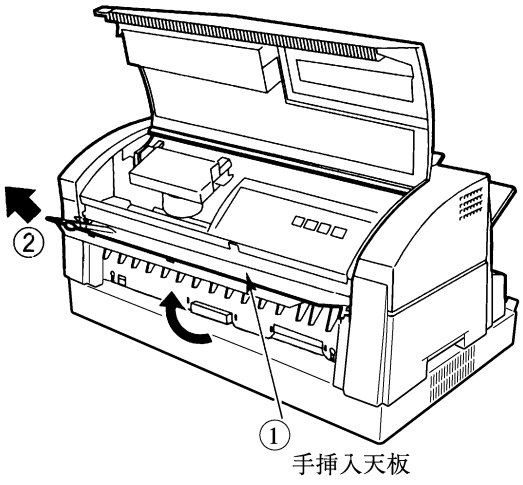
(1) カットシートフィーダの取り付け方

1) 電源を切ります.

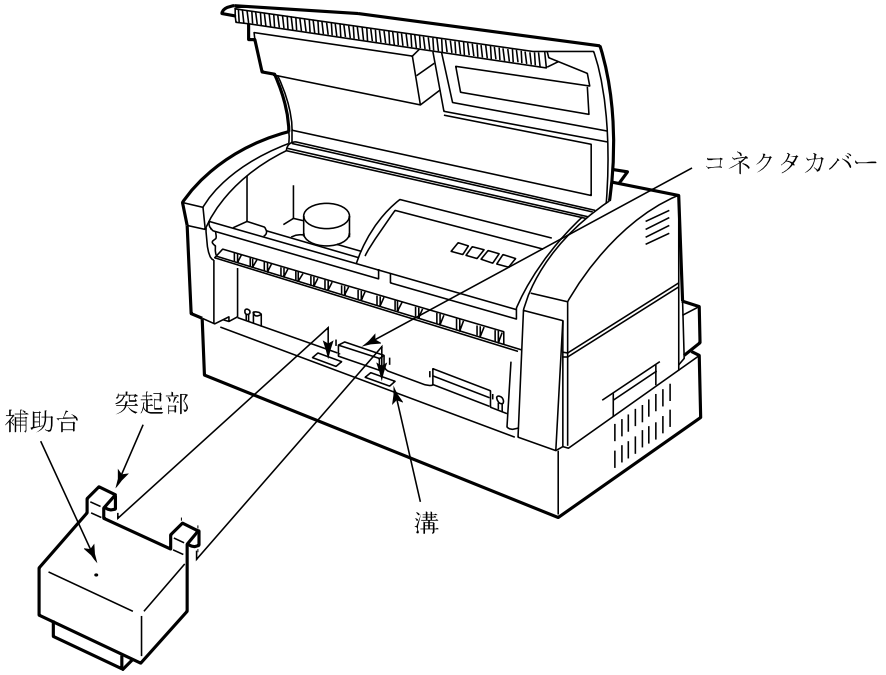
▲ 注意	一般的注意	カットシートフィーダを取り付ける前に，必ずプリンタの電源を切ってください. 電源が入った状態でカットシートフィーダを取り付けると故障するおそれがあります.

2) トップカバーを開けます.

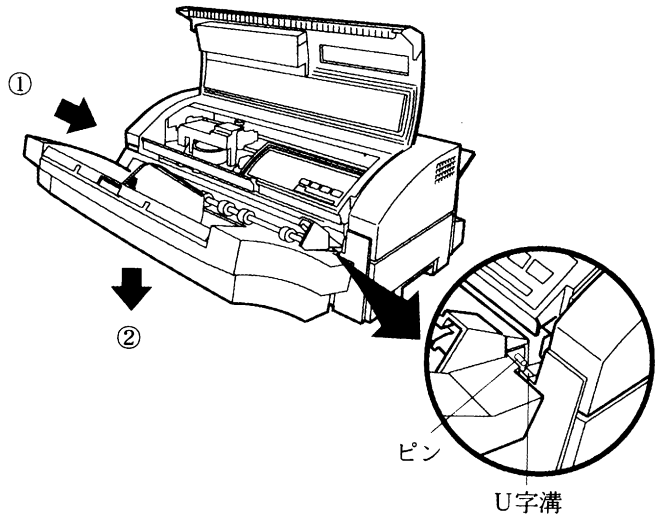
3) プリンタ本体の手挿入天板を外します.
手挿入天板を水平位置まで開いて（①），手前に抜き取ります（②）.



4) コネクタカバーを外してから，カットシートフィーダに添付されている補助台を下カバーに取り付けます．
補助台の突起部を下カバーの溝に挿入します．



5) カットシートフィーダを取り付けます．
カットシートフィーダを両手で持ち，斜め上からピンを左右の U 字溝に押し込んで（①），ゆっくりと下に置きます（②）．



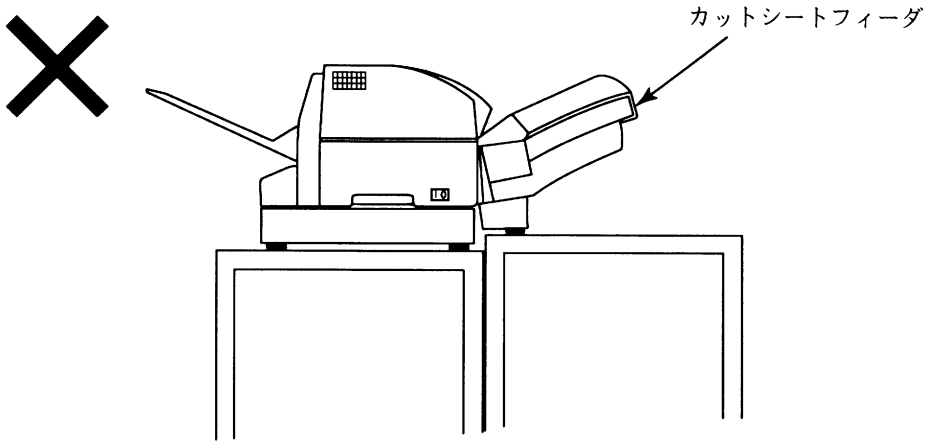
6) トップカバーを閉めます．

7) 電源を入れます．

〔注意〕

● プリンタ装置は，水平な場所に設置してください．
プリンタ装置およびカットシートフィーダの下に物を置かないでください．

プリンタ本体を設置している机とカットシートフィーダを設置している机との間に段差がある状態や，カットシートフィーダの下に物を置いた場合には，カットシートフィーダとプリンタ本体との接続が不完全となり，動作が不安定になって故障や誤動作の原因となります．



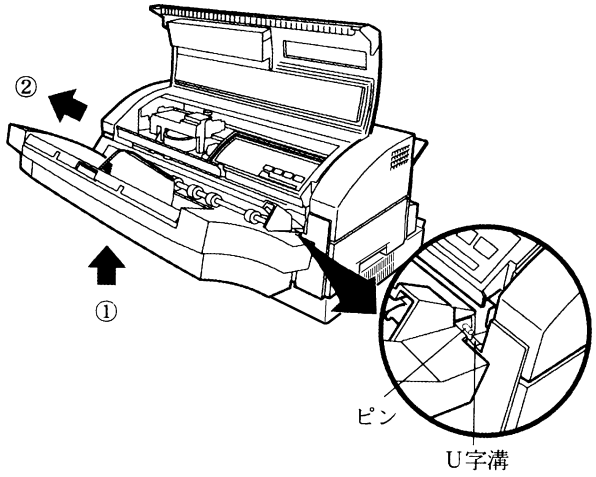
● カットシートフィーダから給紙している最中に，カットシートフィーダを持ち上げたり，振動を与えたりしないでください．

カットシートフィーダとプリンタ本体との接続が印刷動作中に解除されてしまい，故障や誤動作の原因となります．

⑵ カットシートフィーダの取り外し方

▲ 注意	 一般的注意	**カットシートフィーダを取り外す前に，必ずプリンタの電源を切ってください.** 電源が入った状態でカットシートフィーダを取り外すと故障するおそれがあります.

1) 電源を切ります.
2) トップカバーを開けます.
3) カットシートフィーダを取り外します.
カットシートフィーダを両手で持ち上げて，ピンを左右の U 字溝から外して（①），ゆっくりと手前に引っ張ります（②）.

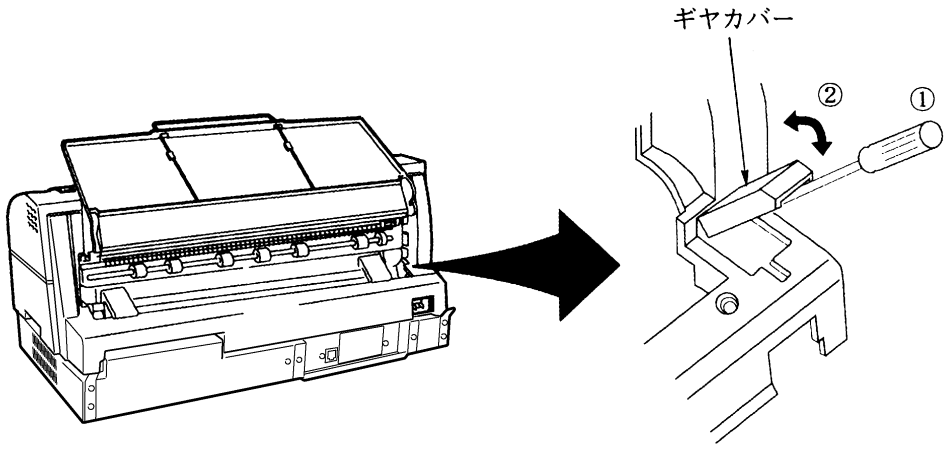


2.7.2 セカンドトラクタの取り付け方・取り外し方

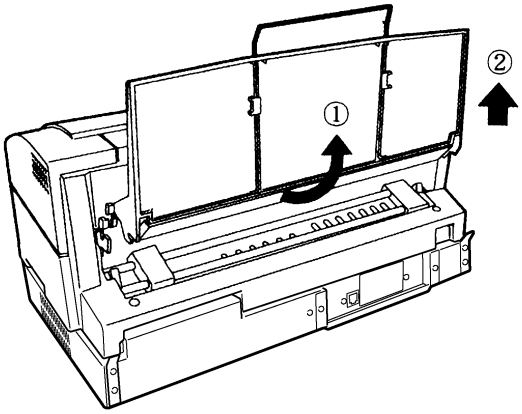
⑴ セカンドトラクタの取り付け方

1) 電源を切ります.

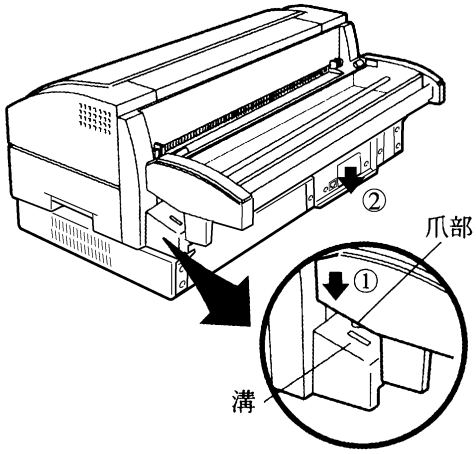
2) プリンタ背面のギヤカバーを，ギヤを傷つけないようにしながらマイナスドライバーなどで起こし（①），上下に繰り返し開閉して切り取ります（②）.



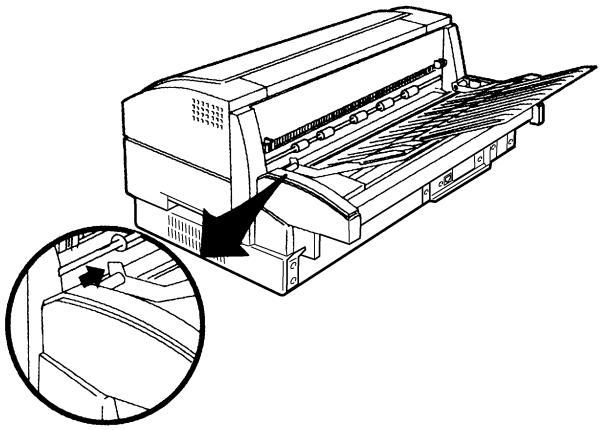
3)　スタッカを垂直になるまで回転させて（①），持ち上げるように取り外します（②）.



4)　セカンドトラクタを両手で持ち，カバーの取付け溝に左右の爪部を合わせて押し込み（①），ゆっくりと下に置きます（②）.



5) セカンドトラクタに添付のスタッカを取り付けます．スタッカのアームの穴をセカンドトラクタのピンに差し込みます．
必ずスタッカの右側の穴からピンを差し込み，スタッカの左側を押しながらゆっくりと差し込んで，ピンから脱落しないようにしながらスタッカを中央に寄せます．（本説明はセカンドトラクタを後面から見たときを基準に記載されています．）



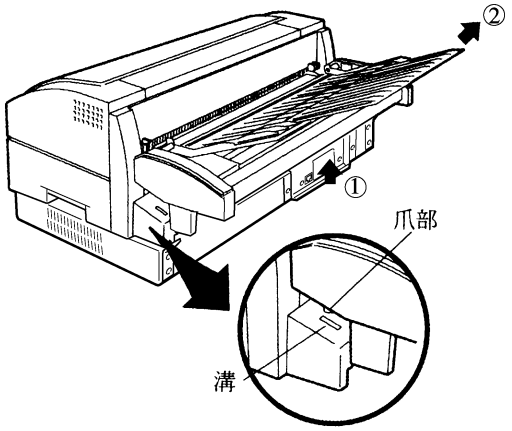
用紙反転ユニットを同時に装着している場合は，セカンドトラクタに添付されているスタッカは不要なので，取り付けないでください．（用紙反転ユニットも同時に装着している状態で添付のスタッカを装着すると，連続帳票をトラクタにセットするときにスタッカが十分回転しないため，邪魔になります．）

6) 電源を入れます．

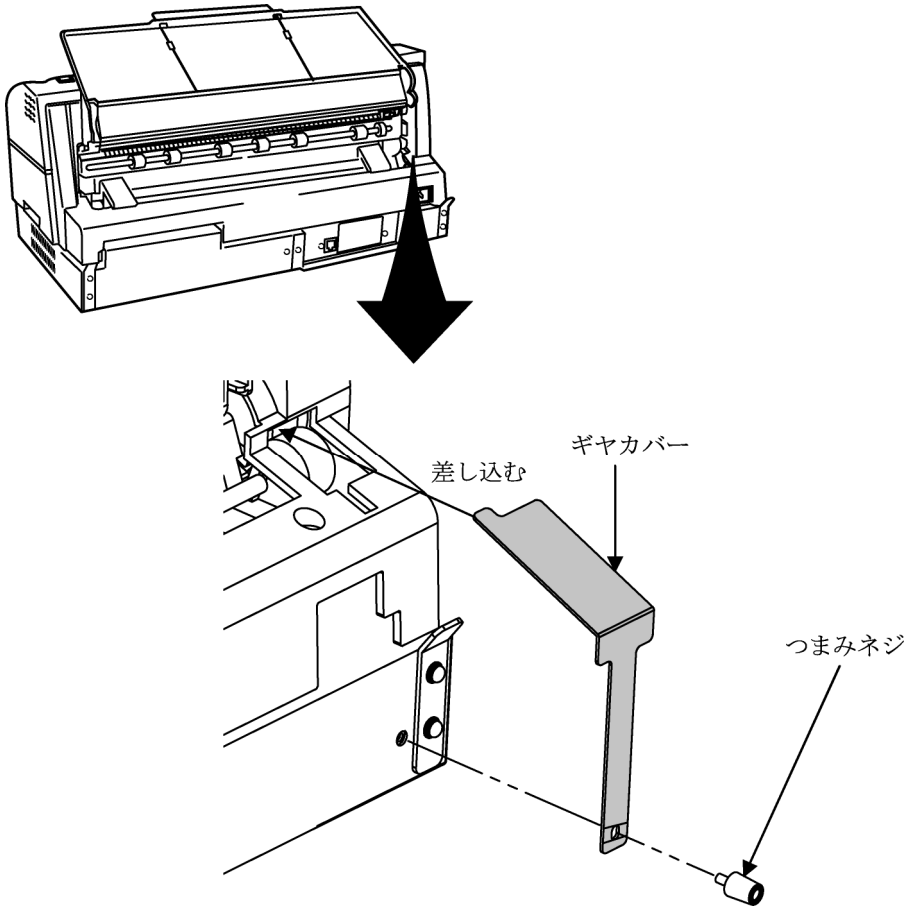
⑵ セカンドトラクタの取り外し方

1) 電源を切ります．

2) セカンドトラクタを両手で持ち，上に持ち上げて爪を溝から外した後（①），斜め後方に引いて（②）取り出します．



3)　セカンドトラクタを外したまま使用される場合は，連結ギヤ部が露出しますので，セカンドトラクタに添付されているギヤカバーを図のようにつまみネジで取り付けてください．



（注意）本体カバーからギヤカバー（プラスチック）を取り除いた後は，なるべくセカンドトラクタを装着した状態でご使用ください．
やむをえずセカンドトラクタを取り外して運用する場合は，必ず添付のギヤカバーを取り付けてください．

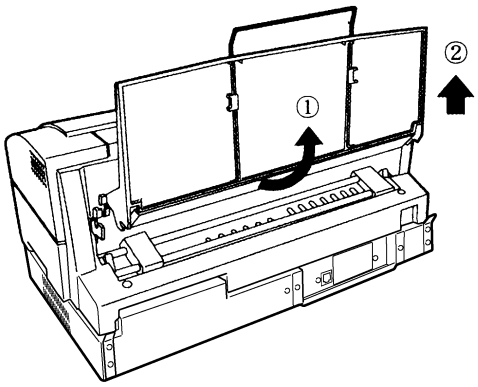
4)　電源を入れます．

2.7.3　用紙反転ユニットの取り付け方・取り外し方

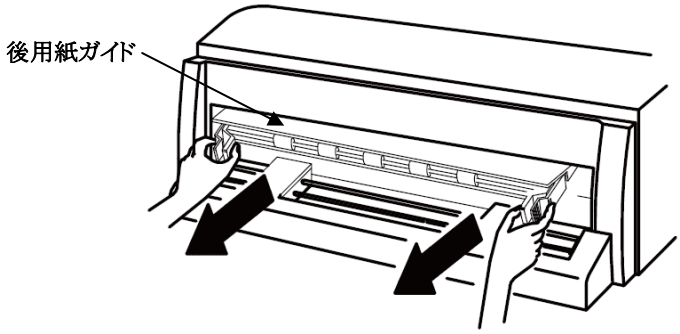
(1) 用紙反転ユニットの取り付け方

1) 電源を切ります.

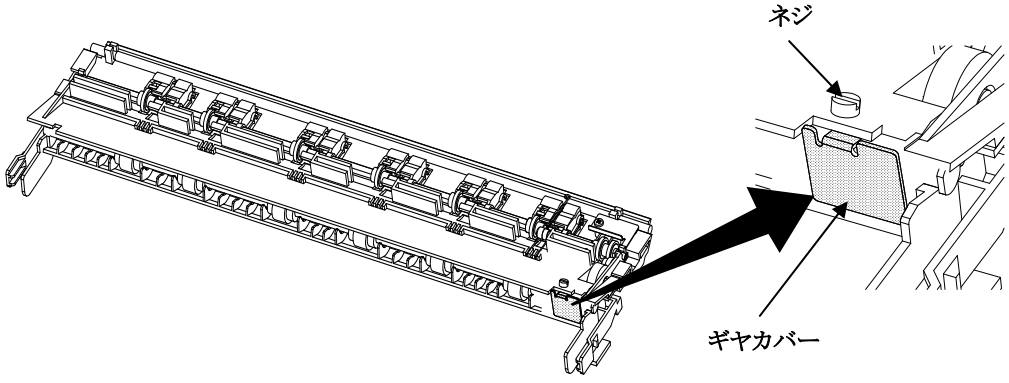
2) スタッカを取り外します.
スタッカを垂直になるまで回転させて（①），持ち上げるように取り外します（②）.



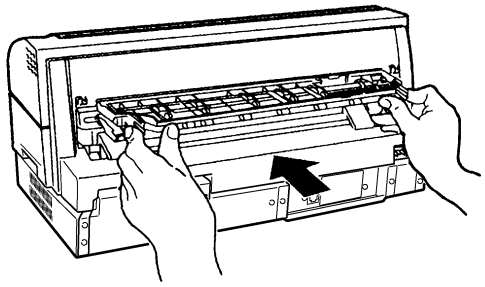
3) 後用紙ガイドを取り外します.
後用紙ガイドの左右のレバーを持って手前に引き出します.
（注意）後用紙ガイドは左右のレバーをつまみながら引き出してください．片方だけつまんでも後用紙ガイドは引き出せません.

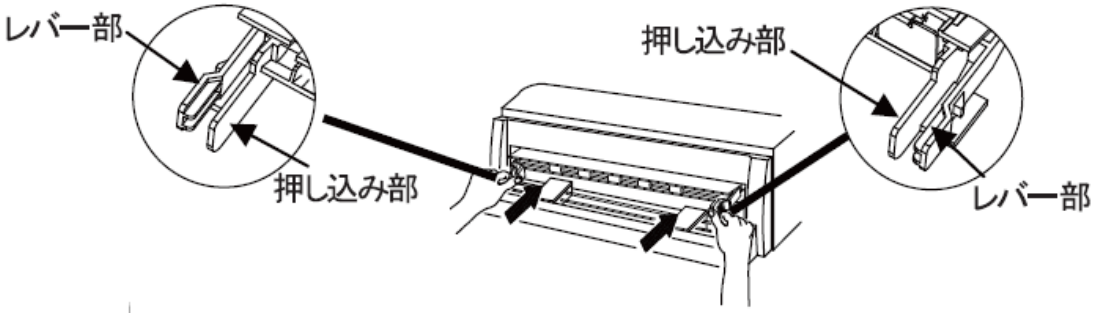


4) 後用紙ガイドのギヤカバーを取り外します.
ネジを取り外すと，ギヤカバーが取り外せます.
（注意）取り外したギヤカバーとネジは，用紙反転ユニットを使用しない場合に取り付けますので，大切に保管してください.

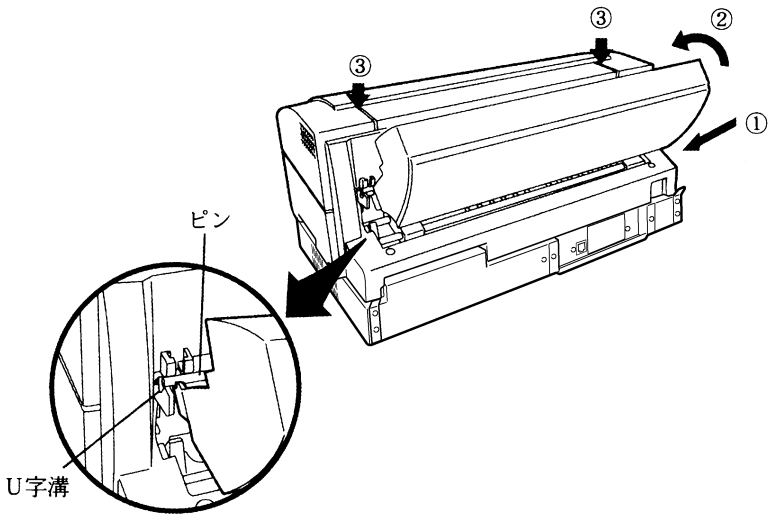


5)　後用紙ガイドを取り付けます.
図のように後用紙ガイドの左右のレバーを持ちながら，平行に押し込み，左右レバーの爪状の引っかけ部がカチッと音がして入るまで，押し込み部を押して，確実に押し込みます.
（カチッと音がした状態は，爪状の引っかけ部が規定位置に入りますので，レバー部が外側に開いた状態になります.）
押し込み後，引っ張って外れないことを確認してください.



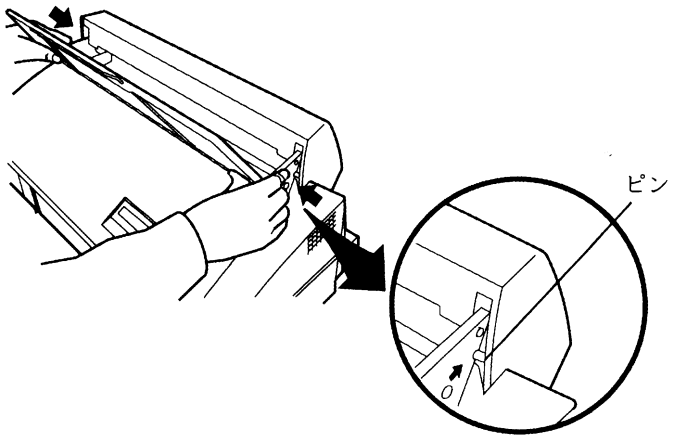


6)　用紙反転ユニットを取り付けます.
用紙反転ユニットを図のような向きにして両手で持ち，斜め上から用紙反転ユニットの左右のピンをＵ字溝に押し込んで（①），ゆっくりと上に回転させ（②），用紙反転ユニットが垂直になったところで上方に少し持ち上げ，用紙反転ユニットの左右の爪部をカバーの溝部に差し込みます（③）.



（注意）プリンタ本体にしっかりと固定されていることを確認してください．用紙が送られない場合があります.

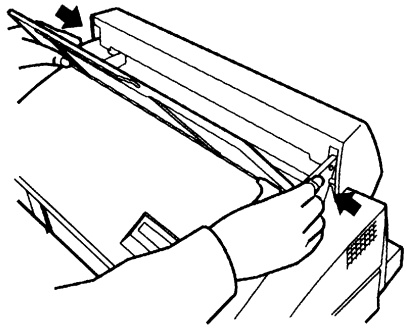
7) 取り外したスタッカを用紙反転ユニットに取り付けます.
図のようにスタッカの左右アームの両側を軽く押えながら，ゆっくりと用紙反転ユニットの接続ピン部分にスタッカの穴を合わせます.



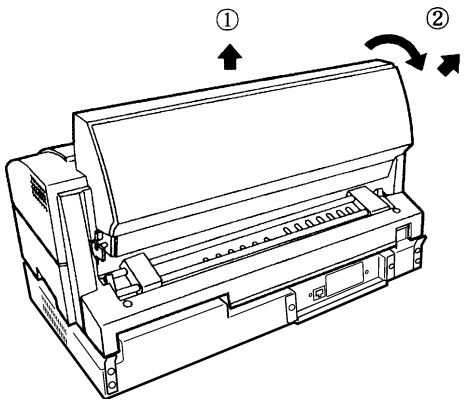
⑵ 用紙反転ユニットの取り外し方

1) 電源を切ります.

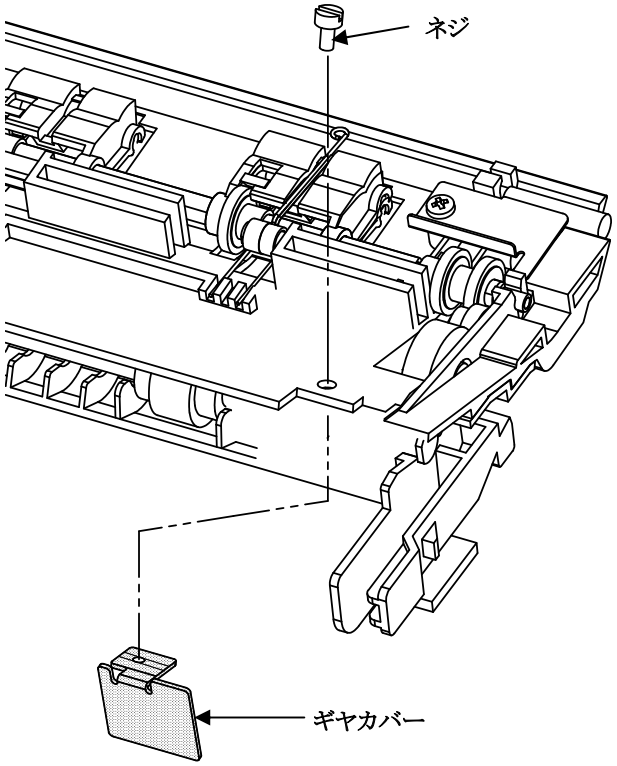
2) スタッカを用紙反転ユニットから取り外します.
図のようにスタッカの左右アームの両側を押えながら，ゆっくりと用紙反転ユニットの接続部分から取り外します.



3) 用紙反転ユニットを取り外します.
用紙反転ユニットを両手で持ち上げて，左右の爪部をカバー溝部から外し（①），斜め後方に引いて外します（②）.



4）用紙反転ユニットを外したまま使用される場合は，連結ギヤ部が露出しますので，後用紙ガイドにギヤカバーを図のようにネジで再度取り付けてください.



（注意）やむをえず用紙反転ユニットを取り外して運用する場合は，必ずギヤカバーを取り付けてください.

2.8 ソフトウェアのインストール

Windows 環境で，PrintWalker/PM と VSP プリンタドライバをインストールする手順はご使用 OS 環境によって異なります．以下の手順をご覧になり正しくインストールを行ってください．

（注意）Windows のアップグレードは，インストールされている PrintWalker/PM をアンインストールしてから行ってください．
インストール時は，[Spooler]サービスが起動されている必要があります．
なお，詳しくは添付の CD-ROM 内の README.TXT を参照してください．
¥PRINTMON¥WINX86¥README.TXT または ¥PRINTMON¥WIN64¥README.TXT

STEP1. PrintWalker/PM のインストール

1. Windows を起動し，管理者グループのユーザとしてログオンして装置添付の CD-ROM（PrintWalker）を CD-ROM ドライブにセットします．

2. インストールプログラムを選択します．
   - Windows 2000/XP/Server 2003
     “PrintWalker Install Selecter”の画面が表示されますので，インストールする OS に対応した PrintWalker/PM を選択してから[インストール]ボタンをクリックすると，確認画面が表示されますので，[はい]ボタンをクリックします．
   - Windows Vista/7/Server 2008
     “README.TXT”の画面が表示されます．
     表示された手順を参照して，インストールを開始してください．

   （注意）Autorun が無効の場合は，CD-ROM 内の PWISCHK.EXE を実行してください．

3. インストールを開始します．
   ⑴ インストール初期画面“PrintWalker/PM Install”または“PrintWalker/PM セットアップへようこそ”表示されますので，[次へ]ボタンをクリックします．
   ⑵ インストール方法の選択画面が表示されますので，“フルインストール”または“カスタムインストール”を選択してから[次へ]ボタンをクリックします．
   インストール先を変更したい場合は，[ディレクトリ]ボタンをクリックしてからディレクトリ名を入力します．
   （注意）インストール先変更にあたって，下記条件があります．
   ■ ディレクトリ名は８文字以内の英数字で指定してください．
   ■ 指定するドライブ内に存在しないディレクトリ名を入力してください．
   ■ ディレクトリはドライブ直下に作成してください．
   ⑶ インストール開始確認画面が表示されますので，[次へ]ボタンをクリックします．
   ⑷ コピー経過表示画面が表示されます．
   途中，“メッセージ操作動作環境設定”および“メッセージ到着通知パネルのスタートアップへの登録”の設定画面が表示されますので，[次へ]ボタンをクリックします．
   その後，[PATH 環境変数]の追加の確認画面が何度か表示されますので，[はい]ボタンをクリックします．
   ⑸ インストール終了後，コンピュータを再起動してください．

以上で PrintWalker/PM のインストールは終了です．
引き続き，VSP プリンタドライバをインストールしてください．
なお，詳しくは添付の CD-ROM 内の README.TXT を参照してください．
¥PRINTMON¥WINX86¥README.TXT または ¥PRINTMON¥WIN64¥README.TXT

STEP2. VSP プリンタドライバのインストール

1. プリンタが LAN に接続されていることを確認して，プリンタの電源を入れます．

2. プリンタの追加を行います．
   － Windows 2000/XP/Server 2003
   ⑴ タスクバーから[スタート]→[設定]→[プリンタ]を選択して[プリンタ]フォルダ(Windows XP/Server 2003 では[プリンタと FAX]フォルダ)を開き，[プリンタの追加]アイコンをダブルクリックします．
   ⑵ “プリンタの追加ウィザードの開始”画面が表示されますので，[次へ]ボタンをクリックします．
   ⑶ プリンタの接続形態として[ローカルプリンタ]を選択し，[プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする]のチェックはしないで，[次へ]ボタンをクリックします．
   － Windows Vista/7/Server 2008
   ⑴ タスクバーから[スタート]→[コントロールパネル]→[プリンタ]（Windows 7 では［デバイスとプリンター］）を選択して[プリンタ]フォルダを開き，［プリンタのインストール］（Windows 7 では［プリンタの追加］）をクリックします．
   ⑵ “プリンタの追加ウィザードの開始”画面が表示されますので，[ローカルプリンタを追加します]ボタンをクリックします．

3. 手動設定を行います．
   ⑴ 使用するプリンタポートを選択する画面が表示されますので，[新しいポートの作成]を選択した後，［種類]の中から[VSP Network Port]を選択し，[次へ]ボタンをクリックします．
   ⑵ “ポート追加画面”が表示されます．
   任意の[ポート］名と[アドレス](接続先のプリンタの IP アドレス)を入力します．“論理プリンタ”の設定は，[プリンタ１](デフォルトの設定)のまま変更しないでください．
   ⑶ プリンタの製造元とモデルを設定する画面が表示されますので，[ディスク使用]ボタンをクリックします．
   ⑷ “フロッピーディスクからインストール”の画面が表示されましたら，[参照］ボタンをクリックし，CD-ROM ドライブの¥PRINTDRV¥VSP28XX フォルダを開き，OS に対応するフォルダ内の inf ファイルを選択してから，[OK]ボタンをクリックします．
   ⑸ プリンタの一覧が表示されますので，“FUJITSU VSP2851B”をクリックし，[次へ]ボタンをクリックします．
   ⑹ プリンタ名(任意の名前で可)，通常使うプリンタの設定（Windows 7 では（9）項で設定）を必要に応じて行い，[次へ]ボタンをクリックします．

   続いて，以下のように，設定を行います．(OS で選択して続けてください)
   － Windows 2000/XP/Server 2003
   ⑺ プリンタの共有設定を必要に応じて行い，[次へ]ボタンをクリックします．
   ⑻ テストページの印刷は[いいえ]を選択して，[次へ]ボタンをクリックします．
   ⑼ “プリンタの追加ウィザードを完了しています”の画面になりますので，[完了]ボタンをクリックします．プリンタドライバがコピーされます．
   このとき，Windows 2000 の場合は『デジタル署名が見つかりませんでした』，Windows XP/Server 2003 の場合は『互換性を検証する Windows のロゴテストに合格していません』の警告画面が表示されますが，[はい]または[続行]ボタンをクリックしてインストールを続行してください．

⑽　コピーが終了しますとプリンタの追加ウィザードが完了します．

－　Windows Vista/7/Server 2008

操作途中でユーザアカウント制御が表示されたら，[続行] [OK]などのボタンをクリックし，続行してください．

⑺ Windows セキュリティが表示され，[このドライバソフトウェアをインストールします]ボタンをクリックすると，インストールが開始されます．

⑻ Windows 7/Server 2008 の場合，プリンタ共有画面になりますので，必要に応じて設定します．

⑼ “正しく追加されました”の画面になり，[完了]ボタンをクリックすると，プリンタの追加ウィザードが完了します．
Windows 7 では，通常使うプリンタの設定を必要に応じて行います．

4. プリンタのプロパティを変更します．

⑴ [プリンタ]フォルダに追加したプリンタのアイコンをクリックしてから，[ファイル]メニューの[プロパティ]（Windows 7 では［プリンタのプロパティ］）をクリックします．

⑵ “プロパティ”画面の[詳細設定]タブを開き，[全ページ分のデータをスプールしてから，印刷データをプリンタに送る]を選択して[適用]ボタンをクリックします．

⑶ [OK]ボタンをクリックして“プロパティ”画面を閉じます．

以上で，VSP プリンタドライバのインストールは完了です．

第 3 章　操作説明

本章では，本装置の電源の投入と切断，操作パネルの配置と機能，セットアップ，装置立ち上げと印刷設定，LAN 接続および印刷時の操作について説明します．

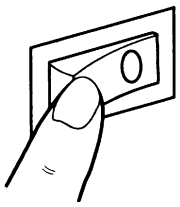
3.1　電源の投入と切断

3.1.1　電源の投入

▲ 注意

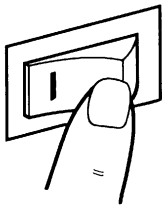
はじめに上位装置の電源を投入し，次に本装置の電源を投入してください．
また，切断後の再投入は，3 秒間時間をあけてください．
エラーメッセージ（メカムオウトウ）を表示するおそれがあります．

1） 電源スイッチを ON（｜）側に倒します．（操作パネルの「電源」ランプが点灯）



3.1.2　電源の切断

1） 電源スイッチを OFF（○）側に倒します．（操作パネルのすべてのランプが消灯）
本装置を長時間使用しないときは，電源スイッチを切断してください．



3.2　操作パネルの配置と機能

本装置の操作パネルは，操作に必要なスイッチ（SW），ランプ（LED）および液晶ディスプレイ（LCD）で構成されています．

液晶ディスプレイには，装置の状態やエラーが発生したときのメッセージが表示されます．

3.2.1　操作パネルの配置

本装置の操作パネルの配置を図 3.1 に示します．

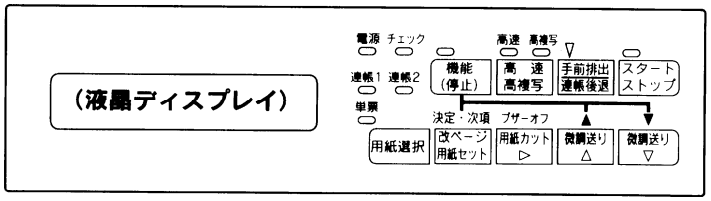


図 3.1　操作パネルの配置

3.2.2　操作パネルの機能

操作パネルの機能について，下記に示します．

⑴ スタート／ストップ（スイッチ&LED）

- 本スイッチは常に有効であり，押下する度にオフライン→オンライン→オフライン→・・・に遷移し，オンライン状態では，「スタート」ランプが点灯します．ただし，「チェック」ランプが点滅している場合は，チェック要因のリセットを行います．
- 印刷動作中にこのスイッチを押下すると，現在印刷中の行または次行の内容を完全に印刷後停止します．停止した後に，オフライン状態となります．サポートサーバ設定が PrintWalker の場合，印字データを装置内に保持している場合は液晶ディスプレイに印字データが残存している旨の表示を行います．このとき，装置内の用紙長に影響を及ぼさないスイッチ（高速／高複写，微調送り）は有効です．

  【改ページ】スイッチを押下すると印刷位置が変わるため，装置内に保存しているデータは消去されます．

  その他のスイッチは無効です．
- 「スタート」ランプが消灯する要因は以下のとおりです．

  ・【スタート／ストップ】スイッチの押下

  ・チェック要因発生

  ・停止タイムアウト（サポートサーバ設定が PrintWalker 時を除く）

  ・セットアップの起動
- 【用紙選択】スイッチ押下で連帳が選択されている場合，装置内に用紙がなければ新たな用紙の吸入を行います．

  単票が選択されている場合，印刷データ／改行オーダの受信タイミングで吸入動作を行います．

⑵ 手前排出／連帳後退（スイッチ&LED）

・用紙選択で単票選択時，カットシートフィーダから吸入した単票の排出方向を手前方向に設定します．このとき，「手前排出」ランプが点灯します．（手差し口から吸入した単票の排出方向はセットアップで設定します）

・用紙選択で連帳選択時，選択中の連帳の退避を行います．

・連帳選択時はオフライン状態で印字データを保持していない場合のみ有効となります．

⑶ 高速／高複写（スイッチ&LED）

・スイッチ押下に従い，通常モード（LED 消灯）→ 高速（高速 LED 点灯）→ 高複写（高複写 LED 点灯）→ 通常モード・・・と切り替わります．
・高速ではドットの連続印刷を行わないことにより，印字スピードを速くします．
・高複写では同一行を 2 度印字することにより，複写能力を向上させます．ただし，本モードでは印字速度は低下します．
・オフライン／オンライン状態で有効です．

⑷ 微調送り△／微調送り▽／▲／▼（スイッチ）

・用紙セット時に用紙の先頭を合わせるのに使用します．
・本機能による用紙の移動は，用紙のページ長管理に対して影響は与えません．
・有効状態
  ・オフライン
  ・用紙終了状態
  ・停止状態（サポートサーバが PrintWalker 時を除く）
・連帳セット時に押し続けると，【▽】スイッチは最初は僅かづつ改行を行い，次第に改行ピッチを増やし改行速度を速めます．【△】スイッチは一定です．
・機能モード時の設定値の変更を【▲／▼】スイッチにより行います．

⑸ 用紙カット／▷／ブザーオフ（スイッチ）

・用紙カットは，連帳選択時のみ有効です．
・現在のヘッド位置から，用紙カット位置までの用紙搬送を行います．現在のヘッド位置がミシン目の場合，本スイッチ押下により用紙の搬送を行い，ミシン目位置での用紙カットが可能となります．再押下で元の位置までの逆搬送を行います．
・用紙カットは，オフライン状態または「停止」状態で有効となります．
・ブザー音を停止するときにこのスイッチを押します．
・セットアップモード時，アドレスの桁移動を行います．

⑹ 改ページ／用紙セット／決定・次項（スイッチ）

ヘッド位置に用紙が存在する場合に改ページ動作を行い，用紙が存在しない場合は用紙セット動作を行います．オフライン状態で有効です．

＜改ページ＞

・連帳選択時は 1 回の操作で印刷位置を用紙の次のページの第 1 行，左マージン位置に移動します．
・サポートサーバが PrintWalker で未印刷データが装置内にある場合は印刷データは消去されます．
・単票選択時は現在の単票を排出します．

＜用紙セット＞

・用紙を第 1 ページ 1 行目位置まで搬送します．
・単票選択時は動作しません．

＜決定・次項＞

・機能モード時の項目の選択，設定値の決定を行います．

⑺ 用紙選択（スイッチ&LED）

・連帳１→連帳２→単票（カットシートフィーダ）の順で用紙の選択を行います．LED 点灯位置が移動します．

・【用紙選択】スイッチ押下で現在の選択用紙を除去（連帳：退避，単票：排出）し，【スタート／ストップ】スイッチ押下で選択された用紙を吸入します．

・オフライン状態で印字データを保持していない場合のみ有効となります．

・単票はホスト側の指示で自動給紙有りを選択している場合にカットシートフィーダから印字・改行オーダを受信してから吸入します．自動給紙無しの場合は吸入指示を受信してから吸入します．

・手差し口からの吸入はホスト側からの指示に依存し，操作パネルからはできません．

⑻ 機能（停止）（スイッチ&LED）

（ⅰ） サポートサーバが 6680-NMC，HOSTPRINT の場合

・オンライン状態では「停止」状態に遷移し，LU タイプ 1 の場合「機能モード」ランプは点滅し，PA キー画面へ遷移します．LU タイプ 3 の場合「機能モード」ランプは点灯し，ペーパーアジャスト画面へ遷移します．
この状態を 10 分間以上継続すると，オフライン状態となり，停止タイムアウト画面へ遷移します．

・オフライン状態では機能設定を行います．このとき，各種設定で使用する機能には，【決定・次項】，【▲／▼】，テストインジでの【スタート／ストップ】スイッチ以外は無効となります．連帳 1/連帳 2/単票の各用紙ごとに独自に設定可能で，印字データを保持していないときのみ有効です．電源投入時はセットアップ値が設定されます．

（ⅱ） サポートサーバが PrintWalker の場合

・オンライン状態では無効です．

・「機能モード」ランプが点滅します．

・オフライン状態では機能設定を行います．このとき，各種設定で使用する機能には，【決定・次項】，【▲／▼】，テストインジでの【スタート／ストップ】スイッチ以外は無効となります．連帳 1/連帳 2/単票の各用紙ごとに独自に設定可能で，印字データを保持していないときのみ有効．電源投入時はセットアップ値が設定されます．
なお，機能モードの内容については，「3.4.2 印刷設定（機能モード）」を参照してください．

⑼ チェック（LED）

本装置に何らかの操作・介入が必要な時に点滅します．

⑽電源（LED）

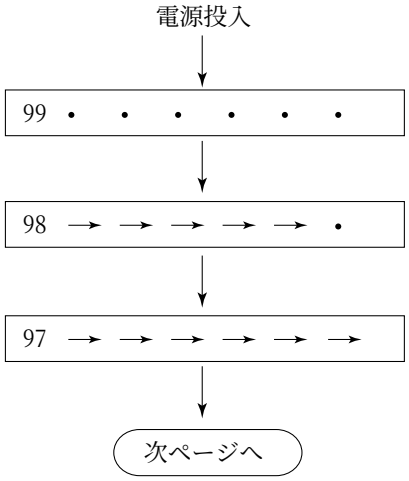
電源が投入されているときに点灯します．

3.3　セットアップ

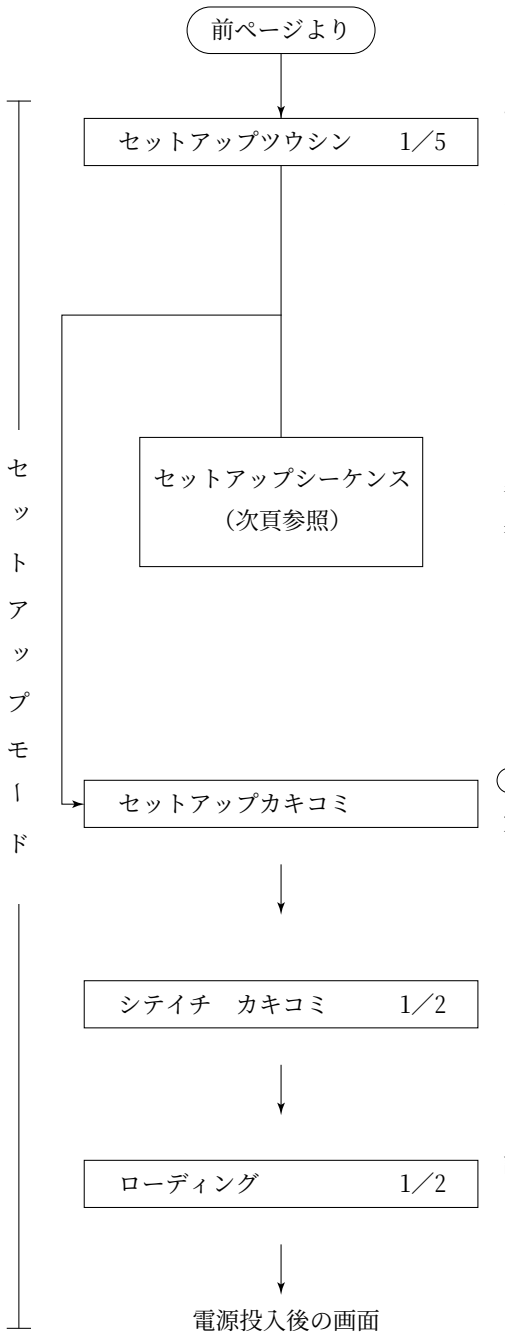
本装置は，導入する LAN 環境やシステム接続形態に応じたセットアップが可能です．セットアップの手順と，セットアップの構成およびセットアップの設定内容を説明します．

3.3.1　セットアップの手順

セットアップは操作パネルを使ってプリンタの各種設定を行います．
セットアップの操作手順と LCD の表示内容を以下に示します．



電源投入後，【用紙選択】スイッチと【用紙セット】スイッチを同時に押し続けます．
しばらくすると，セットアップモードに入ります．



セットアップメニューは，以下の5項目からなります．
【▲】スイッチ，【▼】スイッチで選択し，【決定･次項】スイッチで決定します．戻る場合は【手前排出】スイッチを押します．

①ツウシン
②ソウチ
③ヨウシ
④インサツ
⑤ペーパーアジャスト

各項目選択後の遷移は，「3.3.2　セットアップの構成」を参照してください．セットアップが必要な項目は，①ツウシン，②ソウチ，③ヨウシです．これらの設定値については「3.3.3　セットアップの設定内容」を参照してください．

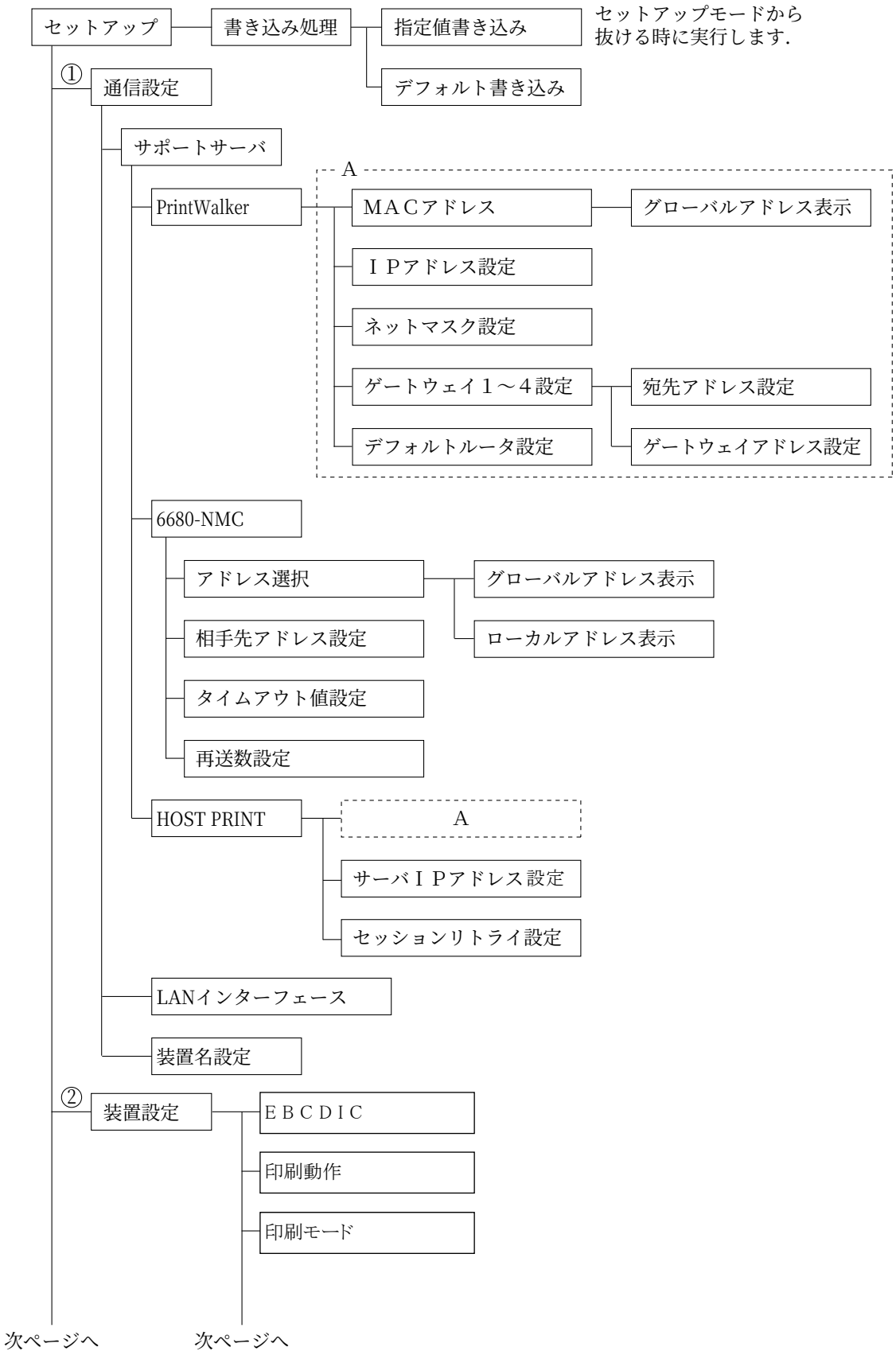
①ツウシン，② ソウチ，③ ヨウシの設定が完了したら，設定した内容を有効にするため，【手前排出】スイッチを押していき，書き込み画面に切り替えます．

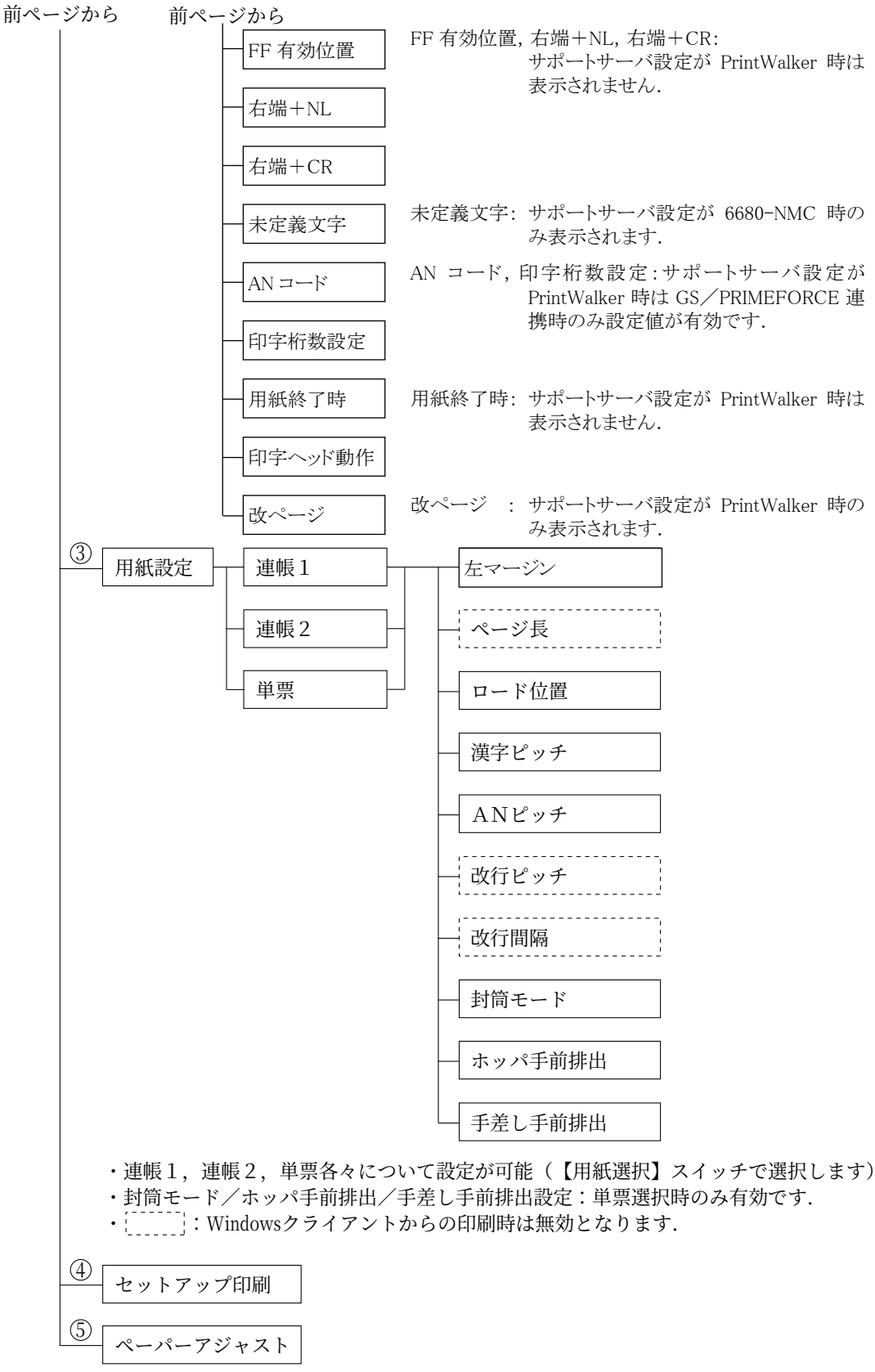
【決定･次項】スイッチを押し，次に【スタート／ストップ】スイッチを押すと，設定がプリンタに保存されます．

設定の保存が正常終了するとローディング選択画面に移ります．【決定･次項】スイッチを押すと，電源投入後の画面に移ります．

3.3.2　セットアップの構成

以下にセットアップモードのツリー構成を示します.




前ページから
前ページから
FF 有効位置
右端＋NL
右端＋CR
未定義文字
AN コード
印字桁数設定
用紙終了時
印字ヘッド動作
改ページ
FF 有効位置，右端＋NL，右端＋CR:
サポートサーバ設定が PrintWalker 時は
表示されません.
未定義文字: サポートサーバ設定が 6680-NMC 時の
み表示されます.
AN コード，印字桁数設定:サポートサーバ設定が
PrintWalker 時は GS／PRIMEFORCE 連
携時のみ設定値が有効です.
用紙終了時: サポートサーバ設定が PrintWalker 時は
表示されません.
改ページ : サポートサーバ設定が PrintWalker 時の
み表示されます.
③
用紙設定
連帳１
連帳２
単票
左マージン
ページ長
ロード位置
漢字ピッチ
ＡＮピッチ
改行ピッチ
改行間隔
封筒モード
ホッパ手前排出
手差し手前排出
・連帳１，連帳２，単票各々について設定が可能（【用紙選択】スイッチで選択します）.
・封筒モード／ホッパ手前排出／手差し手前排出設定：単票選択時のみ有効です.
・ ：Windowsクライアントからの印刷時は無効となります.
④
セットアップ印刷
⑤
ペーパーアジャスト

3.3.3　セットアップの設定内容

セットアップメニューの設定内容を表 3.1 に示します．

項目の選択と設定の変更は【▲】【▼】スイッチ押下で，桁の移動は【▷】スイッチ押下で，決定は【決定・次項】スイッチ押下で行います．また，戻る場合は【手前排出】スイッチを押します．

まず，現在の設定情報を印刷して確認してみます．セットアップメニューの「セットアップインサツ」（「3.3.1　セットアップの手順」参照）を選択し，セットアップ印刷画面に入ります．【用紙選択】スイッチを押して選択した給紙口に用紙をセットしてから【スタート／ストップ】スイッチを押下すると，現在の設定情報を印刷します．（図 3.2 参照）

現在の設定情報と実際の使用環境とを比較して，セットアップの設定内容を変更する必要があります．表 3.1 を見ながら，セットアップメニューで使用環境に応じた設定値に変更してください．

①通信の設定については，「3.5　LAN 接続」も合わせて参照してください．

なお，設定変更を行った後は，「セットアップカキコミ」を選択して，設定した値をプリンタに保存してください．

表 3.1　セットアップ設定内容（続く）

		セットアップ情報種類	設　定　内　容		備　考
			初期値	設定可能値	
①通信設定（LAN関連の設定）	1	サポートサーバ設定	PrintWalker	PrintWalker 6680-NMC HOST PRINT	本機能でのみ設定可能
	2	LAN インターフェース	オート	オート/100M/10M	同上　注 1)
	3	装置名設定	VSP2851B-XXXXXX （MAC アドレスの下 6 桁）	“-（ハイフン）”，“0”～“9”，“A”～“Z”，“_（アンダーバー）”，“a”～“z” 上記文字を用いて 45 文字以内が入力可能	同上 （文字の変更は【▲／▼】スイッチ，桁の移動は【▷】スイッチと【機能】スイッチ）
	サポートサーバが PrintWalker，HOST PRINT の場合				
	4	MAC アドレス	グローバルアドレス	グローバルアドレス	表示のみ
	5	IP アドレス設定	000.000.000.000	XXX.XXX.XXX.XXX	本機能でのみ設定可能
	6	ネットマスク設定	000.000.000.000	XXX.XXX.XXX.XXX	同上
	7	ゲートウェイ 1～4 設定（宛先アドレス）	000.000.000.000	XXX.XXX.XXX.XXX	同上
	8	ゲートウェイ 1～4 設定（ゲートウェイアドレス）	000.000.000.000	XXX.XXX.XXX.XXX	同上
	9	デフォルトルータ設定	000.000.000.000	XXX.XXX.XXX.XXX	同上
	10	サーバ IP アドレス設定	000.000.000.000	XXX.XXX.XXX.XXX	同上　注 2)
	11	セッションリトライ設定	0 回	XX：0～10 回	同上　注 2)
	サポートサーバが 6680-NMC の場合				
	12	アドレス選択	グローバルアドレス	グローバルアドレス ローカルアドレス	グローバルアドレス選択時は表示のみ
	13	ローカルアドレス設定	020000000000	XXXXXXXXXXXX ビット 2^1，2^0 は B‘10’固定	ローカルアドレス設定時に設定可能
	14	相手先アドレス設定	020000000000	XXXXXXXXXXXX	本機能でのみ設定可能
	15	タイムアウト値設定	2 秒	XX.X：0.1～25.5 秒	同上
	16	再送数設定	7 回	XX：1～15 回	同上

注1） 本装置のデータレート固定設定は，半二重（Half）のみサポートしています．お使いになるスイッチングハブの設定がオートネゴシエーション以外の場合は，プリンタに合わせて半二重（Half）に設定してください．（本装置とスイッチングハブともに“オート”設定を推奨します．）

注2） サポートサーバ設定が PrintWalker のとき，本設定はセットアップメニューとして表示されません．
また，以前に設定された値が残っている場合は，その値は無視され，制御上何ら影響しません．

表 3.1　セットアップ設定内容（続く）

		セットアップ情報種類	設定内容 初期値	設定内容 設定可能値	有効 サポートサーバ	エミュレーション	意味	備考
②装置設定	1	EBCDIC フォント	標準	標準／OCR-B	すべて	66XX	１バイト文字のパターンの選択	･69XX はホスト指定 ･本機能でのみ設定可能
	2	印刷動作で JEF コードのサポートの有無	JEF & AN	JEF&AN／AN	すべて	66XX	JEF&AN:JEF コード有効(日本語有効) AN：JEF コード無効	･本機能でのみ設定可能 ･GS 系ホストでのみ有効
	3	印刷モード	通常	通常／高速／高複写	すべて	66XX		･69XX はホスト指定 ･操作パネルから設定可能
	4	FF 有効位置	ANY	ANY/FIRST	6680-NMC HOSTPRINT	66XX	ANY：いつでも有効 FIRST：行先頭でのみ有効 （FF：改ページ指定）	･本機能でのみ設定可能 ･GS 系ホストでのみ有効 ･LU タイプ 3 のみ有効
	5	右端＋NL	２LF	2LF/1LF	6680-NMC HOSTPRINT	66XX	印字桁が右端まで来た後の NL（改行指定）の紙送り量選択	同上
	6	右端＋CR	1LF	1LF/0LF	6680-NMC HOSTPRINT	66XX	印字桁が右端まで来た後の CR（印字指定）の紙送り量選択	同上
	7	未定義 JEF ｺｰﾄﾞ	ｸｳﾊｸ	ｸｳﾊｸ/HEX	6680-NMC	66XX	ｸｳﾊｸ：空白 HEX：16 進数印刷 未定義日本語文字の文字パターンの扱い	･本機能でのみ設定可能 ･GS 系ホストでのみ有効 注 3)
	8	AN コード設定	ｶﾅｱﾘ	ｶﾅｱﾘ（ｶﾅ付き） ｶﾅﾅｼ（ｶﾅ無し） ASCII （EBCDIC ASCII） US（US ENGLISH）	すべて	66XX	EBCDIC（1 バイト系）コード表の選択	･本機能でのみ設定可能 ･GS 系ホストでのみ有効
	9	印刷桁数設定 (10cpi 時)	136 桁	136 桁/132 桁/桁長無制限	すべて	66XX	右端の設定. 136/132 桁設定では，桁越えで自動復改する. 桁長無制限では，桁越えで文字を捨てる.	･本機能でのみ設定可能 ･GS 系ホストでのみ有効 注 4)

注3）　サポートサーバ設定が PrintWalker，HOST PRINT のとき，本設定はセットアップメニューとして表示されません.（常時空白設定）

注4）　GS/PRIMEFORCE 連携時，“136 桁”に設定すると，136 桁を超えたデータは次行に印字します.“桁長無制限”に設定すると，136 桁を超えたデータは印字しません.

表 3.1　セットアップ設定内容（続く）

		セットアップ情報種類	設定内容		有効	ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ	意味	備考
			初期値	設定可能値	ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ			
②装置設定	10	用紙終了時の中断／継続	中断	中断／継続	6680-NMC HOSTPRINT	66XX	用紙無しをﾎｽﾄ側に通知する場合の状態の違い 中断：装置はオフライン 継続：装置はオンライン	・本機能でのみ設定可能 ・GS 系ホストでのみ有効 ・LU タイプ 3 のみ有効
	11	印字ヘッド動作方向設定	両方向	両方向／片方向	すべて	66XX 69XX	印刷動作をする方向を指定する	注 5)
	12	改ページスイッチの紙送り量設定	パネル	パネル／ホスト	PrintWalker	66XX 69XX	印刷終了後の改ページスイッチでの動作量	注 6)

注5）　プリンタ内蔵フォントで印刷した場合，「片方向」に設定しても「両方向」で動作します．ただし，縦倍角文字や縦罫線接続など，1 回の印刷動作で印字完了できない部分においては，「片方向」で動作します．

注6）　【改ページ】スイッチの紙送り量について

サポートサーバ設定が PrintWalker のとき，本設定はセットアップメニューとして表示されます．【改ページ】スイッチ押下時の紙送り量は，印刷データを受信している状態ではホスト指定に従ったページ長であり，印刷終了後はプリンタに設定されたページ長となります．

印刷終了後もホスト指定に従ったページ長で改ページ動作を行う場合には，本設定値を「ホスト」に変更してください．

表 3.1　セットアップ設定内容（続き）

		セットアップ情報種類	設定内容 初期値	設定内容 設定可能値	意味	備考
	連帳，単票の各々について有効．（用紙選択スイッチで選択している用紙の設定を行う）					
③用紙設定	1	左マージン	1	1～99 カラム	1 行の桁方向の印刷開始位置を桁(AN10CPI)で設定	・操作パネルから設定可能
	2	ページ長	66	１～99 行	１ページの行数設定 改行ピッチとの積がページ長	・操作パネルから設定可能 ・ホスト指定が優先される
	3	ロード位置	単票 7.6mm 連帳 2.0mm	2.0～38.0mm （0.2 mmごとに設定可能）	用紙セットスイッチによる，用紙ロード時の用紙先端から１行目文字中心までの距離	・操作パネルから設定可能
	4	漢字ピッチ設定	1/5″	1/5”（5cpi） 1/6”（6cpi） 3/20” （6.7cpi）	漢字文字の桁方向の幅を示す． 文字の大きさは10ポ相当で同一．	・操作パネルから設定可能 ・ホスト指定が優先される
	5	AN ピッチ設定	1/10″	1/10”（10cpi） 1/12”（12cpi） 3/40” （13.3cpi） 1/15”（15cpi）	AN 文字の桁方向の幅を示す．	同上
	6	改行ピッチ設定	６LPI	6LPI/8LPI	１行分の紙送り動作量（改行）の設定	同上
	7	改行間隔	1LF	1LF/2LF	1LF：通常の改行動作 2LF：１回の改行動作を2倍にする	・ホスト指定が優先される 操作パネルから設定可能 ・GS 系ホストでのみ有効
	8	封筒モード 注 7)	オフ	オフ／オン	オフ：一般自動吸入用 オン：封筒自動吸入用	・本機能でのみ設定可能 ・単票選択でのみ有効
	9	ホッパ手前排出 注 8)	オフ	オフ／オン	カットシートフィーダから吸入した単票用紙の排出方法指定 オン：手前（手差し口） オフ：後方（スタッカ）	・本機能でのみ設定可能 ・単票選択でのみ有効
	10	手差し手前排出設定 注 9)	オン	オン／オフ	手差し口吸入した単票用紙の 排出方向指定 オン：手前（手差し口） オフ：後方（スタッカ）	・本機能でのみ設定可能 ・単票選択でのみ有効
④	セットアップ印刷		－	－	現在のセットアップ情報を連帳/単票用紙に印刷	【用紙選択】スイッチ押下で給紙口（連帳／単票） 切り替え可能 注 10)
⑤	用紙微調送り		－	－	微調送り△／▽スイッチ押下で連帳用紙を微調送り可能	

注7）　封筒自動給紙時に，給紙ミスや印刷の傾きが発生する場合，「オン」に設定します．

注8）　カートシートフィーダから吸入した単票用紙の排出方向を設定します．
「オン」に設定するとカートシートフィーダの手挿入天板に排出されますので，1 枚ごとに取り除いてください．
「オフ」に設定するとスタッカへ排出されます．

注9） 手差しロから吸入した単票用紙の排出方向を設定します.
「オン」に設定すると，排出方向は手前になり，手差しロに排出されますので，1 枚ごとに取り除いてください.
「オフ」に設定すると，本装置後方のスタッカへ排出されます.

注10） 連帳用紙にセットアップ印刷する場合は,幅 15 インチの用紙をセットして使用してください.
単票用紙にセットアップ印刷する場合は，ホッパに A4 用紙を縦にセットして使用してください.

セットアップ印刷　印刷結果例

VSP2851B　セットアップ印刷

装置名設定　：VSP2851B-XXXXXX
シリアルＮＯ　：XXXXXXXXXXXX
システム版数　：EXXVXXLXX
拡張出力機構　：なし

＜＜装置設定＞＞

EBCDICフォント：標準
印刷動作　：JEF&AN
印刷モード　：通常印刷
ＡＮコード　：カナ有り
最大印字桁数　：136桁
ヘッド動作　：両方向
改ページ SW　：パネル

＜＜通信関連＞＞

サポートサーバ　：PrintWalker
ＬＡＮインターフェース　：LAN（オート）
ＭＡＣアドレス　：000XXXXXXXX

＜＜ネットワークアドレス設定＞＞

ＩＰアドレス　：000.000.000.000
ネットマスク　：000.000.000.000
ゲートウェイアドレス１
　宛先アドレス　：000.000.000.000
　ゲートウェイアドレス　：000.000.000.000
ゲートウェイアドレス２
　宛先アドレス　：000.000.000.000
　ゲートウェイアドレス　：000.000.000.000
ゲートウェイアドレス３
　宛先アドレス　：000.000.000.000
　ゲートウェイアドレス　：000.000.000.000
ゲートウェイアドレス４
　宛先アドレス　：000.000.000.000
　ゲートウェイアドレス　：000.000.000.000
デフォルトルータ設定　：000.000.000.000

＜＜用紙設定＞＞

	連帳1	連帳2	単票
左マージン	：01桁	01桁	01桁
ページ長	：066桁	066桁	066桁
ロード位置	：02.0mm	02.0mm	07.6mm
漢字ピッチ	：1/5 ”	1/5 ”	1/5 ”
ＡＮピッチ	：1/10 ”	1/10 ”	1/10 ”
改行ピッチ	：6LPI	6LPI	6LPI
改行間隔	：1LF	1LF	1LF
封筒モード	：		オフ
ホッパ手前排出	：		オフ
手差し手前排出	：		オン

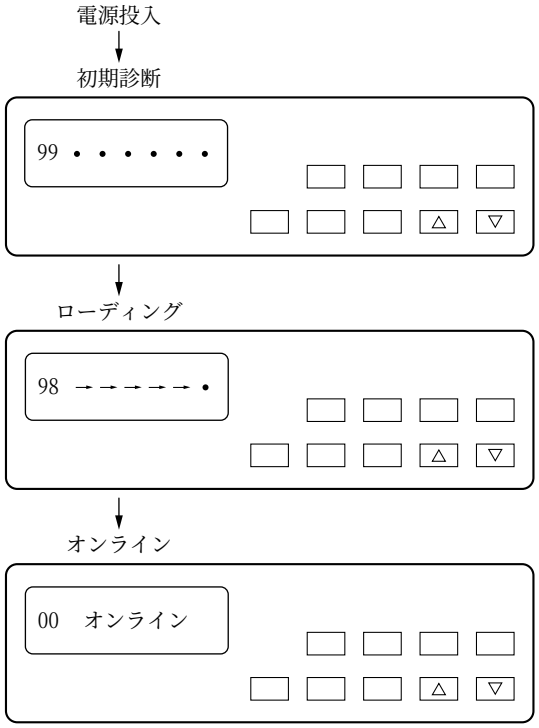
注）印刷形式は，実際の印字と異なる場合があります．

図 3.2　現在の設定情報

3.4　装置立ち上げと印刷設定

3.4.1　　装置立ち上げ

本装置のセットアップが完了すれば，IPL もしくは電源投入で本装置をネットワークプリンタとして利用できます．以下に本装置が立ち上がるまでの操作パネルの遷移を示します．



このオンライン状態で，ホストからの印刷が可能となります．

3.4.2　印刷設定（機能モード）

オンライン状態から【機能】スイッチを押すことで，PA キー／用紙位置調整を行うことができます．

また，オンライン状態から【スタート／ストップ】スイッチを押しオフライン状態にしてから機能スイッチを押すことで，各種機能設定やテスト印字を行えます．

以下に，オンライン／オフラインからの印刷設定の遷移図を示します．

印刷設定の内容と設定値の有効範囲は，表 3.2 のとおりです．

なお，機能モードで設定した値は，電源再投入後セットアップモードでの設定値に戻りますのでご注意ください．

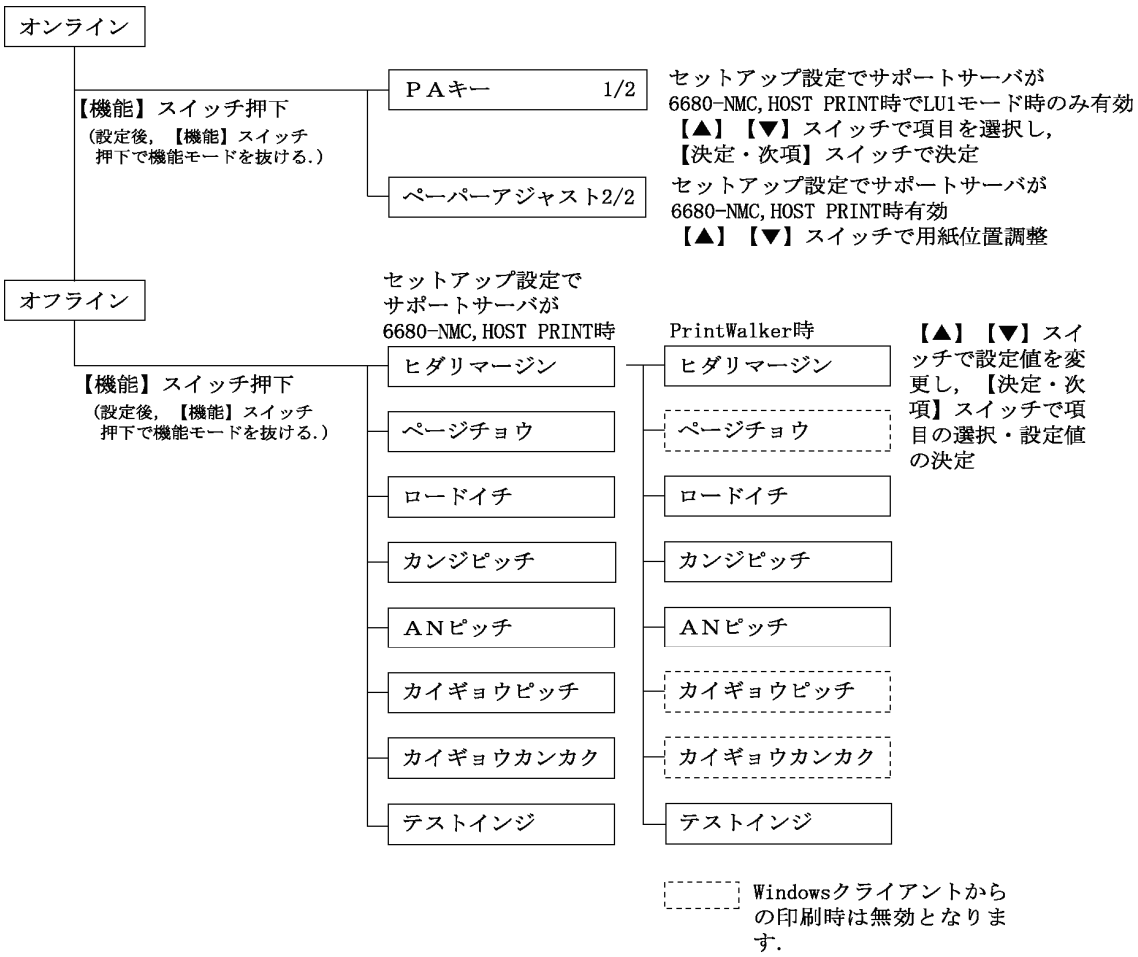


表 3.2　機能モードの設定内容

設定項目	設定内容		備考
	初期値	設定可能値	
左マージン 注 1）	セットアップモードでの設定値	1～99 桁	設定する用紙の種類（単票／連帳）は現在選択されている用紙
ページ長		1～99 行	
ロード位置 注 1） 注 2）		2.0～38.0 ㎜ (0.2 ごとに設定可能)	
漢字ピッチ		1/5”，1/6”，3/20”	
AN ピッチ		1/10 ”， 1/12 ”，3/40”，1/15”	
改行ピッチ		6LPI，8LPI	
改行間隔		LF，2LF	
テスト印字			“X”を 64 桁印字

注 1）　プリンタの「サポートサーバ」設定が PrintWalker のとき，ホスト側が「用紙交換メッセージ」を表示している間は，「左マージン」「ロード位置」のみ表示されます．

注 2）　「ロード位置」の設定値を変更する場合は，あらかじめ吸入されている用紙を取り除いてください．

3.5　LAN 接続

3.5.1　LAN 接続するための基本設定

本装置を LAN 接続するための基本設定例を示します.

本装置の LAN 設定は，セットアップモードの「通信」で「サポートサーバ」の設定を行います. 実際の設定内容については，「3.3.3　セットアップの設定内容」の LAN 関連の設定の欄を参照してください.

導入する LAN 環境や接続形態によって，プリンタの設定内容は異なってきます.

以下に，導入するホストとサーバ接続環境の組み合せごとに，プリンタの設定内容（サポートサーバの設定値）を示します. これを参考にしてセットアップモードの「通信」で「サポートサーバ」を設定してください. なお，設定した値は装置の IPL または電源再投入により有効となります.

注）IP アドレスは必ず“0.0.0.0”以外の値に設定してください.

項番	ホスト または クライアント	サーバ				プリンタの設定
		ハード	ソフト	プロトコル	⇨	サポートサーバ
①	GS/ PRIME-FORCE	PRIMERGY	HOST PRINT	TCP/IP	⇨	HOST PRINT
②				DS-LINK	⇨	6680-NMC
③			HOST PRINT PrintWalker/PM	TCP/IP	⇨	PrintWalker
④		PRIMEPOWER S series サーバ	Netcompo NMC サーバ	TCP/IP	⇨	HOST PRINT
⑤				DS-LINK	⇨	6680-NMC
⑥			PrintWalker/BPC, CJMS	TCP/IP	⇨	PrintWalker
⑦	SPARC Enterprise PRIMEPOWER S series サーバ		PrintWalker/BPC	TCP/IP	⇨	PrintWalker
⑧	PRIMERGY 6000 サーバ		LAN プリンタ制御オプション	TCP/IP	⇨	PrintWalker
⑨	PRIMERGY/ PRIME-QUEST	PRIMERGY/ PRIMEQUEST	PrintWalker/PM	TCP/IP	⇨	PrintWalker
⑩		SPARC Enterprise PRIMEPOWER S series サーバ	PrintWalker/BPC	TCP/IP	⇨	PrintWalker
⑪	PC	PRIMERGY/ PRIMEQUEST	PrintWalker/PM	TCP/IP	⇨	PrintWalker
⑫		SPARC Enterprise PRIMEPOWER S series サーバ	PrintWalker/BPC	TCP/IP	⇨	PrintWalker
⑬		－	PrintWalker/PM	TCP/IP	⇨	PrintWalker
⑭	－	PRIMERGY/ PRIMEQUEST	PrintWalker/PM	TCP/IP	⇨	PrintWalker
⑮	PRIMERGY/ PRIME-QUEST	－	PrintWalker/LXE	TCP/IP	⇨	PrintWalker

3.5.2　LAN 接続環境ごとの設定内容

本装置を LAN 接続するには本装置側の設定と上位装置側（サーバ装置側）の設定が必要です．

本装置側の設定は，セットアップモードの「通信」で行います．サポートサーバの設定では運用するサーバを選択して，そのサーバに関するネットワークアドレスなどの設定を行います．

上位装置側の設定は，上位装置に組み込むソフトウェア（HOST　PRINT，Netcompo NMC サーバ，PrintWalker/BPC，CJMS，LAN プリンタ制御オプション，PrintWalker/PM，PrintWalker/LXE）の設定を行う必要があります．

(1) グローバルサーバをホストとして運用する場合：上記表の項番①～⑥のケース

(1)－1　本装置側の設定（サポートサーバの設定）

セットアップモードの「通信」の設定項目で，「サポートサーバ」を選択をします．運用するサーバを選択して，そのサーバに関するネットワークアドレス等の設定を行います．

a)　サポートサーバの選択

運用するサーバの選択をします．

・プロトコルを TCP/IP（HOST　PRINT，Netcompo NMC サーバ使用）で運用する場合：「HOST PRINT」
・プロトコルを TCP/IP（PrintWalker/PM 使用）で運用する場合：「PrintWalker」
・プロトコルを TCP/IP（PrintWalker/BPC 使用）で運用する場合：「PrintWalker」
・プロトコルを TCP/IP（PrintWalker/LXE）で運用する場合：「PrintWalker」
・プロトコルを DS-LINK で運用する場合：「6680-NMC」

をそれぞれ選択します．

「HOST PRINT」を選択した場合，TCP/IP 通信を行うために以下の必要な設定を行います．

b)　MAC アドレスの設定
c)　IP アドレスの設定
d)　ネットマスクの設定
e)　ゲートウェイの設定
f)　デフォルトルータの設定
g)　サーバ IP アドレスの設定
h)　セッションリトライの設定

「PrintWalker」を選択した場合，TCP/IP 通信を行うために以下の必要な設定を行います．

b)　MAC アドレスの設定
c)　IP アドレスの設定
d)　ネットマスクの設定
e)　ゲートウェイの設定
f)　デフォルトルータの設定

「6680-NMC」を選択した場合，DS-LINK 通信を行うために以下の必要な設定を行います．

i)　アドレスの設定
j)　相手先アドレスの設定
k)　タイムアウト値の設定
l)　再送数の設定

b)　MAC アドレスの設定
　本装置のグローバルアドレスが表示されます．

c)　IP アドレスの設定
　本装置の IP アドレスを設定します．

d)　ネットマスクの設定
　ネットマスクを設定します．

e)　ゲートウェイの設定
　ゲートウェイを介した通信を行う場合に，そのゲートウェイアドレスを設定します．
　本設定では，本装置の接続されているネットワークに存在するゲートウェイを 4 つまで設定でき，次項のデフォルトルータの設定を合わせると最大 5 つまで設定できます．
　ゲートウェイアドレスの設定項目には以下の設定があります．
・宛先アドレス
・ゲートウェイアドレス
　設定およびその意味については，「3.5.3　ゲートウェイについての補足」を参照願います．

f)　デフォルトルータの設定
　デフォルトとするゲートウェイのアドレスを設定します．同じゲートウェイの設定でも，前項のゲートウェイアドレスの設定とは意味が異なります．
　設定およびその意味については，「3.5.3　ゲートウェイについての補足」を参照願います．

g)　サーバ IP アドレスの設定
　サポートサーバの IP アドレスを設定します．

h) セッションリトライの設定

上位装置とのセッション確立時に行う接続確認のリトライ回数を設定します．

i) アドレスの設定

グローバルアドレスを使用するか，ローカルアドレスを使用するかを設定します（デフォルトはグローバルアドレス）．グローバルアドレス選択時はグローバルアドレスを表示し，ローカルアドレス選択時はローカルアドレスを表示します．

j) 相手先アドレスの設定

DS-LINK 通信をする場合には，NMC または NMC 代替として動作する NMC の MAC アドレスを設定します．

k) タイムアウト値の設定

DS-LINK 通信をする場合に，タイムアウト値を設定します．デフォルト値のままでも特に問題はありませんが，もし設定する場合には，NMC または NMC 代替サーバ側でのタイムアウト値も合わせる必要があります．

l) 再送数の設定

DS-LINK 通信をする場合に，再送数を設定します．デフォルト値のままでも特に問題はありませんが，もし設定する場合には，NMC または NMC 代替サーバ側での再送数も合わせる必要があります．

(1)－2 上位装置側の設定

上位装置には，NMC 代替として動作する Windows 2000/Server 2003/Server 2008 サーバと PRIMEPOWER , 富士通 S series がそれぞれ接続できます．

Windows 2000/Server 2003/Server 2008 サーバと PRIMEPOWER，富士通 S series 接続では，プロトコルは「TCP/IP」または「DS-LINK」のどちらかが設定可能です．

HOST PRINT の帳票管理サービスを使用する場合は，Windows 2000/Server 2003/Server 2008 サーバに本装置添付のソフトウェア（VSP リクエスタ）をインストールする必要があります．上位装置側の設定は，上位装置に組み込むソフトウェア（HOST PRINT， Netcompo NMC サーバ，PrintWalker/PM，PrintWalker/BPC）の設定を行う必要があります．

これらソフトウェアの設定については，以下のマニュアルを参照願います．

・ Windows 2000/Server 2003/Server 2008 サーバ（HOST PRINT）：
HOST PRINT 使用手引書
・ Windows 2000/Server 2003/Server 2008 サーバ（PrintWalker/PM）：
添付の CD-ROM の¥PRINTMON¥WINX86¥README.TXT
または¥PRINTMON¥WIN64¥README.TXT
・ PRIMEPOWER, 富士通 S series（Netcompo NMC サーバ）：
Netcompo NMC サーバ説明書
・ PRIMEPOWER, 富士通 S series（PrintWalker/BPC）：
添付の CD-ROM の¥MANUAL¥JAPANESE¥Readme.html

⑵ SPARC Enterprise, PRIMEPOWER, 富士通 S series をホストとして運用する場合：項番⑦のケース
（項番⑥と同じケースであり，同様に設定します．）

⑵－1　本装置側の設定（サポートサーバの設定）
セットアップメニューの「通信」の設定項目で，「サポートサーバ」を選択します．運用するサーバを選択して，そのサーバに関するネットワークアドレスなどの設定を行います．

a) サポートサーバの選択
運用するサーバの選択をします．
プロトコルを TCP/IP（PrintWalker/BPC 使用）で運用するので，「PrintWalker」を選択します．
「PrintWalker」を選択した場合，TCP/IP 通信を行うために以下の必要な設定を行います．

b) MAC アドレスの設定
c) IP アドレスの設定
d) ネットマスクの設定
e) ゲートウェイの設定
f) デフォルトルータの設定

b) MAC アドレスの設定
本装置のグローバルアドレスが表示されます．

c) IP アドレスの設定
本装置の IP アドレスを設定します．

d) ネットマスクの設定
ネットマスクを設定します．

e) ゲートウェイの設定
ゲートウェイを介した通信を行う場合に，そのゲートウェイアドレスを設定します．
本設定では，本装置の接続されているネットワークに存在するゲートウェイを４つまで設定でき，次項のデフォルトルータの設定を合わせると最大５つまで設定できます．
ゲートウェイアドレスの設定項目には以下の設定があります．
・宛先アドレス
・ゲートウェイアドレス
設定およびその意味については，「3.5.3　ゲートウェイについての補足」を参照願います．

f) デフォルトルータの設定
デフォルトとするゲートウェイのアドレスを設定します．同じゲートウェイの設定でも，前項のゲートウェイアドレスの設定とは意味が異なります．
設定およびその意味については，「3.5.3　ゲートウェイについての補足」を参照願います．

⑵－2　上位装置側の設定

上位装置は，SPARC Enterprise, PRIMEPOWER, 富士通 S series となります．

SPARC Enterprise, PRIMEPOWER, 富士通 S series 接続では，プロトコルは「TCP/IP」のみが設定可能です．

上位装置側の設定は，上位装置に組み込むソフトウェア（PrintWalker/BPC）の設定を行う必要があります．

これらソフトウェアの設定については，以下のマニュアルを参照願います．

・SPARC Enterprise, PRIMEPOWER, 富士通 S series (PrintWalker/BPC)
:添付の CD-ROM の¥MANUAL¥JAPANESE¥Readme.html

⑶ PRIMERGY 6000 をホストとして運用する場合：項番⑧のケース

⑶－1　本装置側の設定（サポートサーバの設定）

セットアップモードの「通信」の設定項目で，「サポートサーバ」を選択します．運用するサーバを選択して，そのサーバに関するネットワークアドレスなどの設定を行います．

a) サポートサーバの選択

運用するサーバの選択をします．

プロトコルを TCP/IP（LAN プリンタ制御オプション使用）で運用するので，「PrintWalker」を選択します．

「PrintWalker」を選択した場合，TCP/IP 通信を行うために以下の必要な設定を行います．

b) MAC アドレスの設定
c) IP アドレスの設定
d) ネットマスクの設定
e) ゲートウェイの設定
f) デフォルトルータの設定

b) MAC アドレスの設定

本装置のグローバルアドレスが表示されます．

c) IP アドレスの設定

本装置の IP アドレスを設定します．

d) ネットマスクの設定

ネットマスクを設定します．

e) ゲートウェイの設定

ゲートウェイを介した通信を行う場合に，そのゲートウェイアドレスを設定します．

本設定では，本装置の接続されているネットワークに存在するゲートウェイを４つまで設定でき，次項のデフォルトルータの設定を合わせると最大５つまで設定できます．

ゲートウェイアドレスの設定項目には以下の設定があります．

・宛先アドレス
・ゲートウェイアドレス

設定およびその意味については，「3.5.3　ゲートウェイについての補足」を参照願います．

f)　デフォルトルータの設定

デフォルトとするゲートウェイのアドレスを設定します．同じゲートウェイの設定でも，前項のゲートウェイアドレスの設定とは意味が異なります．

設定およびその意味については，「3.5.3　ゲートウェイについての補足」を参照願います．

⑶－2　上位装置側の設定

上位装置は，PRIMERGY 6000 となります．

PRIMERGY 6000 接続では，プロトコルは「TCP/IP」のみが設定可能です．

上位装置側の設定は，上位装置に組み込むソフトウェア（LAN プリンタ制御オプション）の設定を行う必要があります．

これらソフトウェアの設定については，以下のマニュアルを参照願います．

・ PRIMERGY 6000 サーバ（LAN プリンタ制御オプション）：

ASP システム導入手引書

ASP システム説明書

⑷ Windows 2000/Server 2003/Server 2008 をホストとして運用する場合：項番⑨～⑩のケース

（項番⑩は，⑥，⑦と同様であり，同じように設定します）

⑷－1　本装置側の設定（サポートサーバの設定）

セットアップモードの「通信」の設定項目で，「サポートサーバ」を選択をします．運用するサーバを選択して，そのサーバに関するネットワークアドレスなどの設定を行います．

a)　サポートサーバの選択

運用するサーバの選択をします．

・プロトコルを TCP/IP（PrintWalker/PM 使用）で運用する場合，「PrintWalker」

・プロトコルを TCP/IP（PrintWalker/BPC 使用）で運用する場合，「PrintWalker」

をそれぞれ選択します．「PrintWalker」を選択した場合，TCP/IP 通信を行うために以下の必要な設定を行います．

b)　MAC アドレスの設定
c)　IP アドレスの設定
d)　ネットマスクの設定
e)　ゲートウェイの設定
f)　デフォルトルータの設定

b)　MAC アドレスの設定

本装置のグローバルアドレスを表示します．

c)　IP アドレスの設定

本装置の IP アドレスを設定します．

d)　ネットマスクの設定

ネットマスクを設定します．

e) ゲートウェイの設定

ゲートウェイを介した通信を行う場合に，そのゲートウェイアドレスを設定します．

本設定では，本装置の接続されているネットワークに存在するゲートウェイを４つまで設定でき，次項のデフォルトルータの設定を合わせると最大５つまで設定できます．

ゲートウェイアドレスの設定項目には以下の設定があります．

・宛先アドレス

・ゲートウェイアドレス

設定およびその意味については，「3.5.3　ゲートウェイについての補足」を参照願います．

f) デフォルトルータの設定

デフォルトとするゲートウェイのアドレスを設定します．同じゲートウェイの設定でも，前項のゲートウェイアドレスの設定とは意味が異なります．

設定およびその意味については，「3.5.3　ゲートウェイについての補足」を参照願います．

⑷－2　上位装置側の設定

上位装置には，Windows 2000/Server 2003/Server 2008 サーバと SPARC Enterprise, PRIMEPOWER, 富士通 S series がそれぞれ接続できます．

Windows 2000/Server 2003/Server 2008 と SPARC Enterprise, PRIMEPOWER, 富士通 S series 接続では，プロトコルは「TCP/IP」のみが設定可能です．

上位装置側の設定は，上位装置に組み込むソフトウェア（PrintWalker/PM, PrintWalker/BPC）の設定を行う必要があります．

これらソフトウェアの設定については，以下のマニュアルを参照願います．

・Windows 2000/Server 2003/Server 2008 サーバ（PrintWalker/PM）：
添付の CD-ROM の¥PRINTMON¥WINX86¥README.TXT
または ¥PRINTMON¥WIN64¥README.TXT

・SPARC Enterprise, PRIMEPOWER, 富士通 S series (PrintWalker/BPC)：
添付の CD-ROM の¥MANUAL¥JAPANESE¥Readme.html

⑸ Windows XP/Vista/7 をホストとして運用する場合：項番⑪～⑬のケース
（項番⑪は⑨，項番⑫は⑥，⑦，⑩と同様であり，同じように設定します）

⑸－1　本装置側の設定（サポートサーバの設定）

⑷－1 の設定と同様です．

⑸－2　上位装置側の設定

上位装置には，Windows 2000/Server 2003/Server 2008 サーバと SPARC Enterprise, PRIMEPOWER, 富士通 S series および Windows XP/Vista/7 がそれぞれ接続できます．

Windows 2000/Server 2003/Server 2008 サーバと SPARC Enterprise, PRIMEPOWER, 富士通 S series および Windows XP/Vista/7 接続では，プロトコルは「TCP/IP」のみが設定可能です．

上位装置側の設定は，上位装置に組み込むソフトウェア（PrintWalker/PM, PrintWalker/BPC）の設定を行う必要があります．

これらソフトウェアの設定については，以下のマニュアルを参照願います．

・Windows 2000/Server 2003/Server 2008（PrintWalker/PM）：
添付の CD-ROM の¥PRINTMON¥WINX86¥README.TXT
または¥PRINTMON¥WIN64¥README.TXT

・SPARC Enterprise, PRIMEPOWER, 富士通 S series（PrintWalker/BPC）：
添付の CD-ROM の¥MANUAL¥JAPANESE¥Readme.html

・Windows XP/Vista/7（PrintWalker/PM）：
添付の CD-ROM の¥PRINTMON¥WINX86¥README.TXT
または ¥PRINTMON¥WIN64¥README.TXT

⑹ Windows 2000/Server 2003/Server 2008 サーバからダイレクトに運用する場合：項番⑭のケース
（項番⑭は⑨，⑪と同様であり，同じように設定します）

⑹－1　本装置側の設定（サポートサーバの設定）
⑷－1 の設定と同様です．

⑹－2　上位装置側の設定
上位装置には，Windows 2000/Server 2003/Server 2008 サーバが接続できます．
Windows 2000/Server 2003/Server 2008 サーバ接続では，プロトコルは「TCP/IP」のみが設定可能です．
上位装置側の設定は，上位装置に組み込むソフトウェア（PrintWalker/PM）の設定を行う必要があります．
これらソフトウェアの設定については，以下のマニュアルを参照願います．

・Windows 2000/Server 2003/Server 2008（PrintWalker/PM）：
添付の CD-ROM の¥PRINTMON¥WINX86¥README.TXT
または ¥PRINTMON¥WIN64¥README.TXT

⑺ Linux をホストとして運用する場合：項番⑮のケース

⑺－1　本装置側の設定（サポートサーバの設定）
セットアップモードの「通信」の設定項目で，「サポートサーバ」を選択をします．運用するサーバを選択して，そのサーバに関するネットワークアドレスなどの設定を行います．

a)　サポートサーバの選択
運用するサーバの選択をします．
プロトコルを TCP/IP（PrintWalker/LXE 使用）で運用するので，「PrintWalker」を選択します．
「PrintWalker」を選択した場合，TCP/IP 通信を行うために以下の必要な設定を行います．

b)　MAC アドレスの設定
c)　IP アドレスの設定
d)　ネットマスクの設定
e)　ゲートウェイの設定
f)　デフォルトルータの設定

b) MAC アドレスの設定

本装置のグローバルアドレスを表示します．

c) IP アドレスの設定

本装置の IP アドレスを設定します．

d) ネットマスクの設定

ネットマスクを設定します．

e) ゲートウェイの設定

ゲートウェイを介した通信を行う場合に，そのゲートウェイアドレスを設定します．

本設定では，本装置の接続されているネットワークに存在するゲートウェイを４つまで設定でき，次項のデフォルトルータの設定を合わせると最大５つまで設定できます．

ゲートウェイアドレスの設定項目には以下の設定があります．

・宛先アドレス

・ゲートウェイアドレス

設定およびその意味については，「3.5.3　ゲートウェイについての補足」を参照願います．

f) デフォルトルータの設定

デフォルトとするゲートウェイのアドレスを設定します．同じゲートウェイの設定でも，前項のゲートウェイアドレスの設定とは意味が異なります．

設定およびその意味については，「3.5.3　ゲートウェイについての補足」を参照願います．

⑺－2　上位装置側の設定

上位装置には，Linux が接続できます．

Linux 接続では，プロトコルは「TCP/IP」のみが設定可能です．

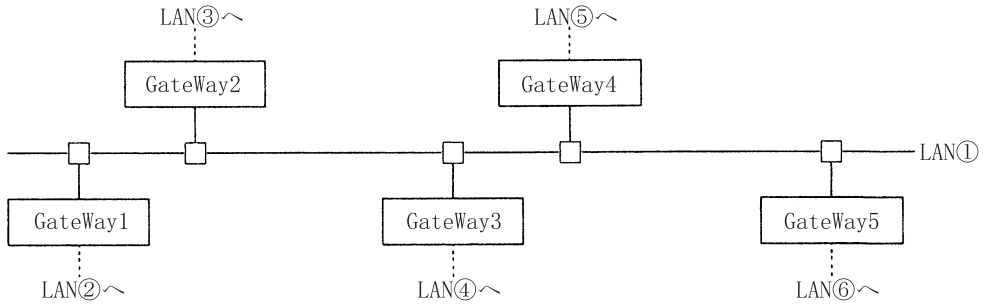
上位装置側の設定は，上位装置に組み込むソフトウェア（PrintWalker/LXE）の設定を行う必要があります．

これらソフトウェアの設定については，以下のマニュアルを参照願います．

・Linux サーバ（PrintWalker/LXE）：

添付の CD-ROM の¥PWLKRLXE¥MANUAL¥readme.html

3.5.3　ゲートウェイについての補足



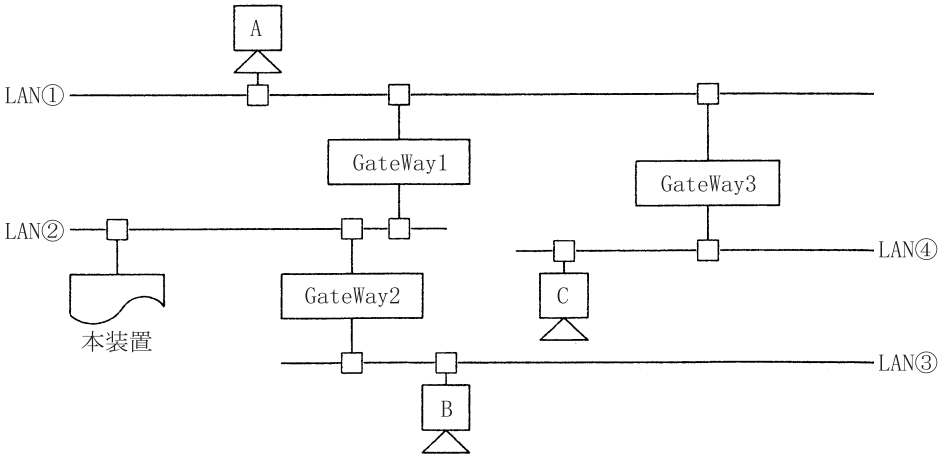
LAN①に接続されている装置が，LAN①に接続されている（同一 LAN 上）その他の装置と，LAN 通信を行う場合は，ゲートウェイは必要ありませんが，他の LAN（LAN②～⑥）の装置と通信を行う場合には，ゲートウェイが必要となります．

本装置では，最大５つまでのゲートウェイをサポートしています．

本装置のセットアップでは，ゲートウェイの設定と，デフォルトルータの設定があり，ゲートウェイ設定は４つまで，デフォルトルータ設定は１つとなります．

また，ゲートウェイ設定には，宛先アドレスとゲートウェイアドレスの設定があります．

“ゲートウェイアドレス 1～4”と“デフォルトルータ設定”について説明します．



⑴ 本装置が LAN②上の装置と通信を行う場合には，ゲートウェイの設定は必要ありません．

⑵ 本装置がホスト A と通信を行う場合，本装置のゲートウェイアドレスの設定は以下のようになります．

・宛先アドレス　　：ホスト A の接続されているネットワークアドレスを設定します．

・ゲートウェイアドレス：GateWay1 のアドレス（IP アドレス）を設定します．

⑶ 本装置がホスト B と通信を行う場合，本装置のゲートウェイアドレスの設定は以下のようになります．

・宛先アドレス　　：ホスト B の接続されているネットワークアドレスを設定します．

・ゲートウェイアドレス：GateWay2 のアドレス（IP アドレス）を設定します．

⑷ 本装置がホスト C と通信を行う場合，本装置のゲートウェイアドレスの設定は以下のようになります．

・宛先アドレス　　：ホスト C の接続されているネットワークアドレスを設定します．
・ゲートウェイアドレス：GateWay1 のアドレス（IP アドレス）を設定します．

⑸ デフォルトルータは，仮に装置に上記⑴～⑷のような設定がなされていた場合に，設定してあるゲートウェイ先ネットワークアドレスのどれにもあてはまらないようなデータを処理する場合に使用されるゲートウェイのことです．そのようなデータは，デフォルトルータに設定されているゲートウェイとデータ通信を行うこととなります．

ただ，ここに設定できるアドレスは，本装置の接続されている LAN②に接続されているゲートウェイアドレス（GateWay1 または GateWay2）だけであり，GateWay3 などのアドレスは指定できません．

※ゲートウェイアドレス 1～4 の設定は，本装置と通信を行う相手が接続されているネットワークアドレスと，そのネットワークへの経路となるゲートウェイアドレスが明確になっている場合に設定します．

※デフォルトルータは，ゲートウェイアドレス 1～4 に設定されているネットワークアドレスのどれにも該当しないデータを処理する場合に使用されます．

該当なしデータはデフォルトルータに設定されているゲートウェイに対してデータ通信が行われ，そこから対象となるネットワークが発見できればデータ通信を行い，発見できなければ，そのデータは破棄されます．

また，本装置の接続されているネットワークに，ゲートウェイが 1 つしか接続されていなかった場合，デフォルトルータにそのゲートウェイアドレスを設定しておくことで，特にゲートウェイアドレス 1～4 を設定しなくても，他の複数ネットワークと通信を行うことができます．

（例：前ページの接続にて，本装置の接続されているLAN②にGateWay1 しかなかった場合，
デフォルトルータに GateWay1 のアドレスを設定することによって，ゲートウェイアドレス 1～4 を設定しなくてもホスト A やホスト C と通信を行うことができます．）

3.6　印刷時の操作

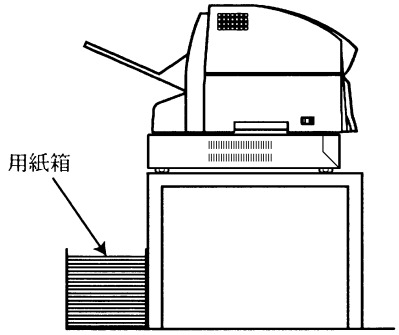
3.6.1　用紙の取り付け方

連帳用紙と単票用紙では，用紙の取り付け方が違います．使用する用紙に応じて正しくお使いください．

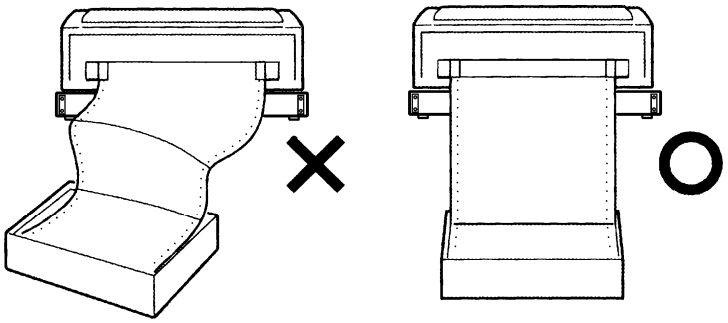
(1) 標準形態

A. 連帳用紙の場合

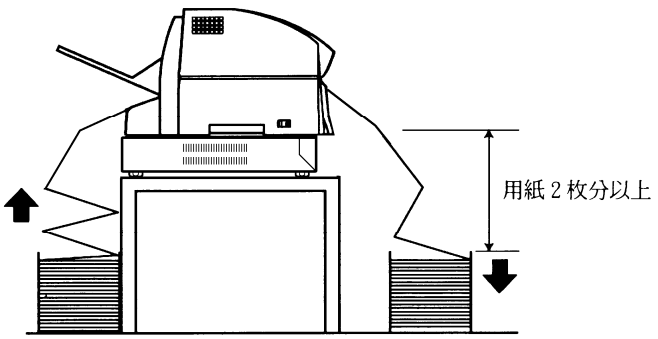
1) 用紙箱をプリンタ背面に置きます．



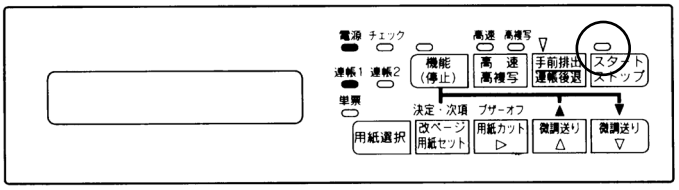
（注意）印刷用紙は用紙取り付け位置に対し，まっすぐに置いてください．



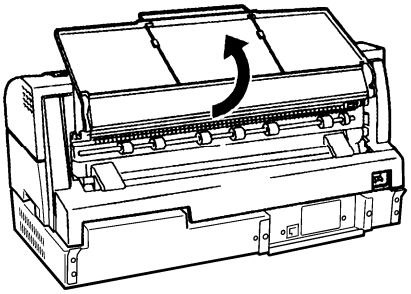
通帳用紙出口の高さと，印刷済用紙の高さの差は用紙 2 枚分以上必要です．



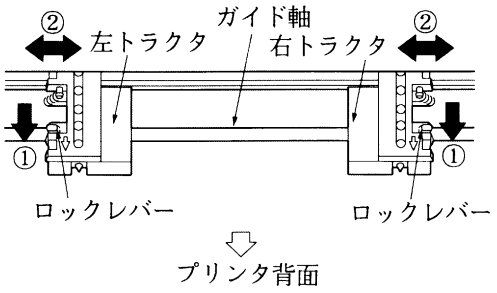
2) 操作パネルの「スタート」ランプが消灯していることを確認します.
点灯しているときは,【スタート／ストップ】スイッチを押して消してください.



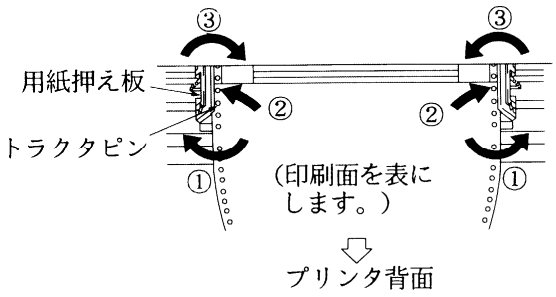
3) スタッカを上方に回転させます.



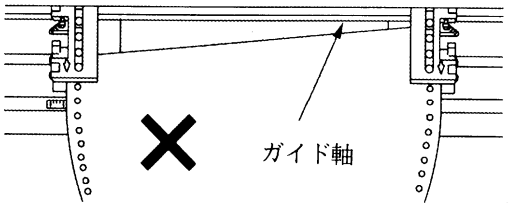
4) 左右トラクタのロックレバーを手前に倒し(①), トラクタを用紙の幅に合うように移動します(②).(本説明はプリンタ背面から見たときを基準として記載されています.)



5) 左右のトラクタの用紙押え板を開き(①), トラクタピンと用紙の穴を合わせ(②), 用紙押え板を閉じます(③).(本説明はプリンタ背面から見たときを基準として記載されています.)

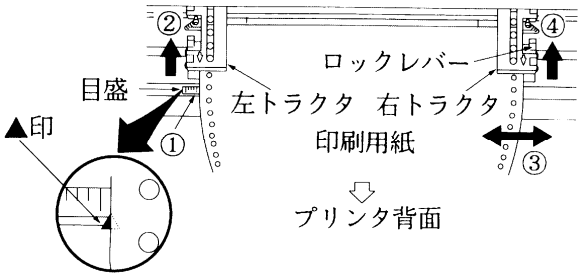


（注意）用紙はガイド軸に対し，平行に取り付けてください．平行に取り付けなかった場合は，用紙づまりや用紙やぶれおよび印字位置ずれなどを起こします．



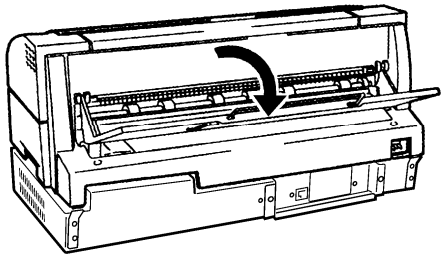
（注意）用紙押え板はバネになっているので手をはさまないようにしてください．

6) 左トラクタは用紙左端が目盛りの▲に合うように移動し(①)，ロックレバーを奥に倒し，トラクタを固定します（②）．
右トラクタは用紙が軽く張るような位置に合わせ（③），ロックレバーを奥に倒し，トラクタを固定します（④）．（本説明はプリンタ背面から見たときを基準として記載されています．）



（注意）用紙の張りが強いと，用紙のはずれが発生することがあります．あまり張りすぎないでください．

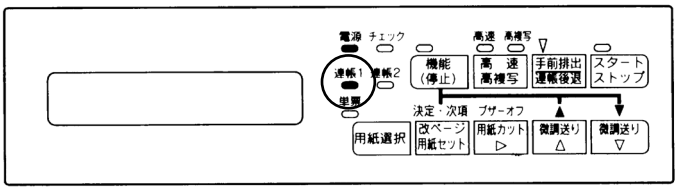
7) スタッカを元に戻します．



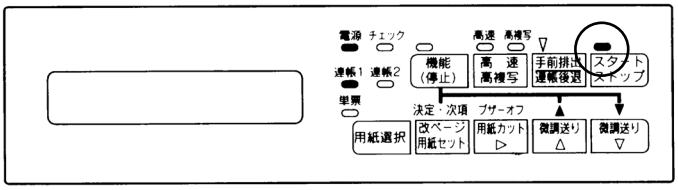
（注意）スタッカは，トラクタの用紙押え板を閉じてから元に戻してください（用紙押え板が開いている状態でスタッカを元に戻すと用紙押え板が破損するおそれがあります）．

8) 操作パネルの「連帳 1」ランプが点灯していることを確認します．
「連帳 1」ランプが消灯しているときは【用紙選択】スイッチを押して，「連帳 1」ランプを点灯させてください．

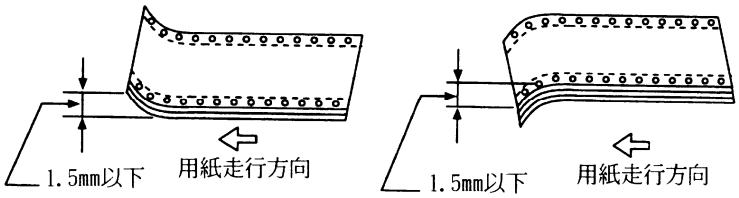
9) 操作パネルの「連帳 1」ランプが点灯している場合は，【用紙セット】スイッチを押します．
用紙は自動的に装置内に送り込まれます．



10) 操作パネルの【スタート／ストップ】スイッチを押してオンライン状態にします．
オンライン状態では「スタート」ランプが点灯します．



（注意）（1）連帳用紙の先端にカールがある場合，用紙吸入時のジャム発生の原因となりますので，矯正して使用してください．

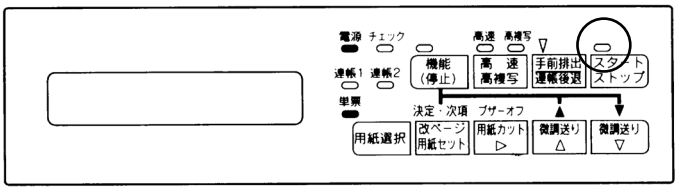


（2）印刷位置が合っていない場合は「3.6.2 用紙の印刷位置合わせ」を参照してください．

（3）連帳用紙の先端にミシン目の切り残しがある場合は，用紙吸入時にミシン目がリボンマスクに引掛かり用紙破れが発生することがあります．
ミシン目の切り残しを除去してから用紙をセットしてください．

B.　単票用紙（手挿入）の場合

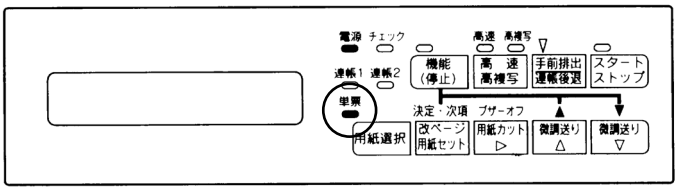
1)　操作パネルの「スタート」ランプが消えていることを確認します.
点灯しているときは,【スタート／ストップ】スイッチを押して消してください.



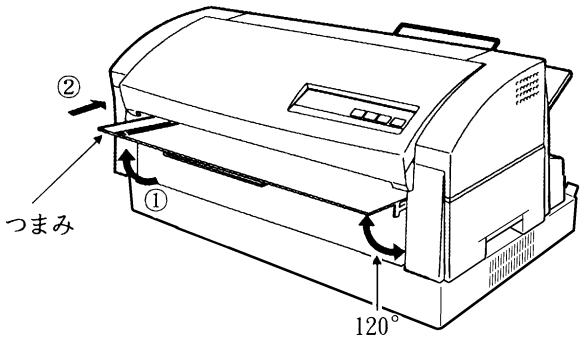
2)　操作パネルの「単票」ランプが点灯していることを確認します.「単票」ランプが消えているときは以下の操作を行い,「単票」ランプを点灯させてください.

－　「連帳 1」ランプが点灯しているときは，操作パネルの【用紙選択】スイッチを続けて２回押します.

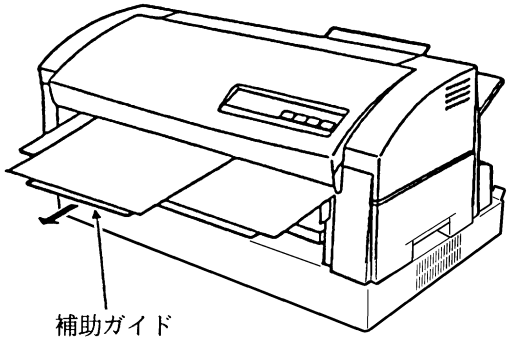
－　「連帳 2」ランプが点灯しているときは，操作パネルの【用紙選択】スイッチを 1 回押します.



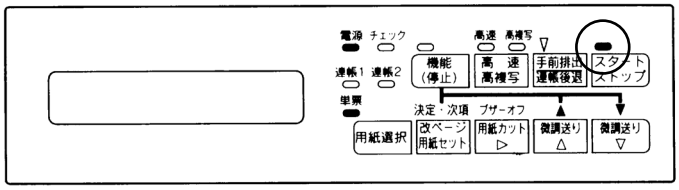
3)　手挿入天板のつまみを持って上方に約 120° 回転させ（①），向う側へ押し込むようにした後（②），水平位置まで降ろします.



4)　長い用紙のときは，手挿入天板の補助ガイドを引き出します.

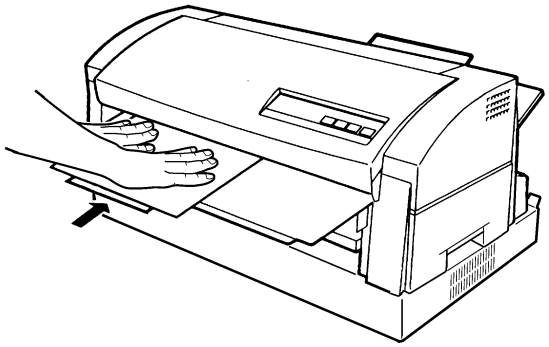


5) 【スタート／ストップ】スイッチを押します.
（操作パネルの「スタート」ランプが点灯します.）
（注意）手挿入天板に排出された用紙がないことを確認してからオンライン状態にしてください.



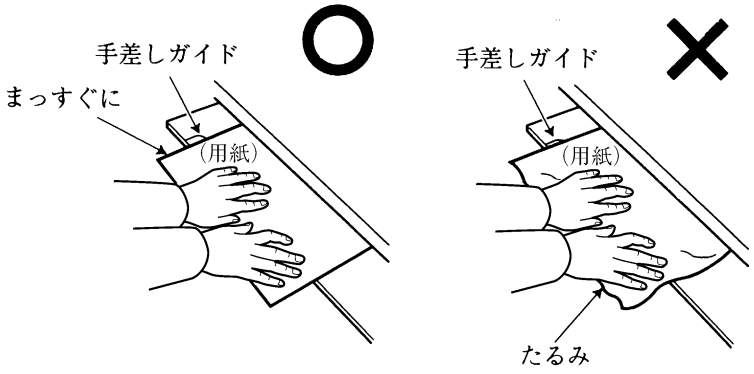
6) 印字データを送ると液晶ディスプレイに“テサシ　ニ　ヨウシ　ヲ　セット”と表示されます.

7) 用紙を手挿入天板上の手差しガイドにそってゆっくりと用紙先端がローラに突きあたるまで押し込みます.



（注意）正しい用紙の押え方

- 用紙は両手で押さえてください.
- 用紙を挿入するときは，用紙がたるんだり，手差しガイドから離れたり，斜めになったりしないようにご注意ください.
- 用紙がたるんだり，手差しガイドから離れたり斜めになったりした場合，用紙が吸入しない場合や，所定の印字位置に印字できない場合があります.
- 用紙が自動的に装置内に送り込まれるまで押さえてください.



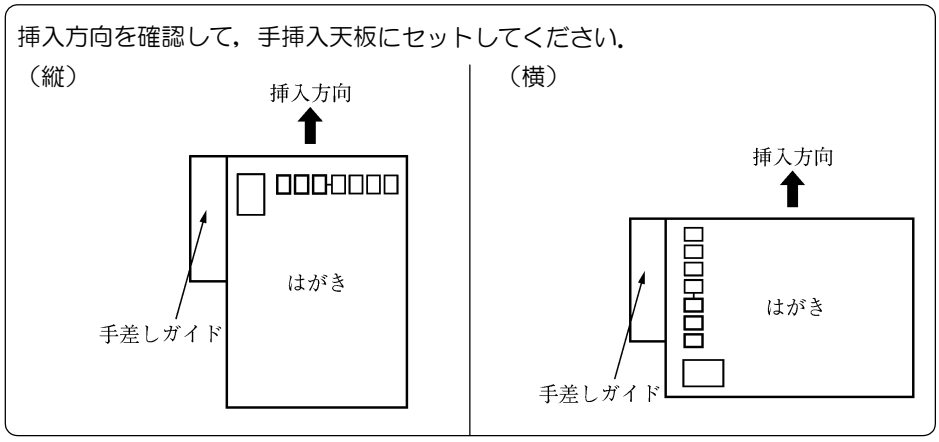
（注意）A3 サイズ用紙への印刷

- スタッカに排出された用紙は 1 枚ごとに取り除いてください.
  連続してスタッカに排出されると，用紙がスタッカから落下するおそれがあります.

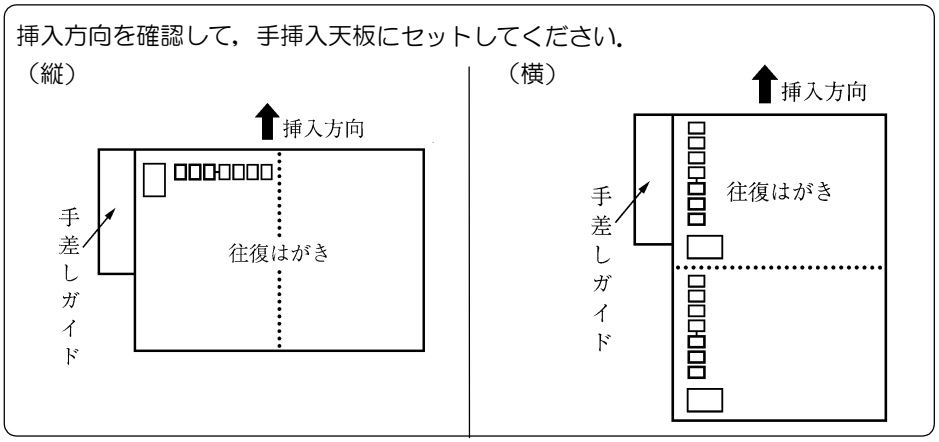
C.　はがき・往復はがき・封筒（手挿入）の場合
挿入方向は，使用するプログラムによって使い分けてください．

●はがき・往復はがき（官製はがき相当）のセット
操作パネルの「単票」ランプが点灯していることを確認します．
挿入方向を確認して，手挿入天板に用紙セットしてください．
手差しガイドとはがきの間に，すき間がないように用紙をセットします．
手差しガイドとはがきとの間にすき間があると，郵便番号が枠からはみ出して，読取り装置で読取りができなくなります．はがきに折り目のついているものや破れたものは使用しないでください．

はがき



往復はがき

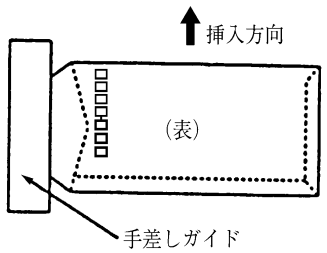


●封筒のセット
操作パネルの「単票」ランプが点灯していることを確認します．手差しガイドと用紙の間にすき間がないようにセットします．

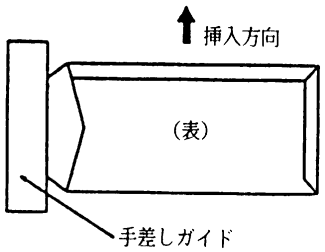
封筒

挿入方向を確認して，手挿入天板にセットしてください．

（表）



（裏）



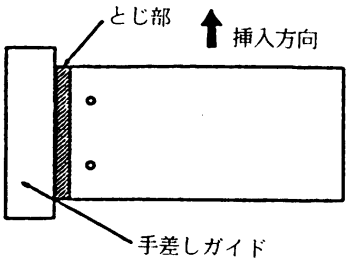
（注意）挿入方向を確認し，正しく入れてください．

手差しガイドと封筒との間にすき間があると，郵便番号が枠からはみ出して，読取り装置での読取りができなくなります．
使用できる封筒の規格については「第６章　用紙仕様および帳票設計」を参照してください．

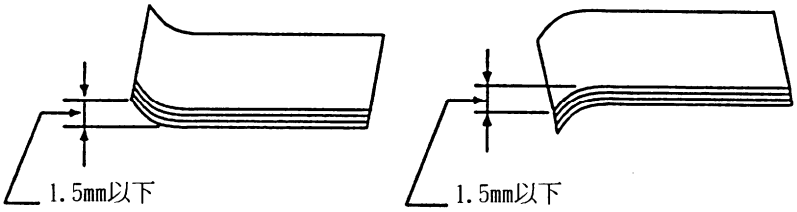
D. 左とじ伝票（手挿入）の場合
左とじ伝票は用紙の挿入方向が決められています．
操作パネルの「単票」ランプが点灯していることを確認します．
挿入方向を確認して，手挿入天板にセットします．
手差しガイドと用紙の間に，すき間がないようにセットします．

左とじ伝票

挿入方向を確認して，手挿入天板にセットしてください



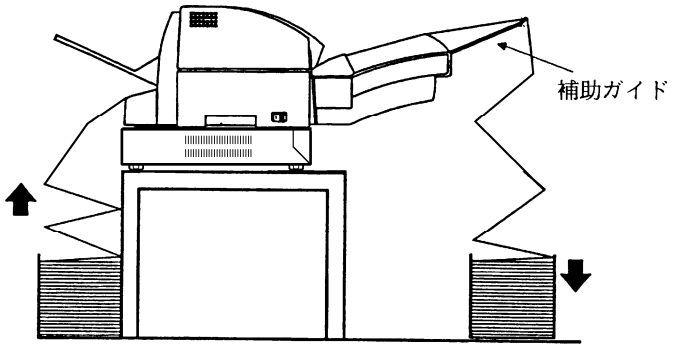
（注意）用紙のカールをまっすぐにしてから取り付けてください．用紙がカールしていると，用紙づまりや用紙が斜めに給紙される原因となります．



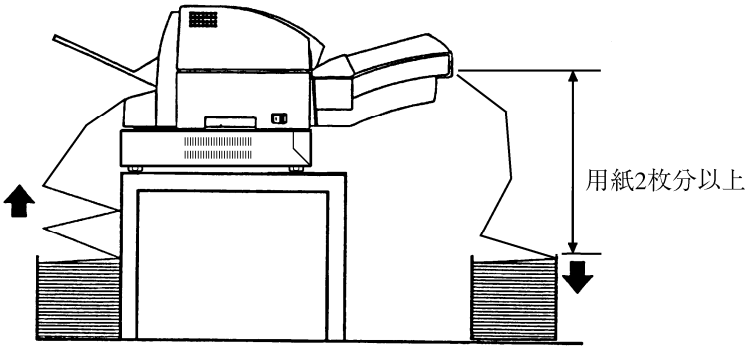
⑵ カットシートフィーダ装着時

A. 連帳用紙の場合

用紙幅が 14 インチを超える場合，ホッパ上で用紙中央部が落ち込んで排出されるため，ホッパの補助ガイドを引き出してください．

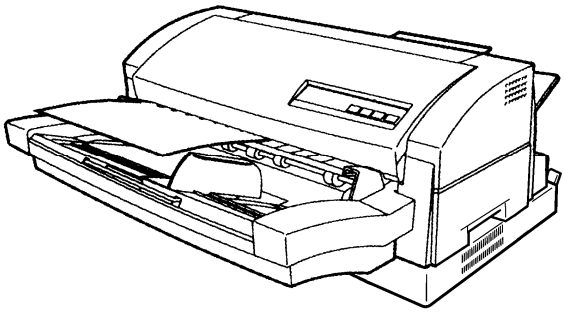


連帳用紙出口の設置の高さと，印刷済用紙の高さの差は用紙 2 枚分以上必要です．

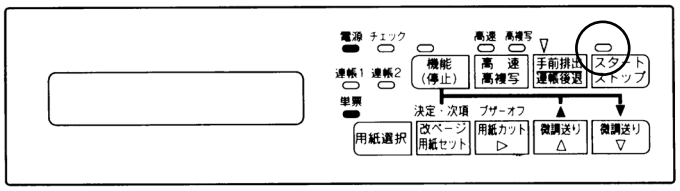


用紙の取り付け方は，「⑴　標準形態　A. 連帳用紙の場合」を参照してください．

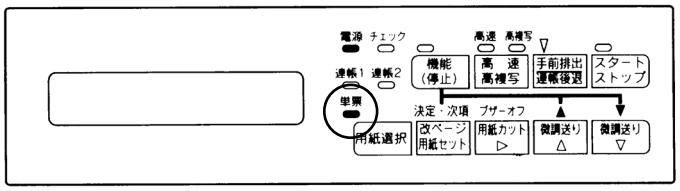
B. 単票用紙（手挿入）の場合



1) 操作パネルの「スタート」ランプが消灯していることを確認します.
点灯しているときは,【スタート／ストップ】スイッチを押して消灯します.



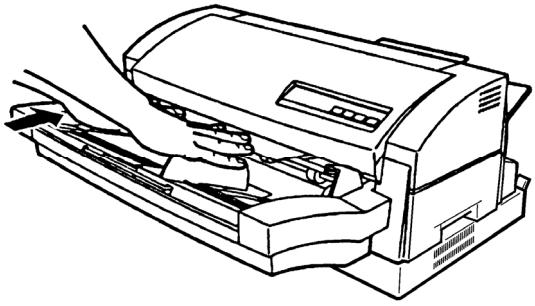
2) 操作パネルの「単票」ランプが点灯していることを確認します.
「単票」ランプが消灯しているときは【用紙選択】スイッチを押して,「単票」ランプを点灯させてください.



3) 【スタート／ストップ】スイッチを押して，操作パネルの「スタート」ランプを点灯させます.

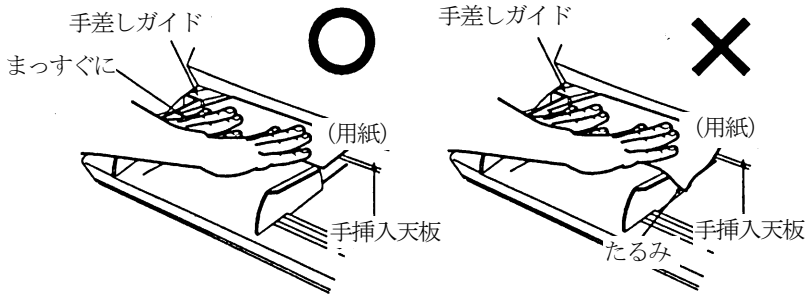
4) 印字データを送ると液晶ディスプレイに“テサシ　ニ　ヨウシ　ヲ　セット”と表示されます.

5) 用紙をカットシートフィーダの手差しガイドにそってゆっくりと用紙先端がローラに突きあたるまで押し込みます.



（注意）正しい用紙の押え方

- 用紙は両手で押えて挿入してください.
- 用紙を挿入するときは，用紙がたるんだり，手差しガイドから離れたり，斜めになったりしないようにご注意ください.
- 用紙がたるんだり，手差しガイドから離れたり斜めになったりした場合，用紙が吸入しない場合や，所定の印字位置に印字できない場合があります.
- 用紙が自動的に装置内に送り込まれるまで押さえてください.



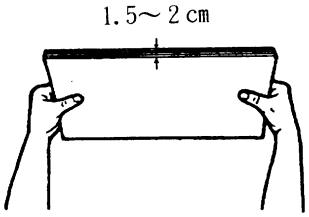
（注意）A3 サイズ用紙への印刷

- スタッカに排出された用紙は 1 枚ごとに取り除いてください.
  連続してスタッカに排出されると，用紙がスタッカから落下するおそれがあります.

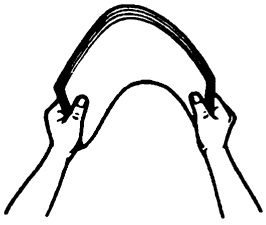
C. 用紙のさばき方

単票用紙は，ダブルフィールド（2～3 枚の用紙を同時に給紙してしまうミス）を防ぐために，用紙の取付けを行う前に以下の要領で用紙をさばいてください.

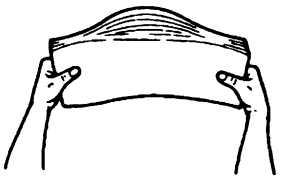
1） 両手で用紙を持ちます.



2） 用紙を湾曲させます.



3) そのまま湾曲を元に戻します.

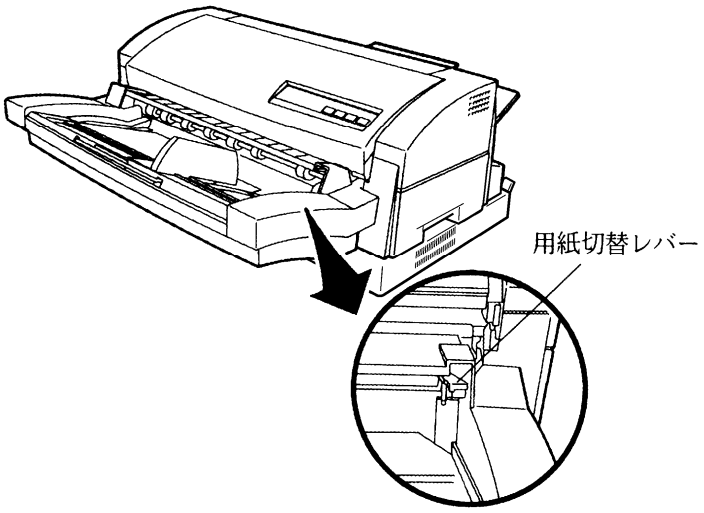


（用紙間に空気が入ります。）

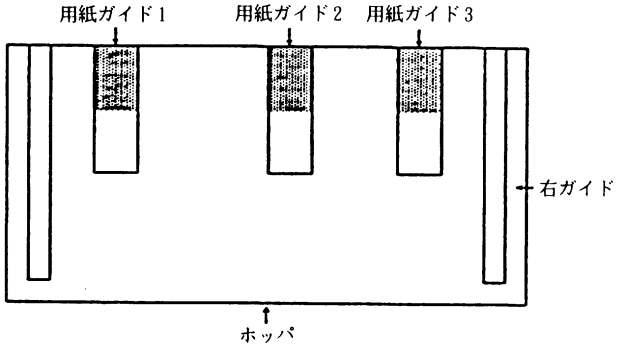
4) 1)～3)を２，３回繰り返します.

D. 単票用紙（自動給紙）の場合

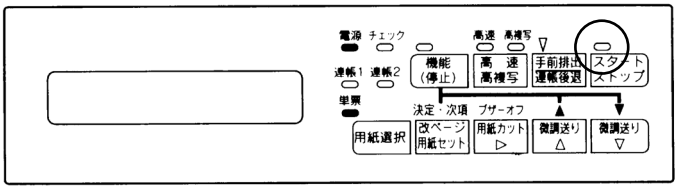
1) 用紙切替レバー（白色）が上がっていることを確認します.



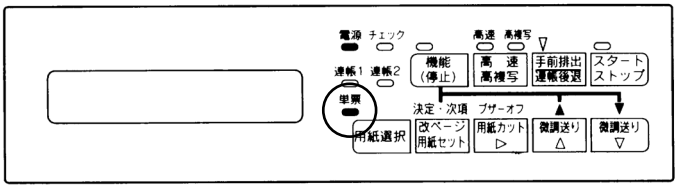
2) ホッパ上にある用紙ガイドがすべて向う側（プリンタ側）に倒れていることを確認します.



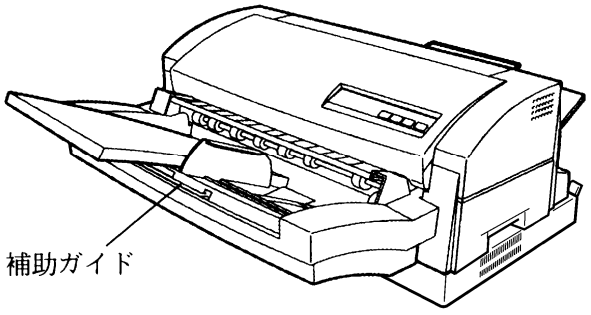
3) 操作パネルのスタートランプが消灯していることを確認します.
点灯しているときは,【スタート／ストップ】スイッチを押して消灯します.



4) 操作パネルの「単票」ランプが点灯していることを確認します.「単票」ランプが消灯しているときは以下の操作を行い,「単票」ランプを点灯させてください.
- 「連帳 1」ランプが点灯しているときは, 操作パネルの【用紙選択】スイッチを続けて２回押します.
- 「連帳 2」ランプが点灯しているときは, 操作パネルの【用紙選択】スイッチを 1 回押します.



5) よくさばいた紙をホッパの上に置きます.
用紙が大きい場合は補助ガイドを引き出してください.



（注意）・ホッパへは右ガイド内側の上側マーク以上に用紙を積まないでください. 枚数の目安は, 連量 55kg の用紙（四六判用紙 1,000 枚で 55kg の重さ）で約 300 枚です.
- カール, しわ, 折れ, 破れなどがある用紙は使用しないでください. また, やむを得ずカールした用紙を使用する場合はカールをまっすぐにして, ホッパへ積む量を少なめにしてください.
- 一度に取り付ける用紙はサイズが同じものにしてください（違うサイズが混在すると, ダブルフィードや給紙ミスを起こすおそれがあります）.
- 一度に取り付ける用紙は厚さが同じものにしてください（1 枚目の用紙で厚さを自動判定します）. 処理が終了して次の用紙を取り付けるときは, いったん【スタート／ストップ】スイッチを押してオフライン状態にした後, 用紙をセットし, 再度【スタート／ストップ】スイッチを押してください.
- 用紙は継ぎ足さないでください. 断層ができ, ダブルフィードの原因になります.

新しい用紙を使用する場合は，用紙をよくさばいてください．

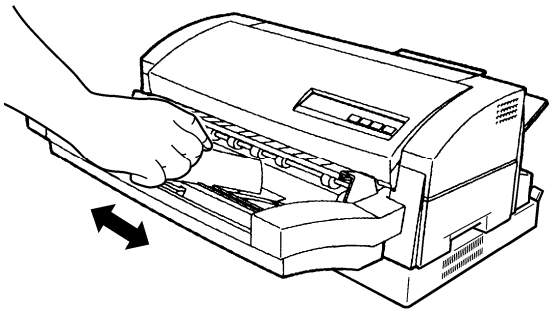
・A3 サイズの用紙を縦にセットする場合には，下記内容を注意願います．

①手挿入で処理するか，または，自動給紙する場合は，1 枚ずつホッパに用紙をセットしてください．
用紙をホッパに積んで連続処理させると用紙が手前にずれてきて，給紙しない場合があります．

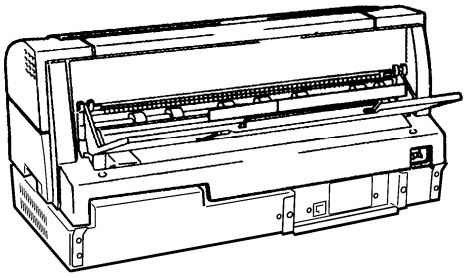
②スタッカに排出された用紙は，1 枚ずつ取り出してください．
用紙がスタッカに連続して排出されると，用紙が後方にずれてきて，スタッカから落ちる場合があります．

6) 右ガイドは用紙の右端に軽く触れる位置に合わせます．
右ガイドは手前の方を持って移動します．

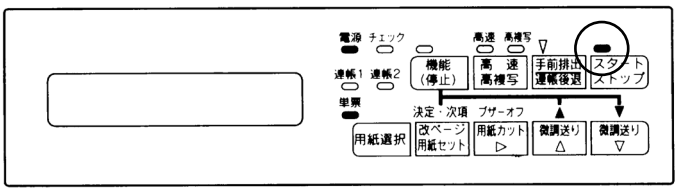
（注意）右ガイドと用紙の間にすき間がないように用紙をセットしてください．



（注意）スタッカに排出された用紙は適宜取り出してください．スタッカの容量はホッパ最大積載量の半分程度です．スタッカにたくさん積むと用紙が出にくくなり，用紙づまりの原因になります．



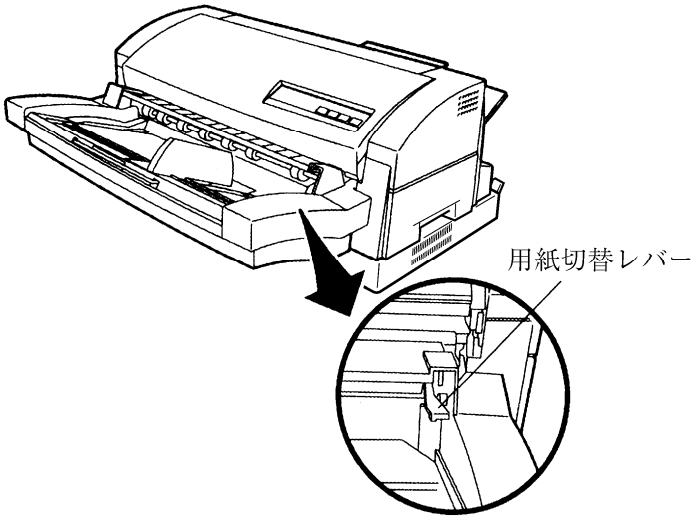
7) 【スタート／ストップ】スイッチを押します．
操作パネルの「スタート」ランプが点灯したらセット完了です．



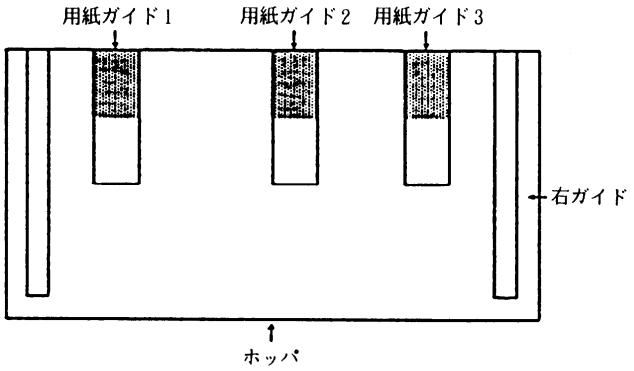
E.　はがき，往復はがき，封筒（自動給紙）の場合
挿入方向は，使用するプログラムによって使い分けてください．
はがきをよくさばいてセットしてください．

●はがきの場合

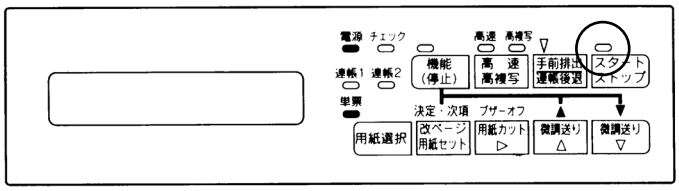
1)　用紙切替レバー（白色）が上がっていることを確認します．



2)　ホッパ上にある用紙ガイドがすべて向う側（プリンタ側）に倒れていることを確認します．



3)　操作パネルのスタートランプが消灯していることを確認します．
点灯しているときは，【スタート／ストップ】スイッチを押して消灯します．

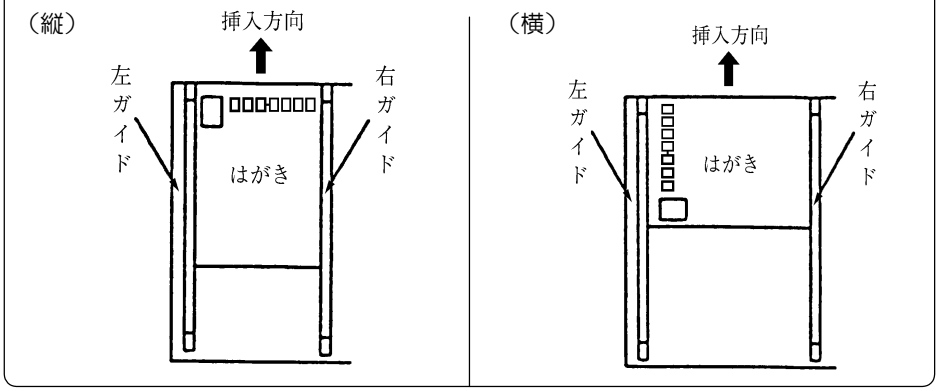


4) 操作パネルの「単票」ランプが点灯していることを確認します．「単票」ランプが消灯しているときは以下の操作を行い，「単票」ランプを点灯させてください．

- 「連帳 1」ランプが点灯しているときは，操作パネルの【用紙選択】スイッチを続けて２回押します．
- 「連帳 2」ランプが点灯しているときは，操作パネルの【用紙選択】スイッチを１回押します．

5) 用紙をセットします．

挿入方向を確認して，ホッパにセットしてください．

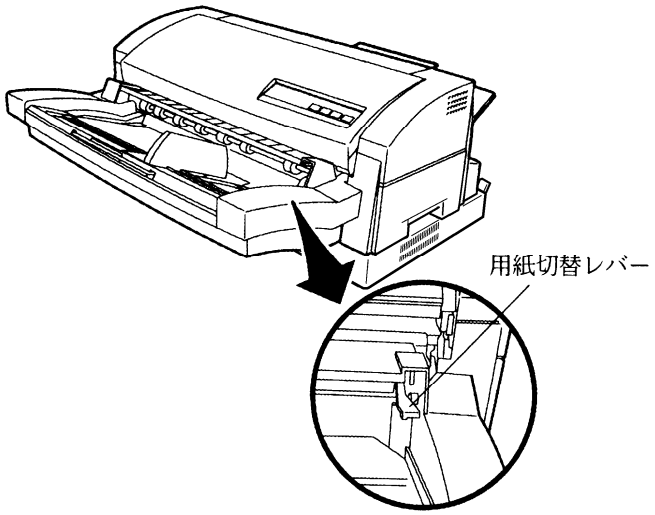


6) 【スタート／ストップ】スイッチを押します．
操作パネルの「スタート」ランプが点灯したらセット完了です．

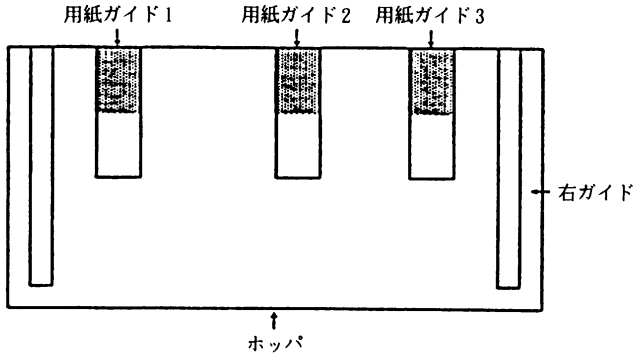
（注意）・ホッパへは右ガイド内側の上側マーク以上に用紙を積まないでください．枚数の目安は連量 165kg（四六判用紙 1,000 枚で 165kg の重さ）のハガキで約 100 枚です．
・カール，しわ，折れ，破れなどがある用紙は使用しないでください．また，やむを得ずカールした用紙を使用する場合はカールをまっすぐにして，ホッパへ積む量を少なめにしてください．
・はがきに折り目のついているものや，破れているものは使用しないでください．
・右ガイドとはがきとの間にすき間があると郵便番号が枠からはみ出して，郵便番号読取り装置での読取りができなくなります．
・使用できるはがきの規格については，「第６章　用紙仕様および帳票設計」を参照してください．

●往復はがきの場合

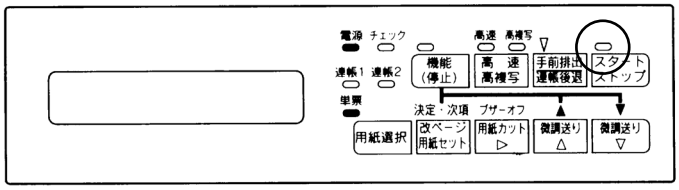
1) 用紙切替レバー（白色）が上がっていることを確認します.



2) ホッパ上にある用紙ガイドがすべて向う側（プリンタ側）に倒れていることを確認します.



3) 操作パネルのスタートランプが消灯していることを確認します.
点灯しているときは,【スタート／ストップ】スイッチを押して消灯します.

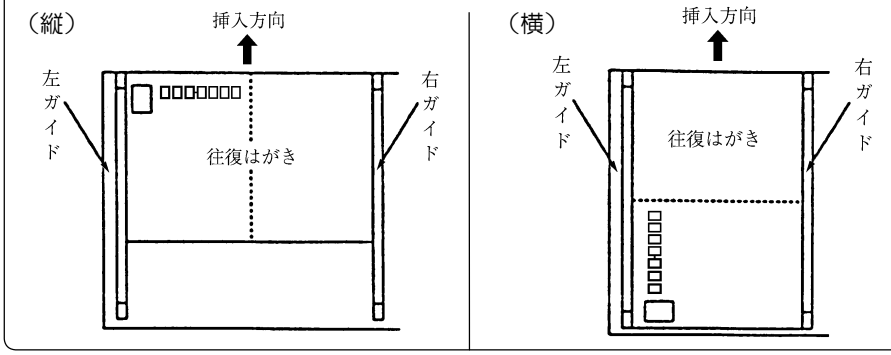


4) 操作パネルの「単票」ランプが点灯していることを確認します.「単票」ランプが消灯しているときは以下の操作を行い,「単票」ランプを点灯させてください.

- 「連帳 1」ランプが点灯しているときは，操作パネルの【用紙選択】スイッチを続けて 2 回押します.
- 「連帳 2」ランプが点灯しているときは，操作パネルの【用紙選択】スイッチを 1 回押します.

5) 用紙をセットします.

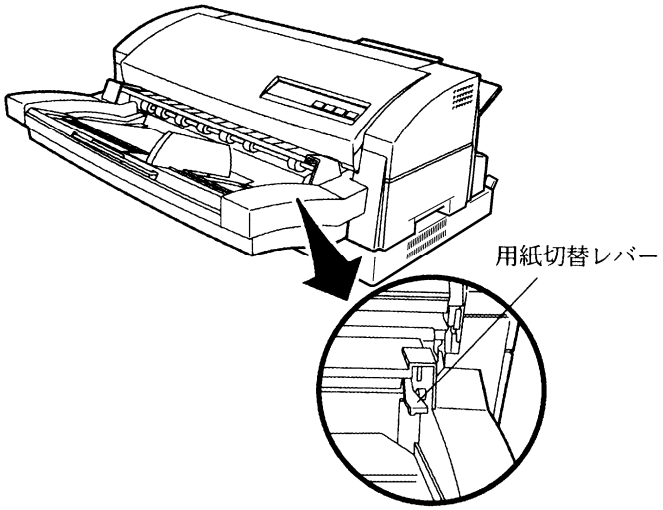
挿入方向を確認して，ホッパにセットしてください.



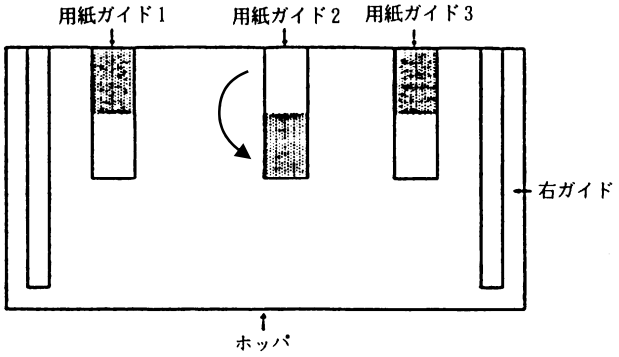
6) 【スタート／ストップ】スイッチを押します.
操作パネルの「スタート」ランプが点灯したらセット完了です.

（注意）・ホッパへは右ガイド内側の上側マーク以上に用紙を積まないでください. 枚数の目安は連量 165kg（四六判用紙 1,000 枚で 165kg の重さ）のハガキで約 100 枚です.
・カール，しわ，折れ，破れなどがある用紙は使用しないでください. また，やむを得ずカールした用紙を使用する場合はカールをまっすぐにして，ホッパへ積む量を少なめにしてください.
・はがきに折り目のついているものや，破れているものは使用しないでください.
・右ガイドとはがきとの間にすき間があると郵便番号が枠からはみ出して，郵便番号読取り装置での読取りができなくなります.
・使用できるはがきの規格については，「第６章　用紙仕様および帳票設計」を参照してください.

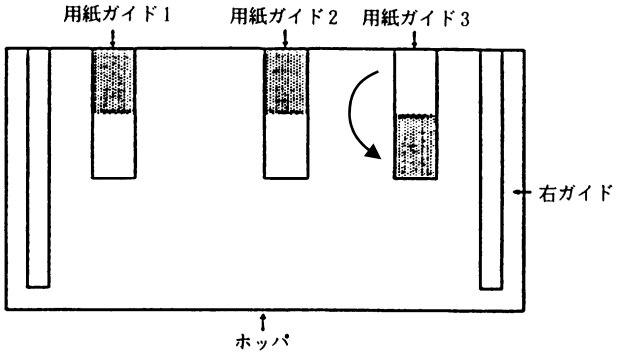
●封筒の場合
封筒をよくさばいてセットしてください.
1) 用紙切替レバー（白色）が上がっていることを確認します.



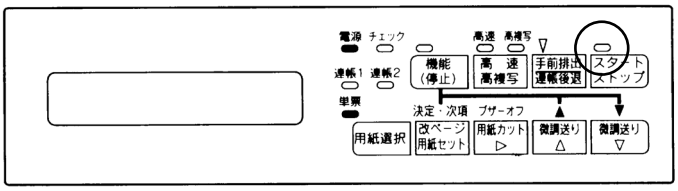
2) ホッパ上にある用紙ガイドが以下のようになっていることを確認します.
長形：用紙ガイド２が手前側に倒れていることを確認します（用紙ガイド 1，３は向う側（プリンタ側）に倒れていることを確認します).



角形：用紙ガイド３が手前側に倒れていることを確認します（用紙ガイド 1，２は向う側（プリンタ側）に倒れていることを確認します).



3) 操作パネルのスタートランプが消灯していることを確認します.
点灯しているときは,【スタート／ストップ】スイッチを押して消灯します.



4) 操作パネルの「単票」ランプが点灯していることを確認します.「単票」ランプが消灯しているときは以下の操作を行い,「単票」ランプを点灯させてください.

- 「連帳 1」ランプが点灯しているときは，操作パネルの【用紙選択】スイッチを続けて２回押します.
- 「連帳 2」ランプが点灯しているときは，操作パネルの【用紙選択】スイッチを１回押します.

5) 封筒をセットします.

（注意）・ホッパへは右ガイド内側の下側マーク以上に封筒を積まないでください.

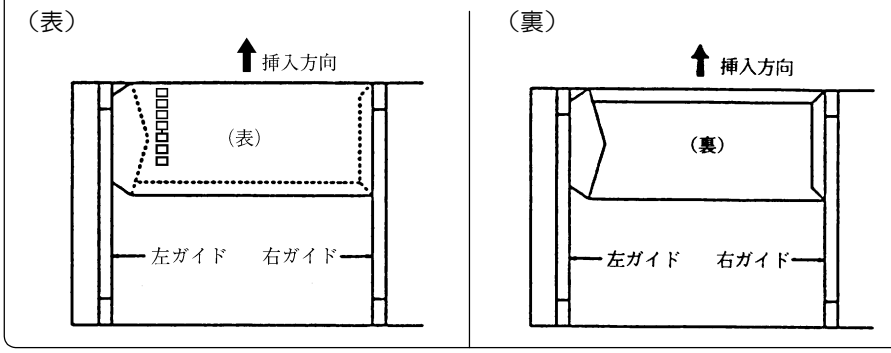
・カール，しわ，折れ，破れなどがある封筒は使用しないでください．また，やむを得ずカールした封筒を使用する場合はカールをまっすぐにして，ホッパへ積む量を少なめにしてください.

・一度にセットする封筒はサイズが同じものにしてください（違うサイズの封筒が混在するとダブルフィードや給紙ミスを起こすおそれがあります）.

・一度にセットする封筒は厚さが同じものにしてください（1 枚目の封筒で厚さを自動判定します）．処理が終了して次の封筒をセットするときは，いったん【スタート／ストップ】スイッチを押してオフライン状態にした後，封筒をセットし，再度【スタート／ストップ】スイッチを押してください.

・封筒は継ぎ足さないでください．断層ができ，ダブルフィードの原因になります．新しい封筒を使用する場合は，封筒をよくさばいてください.

挿入方向を確認して，ホッパにセットしてください.



6) 【スタート／ストップ】スイッチを押します.

操作パネルの「スタート」ランプが点灯したらセット完了です.

（注意）・封筒に折り目のついているものや，破れているものは使用しないでください.

・右ガイドと封筒との間にすき間があると郵便番号が枠からはみ出して，郵便番号読取り装置での読取りができなくなります.

・使用できる封筒の規格については，「第６章　用紙仕様および帳票設計」を参照してください.

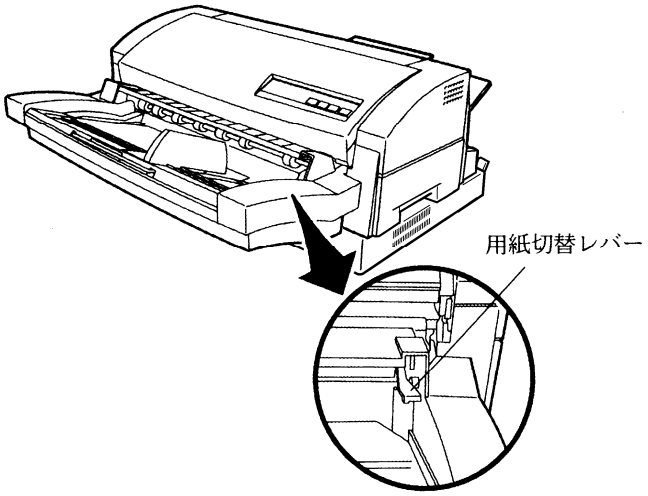
・封筒を印刷するとき，給紙ミスや印刷の傾きが発生する場合は用紙切替レバーを下げてお使いください．ただし，ダブルフィードが発生する場合があります.

F.　左とじ伝票（自動給紙）の場合

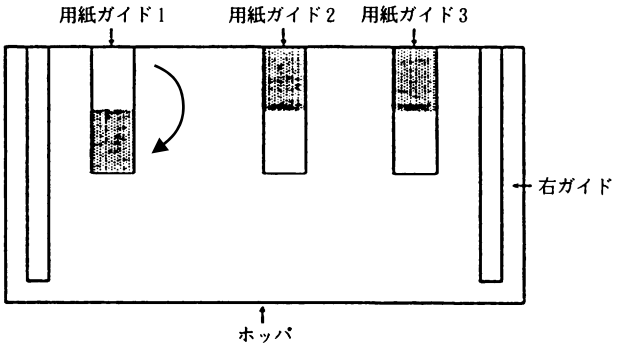
左とじ伝票の場合，挿入方向が決められています．

左とじ伝票をよくさばいてセットしてください．

1)　用紙切替レバー（白色）が下がっていることを確認します．



2)　ホッパ上にある用紙ガイド 1 が手前（プリンタ側）に倒れていることを確認します（用紙ガイド 2，3 は向う側（プリンタ側）に倒れていることを確認します）．



3)　操作パネルの「単票」ランプが点灯していることを確認します．「単票」ランプが消灯しているときは以下の操作を行い，「単票」ランプを点灯させてください．

－　「連帳 1」ランプが点灯しているときは，操作パネルの【用紙選択】スイッチを続けて 2 回押します．

－　「連帳 2」ランプが点灯しているときは，操作パネルの【用紙選択】スイッチを 1 回押します．

4)　用紙をセットします．

（注意）・ホッパへは右ガイド内側の下側マーク以上に用紙を積まないでください．

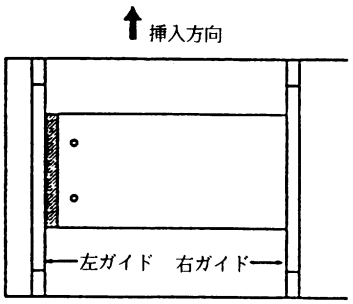
・カール，しわ，折れ，破れなどがある用紙は使用しないでください．また，やむを得ずカールした用紙を使用する場合はカールをまっすぐにして，ホッパへ積む量を少なめにしてください．

・一度にセットする用紙はサイズが同じものにしてください（違うサイズの用紙が混在するとダブルフィードや給紙ミスを起こすおそれがあります）．

・一度にセットする用紙は厚さが同じものにしてください（1 枚目の用紙で厚さを自動判定します）．処理が終了して次の用紙をセットするときは，いったん【スタート／ストップ】スイッチを押してオフライン状態にした後，用紙をセットし，再度

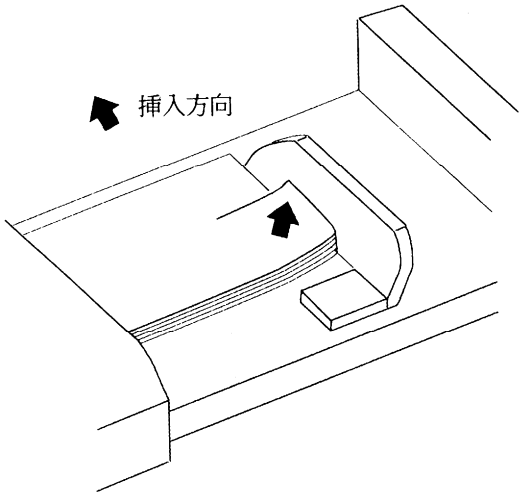
【スタート／ストップ】スイッチを押してください.
・用紙は継ぎ足さないでください. 断層ができ，ダブルフィードの原因になります. 新しい用紙を使用する場合は，用紙をよくさばいてください.

挿入方向を確認して，ホッパにセットしてください.



5) 【スタート／ストップ】スイッチを押します.
操作パネルの「スタート」ランプが点灯したらセット完了です.

（注意）・用紙のカールをまっすぐにしてからセットしてください. 用紙がカールしていると，用紙づまりや用紙が斜めに給紙される原因となります.
・右ガイドは用紙右端に軽く触れる位置に合わせてください. 必要以上に押し付けると，用紙の端がローラの端と干渉し，用紙づまりや用紙が斜めに給紙される原因となります.
・用紙右端に切れ目の入った左とじ伝票を使用するときは，下図のように用紙の切れ目を挟んで，挿入方向と逆側の部分が挿入方向の部分よりも上に来るように少し曲げてから使用してください.



⑶ セカンドトラクタ装着時

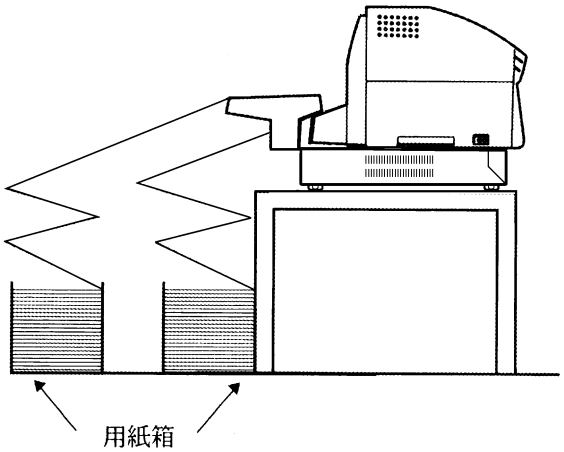
●連帳用紙の取付け方

1) 操作パネルの「スタート」ランプが消灯していることを確認します.
点灯しているときは，【スタート／ストップ】スイッチを押して消灯してください.

2) 用紙を取り付けます. 用紙の取付け方は，「(1) 標準形態 A.連帳用紙の場合」を参照してください.

3) 操作パネルの「連帳 2」ランプが点灯していることを確認します．「連帳 2」ランプが点灯していないときは以下の操作を行い，「連帳 2」ランプを点灯させてください．
   ― 「単票」ランプが点灯しているときは，操作パネルの【用紙選択】スイッチを続けて 2 回押します．
   ― 「連帳 1」ランプが点灯しているときは，操作パネルの【用紙選択】スイッチを 1 回押します．

（注意）・セカンドトラクタで使用する用紙箱は，プリンタ本体側の標準トラクタで使用する用紙の用紙箱の後方に置きます．



・プリンタ本体側の標準トラクタに連帳用紙をセットするときはセカンドトラクタを外した後，セットしてください．

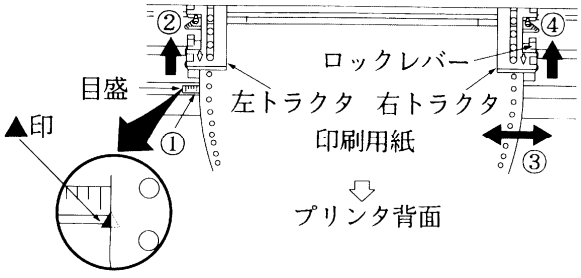
4) 操作パネルの【スタート／ストップ】スイッチを押して，オンライン状態にします．
   オンライン状態では，「スタート」ランプが点灯します．

3.6.2　用紙の印刷位置合わせ

連帳用紙はセットの後，正しい印刷位置にない場合は，位置合わせが必要です．

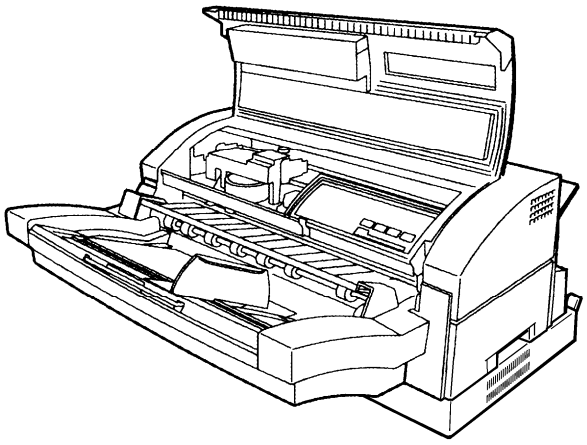
●左右合わせ

1) 操作パネルの「スタート」ランプが消えている状態で【用紙後退】スイッチを押します．（用紙が後退します．）
2) ロックレバーを背面側に倒して，トラクタをフリー状態にします．
3) 印刷位置の左右合わせは，目盛り（①）を目安にトラクタを左右に微調整（③）して行ってください．

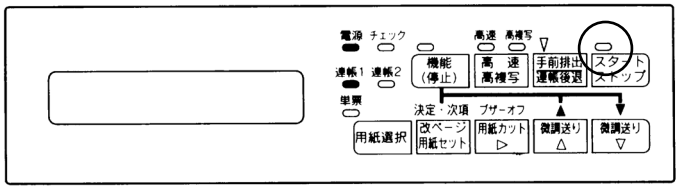


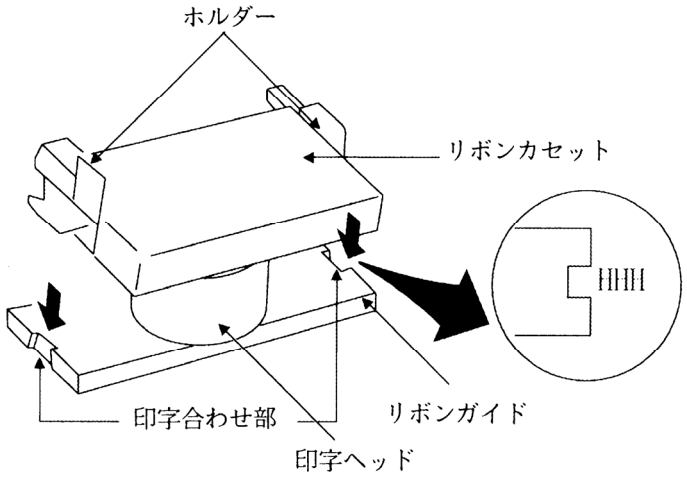
4) ロックレバーを奥に倒して，トラクタを固定します．（②，④）
5) 【用紙セット】スイッチを押します．
（用紙が手前に送られます．）

●行合わせ
1) 操作パネルの「スタート」ランプが消灯していることを確認します．
2) トップカバーを開けます．



3)　【微調送り】スイッチを押して，リボンガイドの印字合わせ部の中に開始行がくるように印刷位置を合わせます．





備考.　【微調送り△】スイッチは 1/120 インチ背面方向（向う側）へ，【微調送り▽】スイッチは 1/120 インチ前面方向（手前）へ，微調整ができます．【微調送り▽】スイッチは押し続けると，連続して進みます．

（注意）行合わせのときは，【微調送り△】スイッチを押して用紙を多めに背面方向（向う側）へ戻してから，【微調送り▽】スイッチを押して少しずつ前面方向（手前）に送りながら合わせてください．向う側へ戻しながら合わせると用紙がたるみ，トラクタピンや紙送り機構のあそびができ，きれいに取り付けできない場合があります．印字ヘッド部が用紙の上にないときは，リボンカセットの外側についているホルダーを持って用紙上面まで移動させてください．

3.6.3　用紙の取り外し方

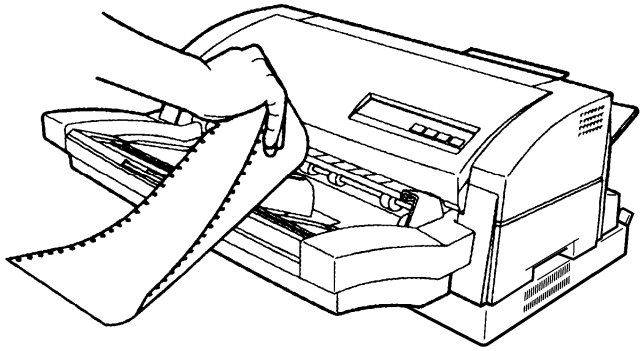
(1) 連帳用紙の場合

〈用紙カット方法〉（「スタート」ランプが消灯しているときに使用できます．）
用紙を切るとき，「用紙カット機能」を使うことができます．「用紙カット機能」を使うと用紙を切り取った後，スイッチ 1 つで自動的に用紙が印刷位置まで戻るので用紙がムダになりません．

1)　操作パネルの「スタート」ランプが消灯していることを確認します．
　　点灯しているときは【スタート／ストップ】スイッチを押して消灯してください．

2)　【用紙カット】スイッチを押します．

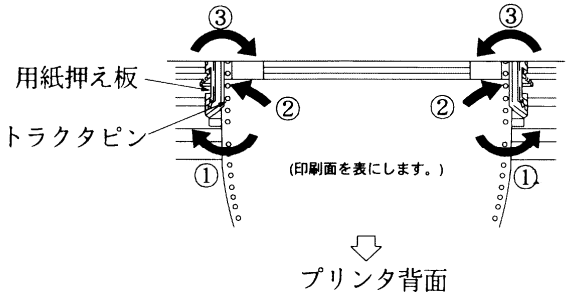
3) ミシン目で用紙をめくるようにカットします.



4) 【用紙カット】スイッチを押します.
用紙を取り外すには，続けて次の操作を行います.

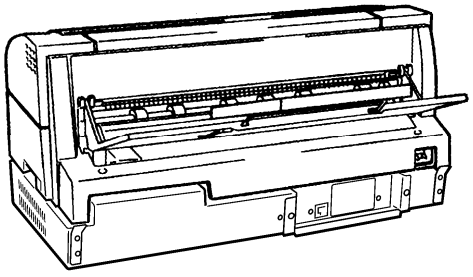
5) 【連帳後退】スイッチを押します.
用紙がトラクタセット位置に後退します.
なお，単票処理に切り替える場合は，操作パネルの【用紙選択】スイッチを１回もしくは２回押し，「単票」ランプを点灯させてください.

6) 左右のトラクタの用紙押え板を開き（①），用紙を取り外し（②），用紙押え板を閉じます（③）.



⑵ 単票用紙の場合
単票用紙は印刷が終わると，自動的に排出します．用紙が排出されないときは，「5.3 用紙づまり」を参照してください.

（注意）スタッカに排出された用紙は適宜取り出してください．スタッカの容量はホッパ最大積載量の半分程度です．スタッカにたくさん積むと用紙が出にくくなり，用紙つまりの原因になります.



3.6.4　連帳用紙と単票用紙を交互に使うには

連帳用紙をトラクタにセットしたままで，単票用紙のセットが可能です．【用紙選択】スイッチを押して，交互に切替えて使用してください．

⑴ 連帳用紙から単票用紙に切り替える場合

1) 操作パネルの「スタート」ランプが消灯していることを確認します．
点灯しているときは，【スタート／ストップ】スイッチを押して消灯させてください．

2) 【連帳後退】スイッチを押して，トラクタ位置まで連帳用紙を退避させます．

3) 操作パネルの「単票」ランプが点灯していることを確認します．
「単票」ランプが消灯しているとき，【用紙選択】スイッチを押して「単票」ランプを点灯させてください．

4) 単票用紙をセットします．（「3.6.1 用紙の取り付け方」参照）

⑵ 単票用紙から連帳用紙に切り替える場合

1) 操作パネルの「スタート」ランプが消灯していることを確認します．
点灯しているときは，【スタート／ストップ】スイッチを押して消灯させてください．

2) 単票用紙が排出されずに，装置内に残っているときは【改ページ】スイッチを押して，用紙を排出します．

3) 連帳用紙を取り付けます．（「3.6.1 用紙の取り付け方」参照）

第 4 章　消耗品の交換

本章では，リボンカセットの交換について説明します．

4.1　リボンカセットの交換

印字がうすくなったら，リボンカセットの取り替え時期です．

（注意）リボンカセットは必ず純正品をご使用ください．純正品以外のものを使用すると，リボンがうまく動かなかったり，印字品質不良，印字ヘッドの寿命が短くなるなどの障害となります．
富士通コワーコ㈱よりサプライ用品として購入できます．

品　名	商品番号
リボンカセット SDM-10	0325290

1）電源を切ります．

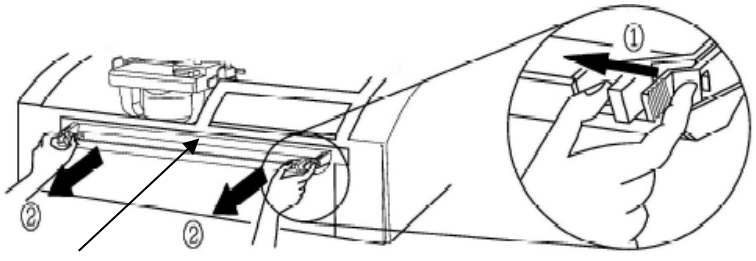
2）トップカバーを開きます．

⚠ 注意

高温注意

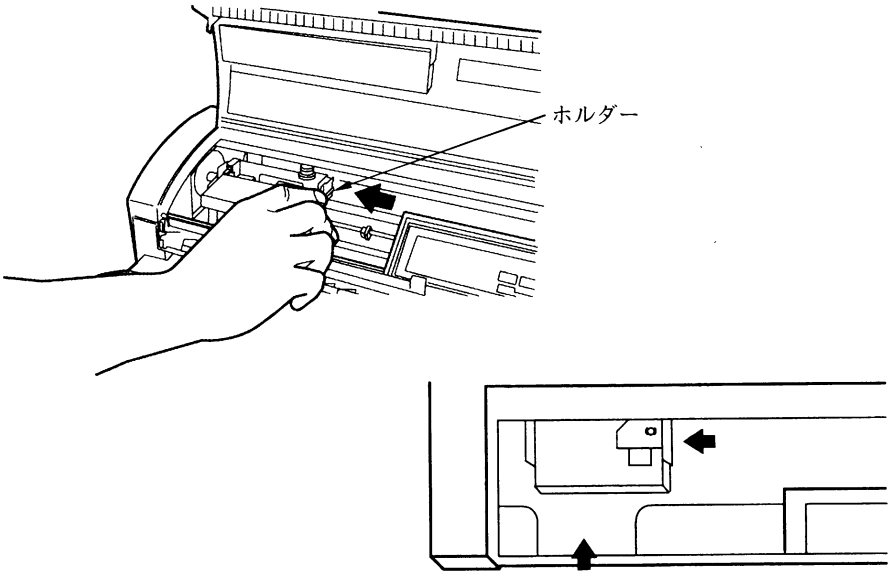
●印字ヘッドや金属部に触れないでください．
高温になっていて火傷のおそれがあります．

3）前用紙ガイドの左右のレバーを持って手前に引き出します．
（注意）前用紙ガイドは左右のレバーをつまみながら引き出してください．片方だけつまんでも前用紙ガイドは引き出せません．



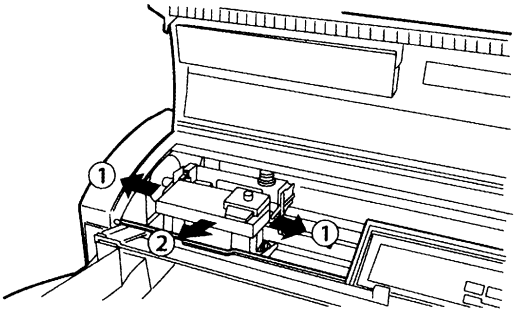
前用紙ガイド

4) 印字ヘッド部のキャリアのホルダーを持って，リボンカセット交換位置（プリンタ前面から見て左側の位置）まで移動します．

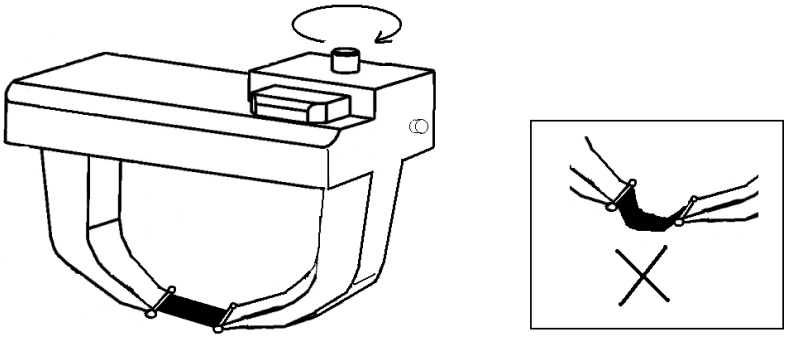


リボンカセット交換位置

5) リボン取付け部の左右のホルダーを広げて，リボンカセットの左右のピンをホルダーの溝から外し（①），古いリボンカセットを斜め上方に持ち上げて取り外します（②）．

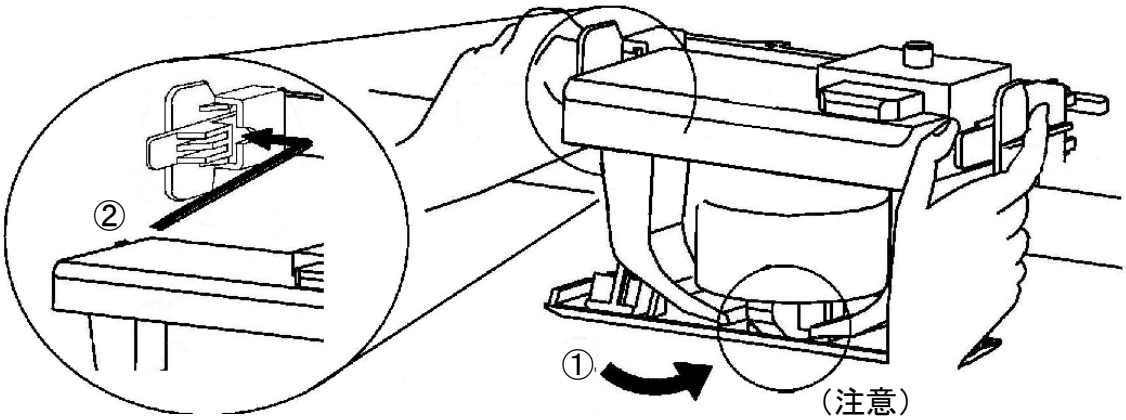


6) 新しいリボンカセットのツマミを矢印方向に回してリボンのたるみを取ります．

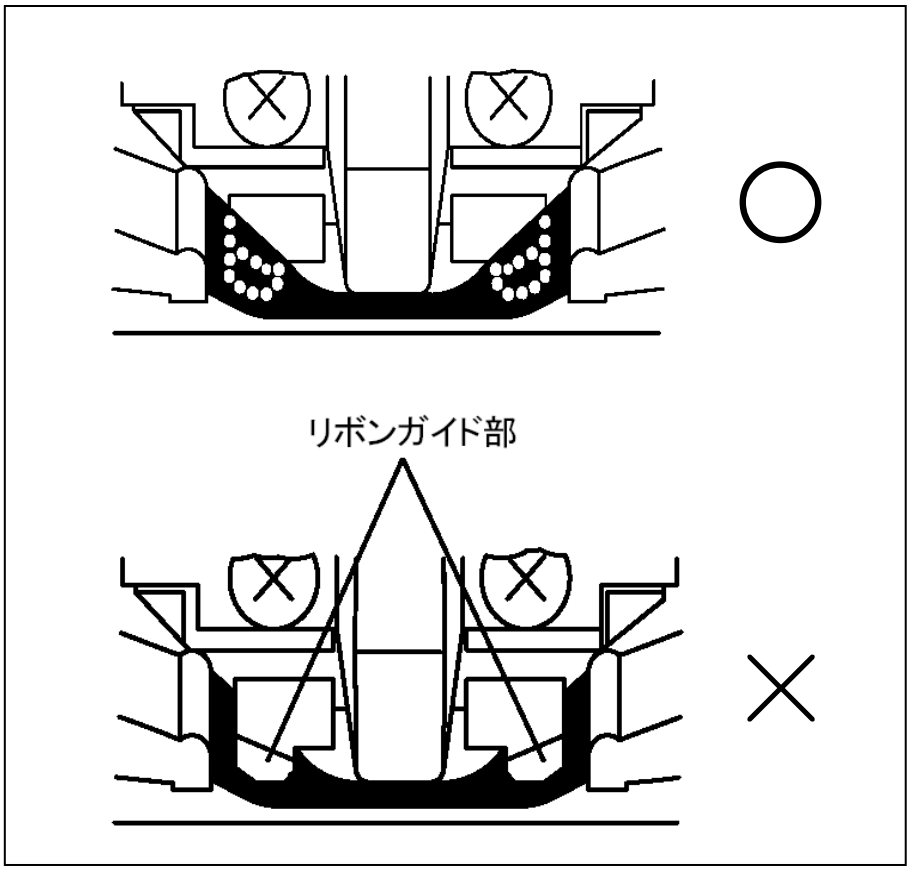


（注意）ツマミを反対方向に回さないでください．リボンカセットやプリンタ装置本体が破損する場合があります．

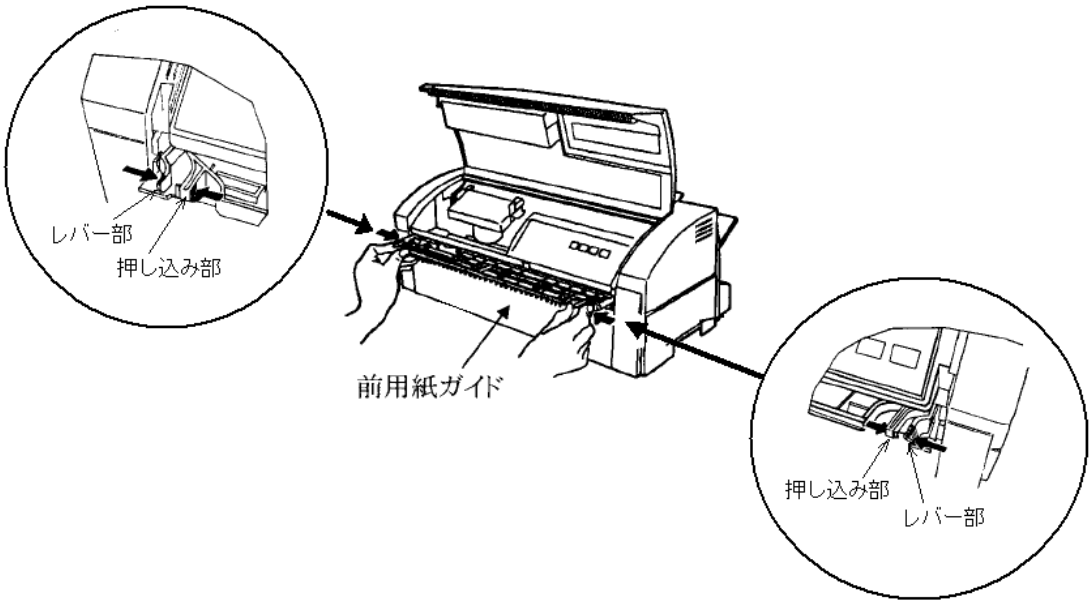
7)　新しいリボンカセットを取り付けます.
リボンカセットを斜め上方から印字ヘッド部に押し込み，印字ヘッドの下にインクリボンを通します（①）．ホルダーの溝部にリボンカセットのピンを合わせ，カセットに押し込みます（②）.

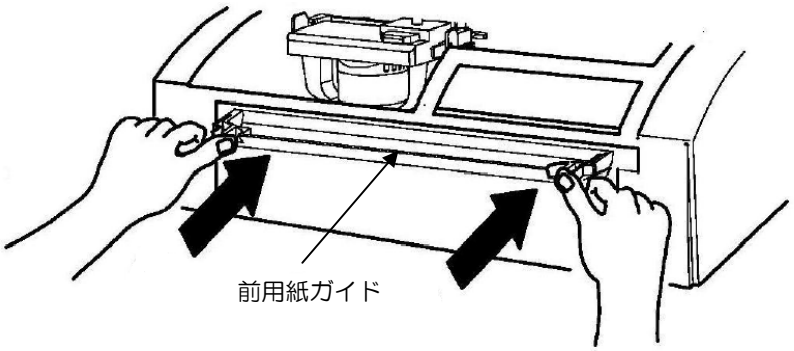


(注意)インクリボンのたるみを取ってからリボンカセットを取り付けますと，通常はリボンガイド部の上をインクリボンが通過するようにセットされます（正常位置）．しかしながらインクリボンがたるんだ状態のままリボンカセットをセットしますと，インクリボンがリボンガイド部の下を通過するようにセットされる場合があります（異常位置）．この場合は，インクリボンの走行に支障が出ますので，インクリボンが正常な位置にセットされていることを確認してください.



8) 前用紙ガイドを取り付けます.
図のように前用紙ガイドの左右のレバーを持ちながら，平行に押し込み，左右レバーの爪状の引っかけ部がカチッと音がして入るまで，押し込み部を押して，確実に押し込みます.
（カチッと音がした状態は，爪状の引っかけ部が規定位置に入りますので，レバー部が外側に開いた状態になります.）
押し込み後，引っ張って外れないことを確認してください.





9) トップカバーを閉めます.

10) 電源を入れます.

（注意）インクリボンの廃棄

使用済の消耗品は，法令・条例に従って産業廃棄物としてお客様にて処分をお願いします．お客様が処理業者に処理を委託する場合で，(財)日本産業廃棄物処理振興センターが発行するマニフェスト伝票（産業廃棄物管理表）への記載が必要となった場合に，下記に本消耗品の種類・特性などを示しますので，伝票記載時の参考にしてください．

消耗品内訳	マニフェスト情報			
名　称	種　類	形　状	重金属等有無	特　性
リボン カセット	廃プラスチック 繊維くず 金属くず	固　形	無　し	ー

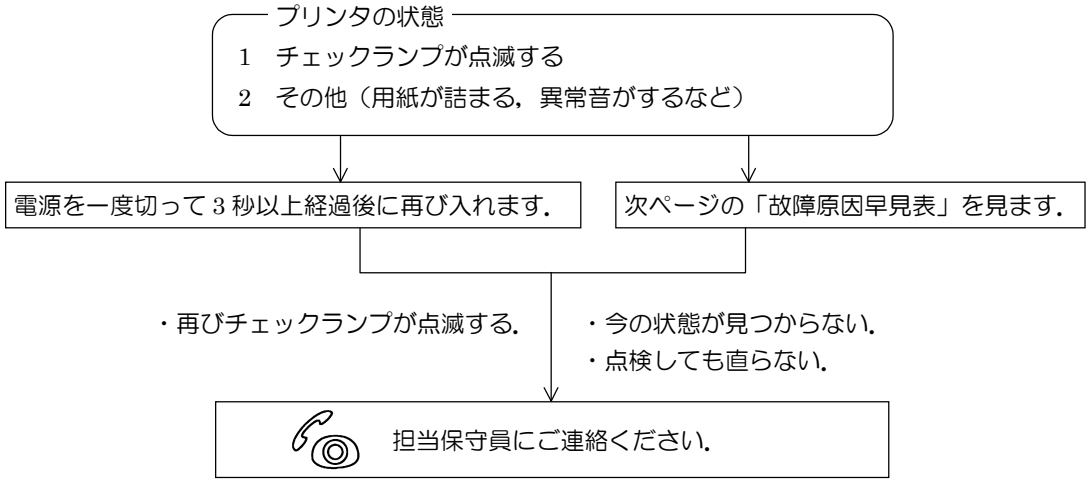
第 5 章　異常発生時の操作

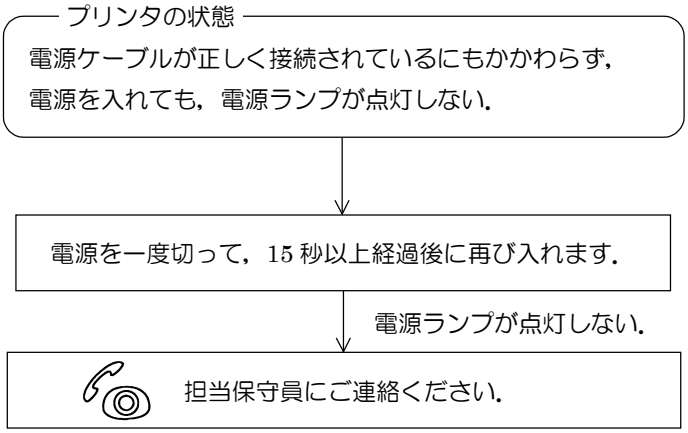
本章では，本装置が故障かなと思ったときの処置および異常メッセージが表示されたときの操作について説明します．

〔注意〕装置に異常が発生し，操作パネルの液晶ディスプレイに異常メッセージが表示されると，用紙の位置がずれている可能性があります．
異常発生後，オンライン状態にする前に，必ず印字開始位置の確認をしてください．

5.1　故障かなと思ったときの処置

「プリンタの状態・音・印刷結果がいつもと違っている」というときがあります．
そんなときの対処方法について説明します．





故障原因早見表

ここをお調べください. / こんなとき	電源プラグが抜けている	メインブレーカが落ちている　停電	リボンカセットが正しくセットされていない	送り穴に正しくセットされていない（連帳用紙）	用紙の置き場所が正しくない	用紙をよくさばいていない	プリンタの内部にゴミなどの異物が入っている	用紙がつまっている	用紙が規格外である	用紙切れである	インクリボンが古い	単票／連帳の設定が違っている	前後用紙ガイドが正しく取り付けられていない	トップカバーが開いている	故障
電源が入らない	○	○													
印字がおかしい			○								○				
用紙が汚れる			○												
用紙送りがおかしい			○	○	○	○			○						
異常音がする							○								
「チェックランプ」が点滅するまたはエラーメッセージを表示する								○		○		○	○	○	○
対策	電源プラグを入れます	メインブレーカを上げます	正しくセットします	正しくセットします	正しくセットします	用紙をよくさばきます	ゴミを取り出します	用紙を取り除きます	規格内の用紙を使用してください	用紙をセットします	リボンカセットを交換します	正しく選択します	用紙ガイドを正しく取り付けます	トップカバーを閉じます	故障連絡を行います

5.2　用紙ぎれ

(1) 表示内容

下記メッセージを表示し，ブザー音を鳴動します．

ER01-01：ヨウシギ゛レ	ER31-01：ヨウシギ゛レ

(2) 復旧操作

a) ブザー音を停止する場合は，【ブザーオフ】スイッチを押下します．

b) “ER01-01”の場合

連帳も単票も以下の操作を行います．

① 【停止】スイッチを押下して，停止状態にします．

② 用紙をセットします．

③ 再度【停止】スイッチを押して，停止状態を解除します．

c) “ER31-01”の場合

連帳の場合，以下の操作を行います．

① 用紙をセットし，オフライン状態にします．

② 【スタート／ストップ】スイッチを押下して，オンライン状態にします．

単票の場合，以下の操作を行います．

① 用紙をセットする．

② 【スタート／ストップ】スイッチを押下して，オフライン状態にします．

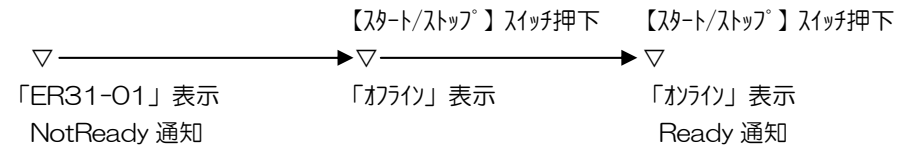
③ 【スタート／ストップ】スイッチを押下して，オンライン状態にします．

注 1)用紙セットの操作方法は，用紙種類や用紙送り方向により異なりますので，「3.6.1 用紙の取り付け方」を参照してください．

注 2)セットアップの「用紙終了時」の設定内容によって，液晶ディスプレイの表示が次ページのように変わります．

ただし，“継続”設定が有効なのはサポートサーバ設定が 6680−NMC, HOSTPRINT で LU タイプ 3 の動作をさせるときのみです．

① “中断”設定時



② “継続”設定時

…… の時間内に用紙セットすれば継続印刷が可能です.

5.3　用紙づまり

⑴ 表示内容

用紙づまりが発生すると，下記メッセージを表示し，「チェック」ランプが点滅してブザー音を鳴動します．

ER10-01：ヨウシヅマリ

⑵ 復旧操作

a) ブザー音を停止する場合は，【ブザーオフ】スイッチを押下します．
b) 5.3.1～4 項を参照して，装置内からつまった用紙を取り除きます．
c) 用紙の位置を確認します．
d) 【スタート／ストップ】スイッチを押下して，オンライン状態にします．

つまった用紙の取り除き方について説明します．

5.3.1　印字ヘッド前側で用紙がつまった場合

1) 電源を切断します．

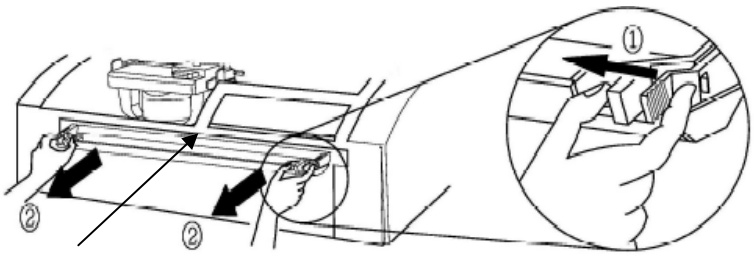
2) トップカバーを開けます．

▲ 注意	高温注意	印字ヘッドや金属部には触れないでください． 高温になっていて火傷のおそれがあります．

（注意）カットシートフィーダ装着時は．カットシートフィーダを取り外してください．

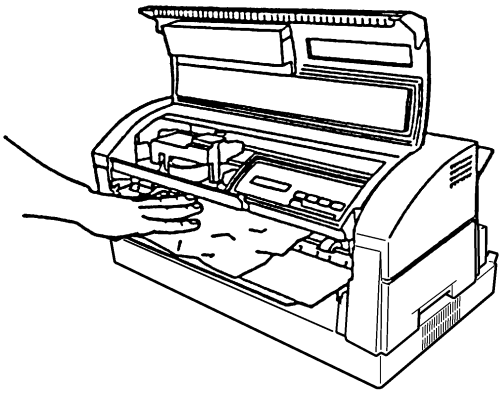
3) 前用紙ガイドの左右のレバーを持って手前に引き出します．

（注意）前用紙ガイドは左右のレバーをつまみながら引き出してください．片方だけつまんでも前用紙ガイドは引き出せません．

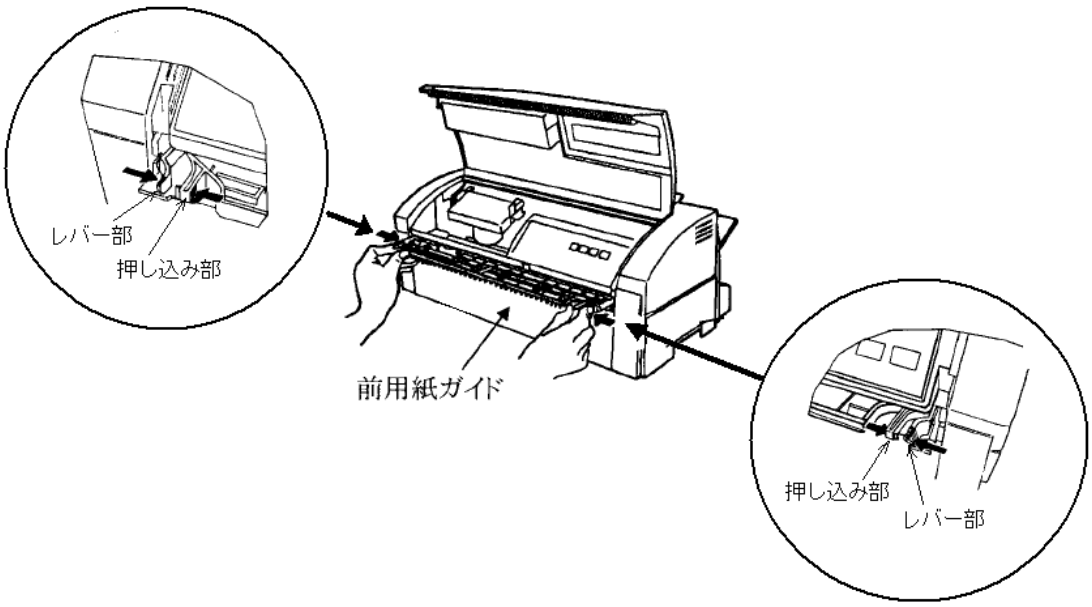


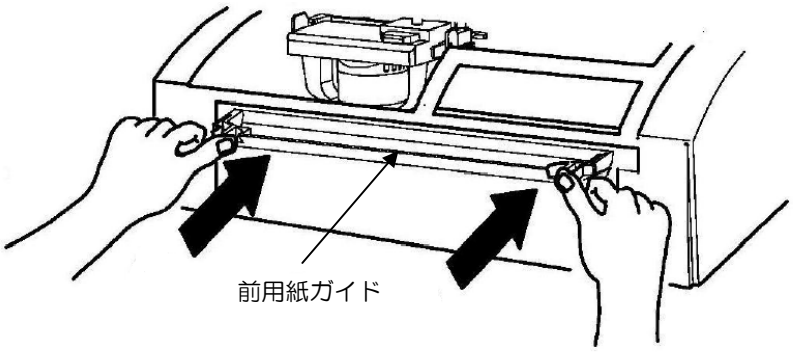
前用紙ガイド

4) つまっている用紙をゆっくりと抜き取ります.



5) 前用紙ガイドを取り付けます.
図のように前用紙ガイドの左右のレバーを持ちながら，平行に押し込み，左右レバーの爪状の引っかけ部がカチッと音がして入るまで，押し込み部を押して，確実に押し込みます.
（カチッと音がした状態は，爪状の引っかけ部が規定位置に入りますので，レバー部が外側に開いた状態になります.）
押し込み後，引っ張って外れないことを確認してください.
（注意）カットシートフィーダを取り外した場合は，取り付けてください.





6) トップカバーを閉じます.

7) 電源を入れます.

5.3.2　印字ヘッド後側で用紙がつまった場合

1) 電源を切ります.

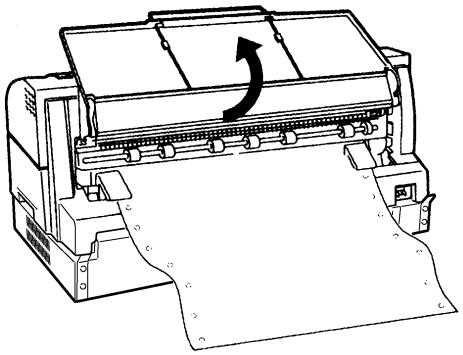
▲ 注意

高温注意

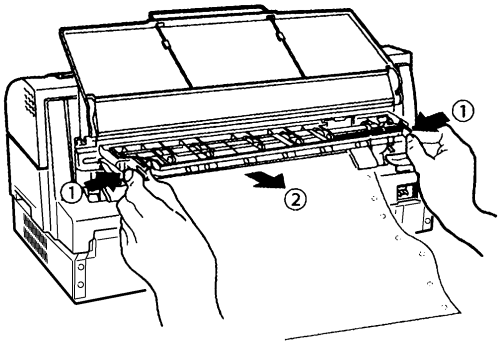
印字ヘッドや金属部には触れないでください.
高温になっていて火傷のおそれがあります.

（注意）用紙反転ユニット, およびセカンドトラクタ装着時は, ユニットを取り外してください.

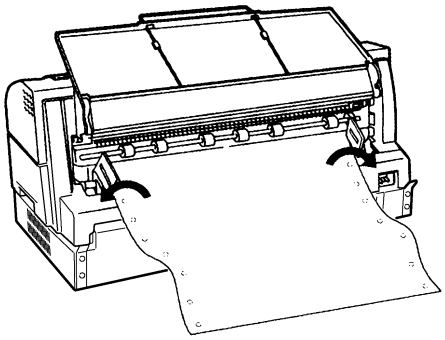
2) スタッカを上方に回転させます.



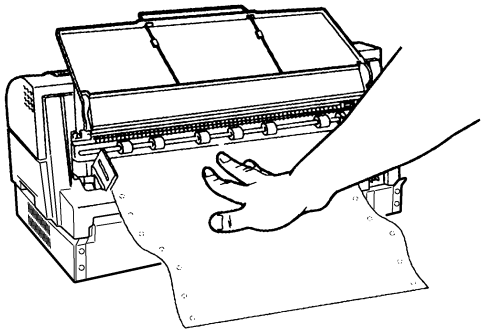
3) 後用紙ガイドの左右のレバーを持って手前に引き出します.
（注意）後用紙ガイドは左右のレバーをつまみながら引き出してください. 片方だけつまんでも後用紙ガイドは引き出せません.



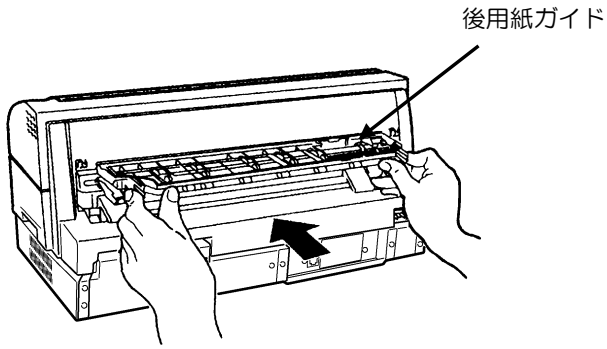
4） 左右のトラクタの用紙押え板を開きます（連帳用紙がつまった場合）.

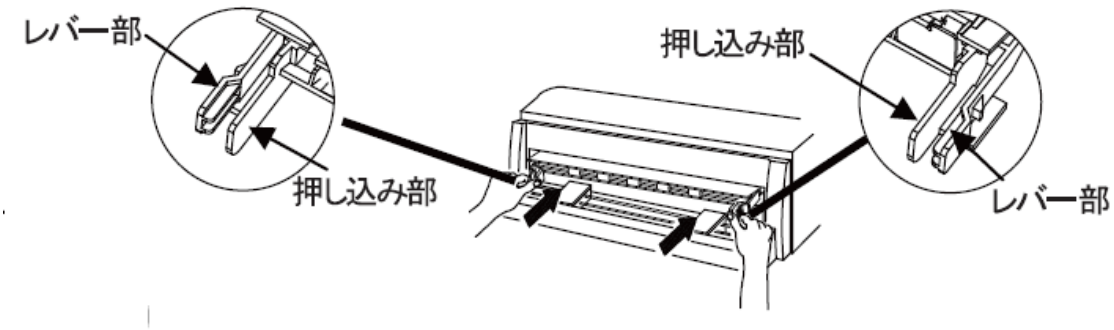


5） つまっている用紙をゆっくりと抜き取ります.

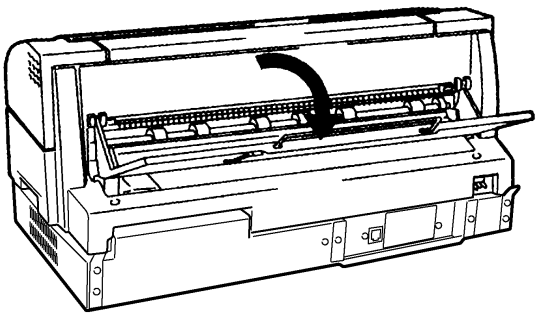


6) 後用紙ガイドを取り付けます.
図のように後用紙ガイドの左右のレバーを持ちながら，平行に押し込み，左右レバーの爪状の引っかけ部がカチッと音がして入るまで，押し込み部を押して，確実に押し込みます.
（カチッと音がした状態は，爪状の引っかけ部が規定位置に入りますので，レバー部が外側に開いた状態になります.）
押し込み後，引っ張って外れないことを確認してください.





7) スタッカを元に戻します.
（注意）用紙反転ユニット，セカンドトラクタを取り付けていたときは取り付けます.



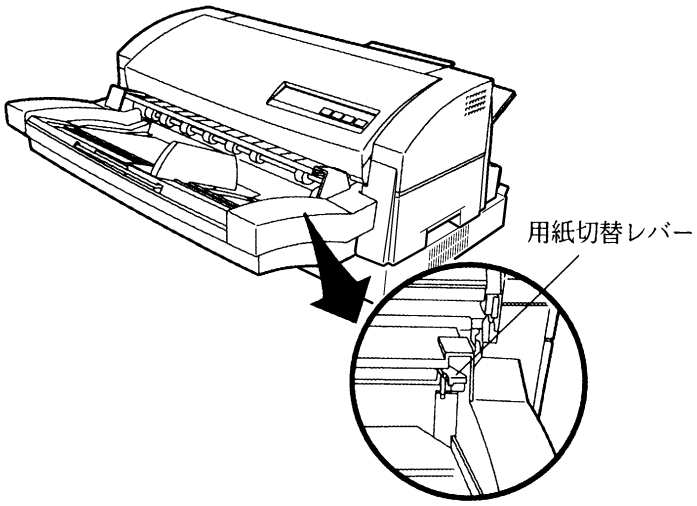
8) 電源を入れます.

5.3.3　カットシートフィーダ内に用紙がつまった場合

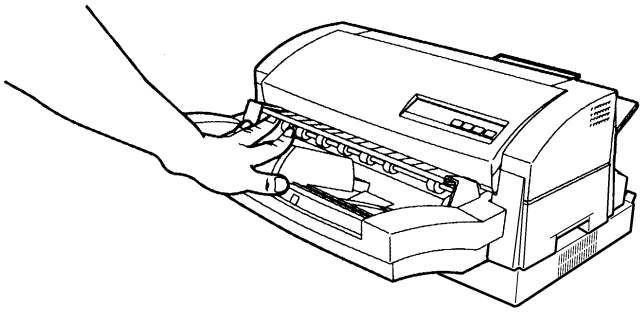
▲ 警告	 一般的注意	必ず電源を切ってから作業を行ってください.

1) 電源を切ります.

2) 用紙切替レバー（白色）を下げます.



3) つまった用紙をゆっくりと取り出します.



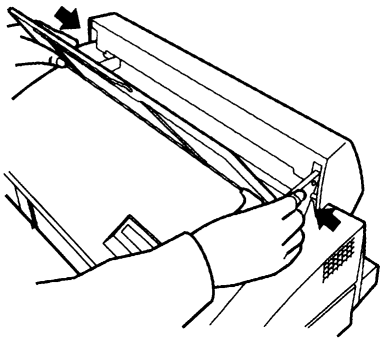
4) 用紙切替レバーを上げます.

5) 電源を入れます.

5.3.4　用紙反転ユニット内に用紙がつまった場合

1) 電源を切ります.

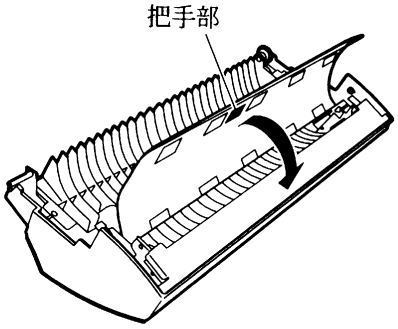
2) スタッカを取り外します.



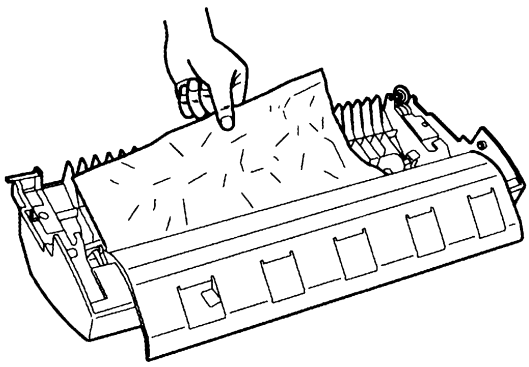
3) 用紙反転ユニットを取り外します.

4) 内ガイドの中央部を持って回転させて開きます.

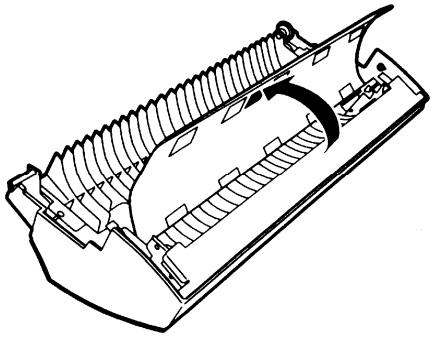
▲ 注意	一般的注意	**把手部以外を持たないでください.** 板金のエッジで手を切るおそれがあります.



5) つまった用紙をゆっくりと取り除きます.

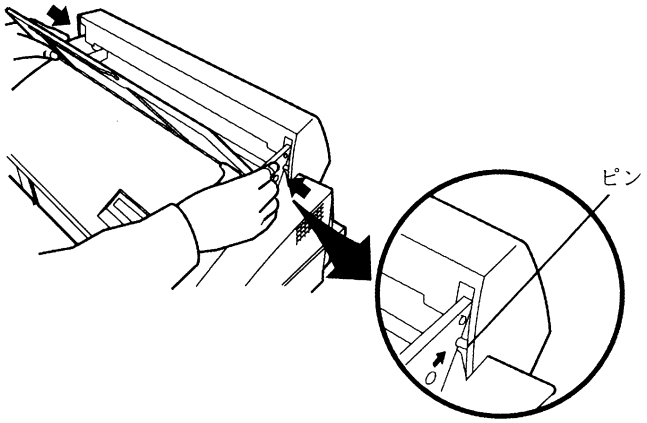


6) 内ガイドを回転させて戻します（左右の磁石で固定されます）.



7) 用紙反転ユニットを取り付けます.

8) 取り外したスタッカを用紙反転ユニットに取り付けます.
スタッカの左右アームの両側を軽く押さえながら，ゆっくりと用紙反転ユニットの接続ピン部分にスタッカの穴を合わせます.



9) 電源を入れます.

5.4　PrintWalker/PM のエラーメッセージ

パソコン画面上に表示されるエラーメッセージに対する対処方法を説明します.

表示番号	表示内容	原　　因	処　　置
1001	プリンタ装置がストップ状態です. プリンタ装置をスタート状態にし，印刷を再開してください.	プリンタ装置がオフライン状態です.（「スタート」ランプ消灯）	【スタート／ストップ】スイッチを押して，オンライン状態にしてください.
1010	カバーが開いています. 開口部のカバーを閉じて，プリンタ装置をスタート状態にしてください.	トップカバーが開いています.	トップカバーを閉じてください．場合によっては【スタート／ストップ】スイッチを押して，オンライン状態にしてください.
1020	用紙詰まりが発生しました. 用紙を取り除いた後，用紙の再設定を行い，プリンタ装置をスタート状態にしてください.	プリンタ装置内で，用紙詰まりが発生しました.	「5.3　用紙づまり」を参照して，装置内から用紙を取り除いた後，用紙を正しくセットし直してから，【スタート／ストップ】スイッチを押して，オンライン状態にしてください.
1060	用紙がありません．プリンタ装置に用紙をセットし，プリンタ装置をスタート状態にしてください.	印刷していた用紙がなくなりました. 指定した給紙口に用紙がありません.	プリンタ内の用紙をすべて排出し，印刷する用紙をセットしてから，【スタート／ストップ】スイッチを押して，オンライン状態にしてください. 正常に印刷されなかったページから印刷されます.
1068	用紙の状態が正しくありません. 用紙を正しくセットして，プリンタ装置をスタート状態にしてください.	手挿入口に用紙がある状態で，カットシートフィーダから給紙しようとしました. ライト／リード ID コマンドや郵便番号コマンド実行時，用紙が検出できませんでした.	用紙の状態を確認後，用紙を正しくセットし直してから【スタート／ストップ】スイッチを押して，オンライン状態にしてください.
1076	指定した給紙方法にあやまりがあります. 指定した給紙方法およびプリンタ装置の状態を確認してください.	受信した印刷データとプリンタ装置の状態が合っていません. （給紙口など）	受信した印刷データとプリンタ装置の状態を合わせてから，【スタート／ストップ】スイッチを押して，オンライン状態にしてください.
1120	プリンタ装置に異常が発生しました.（用紙ガイドセットエラー） 異常原因を取り除き，プリンタ装置をスタート状態にしてください.	前または後ろの用紙ガイドが外れています.	前または後ろの用紙ガイドを正しくセットし直してから，【スタート／ストップ】スイッチを押して，オンライン状態にしてください.
3020	プリンタ装置との通信ができません. プリンタ装置の動作（電源断等）を確認してください.	プリンタ装置の電源断，LAN の異常のため，プリンタ装置との通信ができません.	電源を投入してください. またはネットワークについて確認してください.（LAN ケーブルの状態や IP アドレスの設定など）

表示番号	表示内容	原　　因	処　　置
5000	プリンタ装置に復旧不可能なエラーが発生しました．当メッセージと操作内容を記録した後，システム管理者に連絡してください． （詳細コード：XXXX-XX-X）	ハードエラーが発生しました．（CE コール）	詳細コードを含めたメッセージ内容を記録してください．その後，修理を依頼してください．
50X0	プリンタ装置に異常が発生しました．異常原因を取り除き，プリンタ装置をスタート状態にしてください． （詳細コード：XXXX-XX-X）	ハードエラーが発生しました．	異常原因を取り除いてから，【スタート／ストップ】スイッチを押して，オンライン状態にしてください．再度エラーが発生する場合は，詳細コードを含めたメッセージ内容を記録してください．その後，修理を依頼してください．

5.5　PrintWalker/RS のエラーメッセージ

パソコン画面上に表示されるエラーメッセージに対する対処方法を説明します．

表示内容	原　　因	処　　置
プリンタ停止中	プリンタ装置がオフライン状態です．（「スタート」ランプ消灯）	【スタート／ストップ】スイッチを押して，オンライン状態にしてください．
カバーオープン	トップカバーが開いています．	トップカバーを閉じてください．場合によっては【スタート／ストップ】スイッチを押して，オンライン状態にしてください．
用紙詰まり	プリンタ装置内で，用紙づまりが発生しました．	「5.3　用紙づまり」を参照して，装置内から用紙を取り除いた後，用紙を正しくセットし直してから，【スタート／ストップ】スイッチを押して，オンライン状態にしてください．
用紙無し（単票用紙） 用紙無し（連帳用紙）	印刷していた用紙がなくなりました． 指定した給紙口に用紙がありません．	プリンタ内の用紙をすべて排出し，印刷する用紙をセットしてから，【スタート／ストップ】スイッチを押して，オンライン状態にしてください． 正常に印刷されなかったページから印刷されます．
ポジションエラー	手挿入口に用紙がある状態で，カットシートフィーダから給紙しようとしました． ライト／リード ID コマンドや郵便番号コマンド実行時，用紙が検出できませんでした．	用紙の状態を確認後，用紙を正しくセットし直してから【スタート／ストップ】スイッチを押して，オンライン状態にしてください．
リードエラー	ID マークまたはバーコードを正しく検出できません．	用紙またはリボンカセット交換後，【スタート／ストップ】スイッチを押してオンライン状態にしてください，
POC 異常	プリンタドライバで指定した用紙サイズが，プリンタのサポート外です．	プリンタドライバで正しい用紙サイズを指定してください． 【スタート／ストップ】スイッチを押すとオフライン状態になります．
セレクトミス	受信した印刷データとプリンタ装置の状態が合っていません．（給紙口など）	印刷データとプリンタ装置の状態を合わせてから，【スタート／ストップ】スイッチを押して，オンライン状態にしてください．
インターロック異常 （用紙ガイドセットエラー）	前または後ろの用紙ガイドが外れています．	前または後ろの用紙ガイドを正しくセットし直してから【スタート／ストップ】スイッチを押してください．
CE-CALL（xx-xx 詳細情報）	ハードエラーが発生しました．（CE コール）	詳細コードを含めたメッセージ内容を記録してください． その後，担当営業または保守員に修理を依頼してください．

5.6 おもなエラーメッセージ (LCD表示)

5.6.1 カバーオープン

(1) 表示内容
カバーが正しくセットされていないまたは印字中にカバーを開けると，下記メッセージを表示し，「チェック」ランプが点滅してブザー音を鳴動します．

ER09-01：カバー

(2) 復旧操作
a) ブザー音を停止する場合は，【ブザーオフ】スイッチを押下します．
b) カバーを正しく閉めます．（サポートサーバが PrintWalker 設定時，印字中にカバーを開けた場合は，カバーを閉めると自動的に継続印刷します．）
c) 【スタート／ストップ】スイッチを押下し，オンライン状態に戻します．
注） 印字中のカバーオープンについて
・ カバークローズ後，印字が自動再開する場合でも，ドットずれが生じていることがありますので，印字中のカバーオープンはおやめください．
・ カバークローズ後，オンラインのメッセージ表示に切り換わるまで若干遅れます．

5.6.2 プログラムエラー

(1) 表示内容
プリンタへのコマンド／オーダに異常があると，印刷は中断され，下記メッセージを表示し，「チェック」ランプが点滅します．（拡張出力機構オプション未搭載時にそれが必要な機能を指定した，など）

ER07-01：プログラム

(2) 復旧操作
a) プログラムの管理者とご相談の上，エラー要因を除去してください．
b) 【スタート／ストップ】スイッチを押し，オンライン状態に戻します．

5.6.3 用紙ガイドセットエラー

(1) 表示内容
前後の用紙ガイドが正しくセットされていないと，下記メッセージを表示し，「チェック」ランプが点滅してブザー音を鳴動します．

ER09-02：ガイドセット

(2) 復旧操作
a) ブザー音を停止する場合は，【ブザーオフ】スイッチを押下します．
b) 前後の用紙ガイドをセットし直します．（5.3.1 項および 5.3.2 項参照）
c) 【スタート／ストップ】スイッチを押下し，オンライン状態に戻します．

5.6.4　ポジションエラー

(1) 表示の内容

次の要因でエラーが発生すると，下記メッセージを表示し，「チェック」ランプが点滅してブザー音を鳴動します．

・手差し口に用紙がある状態で，カットシートフィーダから給紙しようとした．

・ライト／リード ID コマンドや郵便番号コマンド実行時，用紙が検出できなかった．

ER02-01：ポジション

(2) 復旧操作

a) ブザー音を停止する場合は，【ブザーオフ】スイッチを押下します．

b) 用紙の状態を確認してから，正しくセットし直します．

c) 【スタート／ストップ】スイッチを押下し，オンライン状態に戻します．

5.6.5　セレクトミス

(1) 表示内容

装置が連帳を選択している状態で，ホストから単票データを受信すると下記メッセージを表示し，「チェック」ランプが点滅してブザー音を鳴動します．（PRIMERGY 6000 連携時）

ER34-01：セレクトミス

装置にカットシートフィーダが装着されていない状態で，ホストからカットシートフィーダ吸入のデータを受信すると，下記メッセージを表示し，「チェック」ランプが点滅してブザー音を鳴動します．（PRIMERGY 6000 連携時）

ER34-02：セレクトミス

装置にカットシートフィーダが装着されていない状態で，ホストからカットシートフィーダへの切り換えデータを受信すると，下記メッセージを表示し，「チェック」ランプが点滅してブザー音を鳴動します．

ER34-03：セレクトミス

(2) 復旧操作

a) ブザー音を停止する場合は，【ブザーオフ】スイッチを押下します．

b) 印刷データと装置の状態を合わせてから，【スタート／ストップ】スイッチを押下して，オンライン状態にします．

5.6.6　POC エラー

⑴ 表示内容

Windows から印刷する場合，プリンタドライバで指定する用紙サイズ（用紙長，用紙幅）がプリンタでサポートしている用紙サイズ外であると，本エラーが発生することがあります．

POC エラーが発生すると，下記メッセージを表示し，「チェック」ランプが点滅し，ブザー音を鳴動します．

ER32-01：POC イジョウ

⑵ 復旧操作

a) 【スタート／ストップ】スイッチを押し，オフライン状態に戻します．

b) プリンタドライバで指定している用紙サイズを確認してください．

5.6.7　パターンタイムアウト

⑴ 表示内容

上位装置に要求したパターンの応答がタイムアウトすると，下記メッセージを表示し，「チェック」ランプが点滅して，ブザー音を鳴動します．

ER89-01：パターン

⑵ 復旧操作

a) ブザー音を停止する場合は，【ブザーオフ】スイッチを押下します．

b) 電源を切断後，再投入してください．

c) 上位装置の管理者とご相談の上，エラー要因を取り除いてください．

5.6.8　上位装置電源断

⑴ 表示内容

下記メッセージを表示します．

この異常が発生すると，印刷は中断されます．

ER27-01：ジョウイソウチ

⑵ 復旧操作

a) 上位装置の電源を投入してください．

b) データ送信を再開すると，復旧します．

5.6.9　LAN 二重アドレスエラー

⑴ 表示内容

ネットワーク上に同一のMACアドレスまたはIPアドレスが存在すると，本エラーが発生します．LAN 二重アドレスエラーが発生すると，下記メッセージを表示し，「チェック」ランプが点滅し，ブザー音を鳴動します．

ER43-01：LAN　XXXX

⑵ 復旧操作

a) 電源を切断します．

b) プリンタの設定ミスが考えられますので，セットアップの情報を確認してください．

5.6.10　メカ系の異常

⑴ 表示内容

メカ系に異常が発生すると，下記メッセージを表示し，「チェック」ランプが点滅してブザー音を鳴動します．

ER8X-XX：XXXXXXXX

表示内容		意味
ER81-01	EEPROM	EEPROM エラー
ER82-01	モータエラー	紙送りモータエラー
ER82-02	モータエラー	カムモータエラー
ER82-03	モータエラー	CSF 搭載時のピックモータエラー
ER82-04	ソレノイド	CSF 搭載のソレノイドエラー
ER82-05	ホッパエラー	CSF 搭載時，ホッパ動作が規定時間内に終了しない．注 1）
ER83-01	カムエラー	カム動作（用紙厚調整等）が規定時間内に終了しない．
ER84-01	デンゲン	電源異常
ER85-01	スペースエラー	印字ヘッド動作異常　注 2）
ER87-01	メカムオウトウ	メカ部から応答無し（60 秒）
02		メカ部から応答無し（電源投入時）
ER88-01	ファイアチェック	ハンマファイアチェック
ER8E-01	センスエラー	メカ部からの応答が未定義（テストコマンド）
02		メカ部からの応答が未定義（コマンド）

⑵ 復旧操作

a) ブザー音を停止する場合は，【ブザーオフ】スイッチを押下します．

b) メッセージを記録の上，電源を切断し，装置内の用紙をすべて取り除いてから，電源を再投入します．

c) 電源を再投入しても同じメッセージが表示される場合には，担当保守員にご連絡ください．

注 1）カットシートフィーダのホッパに物を載せていないか確認してください．

注 2）用紙が厚すぎないかまたは装置内に異物がないかまたはリボンカセットに異常がないか確認してください．

5.6.11　ハードウェアの異常

⑴ 表示内容

ハードウェアに異常が発生すると，下記メッセージを表示し，「チェック」ランプが点滅してブザー音を鳴動します．

ER4X-XX：XXXXXXXX

⑵ 復旧操作

a) ブザー音を停止する場合は，【ブザーオフ】スイッチを押下します．

b) 表示されたメッセージを記録の上，電源を切断し，装置内の用紙をすべて取り除いてから，電源を再投入します．

c) 電源を再投入しても同じメッセージが表示される場合には，担当保守員にご連絡ください．

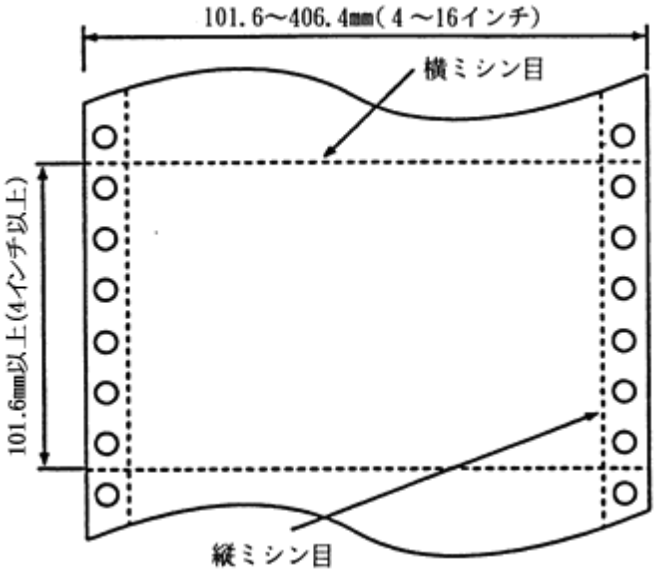
第 6 章　用紙仕様および帳票設計

本章では，各種用紙の規格および用紙の取り扱い上の注意について説明します．

6.1　連帳用紙

(1) 寸　法

● 仕様・規格



（注意）－ 縦ミシン目は，左側のみ，右側のみ，または左右両側のいずれでもかまいません．
－ 用紙高さ 4.5 インチ以下の用紙を，用紙カット機能を使用せずに用紙をカットした場合，用紙切れエラーとならない状態で用紙が装置内に残ってしまうおそれがあります．
用紙セットの際に装置内に用紙が残っていないか確認し，残っていた場合は用紙を取り除いてから新しい用紙をセットしてください．

(2) 紙　質

● 仕様・規格

(a) 原　紙　：情報処理用プリンタに用いる原紙として市販の上質紙

(b) 複写用紙：感圧紙，裏カーボン紙

（注意）－ 市販されている上質紙は JIS　X6195 に準拠します．
－ 中カーボン紙は使用しないでください．
－ 裏面は白色（反射率 60%以上）のものをご使用ください．

⑶ 用紙連量

● 仕様・規格

連量 / 枚数 / 構成内容	(kg/連)						
	1P	2P	3P	4P		5P	
1 枚目	55～110	43～55	43～55	43		43	
2 枚目		34～55	30～43	30	34	30	34
3 枚目			43	30	34	30	34
4 枚目				43		30	34
5 枚目						43	

＜参考＞感圧紙の用紙連量規格とメーカーのＮ番規格の相関

連量規格	34kg/連	43kg/連	55kg/連
N 番規格	N40	N50	N60

（注意）－ 構成用紙枚数，用紙の厚みの増加に伴い，全体的に複写濃度が薄くなります．例えば，３枚複写の３枚目と５枚複写の３枚目では濃度が違います．３枚複写の３枚目の方が濃くなります．

－ 規格外の複写枚数の帳票を使用する場合は，裏カーボン紙の使用をお薦めします．
ただし，裏カーボンの場合，塗布するインクの質や量によって複写濃度が変わります．さらに温度の低下に伴い，複写濃度が著しく低下する性質があります．裏カーボンの場合は常温（18℃～30℃）での使用をお薦めします．

－ セカンドトラクタユニットにおいて規定以上の複写帳票は用紙通路の負荷が増加し，改行不良を起こすおそれがあるので，使用を禁止します．

以上のように，複写濃度は様々の要因に影響されるので，帳票作成に当たっては，印刷メーカと使用条件環境についてご相談のうえ，決定してください．

（注意）連量とは，四六判（788mm×1091mm）の用紙 1,000 枚の重量を kg で示したものです．

⑷ ミシン目加工

● 仕様・規格

ミシン目の種類		規格値
横ミシン目	タイ／カット比率	1/1～1/4
	タイ寸法	0.7～1.5mm
	カット寸法	1.0～4.0mm
縦ミシン目	タイ／カット比率	1/1～1/5
	タイ寸法	0.7～1.5mm
	カット寸法	1.0～5.0mm

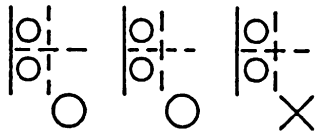
タイ：非切断部　　カット：切断部

（注意）－ ミシン目を折りたたんだとき，簡単に用紙が切れないような寸法を選んでください．

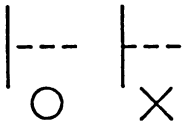
－ タイ／カット比率および寸法によって連帳用紙の折りたたみ特性，および切断性が異なるため，適切な値を選択してください．

－ 上記基準以外のタイ／カット比率および寸法を使用するときは，事前に十分な確認評価を行ってください．

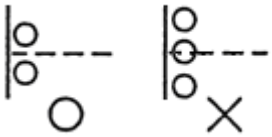
－ 縦ミシン目と横ミシン目のカット部が重ならないようにしてください．
リボンマスクへ引掛かり，用紙づまりや用紙破れが発生することがあります．



－ 横ミシン目は用紙の端にタイ部がくるようにしてください．
リボンマスクへ引掛かり，用紙づまりや用紙破れが発生することがあります．



－ 横ミシン目は送り穴と重ならないようにしてください．
この横ミシン目で用紙を切断すると，用紙セット時に送り穴がリボンマスクに引掛かり，用紙破れが発生することがあります．

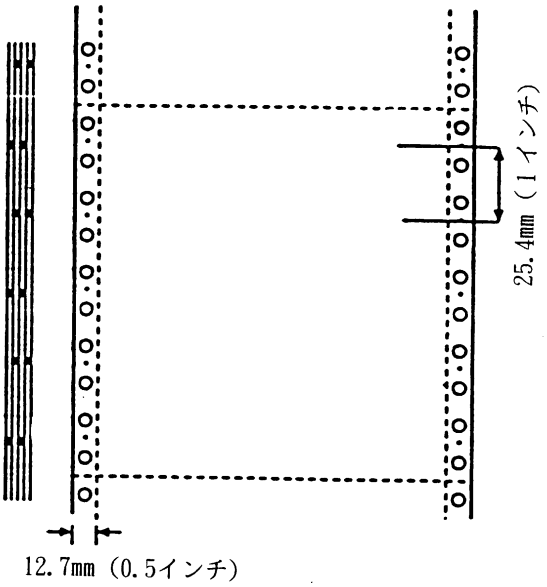


－ 印字範囲内に縦ミシン目が入る場合は，その左右 5.08 mm（1/5 インチ）以内には，印字しないでください．

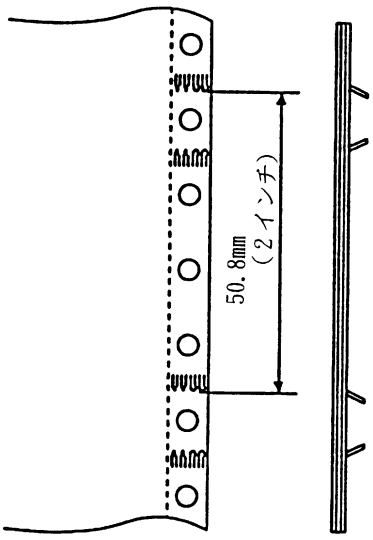
⑸複写用紙のとじ方

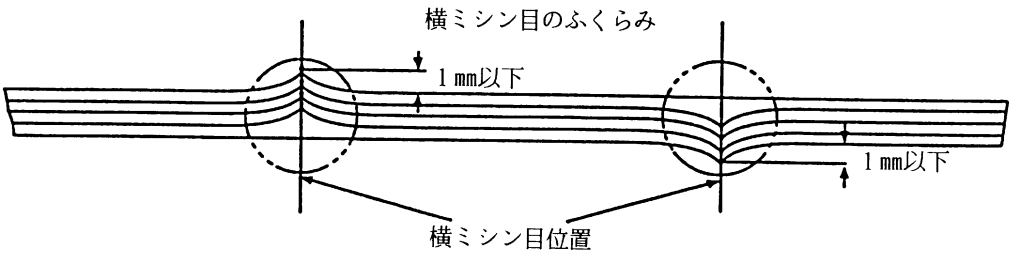
● 仕様・規格

ⓐ 点のり（千鳥）



ⓑ 紙ホッチキス

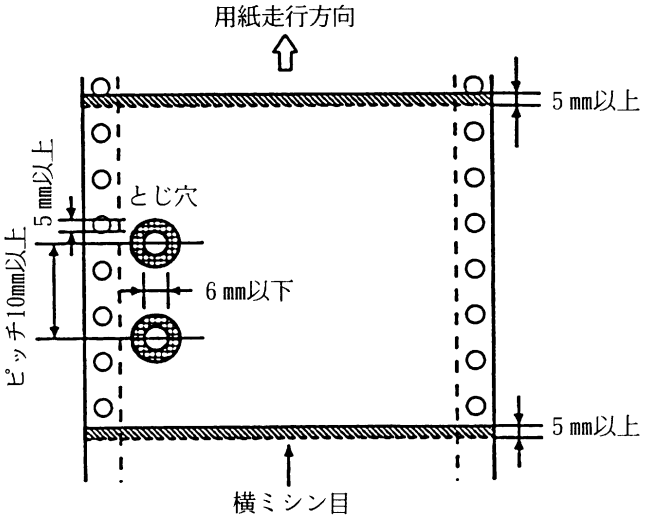




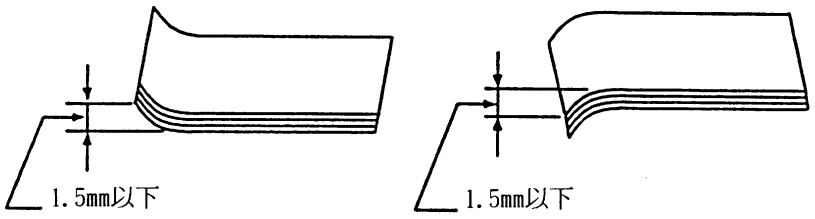
（注意）－　用紙のとじ方は，点のり，紙ホッチキス（2 連）が使用できます．印刷品質の面から見て，点のりを使用することをお薦めします．
－　用紙は，用紙の端と縦ミシン目の間で左右両側をとじてください．
－　紙ホッチキスを使用する場合は，以下のように使用してください．
・必ず逆向き 2 連のホッチキスにしてください．
・ホッチキス部が厚くなると，印字ヘッドが浮き上がり，印刷が不鮮明になったり，印刷が乱れたりすることがあります．したがって，印刷可能領域とミシン目の間の余白は 1/2 インチ（12.7mm）以上余白をあけてください．
－　複写連帳用紙において，横ミシン目などのふくらみがあると，用紙ずれや改行乱れが発生することがあります．1mm 以下におさえてください．

⑹ とじ穴

● 仕様・規格



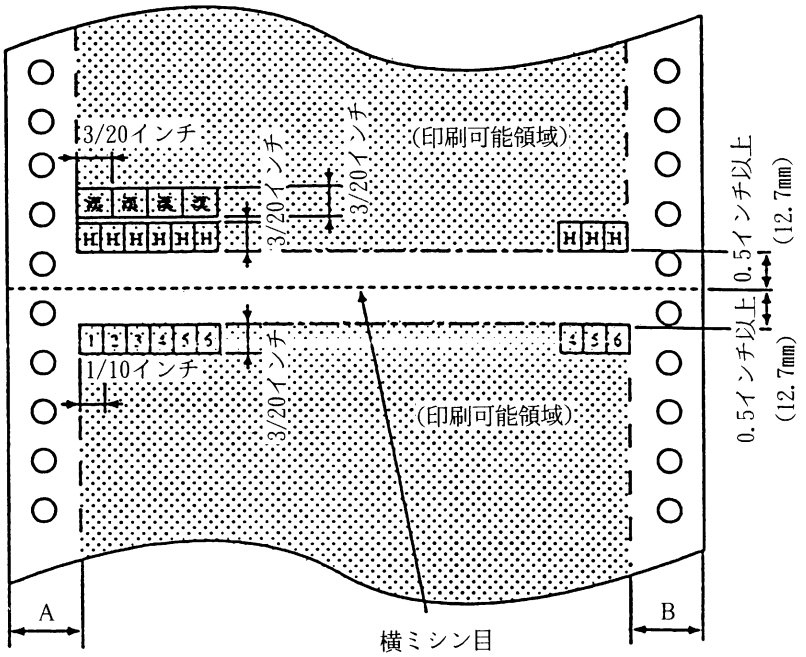
（注意）－　連帳用紙の先端にカールやミシン目の切り残しがある場合，用紙給入時のジャム発生の原因となりますので矯正／除去して使用してください．



－　横ミシン目の上側 5mm 以内（網がけ部）には，とじ穴および切込みは入れないでください．
－　とじ穴の直径は 6mm 以下，とじ穴のピッチは 10mm 以上にしてください．
－　とじ穴や切込みの周囲 5mm 以内（ ◎ 部）には印刷しないでください（印刷禁止領域）．

(7) 印刷可能領域

● 仕様・規格



連帳幅	A 寸法	B 寸法
4～15 インチ未満	0.7 インチ （17.8mm）	0.7 インチ （17.8mm）
15～$15_{1/2}$ インチ未満	0.7 インチ （17.8mm）	0.7～1.2 インチ （17.8～30.5mm）
$15_{1/2}$～16 インチ未満	0.7～1.2 インチ （17.8～30.5mm）	1.2 インチ （30.5mm）
16 インチ	1.2 インチ （30.5mm）	1.2 インチ （30.5mm）

（注意）－ 横ミシン目の上下 0.5 インチ（12.7mm）以内，および用紙の左端より A 寸法，右端より B 寸法は，印刷禁止領域です．

－ 印刷禁止領域に印刷すると，リボンマスクへ引掛かり，用紙づまりや用紙破れが発生することがあります．

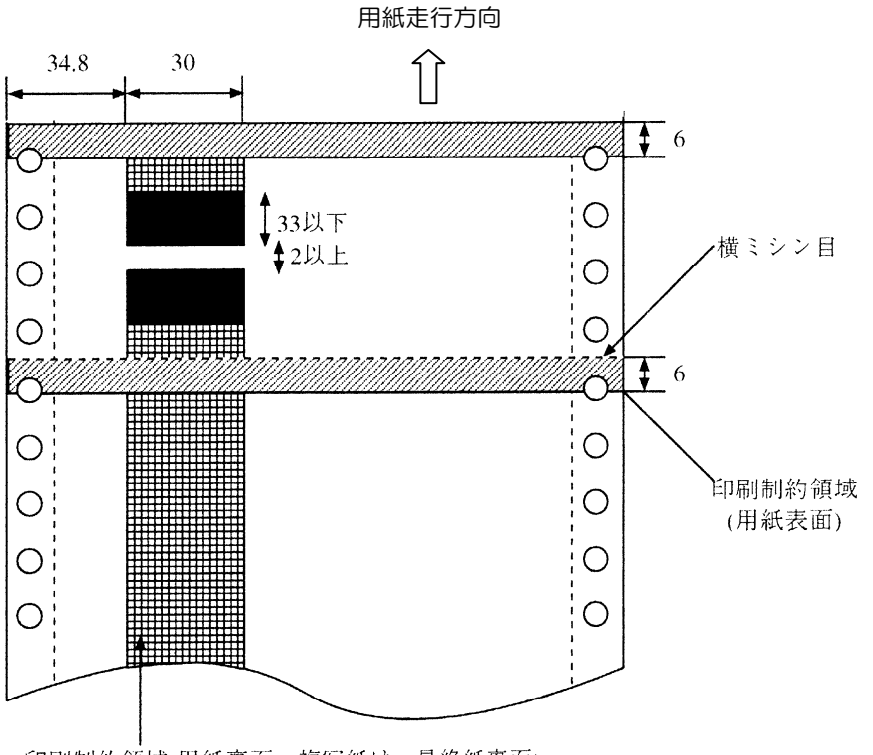
－ 用紙をセットするときは，プリンタの目盛りを目安にトラクタを動かしてから，用紙に対する印刷の位置を決めてください．

－ 連帳の場合，用紙終端より 6 インチ（152.4mm）の位置で用紙がトラクタより外れ，改行精度が保証できなくなります．この範囲での印刷は避けてください．なお，セカンドトラクタで処理の際，用紙は用紙終端より 9 インチ（228.6mm）の位置でトラクタより外れます．よって改行精度が保証できないので，用紙終端より 9 インチの位置は使用しないでください．

⑻ プレ印刷制約

本プリンタ装置は，印字位置精度向上を図るために用紙検出センサーとして用紙表面および裏面に光を照射し，その反射光を捉えて用紙検出を行う光反射センサーを使用しています．当センサーの機能を保証するために，用紙表面（印字処理面）および裏面のプレ印刷に関して次のような制約条件を遵守してください．

連続帳票



(単位：mm)

－ ▨ 部は，用紙の表面の印刷制約領域を示し，この領域には，反射率 60%未満の印刷を禁止します．

－ ▦ 部は，用紙の裏面（複写用紙は最終紙裏面）の印刷制約領域を示し，この領域には，反射率 50%未満の印刷を禁止します．
ただし，裏面の領域におけるプレ印刷は反射率 50%未満であっても，長さ 33mm 以下の印刷であれば使用できます．さらに，長さ33mm以下の反射率50%未満の印刷の間に2mm以上の反射率 50%以上の領域があれば，そのようなプレ印刷が繰返しあっても使用できます．

－ 用紙表面の反射率はプリントコントラストメータ「マクベス PCM-II フィルターE」での値であり，用紙裏面の反射率はプリントコントラストメータ「マクベス PCM-II フィルターD」での値です．

6.2 単票

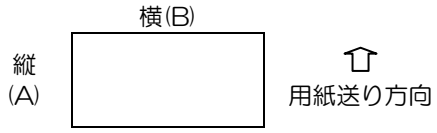
(1) 寸　法

● 仕様・規格

単位 mm

縦	A	90～364
横	B	100～364
縦／横	A/B	2/3～2(0.67～2)

（注意）－　単票の縦および横は，次のとおりです．



縦／横比が規格外であると，用紙の斜行，用紙づまりの発生の原因となります．

－　下表に示すような用紙横寸法の使用は避けてください．用紙右端が用紙送りローラおよびカットシートフィーダの給紙ローラの端と干渉するため，用紙コーナ折れ，しわの発生，用紙の斜行，ダブルフィードの発生の原因になります．

用紙横寸法	129～147mm
	192～200mm
	234～242mm
	264～272mm
	314～322mm

(2) 紙　質

● 仕様・規格

(a) 原　紙　：用紙の表裏面とも白色（反射率 60%以上）で，しみ，ピンホール，汚れ，しわ，カール，ケバ立ちがない上質紙をお使いください．

(b) 複写用紙：感圧紙をお使いください．ただし，やむを得ず，規格外の複写枚数の帳票を使用する場合は，裏カーボンをお使いください．

⑶ 用紙連量

● 仕様・規格

複写枚数	1P		2P		3P		4P		5P	
規格重量 構成内容	規格	kg/連	規格	kg /連	規格	kg /連	規格	kg /連	規格	kg /連
1 枚目	上質紙	45～135 (43)		55		55		43		43
2 枚目				43		34		34		34
3 枚目						43		34		34
4 枚目								43		34
5 枚目										43

＜参考＞感圧紙の用紙連量規格とメーカーの N 番規格の相関

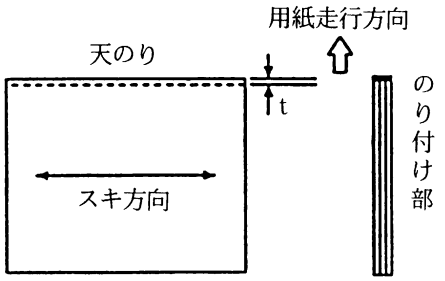
連量規格	34kg/連	43kg/連	55kg/連
N 番規格	N40	N50	N60

（注意）－　給紙挿入ミスを少なくするために，上表の規格を守ってください．
特に，2P，3P の連量にはご注意ください．

－　用紙反転ユニット装着時には，厚みが 0.5mm 以上の用紙，及びはがき入りの複写用紙は走行不良を起こすので，使用しないでください．

⑷ 複写用紙のとじ方

● 仕様・規格



t （のり付けの深さ）0.5㎜程度

（注意）－　とじ方は，必ず天のりにしてください．

－　のり付け部には，ふくれ，しわ，縮み，破れ，変色，カール，のりのはみ出し，バリ，およびこれらによる用紙間での引掛かりなどがないものをご使用ください．

－　スキ方向が縦方向の場合は，のり付け部にしわが発生しやすいため，給紙挿入ミスの原因となります．

⑸ 用紙の寸法と連量

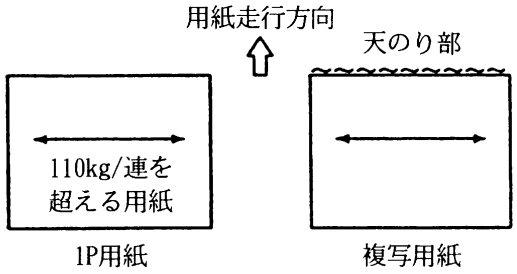
● 仕様・規格

<table>
<tr><th>用紙サイズ
用紙連量</th><th>はがき
横　縦
100×150</th><th>A5 縦
横　縦
148×210</th><th>A4 縦
横　縦
210×297</th><th>A4 横
横　縦
297×210</th><th>B4 横
横　縦
364×257</th></tr>
<tr><td>（43）45kg</td><td colspan="2" rowspan="3">使用禁止範囲
（ダブルフィードの発生率が高い）</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>55kg</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>70kg</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>90kg</td><td></td><td colspan="2">使用可能範囲</td><td></td></tr>
<tr><td>110kg</td><td></td><td></td><td colspan="3" rowspan="2">使用禁止範囲
（用紙斜行の量が大きい）</td></tr>
<tr><td>135kg</td><td></td><td></td></tr>
</table>

（注意）上図の範囲外の用紙を使うと，ダブルフィードや給紙挿入ミスおよび用紙斜行の原因になりますので，ご使用を避けてください．

⑹ 用紙のスキ方向

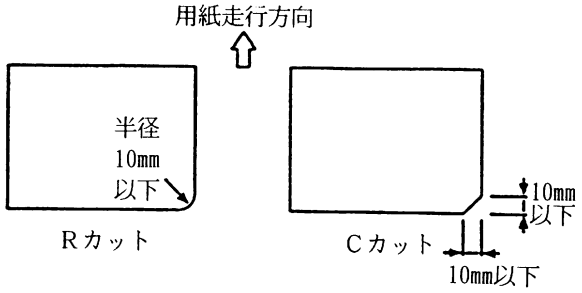
● 仕様・規格



（注意）用紙のスキ方向は，上図のように横方向としてください．
ただし，1P 用紙で用紙連量 110kg/連量以下であれば，スキ方向に制限はありません．

⑺ 用紙のコーナのＲカットおよびＣカット

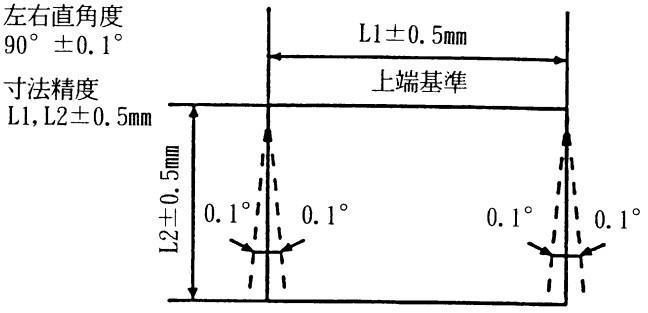
● 仕様・規格



（注意）－　用紙のコーナのＲカットおよびＣカットは用紙の右側下部に限り可とします．
－　ＲカットおよびＣカット寸法は，10mm 以下にしてください．

⑻ 用紙精度

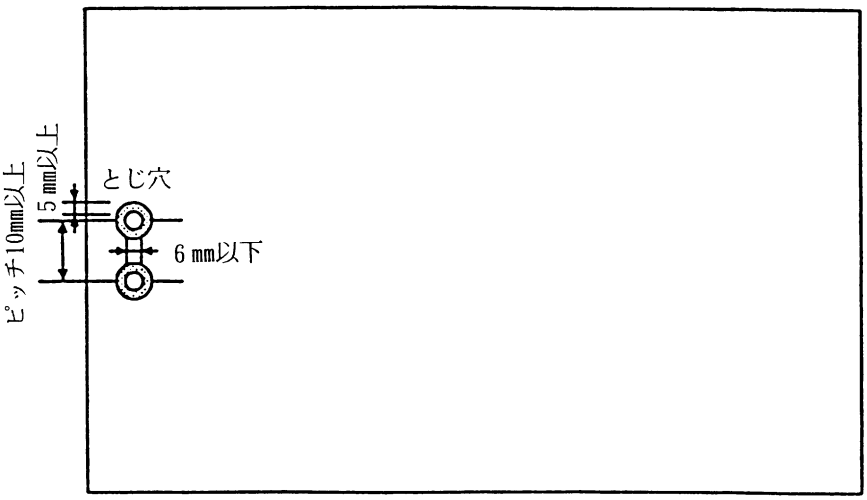
● 仕様・規格

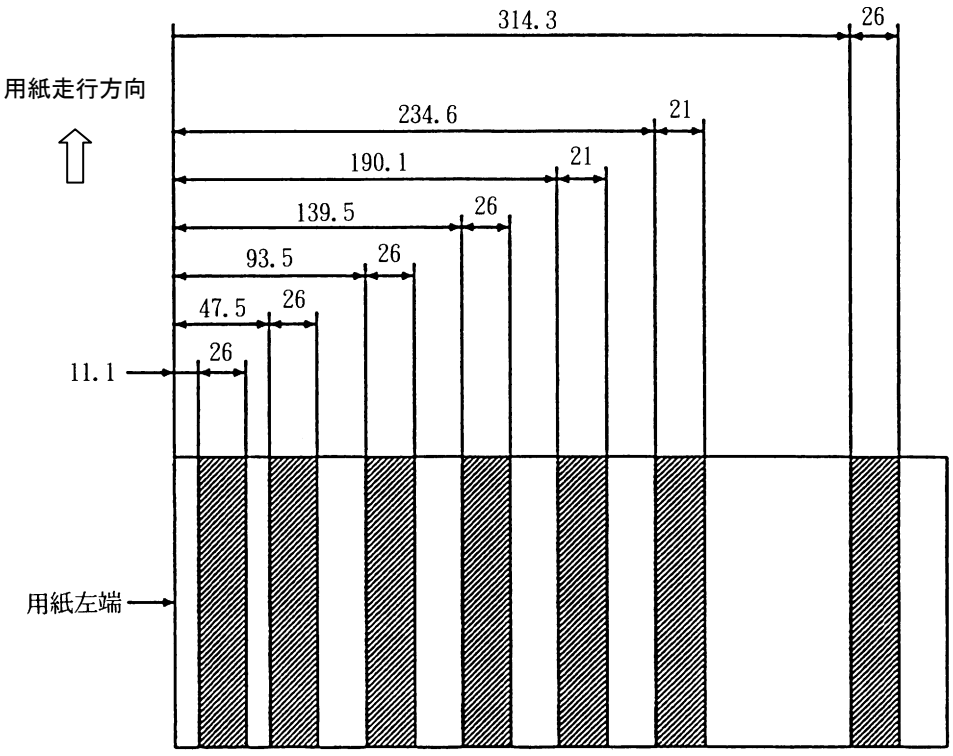


（注意）このプリンタは，用紙上端および左右端を基準としています．用紙の精度は，上図の値を満たしてください．

⑼ とじ穴

● 仕様・規格



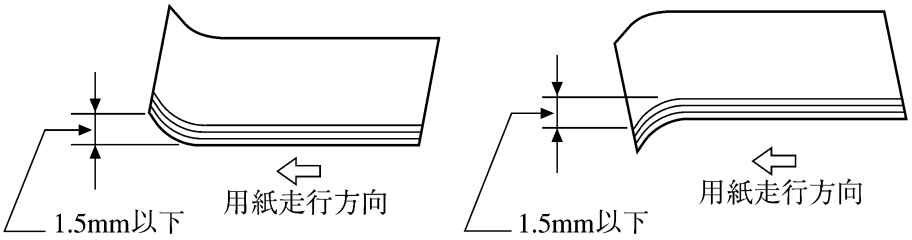


網がけ部は，カットシートフィーダの給紙ローラが用紙と接触する部分ですので，とじ穴は避けてください．

（注意）－　とじ穴をあける場合は，カットシートフィーダの給紙ローラが触れる部分を避けてください．
網がけ部は，カットシートフィーダの給紙ローラが用紙と接触する部分ですので，とじ穴は避けてください．（前図参照）．

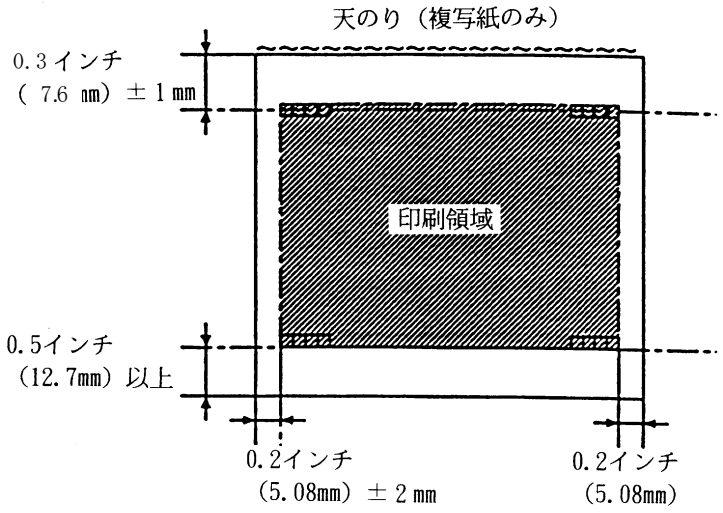
－　とじ穴は，直径 6mm 以下とし，個数は２個までとしてください．
また，とじ穴の周囲 5mm 以内（ ◎ 部）の印刷は禁止します．
特に，カットシートフィーダによって処理される用紙のとじ穴に関しては，ダレ，ケバなどによる用紙間の引掛かりのないようにしてください．

－　用紙の先端にカールがある場合，用紙給入時のジャム発生の原因となりますので矯正して使用してください．



(10)印刷可能領域

● 仕様・規格

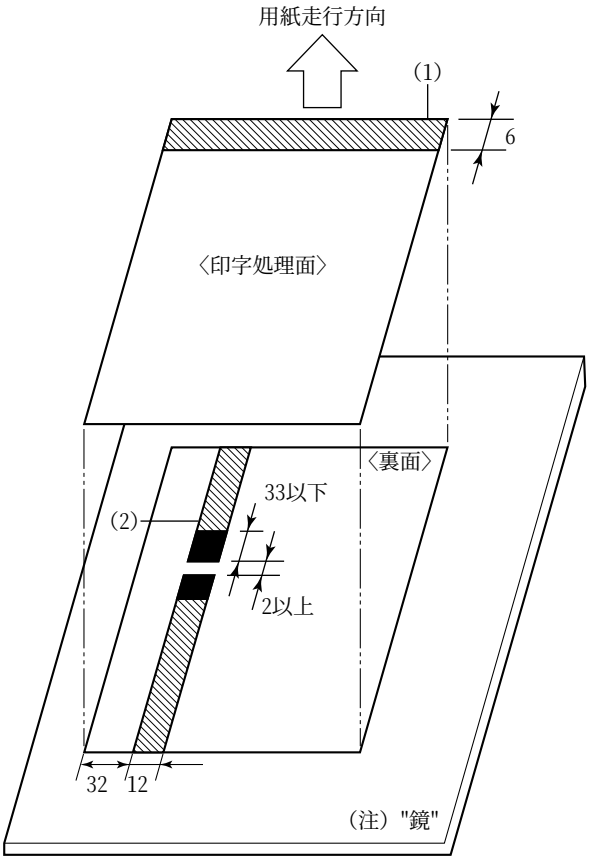


（注意）－　下端近くに印刷を行いますと，プリンタ装置が用紙切れを検出し，印刷が失敗することがありますので，印刷可能領域内に印刷してください．
余白を設定できないアプリケーションの場合は，『プリンタ』フォルダのメニューから『ファイル』メニューの『サーバーのプロパティ』にて余白を考慮した用紙を作成し，ご使用ください．

(11)プレ印刷制約

本プリンタ装置は，印字位置精度向上を図るために用紙検出センサーとして用紙表面および裏面に光を照射し，その反射光を捉えて用紙検出を行う光反射センサーを使用しています．当センサーの機能を保証するために，用紙表面（印字処理面）および裏面のプレ印刷に関して次のような制約条件を遵守してください．

単票



（単位：mm）

- (1)の領域においては，反射率 60%未満のプレ印刷は禁止します．
- (2)の領域においては，反射率 50%未満のプレ印刷は禁止します．ただし，(2)の領域におけるプレ印刷は反射率 50%未満であっても，長さ 33mm 以下であれば使用できます．さらに，長さ，33mm 以下の反射率 50%未満の印刷の間に 2mm 以上の反射率 50%以上の領域があれば，そのようなプレ印刷が繰返しあっても可能です．
- 用紙表面の反射率はプリントコントラストメータ「マクベス PCM-II フィルターE」での値であり，用紙裏面の反射率はプリントコントラストメータ「マクベス PCM-II フィルターD」での値です．

6.3　元 帳

⑴ 寸　法

● 仕様・規格

単位 mm

縦	A	210～364
横	B	210～364
縦／横	A/B	2/3～2(0.67～2)

（注意）下表に示す用紙ヨコ寸法の使用は避けてください．用紙右端がインサータローラおよびカットシートフィーダの給紙ローラの端と干渉するため，用紙の斜向・コーナ折れ・しわの発生の原因となるおそれがあります．

用紙横寸法	129～147mm
	192～200mm
	234～242mm
	264～272mm
	314～322mm

⑵ 紙　質

● 仕様・規格

用紙の表裏面の反射率 80%以上の白色で直径 0.5m 以上のしみ，ピンホール，汚れ，しわおよびカール，ケバ立ちの無い上質紙

⑶ 用紙連量

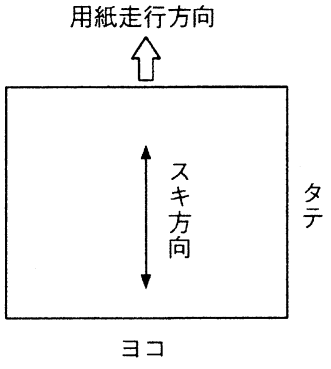
● 仕様・規格

70～90kg/連

⑷ 用紙のスキ方向

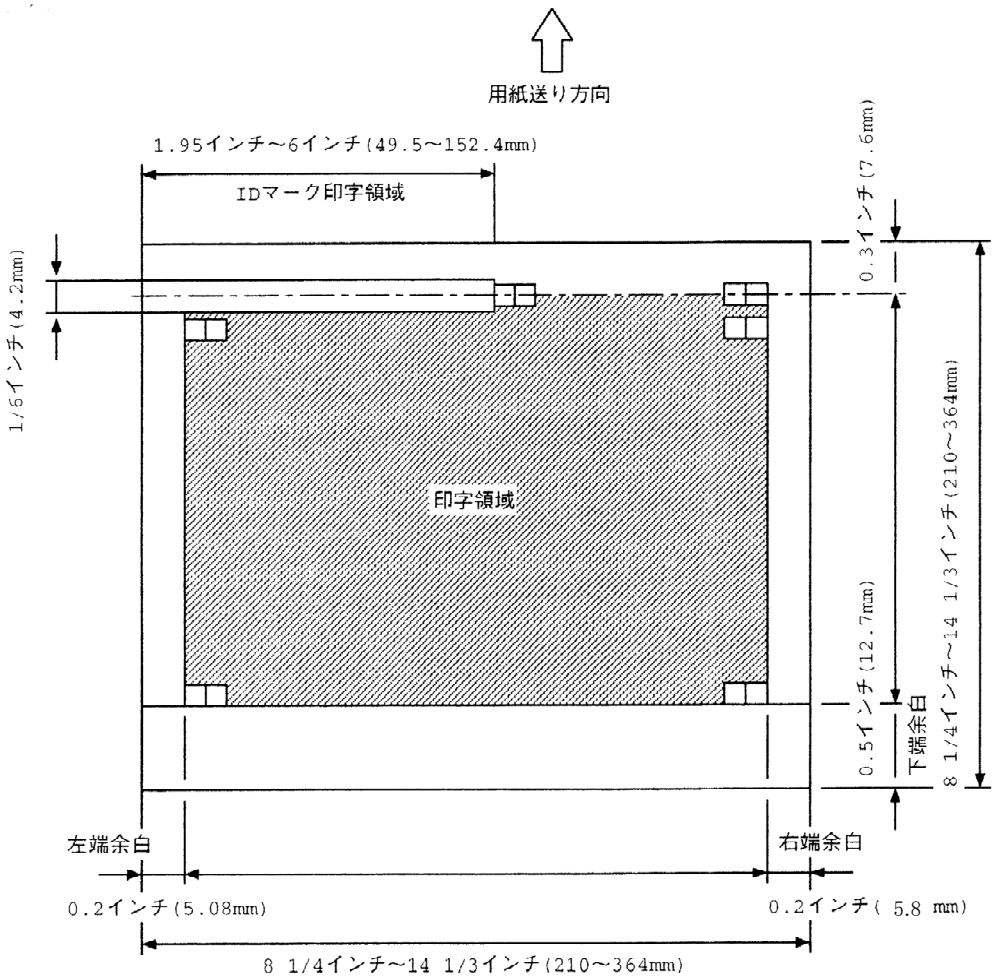
● 仕様・規格

原則として縦方向としてください．



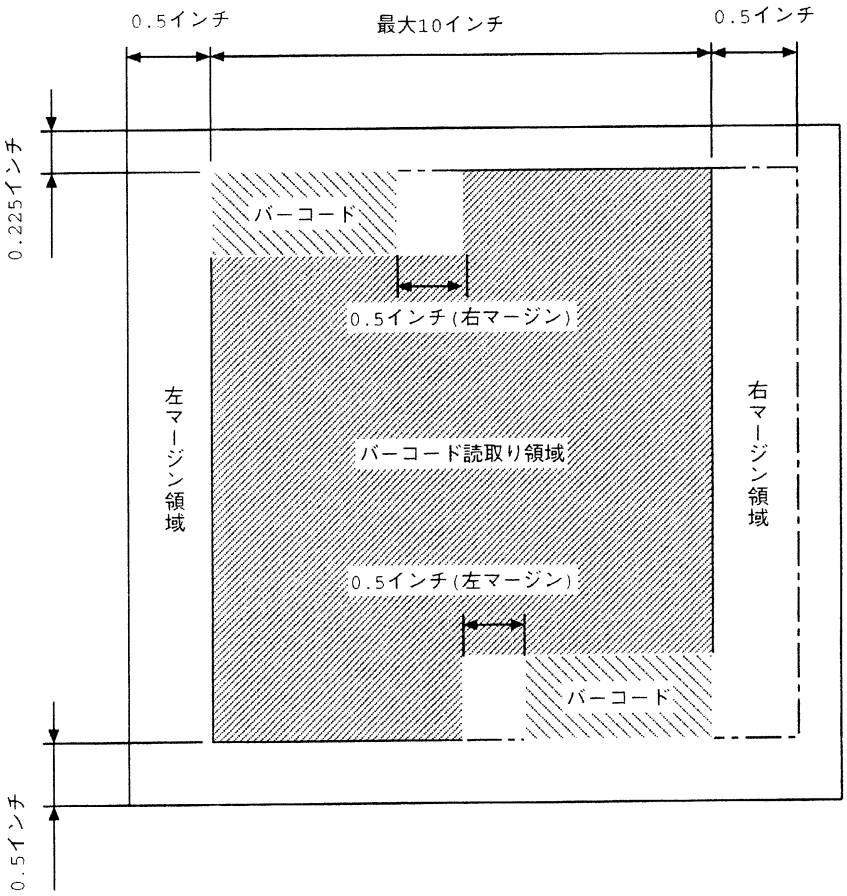
(5) 印字領域

● 仕様・規格

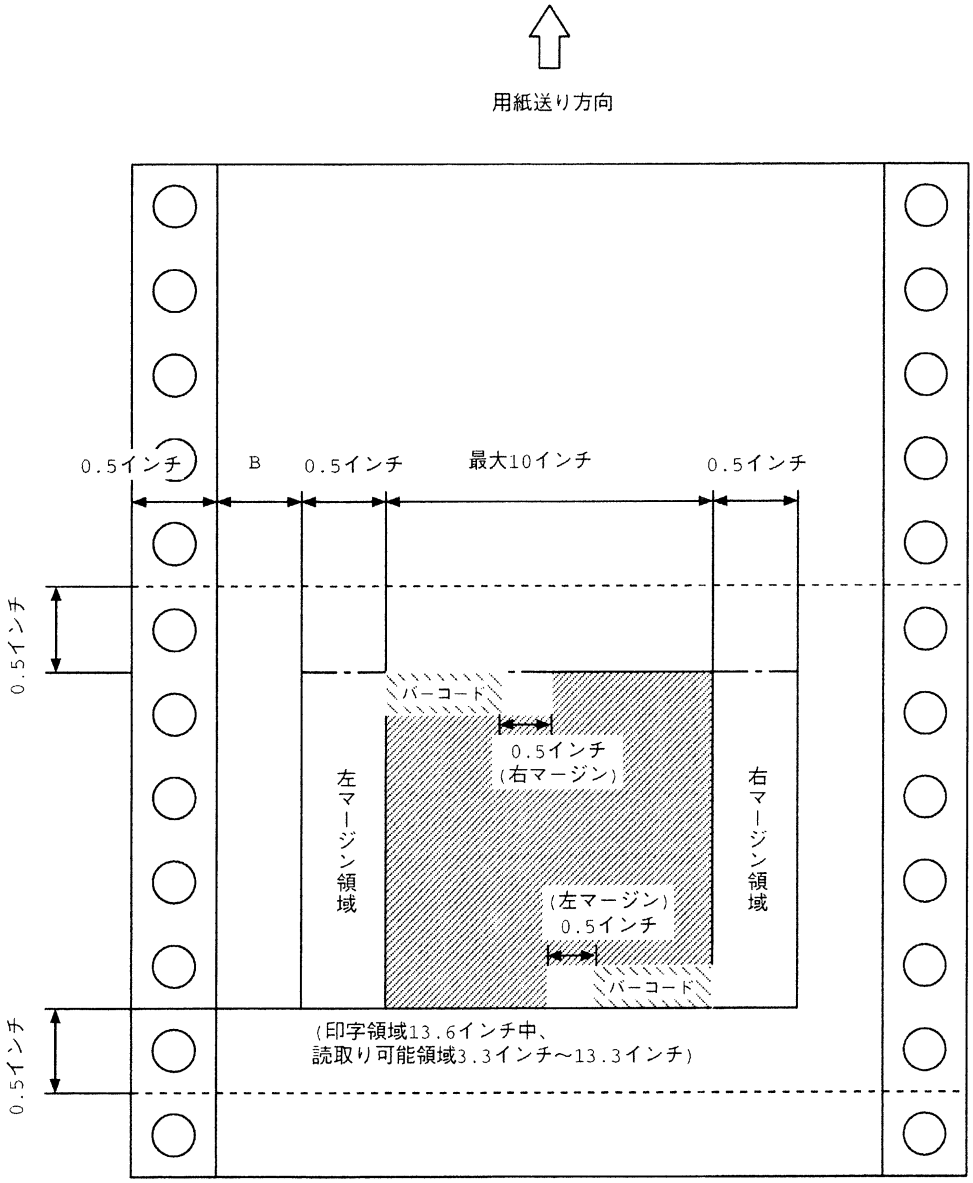

用紙送り方向
1.95インチ～6インチ(49.5～152.4mm)
IDマーク印字領域
1.5インチ(4.2mm)
0.3インチ(7.6mm)
印字領域
0.5インチ(12.7mm)
下端余白
8 1/4インチ～14 1/3インチ(210～364mm)
左端余白
右端余白
0.2インチ(5.08mm)
0.2インチ(5.8 mm)
8 1/4インチ～14 1/3インチ(210～364mm)

6.4　バーコード読取り領域

(1) 元帳・単票用紙の場合



(2) 連帳用紙の場合



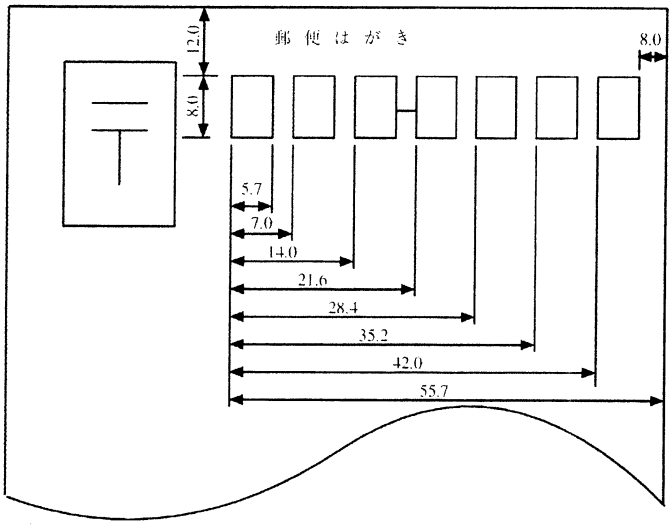
連帳幅	B 寸法	備　　考
4 インチ～15$_{1/2}$ インチ	3.0 インチ	
15$_{1/2}$ インチ～16 インチ	3.0 インチ～3.5 インチ	連帳幅 16 インチの場合，B 寸法は 3.5 インチとなる.

6.5　はがき

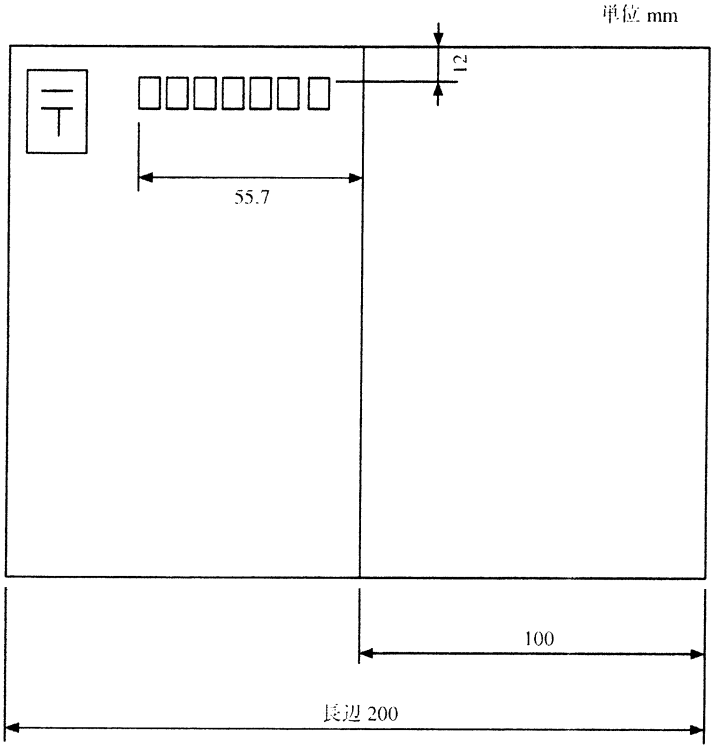
(1) 寸法および連量

● 仕様・規格

郵便番号枠



単位 mm



用紙寸法と連量

	通常はがき	往復はがき
長　辺	140～150mm	180～214mm
短　辺	90～107mm	140～150mm
用紙連量	110～135kg/連	110～135kg/連

（注意）－ 郵便番号枠の周囲 10mm 以内の印刷は禁止します．ただし，ドロップアウトカラーでのプレ印刷は可能です．
ドロップアウトカラーとは，人間の目には見えますが，光学読み取り機構では読み取らないインクの色のことです．郵便番号読み取り機では，朱色または金赤色に相当します．

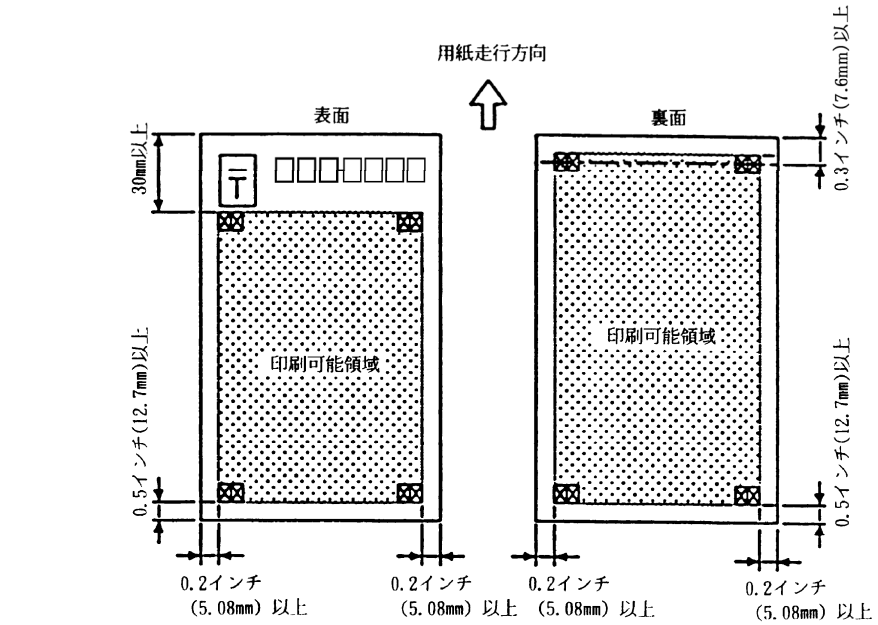
－ 往復はがきを使用する場合で，用紙中央に折り目のあるものは，使用しないでください．折り目は印刷完了後につけてください．
郵便番号を印刷する場合は，図のように長辺の長さは，200mm にしてください．

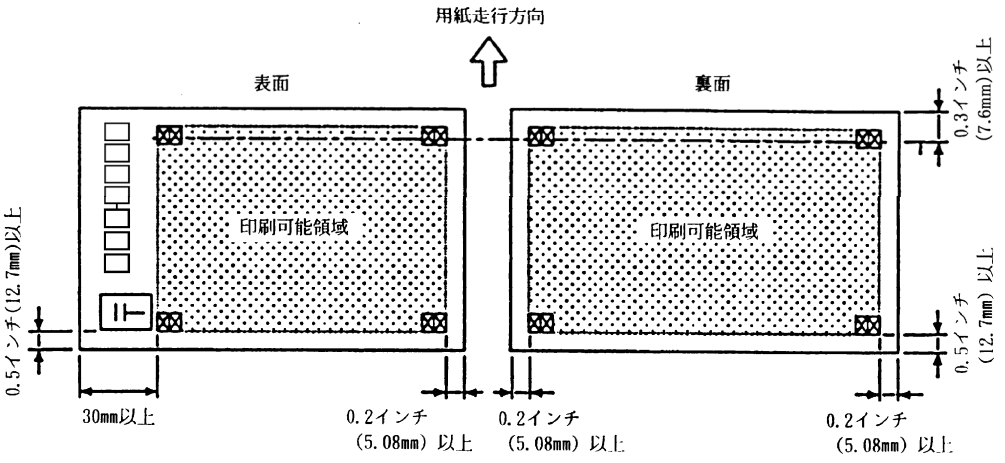
⑵ 紙　質

● 仕様・規格
用紙の表裏面とも白色（反射率 80%以上）で，しみ，ピンホール，汚れ，しわ，カール，ケバ立ちのない上質紙

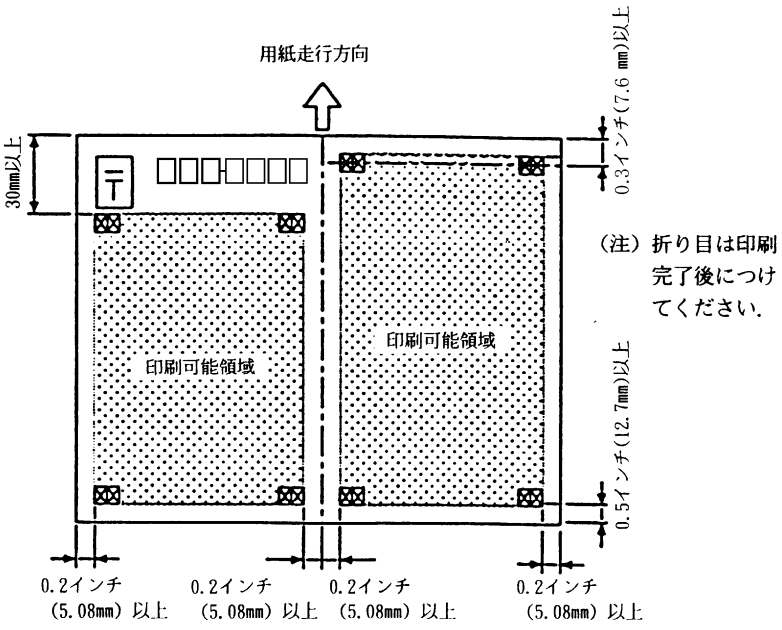
⑶ 印刷可能領域

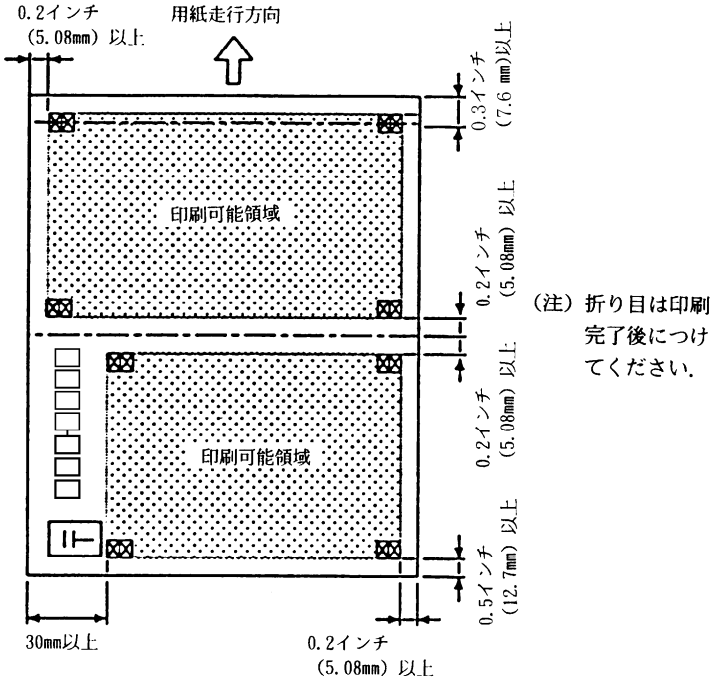
● 仕様・規格
はがきの場合





往復はがきの場合



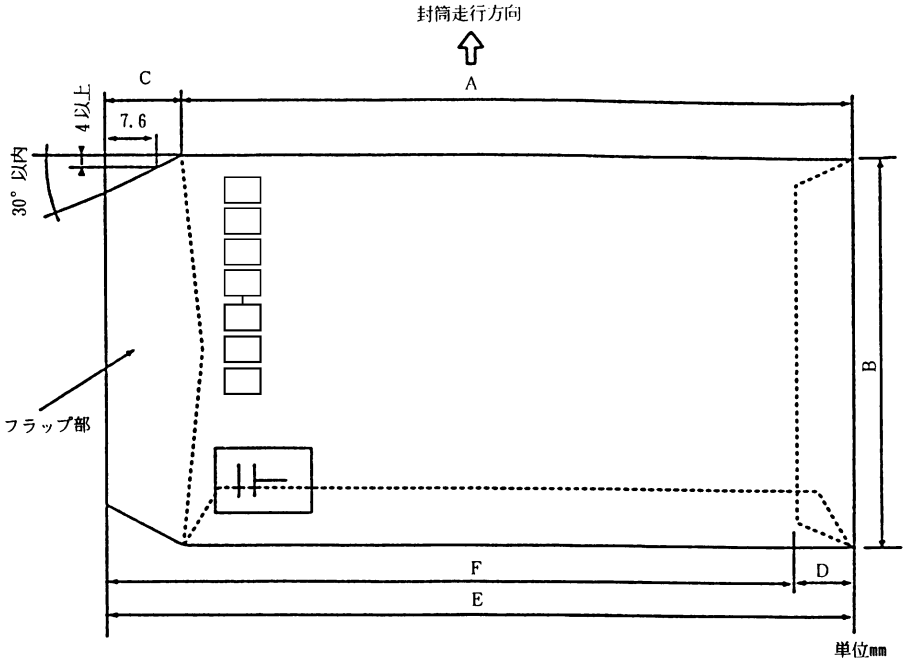


（注意）－　下端近くに印刷を行いますと，プリンタ装置が用紙切れを検出し，印刷が失敗することがありますので，印刷可能領域内に印刷してください.
余白を設定できないアプリケーションの場合は，『プリンタ』フォルダのメニューから『ファイル』メニューの『サーバーのプロパティ』にて余白を考慮した用紙を作成し，ご使用ください.

6.6 封 筒

(1) 寸 法

● 仕様・規格



用紙寸法（封筒の場合）

寸法 / 型格	A	B	C	D	E	F
長型４号	205	90	15～30	5～20	220～235	210～230
長型３号	235	120	15～25	5～20	250～260	245～255
角型３号	277	216	20～33	5～20	297～310	292～305
角型２号	332	240	15～32	5～25	342～364	342～359

JIS　S5502 準拠　単位 mm

（注意）－　フラップ部などにのり付け加工されている封筒を使用しないでください.

－　使用可能な封筒サイズは，上表４種類の一重封筒とします．封筒寸法公差長型４号，長型３号は，±2.0mm．角型３号，角型２号は，±2.5mm.

⑵ 紙　質

● 仕様・規格

用紙の表裏面（反射率 60%以上）の，クラフト紙，ケント紙，または同等以上のもので，カール，折れ，しわ，破れなどのないもの．

（注意）封筒は，その製造過程（折曲げ，のり付け）や梱包状態によってはカールが発生しやすくなるので，ご注意ください．よく矯正してカールのない状態にしてから使用してください．

⑶ 用紙坪量

● 仕様・規格

封筒型格	長形４号	長形３号	角形３号	角形２号
用紙坪量	50～85	50～85	70～85	70～85

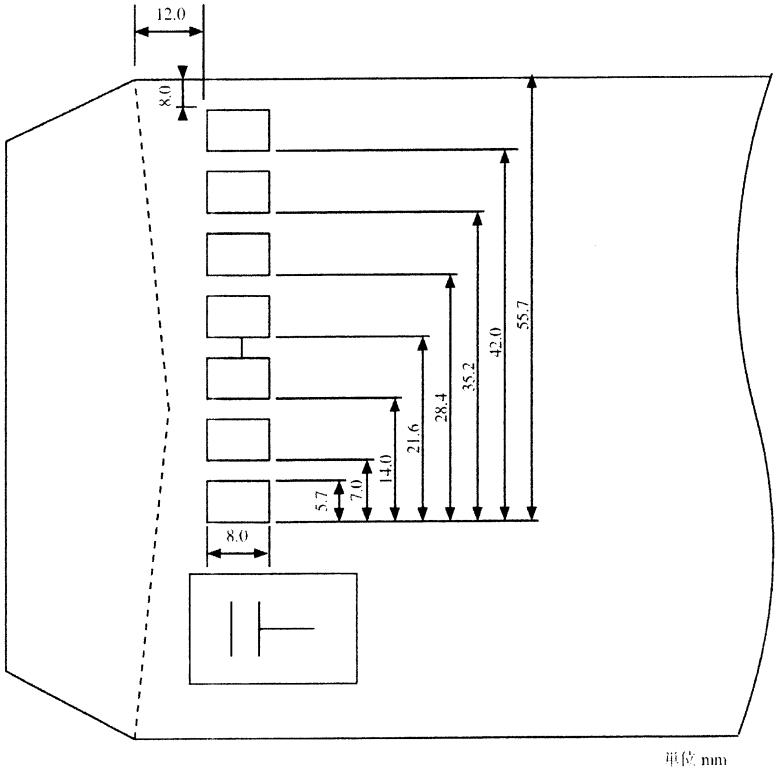
単位　g/m^2

坪量とは，$1m^2$ の重量を g で示したものです．

⑷ 郵便番号枠

● 仕様・規格

郵便番号枠



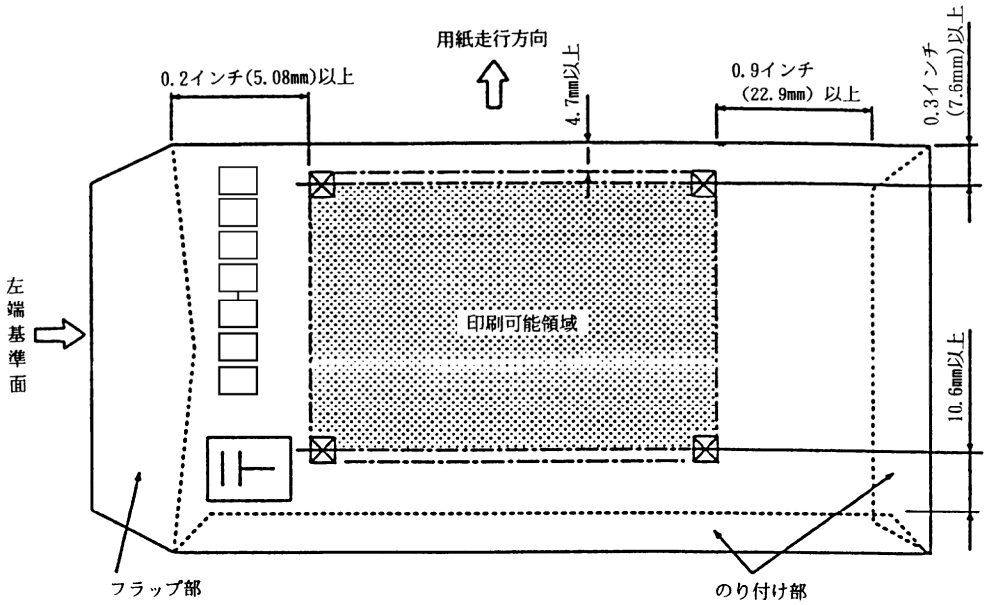
（注意）郵便番号記入枠端部より 10mm 以内には印刷しないでください．ただし，ドロップアウトカラーでのプレ印刷は可能です．

ドロップアウトカラーとは，人間の目には見えますが，光学読み取り機構では読み取らないインクの色のことです．郵便番号読み取り機では，朱色または金赤色に相当します．

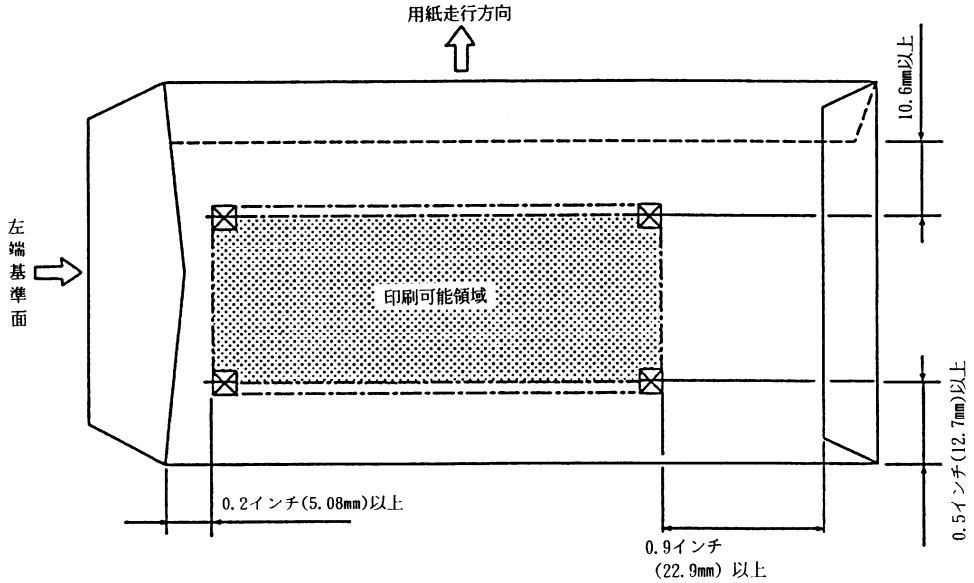
(5) 印刷可能領域

● 仕様・規格

封筒表面の場合



封筒裏面の場合



（注意）－ 封筒ののり付け部は，紙厚が厚くなっています．この付近にヘッドやギャップ基準部がくると，リボン逃げやヘッドの浮上りが生じ，印刷可能領域内であっても印刷のカスレやのり付け部でのリボン汚れが発生したりすることがあります．

－ 下端近くに印刷を行いますと，プリンタ装置が用紙切れを検出し，印刷が失敗することがありますので，印刷可能領域内に印刷してください．余白を設定できないアプリケーションの場合は，『プリンタ』フォルダのメニューから『ファイル』メニューの『サーバーのプロパティ』にて余白を考慮した用紙を作成し，ご使用ください．

6.7　タック紙

単票形式のタック紙は，用紙裁断時にはみ出したのりが，装置内に付着して，次の用紙の給紙における阻害原因となり，給紙不良，スキュー（斜行）などを発生する場合があります．

したがって，定期的に「第７章　日常の点検とお手入れ」で記述する方法で，給紙部のクリーニングを行ってください．

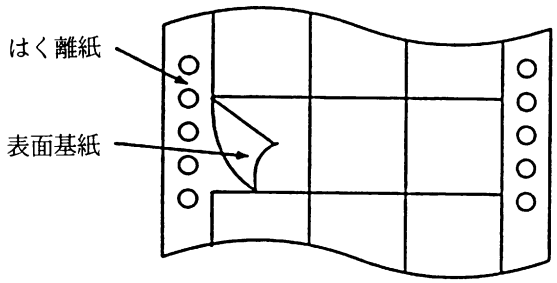
連帳形式のタック紙を切り離して単票として使用することは禁止します．

⑴ 紙質および用紙連量

● 仕様･規格

はく離紙に関しては，用紙裏面の反射率が 60%以上の用紙を使用してください．

項目 / 用紙	用紙連量 [kg/連]	紙　　質
表面基紙	43～70	上質紙
はく離紙	45～70	グラシンペーパ，クラフト紙

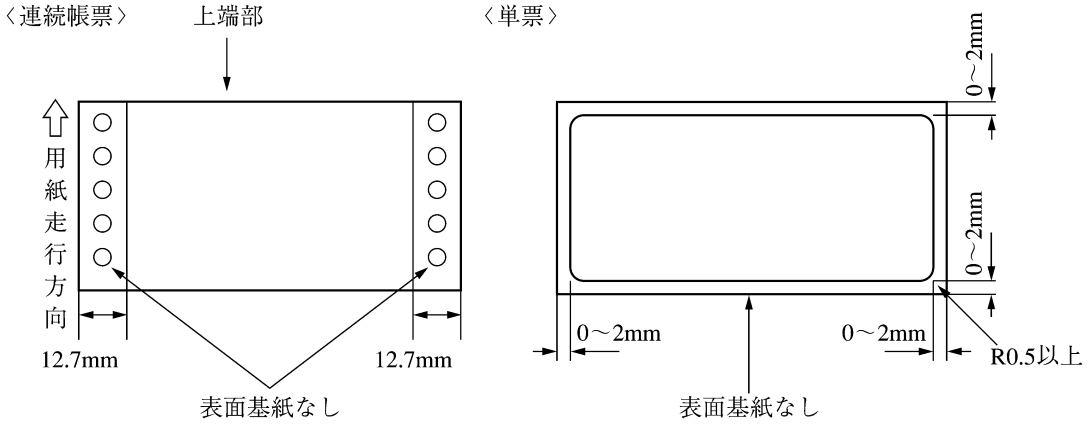


（注意）－　表面基紙とはく離紙連量組合せ：表面基紙≦はく離紙

－　はく離紙の片面（表面基紙との接着面）にシリコンコーティングを施してください．

⑵ かす取り

● 仕様･規格



（注意）－ 連続帳票の場合，送り精度を保証するために，かす取り（用紙左右端より12.7mm 以内の表面基紙を取り去る処理）の行われたタック紙を使用してください.

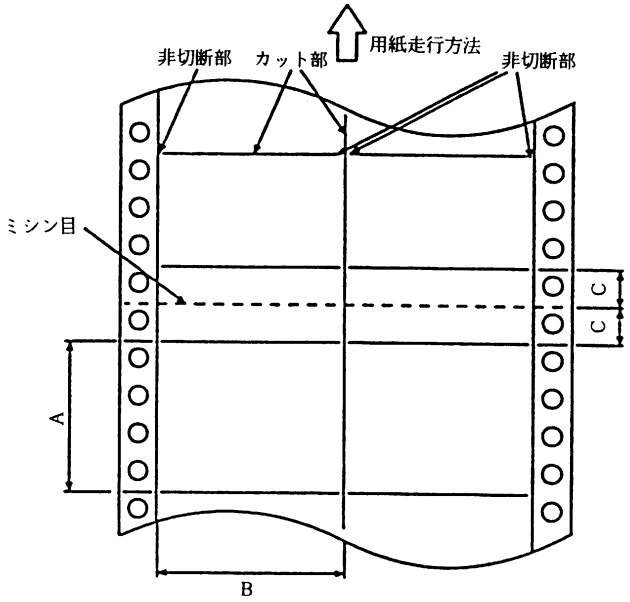
－ 単票の場合，上端部には，汚れ，バリ，のりのはみ出しがないようにしてください.

⑶ カット

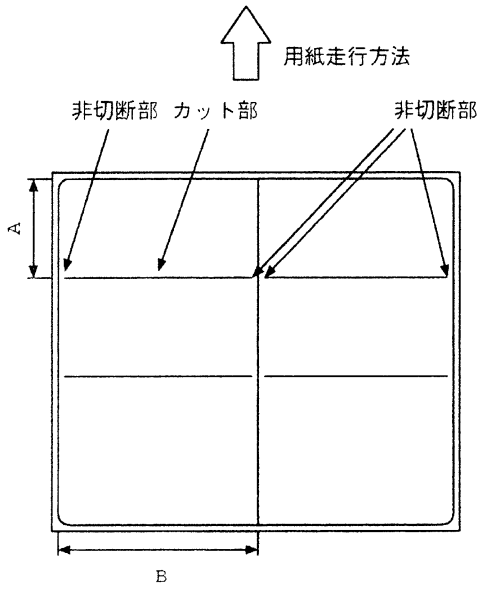
● 仕様・規格

	カット寸法〔mm〕
A	25.4～284.4
B	50.8～364
C	12.7 以上（0 でも可）

⑷ 連続帳票



(b) 単票用紙



（注意）カットは，表面基紙のみに入れてください（はく離横ミシン部は除く）．用紙送行中の表面基紙のめくれ上がりなどを避けるために，ラベル上方の左右コーナ付近に 0.5mm 程度の非切断部を設けてください．

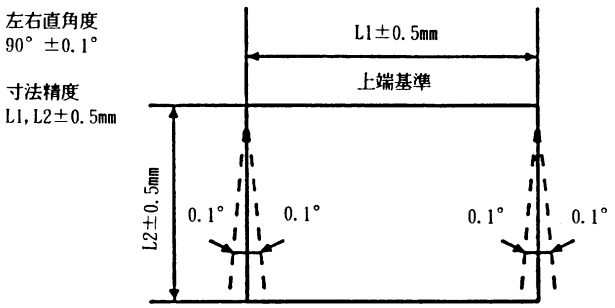
(4) 印刷可能領域

● 仕様・規格

印刷可能領域は，連続帳票規格，および単票規格に合わせます．

(5) 用紙精度

● 仕様・規格



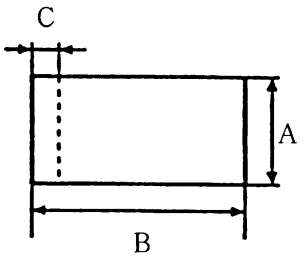
（注意）用紙は，装置に対して用紙上端，および左右端を基準にしてセット，および走行するため，以下の精度を満たしてください．

- 上端を基準として左右端直角度
  ±0.1° 以内
- 用紙寸法幅精度
  L1，L2±0.5mm 以内

6.8　左とじ伝票

(1) 寸　法

● 仕様・規格



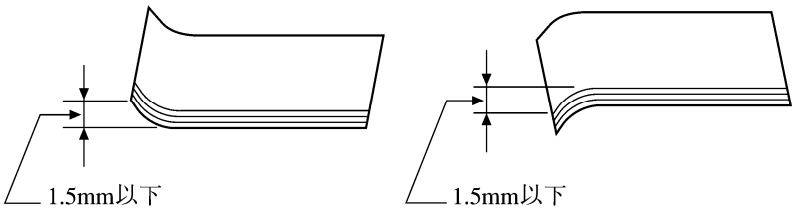
縦 A	100～130mm
横 B	198～264mm
ミシン目 C	5～13mm に一箇所のみ可

（注意）－　左とじ伝票は，カットシートフィーダで処理する際に，用紙先端がばらけやすいことがあります．また，しわ，カールなどの発生により，スキュー，用紙づまりの起こる可能性が高くなることから，用紙の状態，取り扱い，保管には十分注意してください．また，使用前に，評価を十分行ってください．

－　下記に示す用紙横寸法の使用は避けてください．

用紙横寸法	190～200mm	234～242mm

－　用紙のカールをまっすぐにしてから使用してください．用紙がカールしていると用紙づまりや用紙が斜めに給紙される原因となります．



(2) 紙　質

● 仕様・規格

感圧紙，裏カーボン紙をお使いください．

（注意）裏カーボン紙に使用するインクの種類によって，用紙間の摩擦係数に大きな差があります．

特に，用紙の汚れを少なくするために，ロウの割合を多くした（ピアレス）タイプのインクは，摩擦係数が小さく，用紙づまり発生の原因となるため，使用しないでください．

⑶ 用紙連量

● 仕様・規格

連量 / 枚数 / 構成内容	4P 規格	4P kg/連	5P 規格	5P kg/連
1 枚目	A	43	A	43
2 枚目	B	34	B	34
3 枚目	B	34	B	34
4 枚目	C	43	B	34
5 枚目			C	43

（注意）－ やむを得ず，規格外の複写枚数の帳票を使用する場合は，紙質は裏カーボンを使用してください．

－ 裏カーボン紙を使用する場合は，最終紙は上質紙を使用してください．

－ 最終紙がタックフォームの場合は，タック紙の規格を参照してください．

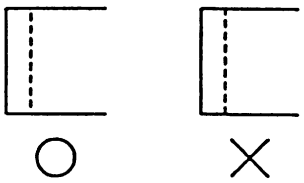
－ 用紙反転ユニット装着時には，厚みが 0.5mm 以上の用紙，およびはがき入りの複写用紙は走行不良を起こすので，使用しないでください．

⑷ ミシン目加工

● 仕様・規格

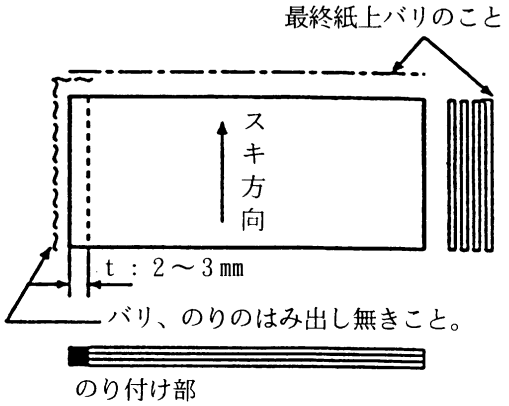
縦ミシン目は，寸法 C の位置に 1 箇所のみ可能です．ミシン目の寸法は，連帳用紙規格のミシン目加工の縦ミシン目を参照してください．

（注意）用紙端にタイ部がくるように，設定してください．



⑸ とじ方

● 仕様・規格

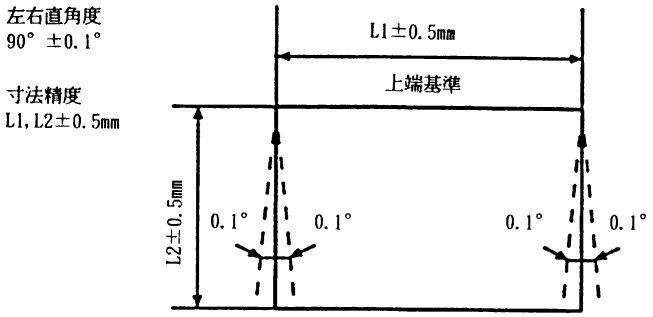


（注意）－ 用紙の左端にはのり付けし，その他の部分にはのり付けをしないでください．のり付けは強度を十分にして，容易に外れないようにしてください．

－ のり付け部には，ふくれ，しわ，縮み，破れ，変色，のりのはみ出し，バリ，およびこれらによる用紙間での引掛かりなどがないものを使用してください．

⑹ 用紙精度

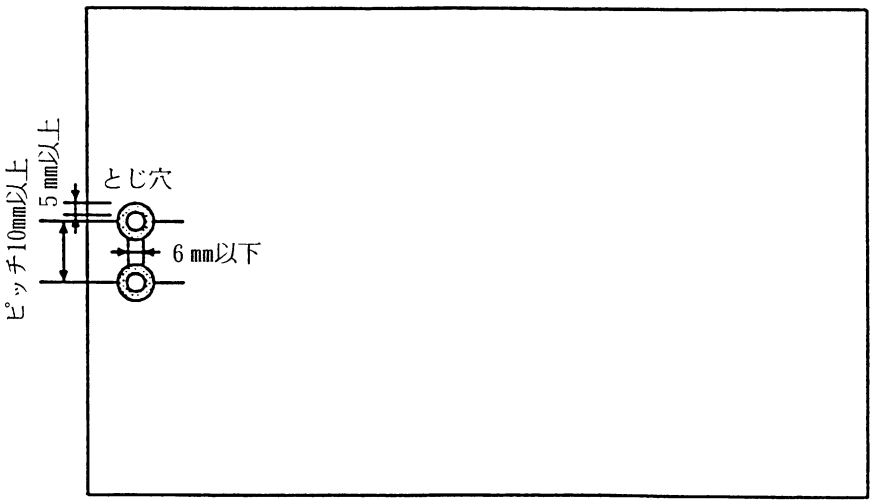
● 仕様・規格

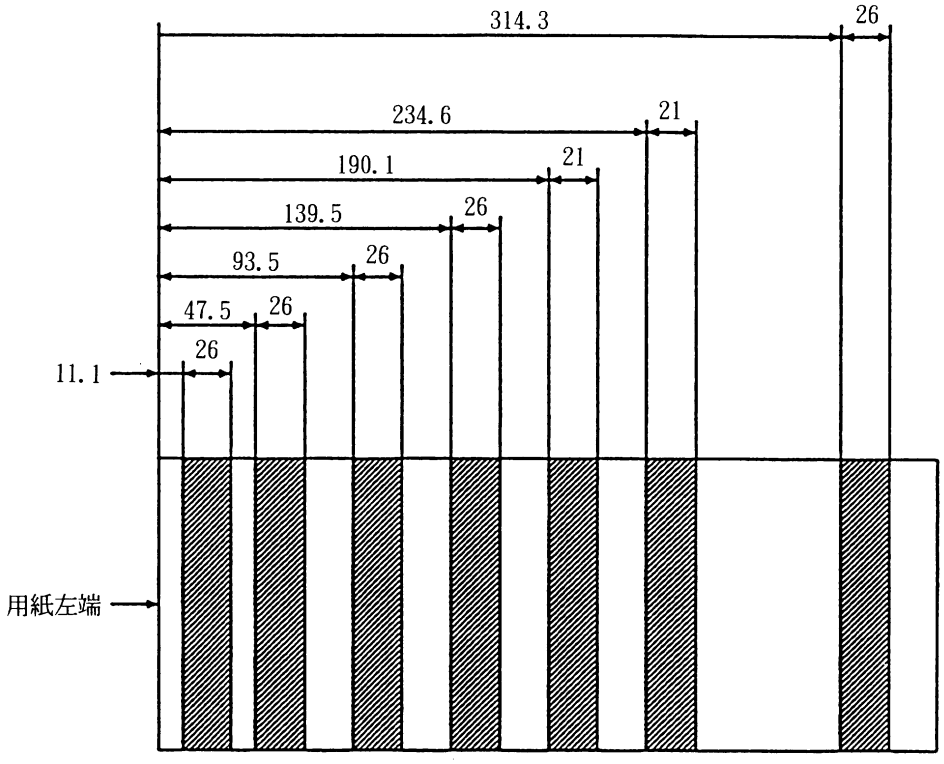


（注意）このプリンタは，用紙上端および左右端を基準としています．用紙の精度は，上図の値を満たしてください．

(7) とじ穴

● 仕様・規格





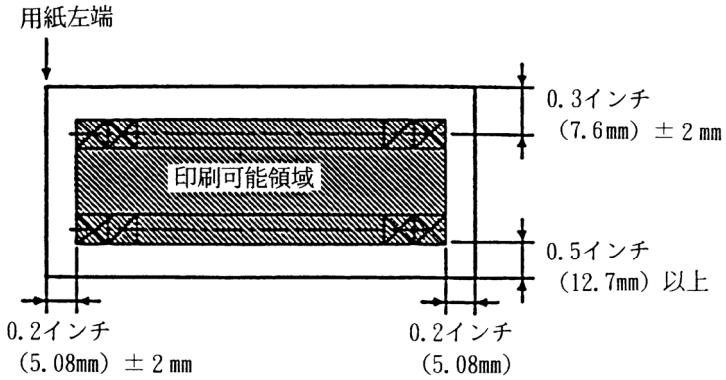
（注意）－ とじ穴をあける場合は，最上紙，または最下紙のどちらか一方に，とじ穴をあけないでください．また，給紙ローラが触れる部分にはとじ穴をあけないでください．（上図参照）．

－ 網がけ部は，カットシートフィーダの給紙ローラが用紙と接触する部分ですので，とじ穴は避けてください．

－ とじ穴は，直径 6mm 以下とし，個数は２個までとしてください．また，とじ穴の周囲 5mm 以内（ ◎ 部）の印刷は禁止します．特に，とじ穴には，ダレ，ケバなどによる用紙間の引掛かりのないようにしてください．

⑻ 印刷可能領域

● 仕様・規格



（注意）－ 印刷領域に，用紙厚の段差のある場合は使用しないでください．印字不良や印字ヘッドの破損につながります．

－ 下端近くに印刷を行いますと，プリンタ装置が用紙切れを検出し，印刷が失敗することがありますので，印刷可能領域内に印刷してください．余白を設定できないアプリケーションの場合は，『プリンタ』フォルダのメニューから『ファイル』メニューの『サーバーのプロパティ』にて余白を考慮した用紙を作成し，ご使用ください．

6.9 プレプリント用紙について

罫線枠にある用紙（プレプリント用紙）に印字する場合，用紙のたわみや吸入セット位置のズレなどによって，印字した文字が罫線枠上に重なったり，はみだしたりすることがありますので，事前に試し印字で印字位置を確認するようにしてください．

なお，罫線枠は上下左右に 2mm 程度の余裕をもたせることを推奨します．

6.10　用紙の取り扱い上の注意

⑴ 用紙の保管および取り扱いについて

用紙を保管したり，取り扱ったりするときは，変形，破損が生じないように注意してください．湿気の多い所での保管は，絶対に避けてください．

⑵ 特殊用紙について

・この章に記述した仕様と異なる特殊用紙を使用するときは，用紙づまりなどのトラブルを予防するため，サンプルを作成して十分なためし印字を行い，使えることを確認してから使用してください．
・再生紙の種類によっては，インクリボンの寿命が短くなったり，用紙づまりが起きたりすることがあります．このときは，使用を中止し，紙質の良いものに変更してください．

⑶ 使用できない用紙

次のような用紙は使用しないでください．次のような用紙を使用すると，用紙送りが不安定になり，つまり，折れ，および印字ずれの原因となります．最悪の場合には，ワイヤドットピンが折れる可能性もあります．

・極端に薄い紙または厚い紙（用紙規格を満たさないもの）
・小さすぎる紙または大きすぎる紙（用紙規格を満たさないもの）
・切り抜き部分や窓のある紙
・ピン，クリップ，ホッチキスの針など金属の付いている紙
・のり付け面が露出している紙，波打っている紙，はがれている紙
・浮き彫りのある紙
・連続帳票用紙の横ミシン目以外で折りたたんだ紙
・複写紙において，オリジナルと複写紙で大きさの異なる紙，または部分的に複写枚数が異なる紙
・端または角が破れていたり，折れている紙

第 7 章　日常の点検とお手入れ

装置が汚れていると，印字品質が悪くなったり，紙づまりを起こしたりします．
予防のため，時々手入れをしてください．

7.1　日常の点検

毎日，使い始めと終わりに，次のことをチェックしてください．

⑴ 始めの点検
　－　プリンタの回りは，ちらかっていませんか？
　　特に，クリップ，紙くずなどを確かめて，整頓しましょう．

⑵ 終わりの点検
　－　プリンタの電源は切りましたか？
　　安全のため，できるだけ電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いてください．

7.2　日常のお手入れ

－　トップカバーなどの汚れは，かたくしぼったぞうきんなどをお使いください．
－　洗剤は中性洗剤をお使いください．
－　シンナーなどは，ご使用にならないでください．
－　清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください．
　プリンタを良好な状態で使用できるように，定期的に清掃してください．

1）前用紙ガイドと後用紙ガイドを取り外します．
2）センサ検出用穴に紙粉がたまっていると用紙排出エラーが発生する可能性があるので綿棒またはやわらかい布などで軽く拭き取ってください．
3）用紙送りローラに紙粉が付着すると用紙フィード力が低減し，用紙送りに支障が生じるおそれがあるのでエチルアルコールを含んだやわらかい布でクリーニングしてください．
4）前用紙ガイドと後用紙ガイドを取り付けます．

7.3　カットシートフィーダの清掃の仕方

－　給紙ローラに紙粉，タック紙のノリなどが付着した場合はエチルアルコールを含んだやわらかい布でクリーニングしてください．

第 8 章　設置諸元

本章では，本装置の設置仕様，外形寸法および保守スペースについて説明します．

8.1　設置仕様

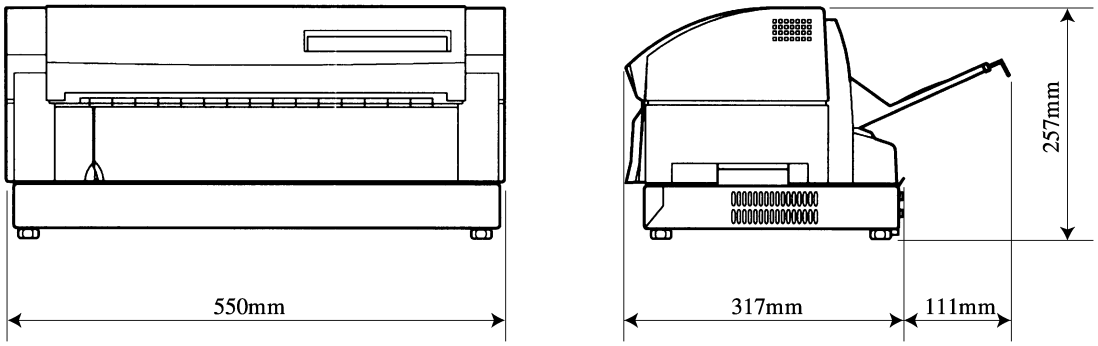
本装置の設置仕様を表 8.1 に示します．

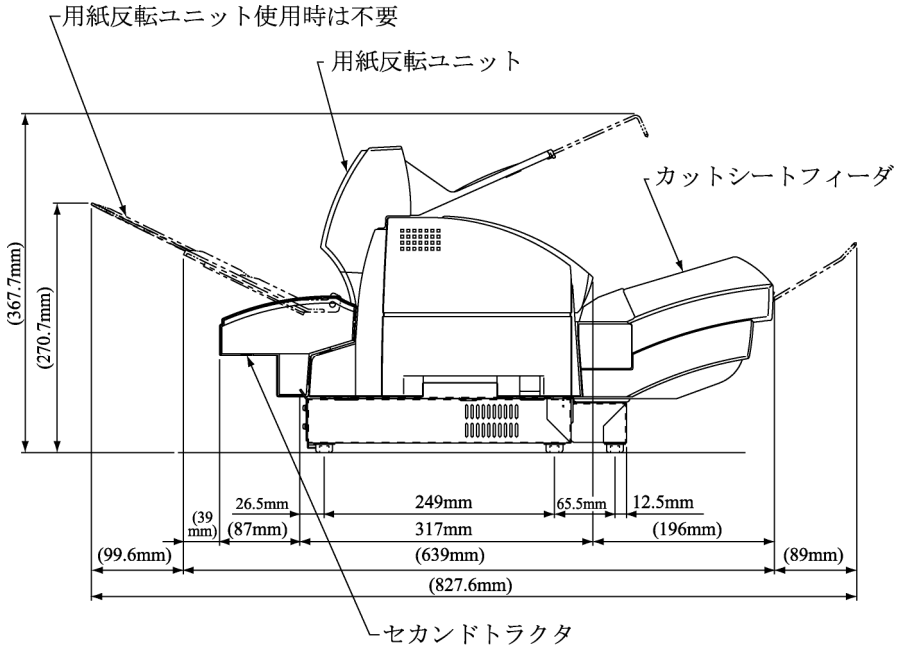
表 8.1　設置仕様

<table>
<tr><th colspan="2">項　　目</th><th colspan="3">仕　　様</th></tr>
<tr><td rowspan="2">外形寸法</td><td colspan="2">幅</td><td>奥行</td><td>高さ</td></tr>
<tr><td colspan="2">550mm</td><td>317mm</td><td>257mm</td></tr>
<tr><td>質　　量</td><td colspan="4">プリンタ装置本体　　：　16kg
カットシートフィーダ　：　3.5kg（オプション）
セカンドトラクタ　　：　2kg（オプション）
用紙反転ユニット　　：　1.9kg（オプション）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">入力電圧</td><td>電　圧</td><td colspan="3">AC100V±10%</td></tr>
<tr><td>相</td><td colspan="3">単相</td></tr>
<tr><td>周波数</td><td colspan="3">50/60Hz　+2%，−4%</td></tr>
<tr><td>所要電力量</td><td colspan="4">稼働時　　：125W，180VA（15%DUTY 相当印字）
最大 480W，700VA（50%DUTY 印字）
待機時　　：14.5W 以下
電源 OFF 時：0W</td></tr>
<tr><td>発 熱 量</td><td colspan="4">最大 1.8MJ/H</td></tr>
<tr><td rowspan="4">周囲環境
許容範囲</td><td>設置状態</td><td colspan="2">稼働時</td><td>非稼働時</td></tr>
<tr><td>温　　度</td><td colspan="2">5～35℃</td><td>0～50℃</td></tr>
<tr><td>湿　　度</td><td colspan="2">20～80%</td><td>10～80%</td></tr>
<tr><td>最高湿球温度</td><td colspan="3">29℃以下</td></tr>
<tr><td>許容振動</td><td colspan="4">稼働時：0.2G 以下</td></tr>
<tr><td>許容傾斜</td><td colspan="4">稼働時：5°以下（前後左右）</td></tr>
<tr><td>騒　　音</td><td colspan="4">60dB 以下（ISO7779 準拠：音圧レベル，Bystander Position）</td></tr>
<tr><td>雑音電界強度
雑音端子電圧</td><td colspan="4">VCCI クラス A</td></tr>
<tr><td>コンセント仕様</td><td colspan="4">125V/15A，2 極接地型</td></tr>
</table>

8.2　外形寸法

本装置の外形寸法を図 8.1 に示します.





オプション装着時

図 8.1　外形寸法

8.3　保守スペース

本装置の保守スペースを図 8.2 に示します.

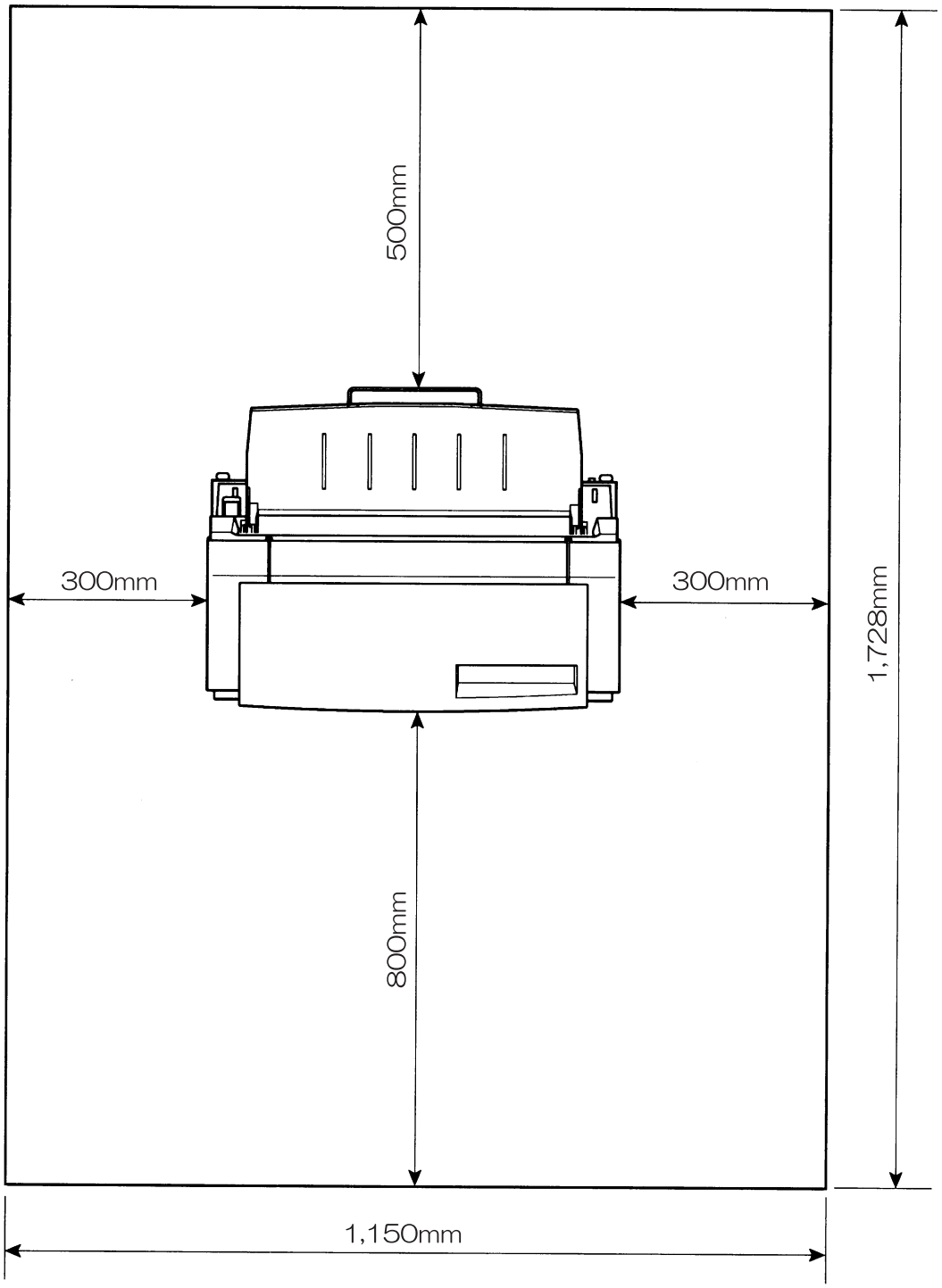


図 8.2　保守スペース

第 9 章　付　録

本章では，本装置の液晶ディスプレイに表示されるメッセージの一覧および文字コードについて示します．

9.1　ﾒｯｾｰｼﾞｰ覧

9.1.1　オフライン系

オフライン系のメッセージ一覧を表 9.1 に示します．

表 9.1　オフライン系のメッセージ一覧（続く）

	状態	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内　容	復旧方法
	00	点灯	消灯	鳴らない	00　オンライン	オンライン状態 ・動作可能	（不要）
※	08	消灯	消灯	鳴らない	08　テイシタイムアウト	停止タイムアウト （約 10 分間）	スタート SW 押下
※		点灯	消灯	鳴らない	PA キー　　1/2	機能 SW 選択	再度機能 SW 押下
※		点灯	消灯	鳴らない	ナシ	機能 SW 選択無し	同上
※		点灯	消灯	鳴らない	キャンセル	機能 SW キャンセル機能選択	同上
※		点灯	消灯	鳴らない	PA1	機能 SW PA1 キー機能選択	同上
※		点灯	消灯	鳴らない	PA2	機能 SW PA2 キー機能選択	同上
※		点灯	消灯	鳴らない	ペーパーアジャスト　　2/2	機能 SW　用紙調整機能	同上
※		点灯	消灯	鳴らない	ペーパーアジャスト	機能 SW　用紙調整機能	同上
	90	消灯	消灯	鳴らない	90　オフライン　ヨウシイチ	オフライン画面 ・エラーからの戻り画面 ・N-Ready	用紙位置確認または調整後スタート SW 押下
	90	消灯	消灯	鳴らない	90　オフライン	オフライン画面 ・N-Ready	スタート SW 押下
	90	消灯	消灯	鳴らない	90　オフライン　データ　アリ	オフライン画面 ・N-Ready ・未印刷データ有り	スタート SW 押下 PrintWalker 設定
	98	消灯	消灯	鳴らない	98　→ → → → → ・	ローディング中 （制御プログラムを RAM 上に読込中）	（不要）
	99	消灯	消灯	鳴らない	99　→ → ・ ・ ・ ・	初期診断中 （内部ハードウェアのチェック中）	（不要）
		点灯	消灯	鳴らない	パターンカキコミチュウ	SEND CG 実行中	（不要）

※　サポートサーバ設定が PrintWalker の場合，表示されません．

表 9.1　オフライン系のメッセージ一覧（続き）

状態	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内　　容	復旧方法
	点灯	消灯	鳴らない	テサシ　ニ　ヨウシ　ヲ　セット	オンライン状態 ・手差し口用紙セット要求	手差し口に用紙をセット
	点灯	消灯	鳴らない	テサシ　ヨウシ　ノ　ジョキョ	オンライン状態 ・手差し口用紙除去要求	手差し口の用紙を除去
	消灯	消灯	鳴らない	ヨウシ　キリカエ　ショリチュウ	用紙切換え処理中 （用紙選択 SW 押下）	（不要）
	消灯	消灯	鳴らない	ヨウシ　ハンソウチュウ	用紙セット／後退動作中 （用紙セット SW 押下）	（不要）
	消灯	消灯	鳴らない	ヒダリマージン　：XX	左端設定	再度機能 SW 押下
	消灯	消灯	鳴らない	ページチョウ　　：XX	ページ長	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ロードイチ　　：XX.X	ロード位置	同上
	消灯	消灯	鳴らない	カンジピッチ　　：XX	漢字ピッチ	同上
	消灯	消灯	鳴らない	AN ピッチ　　：XX	AN ピッチ	同上
	消灯	消灯	鳴らない	カイギョウピッチ　：　XLPI	改行ピッチ	同上
	消灯	消灯	鳴らない	カイギョウカンカク　：　XLF	改行間隔	同上
	消灯	消灯	鳴らない	テストインジ	テスト印字	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ジッコウチュウ	テスト印字中	（不要）

9.1.2　セットアップ系

セットアップ系のメッセージ一覧を表 9.2 に示します.

表 9.2　セットアップ系のメッセージ一覧

状態	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内　　容
98	消灯	消灯	鳴らない	98　→ → → → → ・	電源投入時，5 番目の→が表示されてから 6 番目の→が表示されるまでに，セットアップ遷移用 SW が押下されているとセットアップ初期化処理画面に遷移する.
97	消灯	消灯	鳴らない	97　→ → → → → ・	セットアップ受付後の初期化処理画面

1)　セットアップメニュー遷移

状態	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内　　容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	セットアップツウシン　1/5	セットアップメニュー (1/5)	手前排出 SW 押下で書き込み処理画面へ遷移
	消灯	消灯	鳴らない	セットアップソウチ　2/5	セットアップメニュー (2/5)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	セットアップヨウシ　3/5	セットアップメニュー (3/5)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	セットアップインサツ　4/5	セットアップメニュー (4/5)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ペーパーアジャスト　5/5	セットアップメニュー (5/5)	同上

2) IPL カクニン

状態	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内　　容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	セットアップ　カキコミ	セットアップ情報書込確認画面	決定 SW 押下で書込処理へ遷移 手前排出 SW 押下で初期診断確認画面へ遷移
	消灯	消灯	鳴らない	ローディング　1/2	初期診断確認画面　(1/2)	決定 SW 押下で初期診断へ遷移
	消灯	消灯	鳴らない	セットアップメニュー　2/2	初期診断確認画面　(2/2)	決定 SW 押下でセットアップメニューへ遷移

3) 通信セットアップ

状態	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内　　容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	サポートサーバ　1/3	通信関連セットアップ（1/3）▲▼SW で選択	手前排出 SW 押下で通信セットアップ選択画面に戻る
	消灯	消灯	鳴らない	LAN インターフェース　2/3	通信関連セットアップ（2/3）▲▼SW で選択	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ソウチメイ　セッテイ　3/3	通信関連セットアップ（3/3）▲▼SW で選択	同上
	消灯	消灯	鳴らない	XXXXXXXXXXXXXXXX	装置名設定	手前排出 SW 押下で装置名設定へ戻る
	消灯	消灯	鳴らない	LAN インターフェース：XXXX	LAN インターフェース設定	手前排出 SW 押下で LAN インターフェース画面へ戻る
	消灯	消灯	鳴らない	PrintWalker　1/3	サポートサーバ設定（1/3）	手前排出 SW 押下でサポートサーバ画面に戻る
	消灯	消灯	鳴らない	6680-NMC　2/3	サポートサーバ設定（2/3）	同上
	消灯	消灯	鳴らない	HOST PRINT　3/3	サポートサーバ設定（3/3）	同上
PrintWalker および HOST PRINT 選択時						
	消灯	消灯	鳴らない	MAC　アドレス　1/8	通信設定　（1/8）	手前排出 SW 押下でサポートサーバ設定へ戻る.
	消灯	消灯	鳴らない	IP　アドレス　2/8	通信設定　（2/8）	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ネットマスク　3/8	通信設定　（3/8）	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ゲートウェイ　1　4/8	通信設定　（4/8）	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ゲートウェイ　2　5/8	通信設定　（5/8）	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ゲートウェイ　3　6/8	通信設定　（6/8）	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ゲートウェイ　4　7/8	通信設定　（7/8）	同上
	消灯	消灯	鳴らない	デフォルトルータ　8/8	通信設定　（8/8）	同上
	消灯	消灯	鳴らない	XXX.XXX.XXX.XXX	アドレス設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	MAC グローバル	グローバルアドレス表示	同上
	消灯	消灯	鳴らない	アテサキアドレス　1/2	ゲートウェイ設定（1/2）	同上

状態	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内　　容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	ゲートウェイアドレス　2/2	ゲートウェイ設定（2/2）	手前排出 SW 押下でサポートサーバ設定へ戻る.
6680-NMC 選択時						
	消灯	消灯	鳴らない	LAN　アドレス　1/5	LAN アドレス設定	手前排出 SW 押下でサポートサーバ設定へ戻る.
	消灯	消灯	鳴らない	グローバル　アドレス　2/5	LAN グローバルアドレス表示	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ローカル　アドレス　2/5	LAN ローカルアドレス設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	アイテサキ　アドレス　3/5	LAN 相手先アドレス設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	タイムアウト　：XX. X S 4/5	LAN タイムアウト値設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	サイソウスウ　：XX カイ 5/5	LAN 再送数設定	同上
HOST PRINT 選択時						
	消灯	消灯	鳴らない	サーバ IP アドレス　9/10	サーバアドレス設定	手前排出 SW 押下でサポートサーバ設定へ戻る.
	消灯	消灯	鳴らない	セッションリトライ　10/10	セッションリトライ設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	セッションリトライ：XX　カイ	セッションリトライ回数設定	手前排出 SW 押下でセッションリトライ設定へ戻る.

4)　装置設定セットアップ

状態	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内　　容	復旧方法
PrintWalker 選択時						
	消灯	消灯	鳴らない	EBCDIC　：XXXXXXX	EBCDIC フォント設定	手前排出 SW 押下で装置設定セットアップ選択画面へ戻る.
	消灯	消灯	鳴らない	インサツドウサ　：XXXXXX	印刷動作設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	インサツモード　：XXXXXX	印刷モード設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	AN コード　：XXXXXX	AN コード設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	インジケタスウ　：XXX　ケタ	印字桁数設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ヘッドドウサ　：XXXXXX	印字ヘッド動作方向設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	カイページ　：XXX	改ページの動作設定	同上
6680-NMC・HOST PRINT 選択時						
	消灯	消灯	鳴らない	EBCDIC　：XXXXXXX	EBCDIC フォント設定	手前排出 SW 押下で装置設定セットアップ選択画面へ戻る.
	消灯	消灯	鳴らない	インサツドウサ　：XXXXXX	印刷動作設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	インサツモード　：XXXXXX	印刷モード設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	FF ユウコウイチ：XXXXX	FF(Form Feed) 有効位置設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ミギハシ+NL　：　X　LF	右端+NL 設定	同上

	状態	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内　　容	復旧方法
		消灯	消灯	鳴らない	ミギハシ+CR　：　X　LF	右端+CR 設定	同上
※		消灯	消灯	鳴らない	ミテイギモジ　：XXXXX	未定義文字設定	手前排出 SW 押下で装置設定セットアップ選択画面へ戻る.
		消灯	消灯	鳴らない	AN コード　　：XXXXX	AN コード設定	同上
		消灯	消灯	鳴らない	インジケタスウ　：XXX　ケタ	印字桁数設定	同上
		消灯	消灯	鳴らない	ヨウシシュウリョウ；XXXXXX	用紙終了時設定（中断／継続）	同上
		消灯	消灯	鳴らない	ヘッドドウサ　：XXXXXX	印字ヘッド動作方向設定	同上

※　サポートサーバ設定が HOST PRINT 時は未定義文字は無効で表示されません.

5)　用紙設定セットアップメニュー

状態	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内　　容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	レンチョウ１　　1/3	用紙設定画面　連帳１	手前排出 SW 押下で用紙設定セットアップ選択画面へ戻る.
	消灯	消灯	鳴らない	レンチョウ２　　2/3	用紙設定画面　連帳２	同上
	消灯	消灯	鳴らない	タンピョウ　　3/3	用紙設定画面　単票	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ヒダリマージン　：　XX	左端設定	手前排出 SW 押下で連帳／単票画面へ戻る.
	消灯	消灯	鳴らない	ページチョウ　：　XX	ページ長	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ロードイチ　：　XXX	ロード位置	同上
	消灯	消灯	鳴らない	カンジピッチ　：　XX	漢字ピッチ	同上
	消灯	消灯	鳴らない	AN ピッチ　：　XX	AN ピッチ	同上
	消灯	消灯	鳴らない	カイギョウピッチ　：　XLPI	改行ピッチ	同上
	消灯	消灯	鳴らない	カイギョウカンカク：　XLF	改行間隔	同上
	消灯	消灯	鳴らない	フウトウモード　：　XX	封筒モード	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ホッパテマエハイシュツ　：XX	ホッパ手前排出	同上
	消灯	消灯	鳴らない	テサシテマエハイシュツ　：XX	手差し手前排出	同上

6)　書き込み処理

状態	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内　　容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	シテイチ　カキコミ　　1/2	書込み処理選択（指定値書込み）	手前排出 SW 押下で書き込み処理画面へ戻る.
	消灯	消灯	消灯	デフォルト　カキコミ　　2/2	書込み処理選択（デフォルト書込み）	同上

状態	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内　　容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	スタート SW　ヲ　オス	書込み処理開始 ・実行前 ・スタート SW 押下で実行	手前排出 SW 押下で書込み処理選択画面へ戻る.
	消灯	消灯	鳴らない	ジッコウチュウ	書込み処理実行 ・実行中	正常終了で書込み処理選択画面へ遷移.

7)　セットアップ印刷

状態	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内　　容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	スタート SW　ヲ　オス	・セットアップ印刷実行前 ・スタート SW 押下で実行	手前排出 SW 押下でセットアップ印刷選択画面へ戻る.
	消灯	消灯	鳴らない	ジッコウチュウ	・セットアップ印刷実行中	正常終了でセットアップ印刷選択画面へ遷移

8)　用紙微調整

状態	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内　　容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	ペーパー　アジャスト	用紙微調整開始画面	手前排出 SW 押下でペーパーアジャスト選択画面へ戻る.

9.1.3　コントローラ系エラー

コントローラ系のエラーメッセージ一覧を表 9.3 に示します.

表 9.3　コントローラ系のエラーメッセージ一覧

エラーコード	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内　　容	復旧方法
40-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER40-01：メモリエラー	ROM SUM チェックエラー	電源 OFF →再投入
40-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER40-02：メモリエラー	LAN　グローバルアドレス用 ROM SUM チェックエラー	同上
41-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER41-01：メモリエラー	SDRAM W/R チェックエラー（ROM 部）	同上
41-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER41-02：メモリエラー	ブート部のコンペアチェックエラー	同上
41-03	消灯	点滅	間欠鳴動	ER41-03：メモリエラー	SDRAM W/R チェックエラー（RAM 部）	同上
42-09	消灯	点滅	間欠鳴動	ER42-09：PCB XXXX	LANCE オープンエラーまたはシステムエラー	同上
43-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER43-01：LAN XXXX	LAN 二重アドレス(設定ミス）エラー	同上
43-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER43-02：LAN XXXX	相手ノードウインド長エラー	同上
43-03	消灯	点滅	間欠鳴動	ER43-03：LAN XXXX	相手受信情報部長エラー	同上
43-04	消灯	点滅	間欠鳴動	ER43-04：LAN XXXX	LAN 用 DP-RAM エラー	同上
43-05	消灯	点滅	間欠鳴動	ER43-05：LAN XXXX	アンダーフローエラー	同上

エラーコード	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内　　容	復旧方法
43-06	消灯	点滅	間欠鳴動	ER43-06：LAN XXXX	LAN 用 S-RAM においてファームの設定ミスまたはアンダーフローエラー	同上

エラーコード	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内　　容	復旧方法
43-07	消灯	点滅	間欠鳴動	ER43-07：LAN XXXX	伝送路異常 （エラー未検出） （LAN コネクタ抜け）	電源 OFF →再投入
43-08	消灯	点滅	間欠鳴動	ER43-08：LAN XXXX	伝送路異常 （エラー検出） （LAN コネクタ抜け）	同上
43-09	消灯	点滅	間欠鳴動	ER43-09：LAN XXXX	LANCE OPEN 不可 （ローカルアドレス 未設定）	同上
43-10	消灯	点滅	間欠鳴動	ER43-10：LAN XXXX	LANCE OPEN 不可 （他ノードアドレス 未設定）	同上
45-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER45-01：FLASH エラー	FLASH アクセスエラー	同上
47-0X	消灯	点滅	間欠鳴動	ER47-0X：ソケットエラー	ファーム（ソケット）内部矛盾 ※　X は 1～9	同上
49-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-01：PCF XXXX	ファーム処理内部矛盾	同上
49-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-02：PCF XXXX	TLB 変更例外	同上
49-03	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-03：PCF XXXX	TLB 不一致例外 （ロード命令又は命令フェッチ）	同上
49-04	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-04：PCF XXXX	TLB 不一致例外 （ストア命令）	同上
49-05	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-05：PCF XXXX	アドレスエラー （ロード命令又は命令フェッチ）	同上
49-06	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-06：PCF XXXX	アドレスエラー （ストア命令）	同上
49-07	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-07：PCF XXXX	バスエラー （命令フェッチ）	同上
49-08	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-08：PCF XXXX	バスエラー （データロード命令又はストア命令）	同上
49-09	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-09：PCF XXXX	システムコール例外	同上
49-10	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-10：PCF XXXX	ブレイクポイント例外	同上
49-11	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-11：PCF XXXX	予約命令例外	同上
49-12	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-12：PCF XXXX	コプロセッサ使用不可例外	同上
49-13	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-13：PCF XXXX	算術オーバーフロー例外	同上
49-14	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-14：PCF ・・・・	NMI 例外 Write バスエラー	同上
49-15	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-15：PCF ・・・・	ULTB 不一致	同上
49-16	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-16：PCF ・・・・	ベクタアドレス（0xBFC00180）への割り込み	同上
49-17	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-17：PCF ・・・・	デバック例外	同上

エラーコード	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内　　容	復旧方法
49-18	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-18：PCF XXXX	DMA エラー（MPU）	同上
89-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER89-01：パターン	上位装置に要求した非常駐文字に対する応答がない.	同上
32-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER32-01：POC イジョウ	POC エラー	スタート SW 押下によりオフライン状態
07-01	消灯	点滅	鳴らない	ER07-01：プログラム	プログラムエラー（OP-CHK） コマンド／オーダの異常	スタート SW 押下. プログラムエラー要因除去後，再実行
27-01	消灯	消灯	鳴らない	ER27-01：ジョウイソウチ	上位装置との接続が切断された	通信再開で復旧

9.1.4　メカ系エラー

メカ系のエラーメッセージ一覧を表 9.4 に示します.

表 9.4　メカ系のエラーメッセージ一覧

1）オペレータコール

エラーコード	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内　　容	復旧方法
01-01	点灯	消灯	間欠鳴動	ER01-01：ヨウシギレ	用紙切れ ・Busy（停止） ・発生後，1 分時間監視でタイムアウト時はER31-01 に遷移.	機能 SW 押下でブザー音が停止し，タイムアウト時間を 10 分に延長. 用紙セット後，用紙セット SW を押して用紙を吸入する. 機能 SW 押下でオンライン画面に遷移し，印字を継続する.
02-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER02-01：ポジション	郵便コマンド実行時右端検出不可 単票吸入実行時手差し入口紙有 上端余白 7.6mm 以上で改行／印字後に W/R-ID 実行	用紙交換後，スタート SW 押下
09-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER09-01：カバー	カバーオープン	カバーを閉じて場合によってはスタート SW 押下
09-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER09-02：ガイドセット	ガイドセットオープン	ガイドをセットしてスタート SW 押下
10-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER10-01：ヨウシ　ヅマリ	改行用紙ジャム	用紙交換後，スタート SW 押下
31-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER31-01：ヨウシギレ	用紙切れ	用紙セット後， (1) 用紙セット SW 押下で用紙吸入後，スタート SW 押下. (2) スタート SW 押下で用紙吸入後，オンライン状態.
34-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER34-01：セレクトミス	元帳（単票）データを連帳選択時に受信	単票を選択後，スタート SW 押下

エラーコード	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内　　容	復旧方法
34-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER34-02：セレクトミス	CSF 無し時に CSF からの吸入を実行した	CSF 接続後 スタート SW 押下
34-03	消灯	点滅	間欠鳴動	ER34-03：セレクトミス	上位からの連単切替え指示に対する切替え不可	スタート SW 押下によりオフライン状態（上位切替え指示確認）
60-00	消灯	点滅	間欠鳴動	ER60-00：リードエラー	ID マーク／バーコードリード時のリードエラー	用紙交換後又はリボンカセット交換後スタート SW 押下
81-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER81-01：EEPROM	EEPROM 異常	電源 OFF →再投入
82-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER82-01：モータエラー	LF モータエラー	スタート SW 押下によりオフライン状態
82-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER82-02：モータエラー	カムモータエラー	同上
82-03	消灯	点滅	間欠鳴動	ER82-03：モータエラー	ピックモータエラー（CSF 搭載時）	同上
82-04	消灯	点滅	間欠鳴動	ER82-04：ソレノイド	ソレノイドエラー（CSF 搭載時）	同上
82-05	消灯	点滅	間欠鳴動	ER82-05：ホッパエラー	ホッパエラー（CSF 搭載時）	同上
83-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER83-01：カムエラー	カムエラー	同上
84-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER84-01：デンゲン	電源電圧異常	同上
85-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER85-01：スペースエラー	印刷ヘッド動作異常	同上
87-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER87-01：メカ　ムオウトウ	メカ応答異常 メカ部からの応答が無い 約 60 秒	電源 OFF →再投入
87-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER87-02：メカ　ムオウトウ	メカ応答異常 電源投入時，メカ部からの応答が無い	同上
88-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER88-01：ファイアチェック	ハンマーファイアチェック	スタート SW 押下によりオフライン状態
8E-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER8E-01：センスエラー	メカからの応答が未定義（テストコマンド応答時）	電源 OFF →再投入
8E-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER8E-02：センスエラー	メカからの応答が未定義（コマンド応答時）	同上

9.2 文字コード

本装置で扱う文字コードは，表 9.5，表 9.6，表 9.7，表 9.8，および表 9.9 に示す 1 バイトの EBCDIC 系コード（いずれか 1 つ）と，2 バイトの JEF 漢字コードです．

表 9.5　国内一般カナ付コード表（Japanese KANA）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL				SP	&	−			ソ					$	0
1		SBA			.	ェ	／		ア	タ	￣		A	J		1
2		EUA			「	ォ			イ	チ	ヘ		B	K	S	2
3		IC			」	ャ			ウ	ツ	ホ		C	L	T	3
4	VCS	ENP	INP		,	ュ			エ	テ	マ		D	M	U	4
5	PT/ HT	NL	LF	TRN	・	ョ			オ	ト	ミ		E	N	V	5
6		BS			ヲ	ッ			カ	ナ	ム		F	O	W	6
7					ァ				キ	ニ	メ		G	P	X	7
8			Ks	Kl	ィ	ー			ク	ヌ	モ		H	Q	Y	8
9		EM	As	LDEL	ゥ				ケ	ネ	ヤ		I	R	Z	9
A				LINS	£	!		:	コ	ノ	ユ	レ				
B	VT	SFE /F	FMT		.	¥	,	#				ロ				
C	FF	DUP	MF	RA	＜	＊	%	@	サ		ヨ	ワ				
D	CR	SF			（	）	_	’	シ	ハ	ラ	ン				
E	SA	FM/ IRS			＋	;	＞	＝	ス	ヒ	リ	゛				
F	SFE		BEL		|	￢	?	″	セ	フ	ル	゜				

（注 1）未定義コードは［−］ハイフンで印刷し，プログラムに対しては［X ‘60’］で通知します．
（注 2）DUP，FM は各々［＊］，［；］で印刷します．
　　プログラムに対しては，各々［X ‘1C’］，［X ‘1E’］で通知します．

表 9.6　国内一般カナ無コード表（Japanese English）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL				SP	&	−						{	}	$	0
1		SBA					／		a	j	￣		A	J		1
2		EUA							b	k	s		B	K	S	2
3		IC							c	l	t		C	L	T	3
4	VCS	ENP	INP						d	m	u		D	M	U	4
5	PT/ HT	NL	LF	TRN					e	n	v		E	N	V	5
6		BS							f	o	w		F	O	W	6
7									g	p	x		G	P	X	7
8			Ks	Kl					h	q	y		H	Q	Y	8
9		EM	As	LDEL				`	i	r	z		I	R	Z	9
A				LINS	£	!	¦	:								
B	VT	SFE /F	FMT		.	¥	,	#								
C	FF	DUP	MF	RA	<	*	%	@								
D	CR	SF			(	)	_	’								
E	SA	FM/ IRS			+	;	>	=								
F	SFE		BEL		|	¬	?	″								

（注 1）未定義コードは［ー］ハイフンで印刷し，プログラムに対しては［X ‘60’］で通知します．
（注 2）DUP，FM は各々［＊］，［；］で印刷します．
　　プログラムに対しては，各々［X ‘1C’］，［X ‘1E’］で通知します．

表 9.7　海外コード表 I（US English）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL				SP	&	−						{	}	＼	0
1		SBA					／		a	j	～		A	J		1
2		EUA							b	k	s		B	K	S	2
3		IC							c	l	t		C	L	T	3
4	VCS	ENP	INP						d	m	u		D	M	U	4
5	PT/ HT	NL	LF	TRN					e	n	v		E	N	V	5
6		BS							f	o	w		F	O	W	6
7									g	p	x		G	P	X	7
8			Ks	Kl					h	q	y		H	Q	Y	8
9		EM	As	LDEL				`	i	r	z		I	R	Z	9
A				LINS	¢	!	¦	:								
B	VT	SFE /F	FMT		.	$	,	#								
C	FF	DUP	MF	RA	<	*	%	@								
D	CR	SF			(	)	_	’								
E	SA	FM/ IRS			+	;	>	=								
F	SFE		BEL		|	¬	?	″								

（注 1）未定義コードは［−］ハイフンで印刷し，プログラムに対しては［X ‘60’］で通知します．
（注 2）DUP，FM は各々［*］，［;］で印刷します．
　　プログラムに対しては，各々［X ‘1C’］，［X ‘1E’］で通知します．

表 9.8　海外コード表Ⅱ（EBCDIC-ASCII）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL				SP	&	−						{	}	＼	0
1		SBA					／		a	j	～		A	J		1
2		EUA							b	k	s		B	K	S	2
3		IC							c	l	t		C	L	T	3
4	VCS	ENP	INP						d	m	u		D	M	U	4
5	PT/ HT	NL	LF	TRN					e	n	v		E	N	V	5
6		BS							f	o	w		F	O	W	6
7									g	p	x		G	P	X	7
8			Ks	Kl					h	q	y		H	Q	Y	8
9		EM	As	LDEL				`	i	r	z		I	R	Z	9
A				LINS	[	]	¦	:								
B	VT	SFE /F	FMT		.	$	,	#								
C	FF	DUP	MF	RA	<	*	%	@								
D	CR	SF			(	)	_	’								
E	SA	FM/ IRS			+	;	>	=								
F	SFE		BEL		!	^	?	″								

（注 1）未定義コードは［−］ハイフンで印刷し，プログラムに対しては［X ‘60’］で通知します．
（注 2）DUP，FM は各々［*］，［;］で印刷します．
　　プログラムに対しては，各々［X ‘1C’］，［X ‘1E’］で通知します．

表 9.9　ASCII コード（サポートサーバが PrintWalker の場合のみ）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL				SP	&	ー	ー					{	}	＼	0
1						¥	／	ヤ	a	j	～		A	J		1
2						。	ァ	ユ	b	k	s		B	K	S	2
3						「	ィ	ヨ	c	l	t		C	L	T	3
4	VCS					」	ゥ	ワ	d	m	u		D	M	U	4
5	PT/ HT	NL	LF	TRN		、	ェ	ン	e	n	v		E	N	V	5
6		BS				・	ォ	゛	f	o	w		F	O	W	6
7						ヲ	ャ	゜	g	p	x		G	P	X	7
8			Ks	Kl		ッ	ュ		h	q	y		H	Q	Y	8
9			As				ョ	`	i	r	z		I	R	Z	9
A					[	]	｜	：								
B	VT	SFE /F			.	$	,	#	ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ラ
C	FF	DUP			＜	＊	%	@	イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	リ
D	CR				（	）	＿	’	ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ル
E	SA	FM/ IRS			＋	；	＞	＝	エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	レ
F			BEL		！	＾	？	″	オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	ロ

（注 1）未定義コードは［ー］ハイフンで印刷し，プログラムに対しては［X‘60’］で通知します．
（注 2）DUP，FM は各々［＊］，［；］で印刷します．
　　プログラムに対しては，各々［X‘1C’］，［X‘1E’］で通知します．
（注 3）実際の出力との対応は，PC 等のコード表を参照してください．

9.3　PrintWalker/RS のご紹介

PrintWalker/RS（Remote Service）は，VSP/VS シリーズネットワークプリンタの運用管理をリモートで行うソフトウェアです．

本ソフトウェアには次の特長があります．

⑴ Windows 2000 上で動作する WWW ベースのクライアント／サーバシステム
⑵ クライアント側は WWW ブラウザ以外に特別なソフトウェアは不要
⑶ ブラウザで自席の PC から遠くのプリンタの状態を参照，遠隔操作
⑷ プリンタ状態をメールで管理者に通知

詳しくは，添付の PrintWalker CD-ROM の PrintWalker/RS 導入マニュアル，README をご覧ください．

導入マニュアルの格納場所→CD-ROM ドライブ：¥RemoteSV¥manual.htm
Readme の格納場所→CD-ROM ドライブ：¥RemoteSV¥Readme.txt

《PrintWalker/RS をご利用のお客様へ》

PrintWalker/RS プロパティ画面表示について

PrintWalker/RS プロパティ画面表示の MAC アドレス，機種名，システムファームウェア総合版数，メカコンファームウェア版数は変更できません．
なお，プリンタのオペレーションパネル表示と PrintWalker/RS プロパティ画面表示の現在状態表示は下記対応表のとおりになっております．

［VSP2851B オペパネ-PrintWalker/RS 状態表示　対応表］

エラーコード	プリンタ装置オペパネ表示	PrintWalker/RS 状態表示
01-01	ER01-01：ヨウシギレ	用紙無し（＊＊＊＊）
02-01	ER02-01：ポジション	ポジションエラー
07-01	ER07-01：プログラム	プリンタ稼働中
09-01	ER09-01：カバー	カバーオープン
09-02	ER09-02：ガイドセット	インタロック異常（用紙ガイドセットエラー）
10-01	ER10-01：ヨウシヅマリ	用紙詰まり
27-01	ER27-01：ジョウイソウチ	プリンタ稼働中
31-01	ER31-01：ヨウシギレ	用紙無し（＊＊＊＊）
32-01	ER32-01：POC イジョウ	POC 異常
34-01	ER34-01：セレクトミス	セレクトミス
34-02	ER34-02：セレクトミス	セレクトミス
34-03	ER34-03：セレクトミス	セレクトミス
40-0X	ER40-0X：メモリエラー	なし
41-0X	ER41-0X：メモリエラー	なし
42-09	ER42-09：PCB XXXX	なし
43-XX	ER43-XX：LAN XXXX	なし
45-01	ER45-01：FLASH エラー	なし
47-0X	ER47-0X：ソケットエラー	なし
49-XX	ER49-XX：PCF XXXX	なし
60-00	ER60-00：リードエラー	リードエラー
81-01	ER81-01：EEPROM	CE-CALL（81-01/EEPROM エラー）
82-01	ER82-01：モータエラー	CE-CALL（82-01/LF モータエラー）
82-02	ER82-02：モータエラー	CE-CALL（82-02/カムモータエラー）

エラーコード	プリンタ装置オペパネ表示	PrintWalker/RS 状態表示
82-03	ER82-03：モータエラー	CE-CALL（82-03/ピックモータエラー）
82-04	ER82-04：ソレノイド	CE-CALL（82-04/ソレノイドエラー）
82-05	ER82-05：ホッパエラー	CE-CALL（82-05/ホッパエラー）
83-01	ER83-01：カムエラー	CE-CALL（83-01/カムエラー）
84-01	ER84-01：デンゲン	CE-CALL（84-01/電源電圧異常）
85-01	ER85-01：スペースエラー	CE-CALL（85-01/スペースエラー）
87-0X	ER87-0X：メカ ムオウトウ	なし
88-01	ER88-01：ファイアチェック	CE-CALL（88-01/ハンマーファイアチェック）
89-01	ER89-01：パターン	なし
8E-0X	ER8E-0X：センスエラー	なし

※PrintWalker/RS 状態表示で「なし」となっているものは，PrintWalker/RS 側では表示されません.

9.4　PrintWalker/LXE のご紹介

9.4.1　PrintWalker/LXE の概要

(1) 概要

PrintWalker/LXE は，Linux システムから LAN(Ethernet TCP/IP)接続された VSP シリーズプリンタ装置の印刷制御を行うソフトウェア製品です．

本ソフトウェアは，装置添付の CD-ROM(PrintWalker)に格納されています．

(2) 機能

①操作性

- 用紙詰まりや用紙無しなどが発生した場合，PrintWalker/LXE はアラート機能により，詳細なメッセージを Windows パソコンの Web ブラウザ上に表示し，プリンタ装置側の処置だけで，異常が発生したページから再印刷を行います．(ページリカバリ)
- PrintWalker/LXE のアラート機能では，印刷中に異常が発生したジョブの削除を指定することが可能です．
- VSP シリーズは，他の弊社サーバ(GS/PRIMEFORCE，PRIMEQUEST，SPARC Enterprise，PRIMEPOWER，富士通 S series, PRIMERGY 6000, PRIMERGY)，またはパソコン(FMV シリーズ)プリンタとして共用が可能です．

②NetCOBOL, PowerCOBOL97 シリーズと Meft との連携

- 本ソフトウェアは，NetCOBOL，PowerCOBOL97 シリーズと Meft との連携印刷が可能です．フォームオーバレイ印刷，バーコード(カスタマコードを含む)印刷，用紙コードの指定，給紙口指定，用紙サイズ指定等，きめ細やかな印刷制御が可能です．

③サポートデータ形式

PrintWalker/LXE からラインプリンタや多目的プリンタへの印刷で使用できるデータ形式は，以下のとおりです．

- simple 出力
- cobol(UVPI)

9.4.2　動作環境

PrintWalker/LXE は，以下の動作環境で動作するソフトウェアです．詳細は添付の CD-ROM を参照してください．

（1）サポート OS

- Red Hat Enterprise Linux AS (v.3 for x86)
- Red Hat Enterprise Linux ES (v.3 for x86)
- Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for x86)
- Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)
- Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for EM64T)
- Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for EM64T)
- Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)
- Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)
- Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for Itanium)
- Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel Itanium)

（2）対応印刷システム

- CUPS 1.1.17 以降を対象

（3）アラート動作環境

①サーバ

- OS： Windows 2000/XP/Vista/7/Server 2003/Server 2008
- WWW サーバ： Internet Information Service(IIS)

②クライアント

- OS： Windows 2000/XP/Vista/7/Server 2003/Server 2008
  Windows XP/Vista/7/Server 2003/Server 2008 x64
  Windows Server 2003/Server 2008 IA64
- Web ブラウザ：Microsoft Internet Explorer 6.0 以降
  Microsoft Virtual Machine 3810 以降
  Sun Microsystems Java Runtime Environment（JRE）バージョン 5.0(1.5.0)以降
  Netscape 7.1 以降

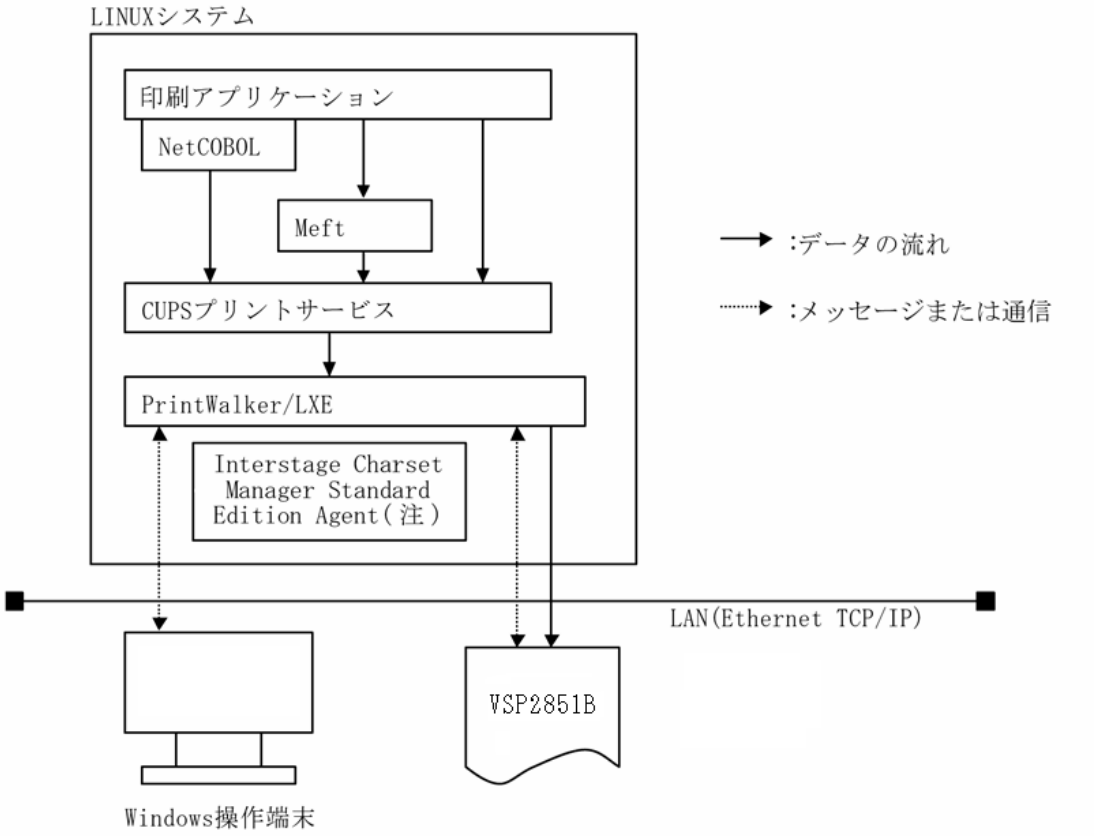
（4）必須ソフトウェア

- Interstage Charset Manager Standard Edition Agent V6.0 以上

ただし，OS が Red Hat Enterprise Linux AS（v.4 for Itanium）または Red Hat Enterprise Linux 5（for Intel Itanium）の場合は

- Interstage Charset Manager Standard Edition Agent V7.0 以上

9.4.3　システム構成



（注意）　Interstage Charset Manager Standard Edition Agent は必須であり，別途購入していただくことが必要です．（「9.4.2　動作環境」参照）

9.4.4　留意事項

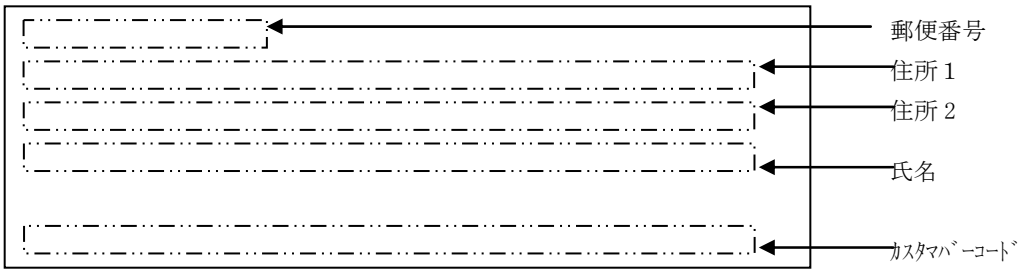
（1） PrintWalker/LXE のアラート機能では，印刷中に異常が発生したジョブの保留，ページ指定の印刷再開および出力先の変更ができません．
（2） PrintWalker/LXE では，Interstage Charset Manager Standard Edition Agent は必須製品ですので，必ず購入してください．（「9.4.2　動作環境」参照）
（3） 本製品には環境ファイルが 1 個ありますが，環境ファイルを変更しているときのみメジャーアップ時にその退避/復元が必要です．
（4） 直打ち印刷(イミデート印刷)は，未サポートです．
（5） PrintWalker/LXE は，1 サーバ(プリントサーバ)におけるプリンタ接続台数の制限を設けておりません．ただし，印刷性能など十分考慮し，接続するプリンタ台数など運用システムの構築を行ってください．
（6） PrintWalker/LXE での印刷時，プリンタ装置側の設定は，”サポートサーバ”を PrintWalker に設定してください．
（7） 印刷中にサーバ側のプリンタ定義の変更を行わないでください．印字完了後に設定変更を行ってください．
（8） 本ソフトウェアをご使用になる場合は，「Support Desk Product」の契約をお願いします．

9.5　カスタマバーコードの印刷条件

新品インクリボンを使用した場合の，読み取り可能なカスタマバーコード印刷量の目安は，以下のとおりです．

（１）印刷条件

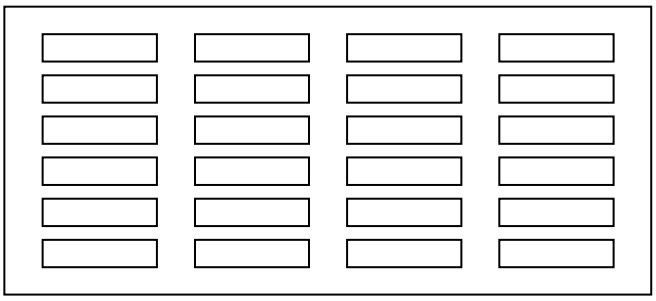
・印刷レイアウト



・印刷サンプル

〒273-0102
千葉県 鎌ヶ谷市 右京塚　東３丁目－２０－５
郵便Ａ＆ｂコーポＢ６０４号
郵政　太郎　様

・１５×１１インチ用紙のレイアウト



１シート当り
縦６個×横４個＝２４個の
住所，ｶｽﾀﾏﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印刷

（2）インクリボン１本当りの印刷量（目安）

（1）項の印刷条件で印刷した場合，インクリボン１本当りの印刷シート数および住所とカスタマバーコードの印刷量の目安は，以下のとおりです．

用紙	印刷シート数	住所／コード印刷数
１Ｐ用紙	100	2,400
ラベル紙	100	2,400
複写用紙	100	2,400

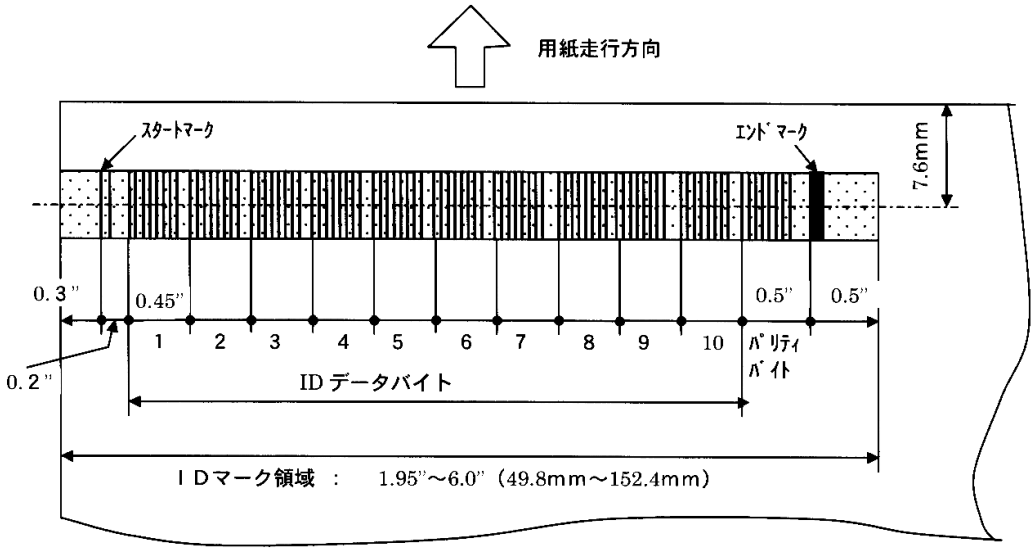
(注)１Ｐ用紙は，連量５５kgの上質紙です．

（3）注意事項

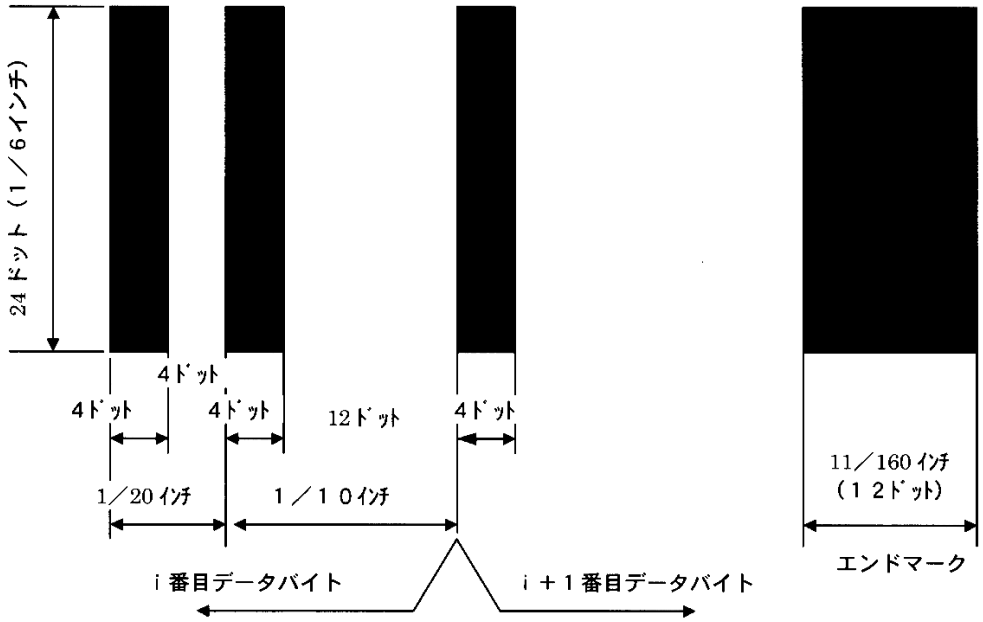
- カスタマバーコード印刷には，オプションの拡張出力機構が必須です．
- カスタマバーコードの印刷物は，事前に郵便局での読み取りテストを受けてください．
- インクリボンは新しいものを使用してください．
- 複写用紙の場合，読み取りは印刷用紙の最上部の１枚目のみ可能です．
  ２枚目以降の読み取りは保証できません．

9.6 IDマーク

IDマークとは，本プリンタ装置により元帳に印刷され，帳票の認識のために使用されるマークのことです．IDマークは，装置内蔵の光学センサで読み取られます．
IDデータは，10バイトを上限とする可変長データです．



・ID マークドットパターン



1） ID マーク使用帳票は，元帳のみとします．

2） ID マーク領域内では，印刷および ID マーク以外の印字は禁止します．
ID マーク領域内の用紙表面反射率は，80%以上の白色でかつ直径 0.5mm 以上のしみ，ピンホール，汚れ，しわ，カールなどがあってはなりません．

3） ID マーク領域は，データ数に応じて 1／6 インチ幅で用紙左端より 1.95 インチ～6.0 インチとなります．

1.5 インチ＋0.45 インチ×N（N：使用データバイト数）

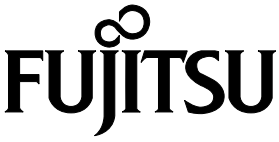
4） 用紙規格に関しては，「6.3 元帳」を参照してください．

VSP2851B　プリンタ装置
取扱説明書

2010年 5月　1版

All Rights Reserved, Copyright©　富士通株式会社　2010

●本書を無断で他に転載しないようにお願いします.
●本書は，改善のため予告なしに変更されることがあります.
●本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権，
その他の権利，損害については，当社はその責を負いません.
●落丁，乱丁本は，お取り替えいたします.



このマニュアルは再生紙を使用しています。